

平成24年度
飯能市消費動向調査報告書

駿河台大学
飯能信用金庫
飯能市
飯能商工会議所

目 次

第1章 調査の実施概要	
1. 調査方法の概要	1
2. 調査対象者の概要	3
3. 調査対象商品	4
4. 調査資料利用上の注意	5
第2章 飯能市の商圈動向	
1. 飯能市の商業の動向	
(1) 飯能市の主な小売店舗一覧	6
(2) 飯能市の小売業の推移	7
(3) 飯能市の小売業の規模と店舗効率	8
(4) 埼玉県内の小売業の吸引率と充足度	9
(5) 商品群別の市内吸引率と市外流出率	10
2. 飯能市の商圈	
(1) 商業集積地別の商圈	12
(2) 商品群別の市内商業集積地別吸引率	14
3. 居住地区別の商業集積地利用概要	
(1) 飯能地区	15
(2) 精明地区	17
(3) 加治地区	19
(4) 美杉台地区	21
(5) 南高麗地区	23
(6) 吾野地区	25
(7) 東吾野地区	27
(8) 原市場地区	29
(9) 名栗地区	31
第3章 飯能市民の買物行動	
1. 消費者の買物行動	
(1) 普段の買物頻度	33
(2) 1回の買物の平均予算	34
(3) 普段の買物に利用する交通手段	35
(4) 買物時間帯	36
(5) パソコンの普及率とインターネットの利用状況	39
(6) 通信販売の利用状況	40
2. 飯能市内の商店街の利用状況と改善課題	
(1) 飯能市内の商店街の利用状況	48
(2) 飯能市内の商店街、個人商店をほとんど利用しない理由	49
(3) 飯能市内の商店街や個人商店をより魅力的にするための重点項目	51
(4) 身近に欲しい買物施設	52
(5) コンビニエンスストアの利用状況	54
3. 東日本大震災後の買物行動について	
(1) 東日本大震災後の買物行動について風評などの影響の有無	58
(2) 東日本大震災後の買物行動の変化	59
(3) 東日本大震災後の食品安全性への意識の変化	60

4. 飯能市内の観光地などについて	
(1) お勧めしたい飯能市内の観光地やイベント.....	62
(2) 観光地で特に力を入れたらよい分野.....	64
(3) 観光都市を目指す場合、今後整備・充実すべきもの.....	65
(4) 観光客を飯能市に呼び込むことができる観光施設・イベント案.....	67
第4章 飯能市内の買物環境と居住継続意向	
1. 居住地域や飯能市内の買物環境	
(1) 居住地域や飯能市内の買物環境.....	83
(2) 居住地域や飯能市内の買物環境に関する理由等.....	84
2. 飯能市への居住継続意向	
(1) 飯能市への居住継続意向.....	88
(2) 居住継続意向に関する理由.....	89
3. 買物環境と居住継続意向に関する個別理由の主なもの	
(1) 買物環境に関する主な理由等	
1) 満足している主な理由.....	92
2) 満足としながら不満理由を記述しているもの.....	94
3) 不満である主な理由.....	95
(2) 居住継続意向に関する主な理由等	
1) 市内に住み続けたい主な理由.....	100
2) できれば市内別地に転居したい主な理由.....	103
3) できれば市外に転居したい主な理由.....	104
4) 市外に転居したい主な理由.....	106
第5章 資料編	
1. 飯能市の人口と世帯	
(1) 市内全域の人口と世帯.....	107
(2) 人口の動態.....	108
2. 飯能市各地区の人口ピラミッド.....	109
3. アンケート調査票.....	114

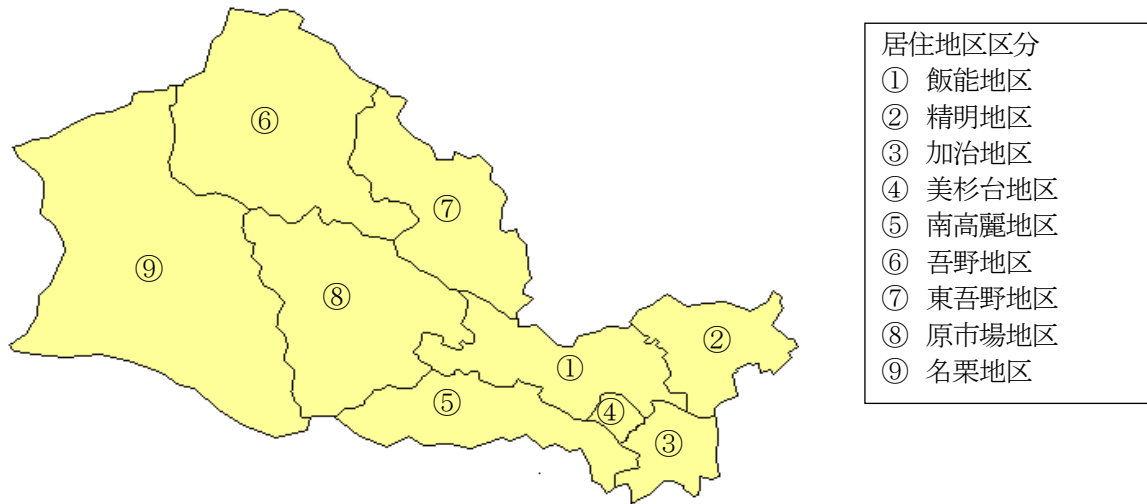
第1章 調査の実施概要

1. 調査方法の概要

- (1)調査実施期間 平成24年7月20日～8月31日
- (2)調査地域 飯能市全域
- (3)調査対象 飯能市に居住する世帯
- (4)調査方法 郵送法による自記式アンケート調査
- (5)調査対象の抽出と回収状況

- ①抽出方法 平成24年4月1日現在の飯能市の住民基本台帳から、図表1-1の居住地区別に等間隔抽出法により、2,000世帯を抽出しました。
- ②回収状況
 - 配布先： 2000世帯
 - 有効回収数： 856件
 - 回収率： 42.8%

図表1-1 飯能市内の居住地区図



③回収数に対する各地区の割合
飯能市の地区別回収枚数は、図表1-2のとおりです。

図表1-2 地区別回収数 (単位:件・%)

地区	回収数	構成比
飯能	232	27.1
精明	130	15.2
加治	183	21.4
美杉台	55	6.4
南高麗	41	4.8
吾野	42	4.9
南吾野	46	5.4
原市場	72	8.4
名栗	52	6.1
地区不明	3	0.4
総計	856	100

(6) 居住地区および商業集積地(買物場所)区分

① 飯能市居住地区と大字名

各居住地区に含まれる大字名は図表 1-3 のとおりです。

図表 1-3 飯能市居住地区と大字名

居住地区	町 名					
飯 能	101.山手町	102.本町	103.八幡町	104.東町	105.柳町	106.仲町
	201.稲荷町	202.南町	301.栄町	302.緑町	401.中山	402.新町
	403.原町	501.飯能	502.久下	503.久須美	504.小瀬戸	505.永田
	506.永田台	507.小岩井	508.大河原			
精 明	601.下加治	602.小久保	603.宮沢	604.平松	605.川崎	606.下川崎
	607.新光	608.芦荻場	609.双柳	610.青木	611.中居	
加 治	701.岩沢	702.笠縫	703.川寺	704.阿須	705.落合	706.前ヶ貫
	707.矢嵐	708.征矢町				
美杉台	709.美杉台					
南高麗	801.岩渕	802.下畑	803.上畑	804.荻生	805.下直竹	
	806.上直竹下分		807.上直竹上分			
吾 野	901.坂石町分	902.坂石	903.吾野	904.上長沢	905.高山	906.北川
	907.坂元	908.南川				
東吾野	1001.白子	1002.平戸	1003.虎秀	1004.井上	1005.長沢	
原市場	1101.原市場	1102.下赤工	1103.上赤工	1104.赤沢	1105.唐竹	1106.中藤下郷
	1107.中藤中郷	1108.中藤上郷	1109.南			
名 栗	1201.上名栗	1202.下名栗				

② 飯能市買物場所

大型店を中心に飯能市内の買物場所をみると、図表 1-4 のとおりです。

図表 1-4 飯能市地区別買物場所(平成 24 年1月 1 日時点)

地区	商店街・大型店(名称等)			
飯 能	駅周辺の商店街	西武飯能ペペ	丸広百貨店飯能店	ヤオコー飯能店
	サビア(いなげや)	ビッグ・A 緑町店	ベルク緑町店	島忠エッサン飯能店
	セキド飯能店	バイゴー飯能永田店	バイゴー飯能緑町店	
	ウエルシア薬局飯能柳町店		ウエルパーク飯能稲荷町店	
	マミーマート	ザ・ダイソー	ABCドラッグ飯能武蔵丘店	
精 明	スーパーアルプス(マツモトキヨシ、西松屋、ダイソー)		スーパービバホーム	
加 治	カインズホーム飯能店	スーパーアルプス		
美杉台	スーパーアルプス			
南高麗	バイゴー岩淵店			
吾 野	-			
東吾野	バイゴー東吾野店			
原市場	エコス原市場店	バイゴー原市場店		
名 栗	-			

2. 調査対象者の概要

(1) 職業構成

調査対象世帯の主たる収入のある方の職業は、図表 1-5 のとおりです。
給与所得者が 50.8%、うち 69.9%は飯能市以外の県内市町村に通勤しています。

図表 1-5 主たる収入のある方の職業区分

(単位:%)

給与所得者(勤務地別)					商工 自営業	自由業	農林水 産業	その他	計
埼玉県		東京都		その他 の府県					
飯能市	他市町村	23区	都下						
15.3	18.2	7.5	8.7	1.1	6.7	3.6	0.6	38.3	100

(2) 年齢構成

主に買物をする方の 5 歳区分と 10 歳区分の年代は、図表 1-6 のとおりです。
今回の調査結果の分析は、年代別(10 歳区分)で実施しています。
年代構成としては、60 代(29.8%)から 70 歳以上(24.0%)が半数以上を占めています。

図表 1-6 主に買物されている方の年代構成比(区分:5歳区分)

(単位:%)

区 分	20-	25-	30-	35-	40-	45-	50-	55-	60-	65-	70-	75歳	計
	24歳	29歳	34歳	39歳	44歳	49歳	54歳	59歳	64歳	69歳	74歳	以上	
	0.5	1.5	3.2	4.6	6.1	7.3	9.7	13.3	17.2	12.6	12.6	11.4	100
年 代	20代		30代		40代		50代		60代		70歳以上		計
	2.0		7.8		13.4		23.0		29.8		24.0		

(3) 買物担当者の有職状況

買物担当者が有給の仕事に就いているかどうかの状況は、図表 1-7 のとおりです。
有給の仕事に就いていない専業主婦などの割合が 57.6%と、半数を超えています。

図表 1-7 主に買物する方の有職状況

(単位:%)

区 分	構成比
有給の仕事(常勤・パート等)	42.4
有給の仕事には就いていない(専業主婦など)	57.6
計	100

年代別に有職状況を見ると、図表 1-8 のとおりです。

有給の仕事の就業率は、20 代、30 代で約 6 割、40 代、50 代では 7割近くなっています。60 代では減少し、約 3 割となっています。

図表 1-8 主に買物する方の年代別有職状況

(単位:%)

区 分	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上
有給の仕事(常勤・パート等)に 就いている	62.5	60.6	66.7	68.8	30.6	5.2
有給の仕事には就いていない (専業主婦など)	37.5	39.4	33.3	31.3	69.4	94.8

3. 調査対象商品

調査対象商品は図表 1-9 のとおりです。

埼玉県が実施している「広域消費動向調査」と同基準として、商品群は 5 群 22 商品としています。

買物行動特性は、図表 1-10 のとおり独自に 1 群 2 項目に分類しています。

図表 1-9 商品区分表

A 群	1	肉・魚・野菜・果物
	2	調理済み食品(惣菜、弁当等)
	3	その他の食料品、飲料
	4	日用・家庭雑貨
B 群	5	呉服・帯
	6	寝具
	7	紳士服、紳士用品雑貨
	8	婦人服・婦人用品雑貨
	9	子供服・ベビー用品
	10	下着・肌着
C 群	11	靴・はきもの
	12	かばん・ハンドバッグ
D 群	13	家具・インテリア
	14	家庭用電化製品
	15	自転車
E 群	16	時計・メガネ・コンタクトレンズ
	17	医薬・化粧品
	18	書籍・文房具
	19	楽器・CD
	20	玩具
	21	スポーツ用品
	22	花木・園芸・生花

図表 1-10 買物行動特性区分

F 群	23	家族で買物を楽しむ
	24	飲食を楽しむ

4. 調査資料利用上の注意

本文中の集計方法や用語は次のとおりです。

(1) 比率

集計結果は、小数点第2位を四捨五入して小数点第1位までを算出していますので、合計欄が100にならない場合があります。

(2) 集計単位

「市全体」「居住地区別」「買物担当者年代別」に集計しています。

(3) 使用した用語

① 吸引率

全市の吸引率は、市民が飯能市内の商店で買物する割合のことであり、算式は次のとおりです。

$$\text{吸引率(\%)} = \text{買物世帯数} \div \text{調査回答世帯数} \times 100$$

居住地区別吸引率は、居住者が同一地区内にある商店で買物をする割合のことであり、算式は上記の全市と同じです。

② 流出率

全市の流出率は、市民が飯能市以外の都市の商店街などの商業集積地で買物する割合のことであり、算式は次のとおりです。

$$\text{流出率(\%)} = \text{他市での買物世帯数} \div \text{調査回答世帯数} \times 100$$

居住地区別流出率は、居住者が住んでいる地区以外の他地区の商店および商業集積地で買物をする割合のことであり、算式は上記の全市と同じです。

第2章 飯能市の商圈動向

1. 飯能市の商業の動向

(1) 飯能市の主な小売店舗一覧

飯能市の平成24年1月現在の主な小売店舗は、図表2-1のとおりです。

図表2-1 飯能市の主な小売店舗一覧

地 区	主 な 小 売 店	開設年月日	店舗面積(m ²)
飯 能	西武飯能ペペ	H4.10	7,200
	丸広百貨店飯能店	H21.9(移転)	11,166
	ヤオコー飯能店	S61.3	895
	サビア(いなげや)	H3.5	9,046
	ビッグ・A 緑町店	H6.10	496
	ベルク緑町店	H3.6	2,203
	マミーマート(ダイソー・ABC薬局飯能武蔵ヶ丘店)	H19.11	5,012
	島忠エッサン飯能店	S55.7	1,480
	セキド飯能店(平成24年10月14日閉店)	S62.6	495
	バイゴー飯能永田店	H5.2	396
	バイゴー飯能緑町店	H9.2	495
	ウエルシア薬局飯能柳町店	H16	—
	ウエルパーク飯能稲荷町店	H9.11	—
精 明	スーパーアルプス(マツモトキヨシ・西松屋・ダイソー)	H16.6	5,552
	スーパービバホーム	H19.6	10,921
美 杉 台	スーパーアルプス	H22.6	2,236
加 治	ジャパンホームバリュー飯能店	S52.6	4,421
	カインズホーム飯能店	H12.11	4,893
南 高 麗	バイゴー岩淵店	H8.1	473
吾 野	—	—	—
東 吾 野	バイゴー東吾野店	H15.7	—
原 市 場	エコス原市場店	H5.11	463
	バイゴー原市場店	H13	—
名 栗	—	—	—

(出所:飯能商工会議所)

(2) 飯能市の小売業の推移

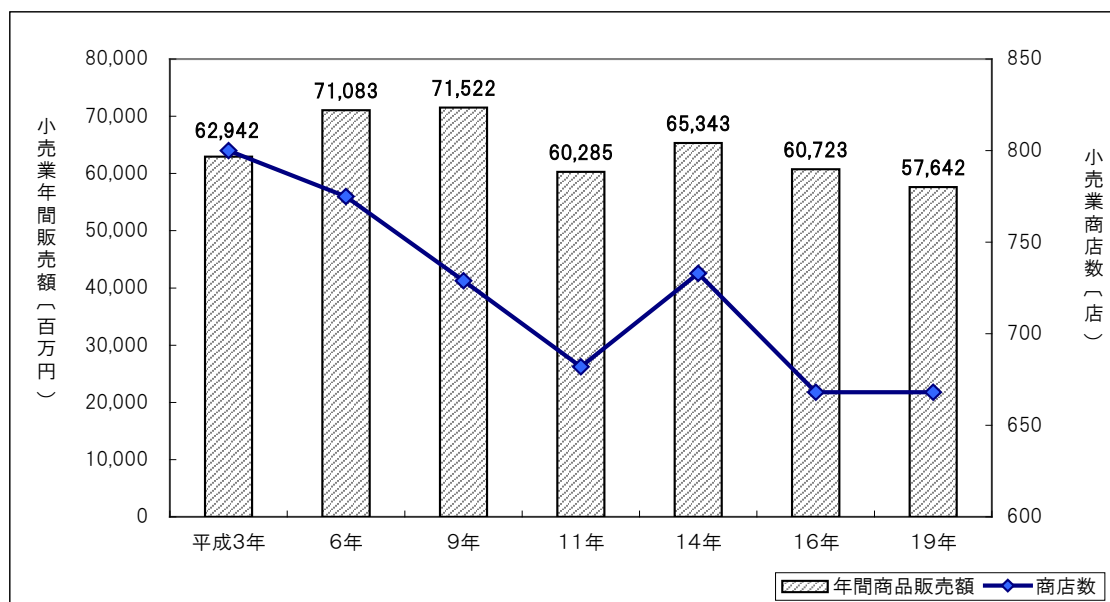
飯能市の小売業の店舗数と年間販売額の推移は、図表 2-2 のとおりです。

小売業の店舗数は、平成 11 年まで減少傾向にあり、平成 14 年に増加したものの、平成 16 年で減少、平成 19 年の商店数は 668 で平成 16 年と同数にとどまっています。

年間販売額も、平成 14 年に増加しましたが、平成 16 年、平成 19 年と減少傾向にあります。店舗数が変わらないので、1店舗あたりの販売額も減少しています。

図表 2-2 飯能市内の小売業の店舗数・年間販売額の推移

(単位:店、百万円)



(出所:平成 19 年埼玉県商業統計調査)

飯能市内の小売業の従業員数および売場面積の推移は、図表 2-3 のとおりです。

従業員数、売場面積ともに平成 14 年以降、減少傾向にあります。

図表 2-3 飯能市内の小売業の推移

年	商店数(店)	従業員数(人)	年間販売額(百万円)	売場面積(m ²)
平成3年	800	4,034	6,294,224	58,637
6年	775	4,523	7,108,352	76,268
9年	729	4,489	7,152,256	82,746
11年	682	4,366	6,028,595	64,535
14年	733	4,760	6,534,307	91,385
16年	668	4,654	6,072,358	86,604
19年	668	4,301	5,764,286	82,704

(出所:平成 19 年埼玉県商業統計調査)

(3) 飯能市の小売業の規模と店舗効率

平成 19 年の飯能市、埼玉県および近隣市(狭山市、所沢市、入間市)小売業の店舗数、従業員数、年間販売額、売場面積は図表 2-4 のとおりです。

図表 2-4 平成19年の飯能市、埼玉県、近隣市の店舗数、従業員数、年間販売額、売場面積

区 分	飯 能 市	埼 玉 県	所 沢 市	狭 山 市	入 間 市
店舗数(店)	668	44,573	1,852	966	904
従業員数(人)	4,301	357,223	15,863	7,418	8,121
年間販売額(百万円)	57,643	6,337,840	290,087	129,669	142,132
売場面積(m ²)	82,704	6,928,355	280,231	140,388	180,794

(出所:平成 19 年埼玉県商業統計調査)

平成19年の飯能市、埼玉県および近隣市(狭山市、所沢市、入間市)小売業の 1 店舗当たりの従業員数、年間販売額、売場面積は図表 2-5 のとおりです。

1 店舗当たりの従業員数、年間販売額、売場面積いずれも埼玉県の平均および近隣市よりも低くなっています。

図表 2-5 飯能市、埼玉県、近隣市の 1 店舗当たりの従業員数、年間販売額、売場面積

	飯能市	埼玉県	狭山市	所沢市	入間市
1 店舗当たり従業員数(人)	6.4	8.0	7.7	8.6	9.0
1 店舗当たり年間販売額(百万円)	86.3	142.2	134.2	156.6	157.2
1 店舗当たり売場面積(m ²)	123.8	155.4	145.3	151.3	200.0

(出所:平成 19 年埼玉県商業統計調査)

従業員 1 人当たりおよび売場面積当たりの年間販売額は、図表 2-6 のとおりです。

どちらも埼玉県平均を下回っており、近隣市のなかでもっとも低くなっています。

図表 2-6 飯能市、埼玉県および近隣市の従業員 1 人当たり、売場面積当たりの年間販売額

	飯能市	埼玉県	狭山市	所沢市	入間市
従業員 1 人当たり年間販売額(百万円)	13.4	17.7	17.5	18.3	17.5
売場面積当たり年間販売額(百万円)	0.70	0.91	0.92	1.04	0.79

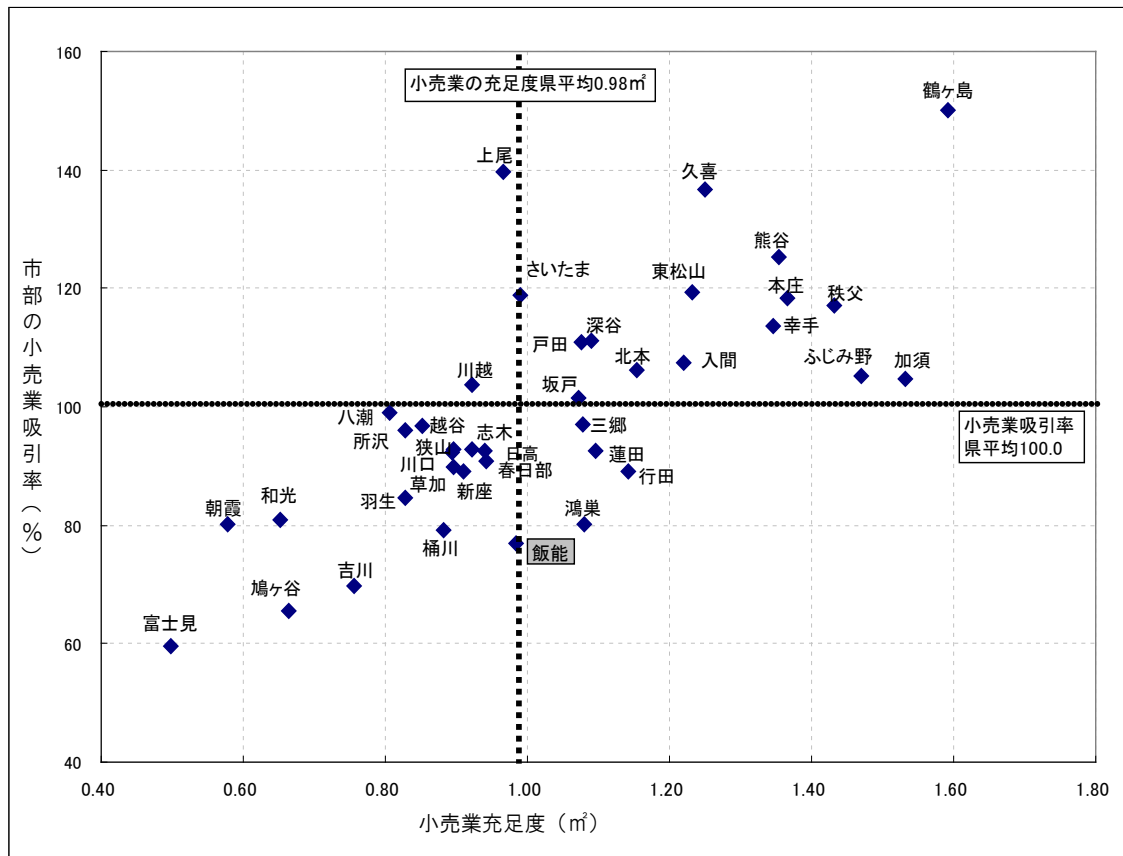
(出所:平成 19 年埼玉県商業統計調査)

(4) 埼玉県内の小売業の吸引率と充足度

埼玉県内の市部における小売業の吸引率と充足度との相関関係は、図表 2-7 のとおりです。

飯能市の小売充足度は 0.98 m²/人、小売業吸引率は 77%で、小売業充足度は県平均と同程度ですが、小売業吸引率はかなり下回っています。

図表 2-7 飯能市、埼玉県および近隣市の店舗数、従業員数、年間販売額、売場面積



(出所: 埼玉県商業統計調査より作成)

(注) 1. 人口は、平成 19 年の商業統計調査結果を基にしているため、各都市の人口も平成 19 年の年度末(平成 20 年 3 月)の数値を使用している。

2. 「小売業の充足度」は、都市商業の充足の程度をみる指標であり、人口 1 人当たりの売場面積である。数値が高いほど消費者の買物利便性が高いとされている。

$$\text{小売業充足度(m}^2\text{)} = \text{売場面積} \div \text{人口}$$

3. 「小売業吸引率」は、都市商業の販売力の程度をみる指標であり、当該都市の 1 人当たり販売額を県民 1 人当たりの販売額で割った値で示している。100 超ならば他都市から買物人口が流入していることを表し、100 未満ならば他都市へ流出していることを示す。

$$\text{小売業吸引率(\%)} = \left(\frac{\text{当該都市の年間販売額}}{\text{当該市の人口}} \right) \div \left(\frac{\text{県の年間販売額}}{\text{県の人口}} \right) \times 100$$

(5)商品群別の市内吸引率と市外流出率

商品群別の市内吸引率と市外流出率は、図表 2-8 のとおりです。

商品総合でみた飯能市内の吸引率は 66.9%、市外への流出率は 33.1%です。

F 群については、飯能市内の吸引率 43.6%、市外への流出率は 56.4%です。

図表 2-8 商品群別の市内吸引率と市外流出率

(単位:%)

商品群	飯能市内 吸引率	計	飯能市外への流出率				
			所沢市	県内 他市	都心部	東京 都下	東京以外 の県外
生鮮食料品	87.6	12.4	3.5	4.7	0.0	2.2	2.0
調理済み食品	88.5	11.5	3.7	4.0	0.1	2.5	1.2
その他の飲食料品	88.3	11.7	2.7	4.6	0.0	2.5	1.9
日用雑貨	90.4	9.6	1.8	2.4	0.3	4.3	0.8
A群計	88.7	11.3	2.9	3.9	0.1	2.9	1.5
呉服・帯	59.4	40.6	10.2	7.0	8.0	13.4	2.1
寝具	57.4	42.6	14.5	5.5	2.9	8.8	10.9
紳士服・用品雑貨	59.4	40.6	13.6	5.7	7.5	11.8	1.8
婦人服・用品雑貨	54.9	45.1	14.3	7.3	8.5	10.6	4.3
子供・ベビー服	59.7	40.3	11.2	6.0	5.6	12.0	5.6
下着・肌着	66.8	33.2	13.6	5.6	2.8	7.8	3.4
B群計	59.9	40.1	13.4	6.1	5.8	10.2	4.5
靴・はきもの	57.7	42.3	10.7	6.4	10.2	11.8	3.2
かばん・バッグ	38.9	61.1	14.2	8.5	16.4	16.0	6.1
C群計	49.4	50.6	12.2	7.3	12.9	13.7	4.5
家具・インテリア	32.8	67.2	26.1	13.1	3.9	16.3	7.9
家電	32.4	67.6	10.2	20.3	7.0	21.8	8.2
自転車	78.0	22.0	6.9	3.7	0.3	9.7	1.4
D群計	45.0	55.0	14.3	13.5	4.2	16.8	6.2
時計・メガネ	69.2	30.8	7.1	7.5	6.7	8.7	1.0
医薬・化粧品	86.5	13.5	2.4	2.7	1.2	2.4	4.8
書籍・文房具	70.6	29.4	5.6	6.5	6.0	6.5	4.9
楽器・CD	49.3	50.7	10.7	4.3	9.7	10.7	15.3
玩具	43.3	56.7	28.8	5.6	6.5	11.2	4.7
スポーツ用品	32.5	67.5	13.6	14.9	11.4	23.7	3.9
花木・園芸・生花	76.0	24.0	1.5	13.4	0.3	8.5	0.2
E群計	67.2	32.8	7.2	7.7	4.9	8.7	4.3
商品総合	66.9	33.1	8.8	7.0	4.6	8.9	3.8
家族で買物を楽しむ	33.5	66.5	20.9	9.8	11.0	24.8	0.0
飲食を楽しむ	52.2	47.8	15.4	11.3	8.0	13.2	0.0
F群計	43.6	56.4	18.0	10.6	9.4	18.5	0.0

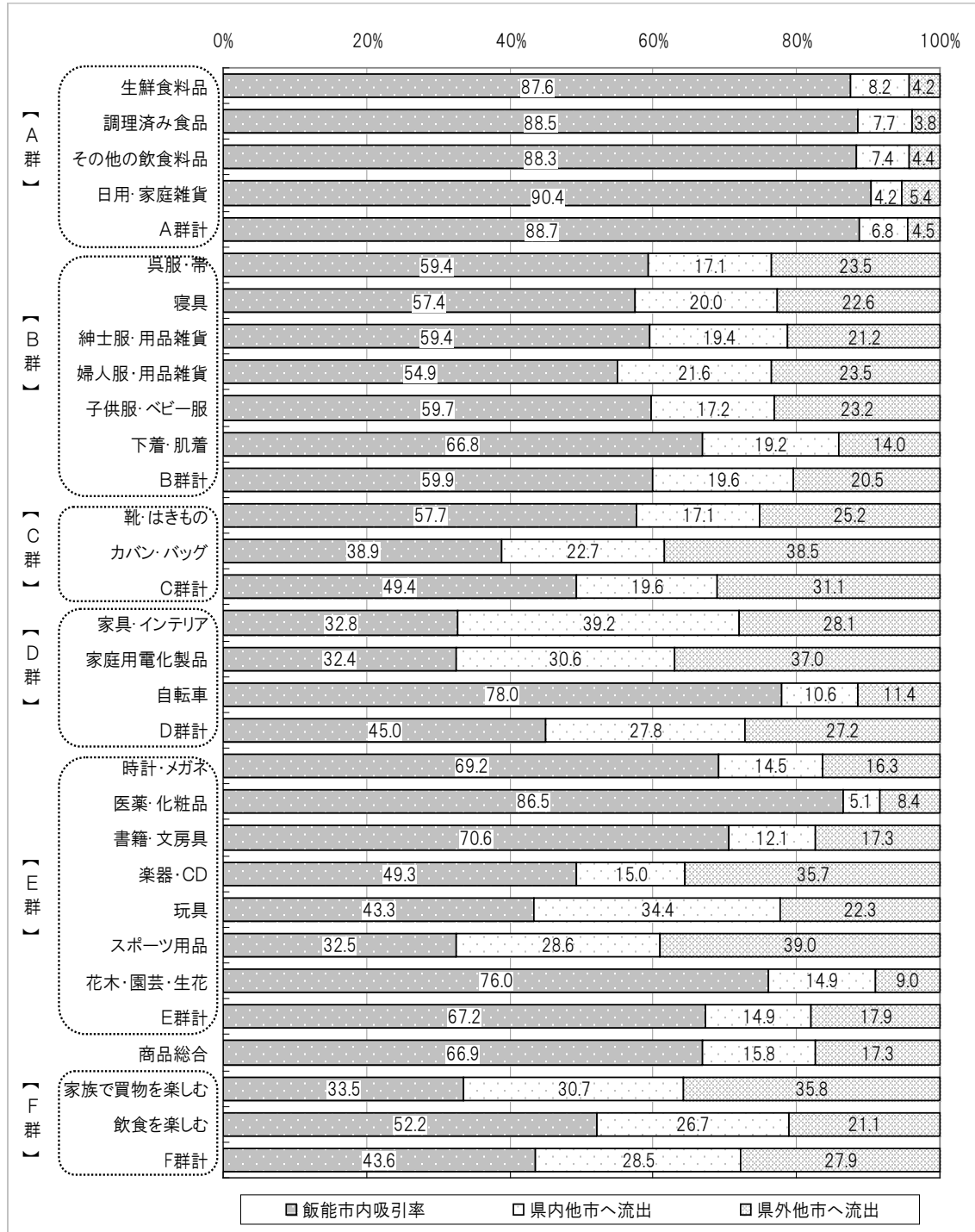
商品別の市内吸引率および市外流出率の商品別比較は、図表 2-9 のとおりです。

A 群の商品はいずれも 8 割を超える高い市内吸引率であり、医薬・化粧品も 8 割を超えています。

一方、カバン・バッグ、スポーツ用品、玩具、家具・インテリア、家庭用電化製品、家族で買物を楽しむ場合は、市外への流出率の方が高くなっています。

図表 2-9 商品別の市内吸引率と市外流出率の比較

(単位:%)



2. 飯能市の商圈

(1) 商業集積地別の商圈

① 市内商業集積地ごとの商圈区分

市内の商業集積地を商圈基準により商圈区分に分類すると、図表 2-10 のとおりです。

図表 2-10 市内商業集積地ごとの商圈区分

商 圏 基 準	市内商業集積地	商 圏 区 分
市内の全居住地区から5%以上吸引	飯能	地域型商圈
3居住地区以上から5%以上吸引		準地域型商圈
2居住地区から5%以上吸引	加治	地区型商圈
1居住地区から5%以上吸引	美杉台、東吾野、原市場	近隣型商圈

② 商品総合からみた商業集積地別吸引率

商業集積地別吸引率は、図表 2-11 のとおりです。市内の全居住地区から 5%以上吸引している商業集積地は飯能です。南高麗、吾野、名栗は、居住地区住民の利用が 5%未満です。

図表 2-11 商品総合からみた商業集積地別吸引率

(単位:%)

区 分	居 住 地 区									
	飯 能	精 明	加 治	美 杉 台	南 高 麗	吾 野	東 吾 野	原 市 場	名 栗	市 内 計
飯能	64.1	49.3	50.1	40.2	43.7	49.3	49.1	38.9	30.2	50.5
精明	4.5	17.1	4.5	1.3	1.8	4.5	3.1	2.4	2.2	5.7
加治	2.5	1.7	8.8	5.6	7.0	2.2	1.3	4.2	3.1	4.3
美杉台	1.0	0.1	2.6	14.3	12.5	0.0	0.0	1.1	1.2	2.6
南高麗	0.1	0.0	0.6	0.4	3.2	0.0	0.0	0.1	0.3	0.3
吾野	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	0.3	0.0	0.0	0.1
東吾野	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.2	9.6	0.0	0.3	0.9
原市場	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	17.2	16.0	2.4
名栗	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.4	0.1
飯能市内吸引率	72.3	68.2	66.6	61.9	68.2	64.2	63.4	63.9	54.7	66.9
飯能市外流出率	27.7	31.8	33.4	38.1	31.8	35.8	36.6	36.1	45.3	33.1
入間市	5.9	12.7	13.6	7.8	12.1	6.7	4.7	4.4	4.6	8.8
県内他市	4.7	7.4	4.5	6.0	2.6	21.7	20.6	6.4	5.7	7.0
東京都心部	6.3	2.8	4.4	8.8	1.2	0.4	5.7	4.7	1.1	4.6
都下	6.6	4.8	7.4	12.1	13.5	4.1	2.6	15.8	29.3	8.9
東京以外の県外	4.1	4.1	3.4	3.4	2.4	2.9	3.1	4.7	4.6	3.8

(注) 網部分は吸引率5%以上

③食料品からみた商業集積地別吸引率

食料品(生鮮食品、調理済み食品、その他の食料品・飲料)の市内商業集積地の商圈は、図表2-12のとおりです。

加治、吾野、名栗は、居住地区住民の利用がそれぞれ5%未満で、加治は入間市、吾野地区は日高市や県内他市、東吾野地区は日高市へ、原市場地区は都下へ、名栗地区は日高市と都下への流出が多くなっています。

図表2-12 食料品からみた商業集積地別吸引率

(単位:%)

区 分	居 住 地 区									
	飯能	精明	加治	美杉台	南高麗	吾野	東吾野	原市場	名栗	市内計
飯能	84.2	58.1	69.3	29.7	34.7	61.8	55.3	30.4	14.8	60.2
精明	3.6	28.6	5.9	1.4	1.1	4.9	0.9	3.3	1.6	7.6
加治	1.5	3.1	4.1	2.1	1.1	1.0	0.9	4.4	0.8	2.5
美杉台	4.4	0.3	8.9	57.9	47.4	0.0	0.0	5.0	5.5	9.8
南高麗	0.0	0.0	0.2	0.7	5.3	0.0	0.0	0.0	0.8	0.4
吾野	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	1.8	0.0	0.0	0.1
東吾野	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.8	13.2	0.0	0.8	1.1
原市場	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	43.1	44.5	6.3
名栗	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.1	0.2
飯能市内吸引	94.4	90.1	88.4	91.7	89.5	77.5	71.9	86.2	71.9	88.1
飯能市外流出	5.6	9.9	11.6	8.3	10.5	22.5	28.1	13.8	28.1	11.9
入間市	0.8	4.8	8.5	0.7	1.1	1.0	0.9	1.7	1.6	3.3
日高市	2.0	1.4	0.0	0.0	2.1	10.8	24.6	3.9	5.5	3.2
県内他市	0.3	1.1	0.0	2.1	3.2	10.8	1.8	1.1	0.0	1.2
都心部	0.0	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
都 下	0.7	0.3	2.0	1.4	4.2	0.0	0.0	6.1	16.4	2.4
東京以外の県外	1.8	2.3	0.8	4.1	0.0	0.0	0.9	1.1	4.7	1.7

(注)網部分は吸引率5%以上

(2)商品群別の市内商業集積地別吸引率

市内商業集積地別の吸引率は、図表 2-13 のとおりです。

A～F群すべてにおいて飯能地区の利用がみられます。

そのほか、A 群は精明地区、加治地区、美杉台地区、原市場地区、D 群は精明地区、加治地区、E 群は精明地区の利用もみられます。

図表 2-13 商品群別の商業集積地別吸引率

(単位:%)

商品群区分		商 業 集 積 地									市内計
		飯能	精明	加治	美杉台	南高麗	吾野	東吾野	原市場	名栗	
A群	食料品・ 日用雑貨	56.2	9.5	5.5	8.4	0.5	0.1	1.8	6.4	0.1	88.7
B群	衣料品・ 男女用品	56.0	2.4	1.2	0.1	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	59.9
C群	靴・カバン	42.6	0.1	0.3	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	43.1
D群	家具家電・ 自転車	27.5	11.2	11.9	0.1	0.0	0.2	0.2	0.1	0.4	51.5
E群	医薬化粧・ 書籍玩具	51.9	5.3	4.5	1.1	0.7	0.0	1.3	2.4	0.0	67.2
商品総合		50.5	5.7	4.3	2.6	0.3	0.1	0.9	2.4	0.1	66.9
F群	買物・飲食 を楽しむ	38.9	2.2	1.5	0.3	0.0	0.0	0.2	0.5	0.0	43.6

(注) 網部分は吸引率5%以上

3. 居住地区別の商業集積地利用概要

(1) 飯能地区

① 飯能地区の居住者が買物に行く商業集積地について

飯能地区居住者の主な買物場所は、図表 2-14 のとおりです。

商品群別に買物先をみると、地元以外の市内では、A 群は精明地区を、D群は精明地区と加治地区を利用しています。

市外では、A群以外は入間市、東京都内、B 群とD群は東京以外の県外を利用しています。

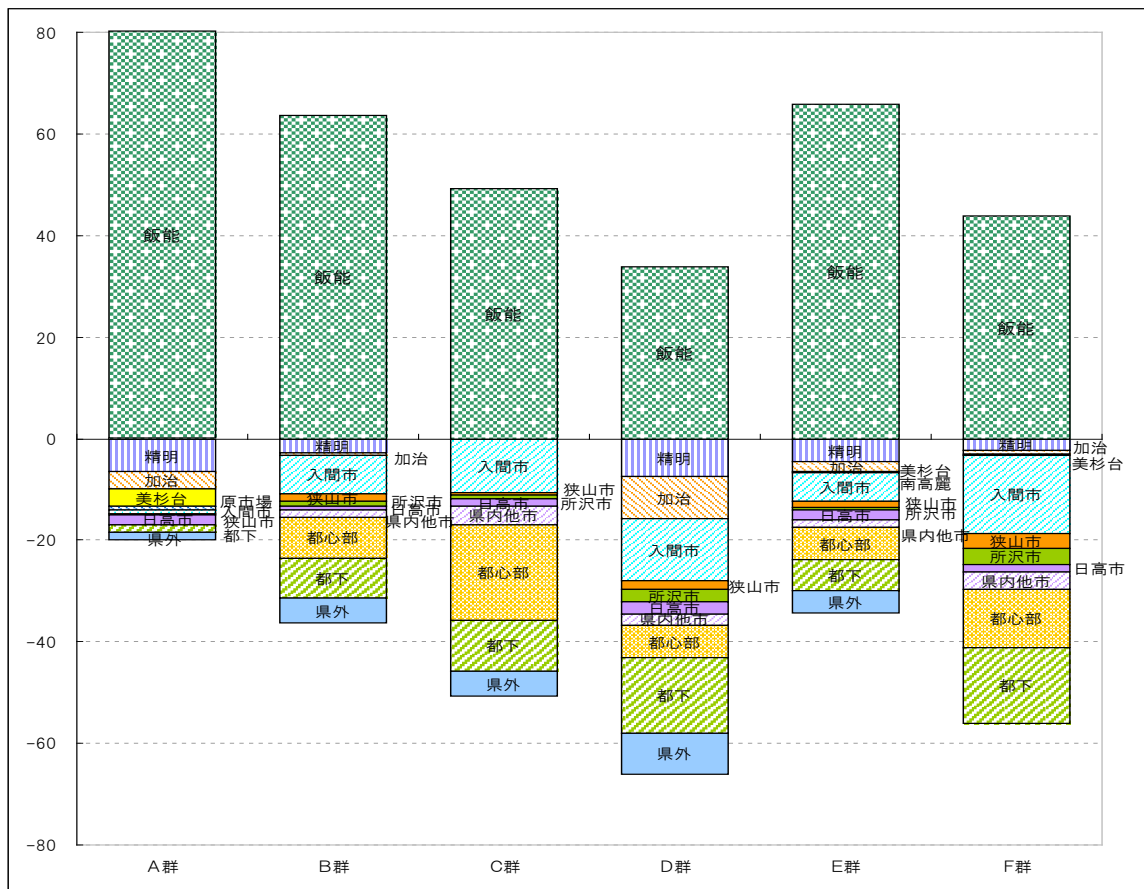
図表 2-14 飯能地区居住者の商品群別にみた主な買物場所 (単位:%)

商業集積地		A群 食料品・ 日用雑貨	B群 衣料品・ 男女用品	C群 靴・カバン	D群 家具家電・ 自転車	E群 医薬化粧品 ・書籍玩具	F群 買物・飲食 を楽しむ
市 内	飯能	80.0	63.6	49.3	34.0	65.7	43.8
	精明	6.5	2.8	0.0	7.4	4.5	2.2
	加治	3.4	0.6	0.0	8.3	1.9	0.7
	美杉台	3.4	0.0	0.0	0.0	0.1	0.4
	南高麗	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0
	吾野	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	東吾野	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	原市場	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	名栗	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	市内計	94.0	67.0	49.3	49.7	72.5	47.2
県 内 市 外	入間市	0.9	7.6	10.5	12.3	5.5	15.4
	狭山市	0.1	1.3	0.7	1.5	1.2	3.0
	所沢市	0.0	1.2	0.7	2.5	0.5	3.0
	日高市	2.1	0.7	1.4	2.5	2.0	1.5
	県内他市	0.1	1.3	3.7	2.2	1.4	3.4
県 外	都心部	0.0	8.0	18.7	6.5	6.5	11.6
	都下	1.3	7.9	10.2	14.8	6.1	15.0
	東京以外の県外	1.5	5.0	4.8	8.0	4.3	0.0

(注) 網部分は吸引率5%以上

図表 2-15 飯能地区居住者の地区外流出率

(単位:%)



②飯能地区への流入状況

飯能地区内商業集積地への流入状況は、図表 2-16 のとおりです。

すべての居住地区から飯能地区内商業集積地へ流入しています。

図表 2-16 各地区から飯能地区内商業集積地への流入率

(単位:%)

飯能へ	A群	B群	C群	D群	E群	F群
精明地区から	55.2	50.5	49.1	25.2	53.1	41.0
加治地区から	63.3	50.0	48.6	20.9	50.6	36.5
美杉台地区から	30.3	55.5	33.3	14.0	48.0	32.6
南高麗地区から	34.9	53.8	58.0	23.8	47.1	38.5
吾野地区から	54.3	59.1	54.9	22.0	42.9	50.0
東吾野地区から	49.4	59.1	56.3	27.5	46.0	36.7
原市場地区から	27.5	60.0	52.7	12.6	37.0	35.1
名栗地区から	14.3	47.9	42.4	16.5	32.8	30.2

(注) 網部分は吸引率5%以上

(2) 精明地区

① 精明地区の居住者が買物に行く商業集積地について

精明地区居住者の主な買物場所は、図表 2-17 のとおりです。

商品群別に買物先をみると、B群、C群、F群は、地元利用率が低くなっています。

地元以外の市内では、すべての商品・サービス群について飯能地区を利用しています。

市外では、B～F群は入間市の利用が多く、B群は都下と東京以外の県外、C群とF群は東京都内の利用がみられ、D群は狭山市の利用もみられます。

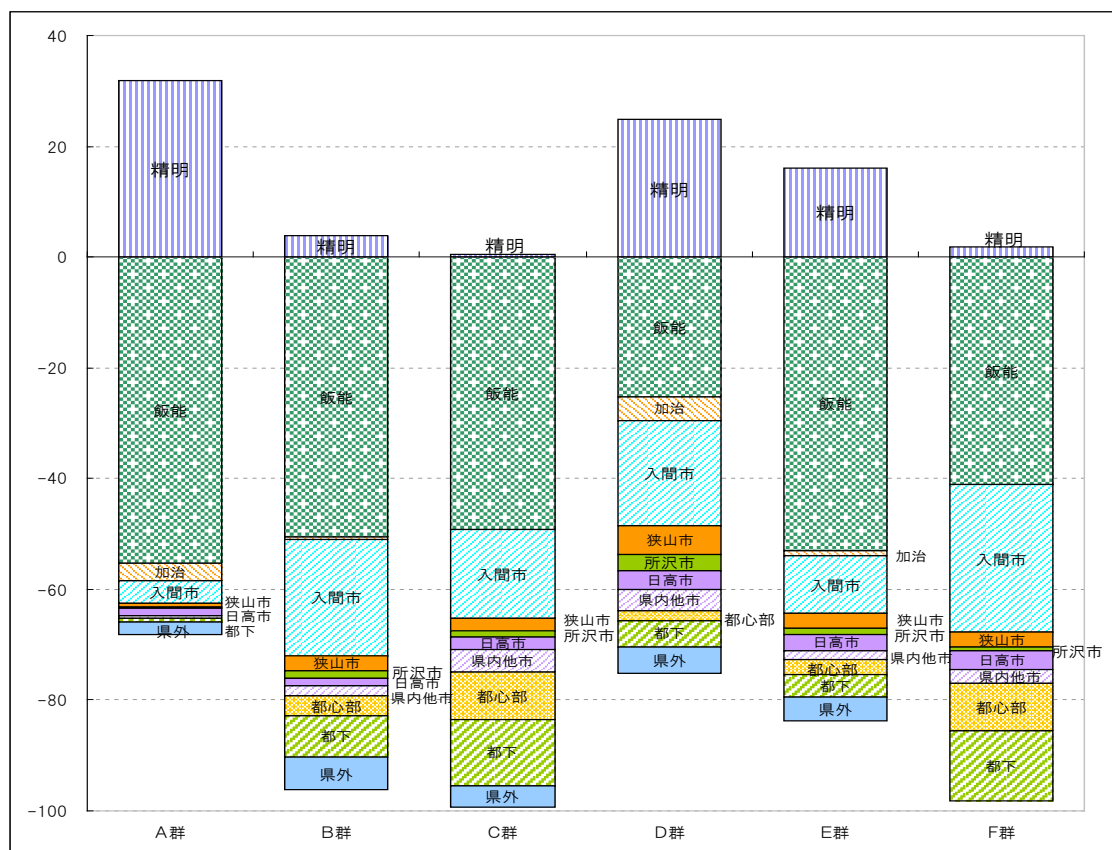
図表 2-17 精明地区居住者の商品群別にみた主な買物場所

(単位: %)

商業集積地		A群 食料品・ 日用雑貨	B群 衣料品・ 男女用品	C群 靴・カバン	D群 家具家電 ・自転車	E群 医薬化粧品 ・書籍玩具	F群 買物・飲食 を楽しむ
市 内	精明	31.9	3.8	0.6	24.8	16.2	1.7
	飯能	55.2	50.5	49.1	25.2	53.1	41.0
	加治	3.2	0.5	0.0	4.3	0.8	0.0
	美杉台	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	南高麗	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	吾野	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	東吾野	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	原市場	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	名栗	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	市内計	90.5	54.8	49.7	54.3	70.0	42.8
県 内 市 外	入間市	4.0	21.1	16.0	19.0	10.5	26.6
	狭山市	0.6	2.5	2.3	5.2	2.8	2.9
	所沢市	0.2	1.5	1.1	2.9	1.2	0.6
	日高市	1.3	1.3	2.3	3.3	3.0	3.5
	県内他市	0.4	1.8	4.0	3.8	1.4	2.3
県 外	都心部	0.2	3.8	8.6	1.9	2.8	8.7
	都下	0.6	7.3	12.0	4.8	4.1	12.7
	東京以外の県外	2.1	6.0	4.0	4.8	4.3	0.0

(注) 網部分は吸引率5%以上

図表 2-18 精明地区居住者の地区外流出率 (単位:%)



②精明地区への流入状況

精明地区内商業集積地への流入状況は、図表 2-19 のとおりです。

A群は、飯能地区、加治地区、吾野地区から、D群については、美杉台地区、南高麗地区、名栗地区を除く各地から、E群は吾野地区、F群は原市場地区からの流入がみられます。

図表 2-19 各地区から精明地区内商業集積地への流入率 (単位:%)

精明へ	A群	B群	C群	D群	E群	F群
飯能地区から	6.5	2.8	0.0	7.4	4.5	2.2
加治地区から	7.6	2.2	0.0	6.8	3.8	1.3
美杉台地区から	1.5	1.0	0.0	2.2	1.6	1.1
南高麗地区から	1.6	2.6	0.0	4.8	0.7	0.0
吾野地区から	6.5	2.3	0.0	8.0	5.0	4.2
東吾野地区から	3.2	1.3	0.0	13.0	1.7	3.3
原市場地区から	3.3	0.9	0.0	7.8	1.5	6.2
名栗地区から	1.7	2.7	0.0	3.8	2.2	1.6

(注) 網部分は吸引率5%以上

(3)加治地区

①加治地区の居住者が買物に行く商業集積地について

加治地区居住者の主な買物場所は、図表 2-20 のとおりです。

商品群別に買物先をみると、B群、C群、F群は地元利用率が低くなっています。

地元以外の市内では、すべての商品群で飯能地区の利用がみられます。

ほかにA群は精明地区と美杉台地区、D群は精明地区も利用しています。

市外では、すべての商品・サービス群について入間市の利用がみられ、B群、E群、F群は東京都、C群は東京都と東京以外の県外、D群は都下と東京以外の県外も利用しています。

図表 2-20 加治地区居住者の商品群別にみた主な買物場所 (単位:%)

商業集積地		A群 食料品・ 日用雑貨	B群 衣料品・ 男女用品	C群 靴・カバン	D群 家具家電・ 自転車	E群 医薬化粧品 ・書籍玩具	F群 買物・飲食 を楽しむ
市 内	加治	10.0	2.4	0.4	22.3	10.2	1.7
	飯能	63.3	50.0	48.6	20.9	50.6	36.5
	精明	7.6	2.2	0.0	6.8	3.8	1.3
	美杉台	7.9	0.0	0.0	0.3	1.5	0.4
	南高麗	0.9	0.0	0.0	0.0	1.2	0.0
	吾野	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	東吾野	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	原市場	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	名栗	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	市内計	89.8	54.6	49.0	50.3	67.3	39.9
県 内 市 外	入間市	7.6	21.9	13.9	18.2	10.6	21.5
	狭山市	0.0	1.1	0.4	4.5	1.3	4.7
	所沢市	0.0	1.5	4.5	3.4	1.5	1.3
	日高市	0.0	1.1	0.8	2.1	1.5	1.3
	県内他市	0.0	1.3	1.6	0.0	0.9	3.0
県 外	都心部	0.2	5.7	10.6	4.1	5.5	7.7
	都下	1.8	8.9	13.5	12.0	7.5	20.6
	東京以外の県外	0.6	4.0	5.7	5.5	4.0	0.0

(注) 網部分は吸引率5%以上

(4)美杉台地区

①美杉台地区の居住者が買物に行く商業集積地について

美杉台地区居住者の主な買物場所は、図表 2-23 のとおりです。

商品群別に買物先をみると、A 群、E 群以外の地元利用はありません。

地元以外の市内では、すべての商品群で飯能地区の利用がみられます。

そのほかは、B群とC群を除き、加治地区を利用しています。

市外では、A群を除くすべての商品・サービス群について入間市と東京都内を利用しており、B 群、D 群は所沢市、D群については県内他市の利用もみられます。

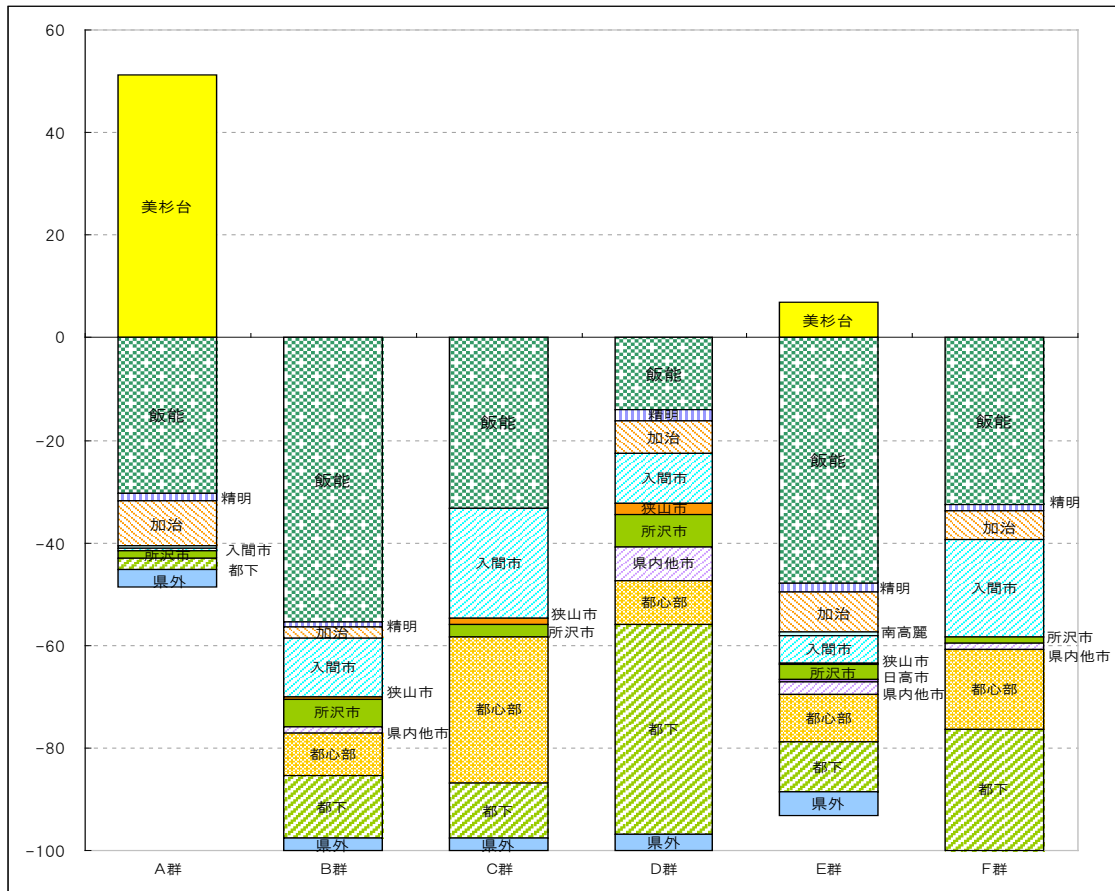
図表 2-23 美杉台地区居住者の商品群別にみた主な買物場所 (単位:%)

商業集積地		A群 食料品・ 日用雑貨	B群 衣料品・ 男女用品	C群 靴・カバン	D群 家具家電 ・自転車	E群 医薬化粧品 ・書籍玩具	F群 買物・飲食 を楽しむ
市 内	美杉台	51.3	0.0	0.0	0.0	6.9	0.0
	飯能	30.3	55.5	33.3	14.0	48.0	32.6
	精明	1.5	1.0	0.0	2.2	1.6	1.1
	加治	8.7	2.0	0.0	6.5	7.7	5.6
	南高麗	0.5	0.0	0.0	0.0	0.8	0.0
	吾野	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	東吾野	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	原市場	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	名栗	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	市内計	92.3	58.5	33.3	22.6	65.0	39.3
県 内 市 外	入間市	0.5	11.5	21.4	9.7	5.3	19.1
	狭山市	0.0	0.5	1.2	2.2	0.4	0.0
	所沢市	1.5	5.5	2.4	6.5	2.8	1.1
	日高市	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	0.0
	県内他市	0.0	1.0	0.0	6.5	2.4	1.1
県 外	都心部	0.0	8.5	28.6	8.6	9.3	15.7
	都下	2.1	12.0	10.7	40.9	9.8	23.6
	東京以外の県外	3.6	2.5	2.4	3.2	4.5	0.0

(注) 網部分は吸引率5%以上

図表 2-24 美杉台地区居住者の地区外流出率

(単位:%)



②美杉台地区への流入状況

美杉台地区内商業集積地への流入状況は、図表 2-25 のとおりです。

A群は、加治地区、南高麗地区から、E群は南高麗地区からの利用がみられます。

図表 2-25 各地区から美杉台地区内商業集積地への流入率

(単位:%)

美杉台へ	A群	B群	C群	D群	E群	F群
飯能地区から	3.4	0.0	0.0	0.0	0.1	0.4
精明地区から	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
加治地区から	7.9	0.0	0.0	0.3	1.5	0.4
南高麗地区から	38.8	2.6	2.0	0.0	5.8	0.0
吾野地区から	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
東吾野地区から	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
原市場地区から	4.1	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0
名栗地区から	4.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(注) 網部分は吸引率5%以上

(5)南高麗地区

①南高麗地区の居住者が買物に行く商業集積地について

南高麗地区居住者の主な買物場所は、図表 2-26 のとおりです。

商品群別に買物先をみると、A 群、E 群以外は地元利用率が低くなっています。

地元以外の市内では、すべての商品群で飯能地区を利用しています。

そのほかは、A群とE群は加治地区と美杉台地区、D群とF群は加治地区の利用がみられます。

市外では、A群を除くすべての商品・サービス群について入間市を利用しています。

県外では、すべての商品・サービス群について都下を利用しているほか、E群は東京以外の県外の利用もみられます。

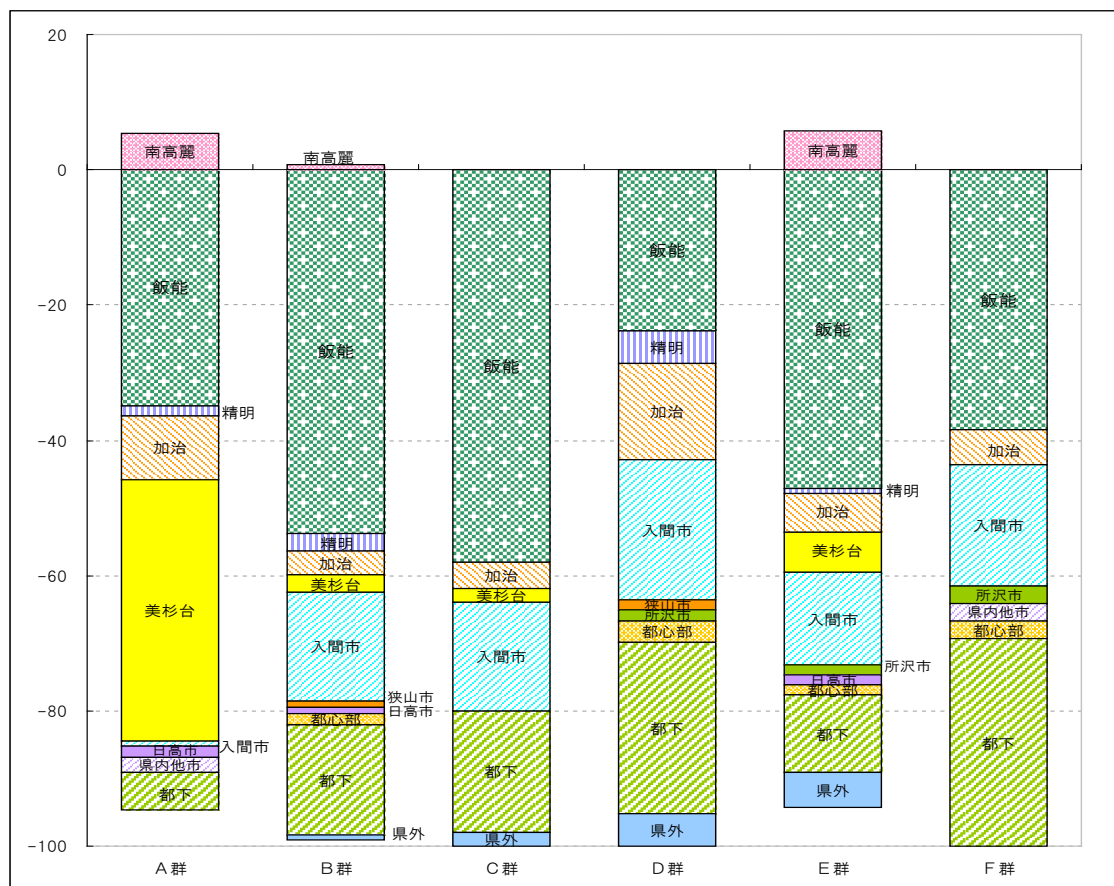
図表 2-26 南高麗地区居住者の商品群別にみた主な買物場所 (単位:%)

商業集積地		A群 食料品・ 日用雑貨	B群 衣料品・ 男女用品	C群 靴・カバン	D群 家具家電 ・自転車	E群 医薬化粧品 ・書籍玩具	F群 買物・飲食 を楽しむ
市 内	南高麗	5.4	0.9	0.0	0.0	5.8	0.0
	飯能	34.9	53.8	58.0	23.8	47.1	38.5
	精明	1.6	2.6	0.0	4.8	0.7	0.0
	加治	9.3	3.4	4.0	14.3	5.8	5.1
	美杉台	38.8	2.6	2.0	0.0	5.8	0.0
	吾野	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	東吾野	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	原市場	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	名栗	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	市内計	89.9	63.2	64.0	42.9	65.2	43.6
県 内 市 外	入間市	0.8	16.2	16.0	20.6	13.8	17.9
	狭山市	0.0	0.9	0.0	1.6	0.0	0.0
	所沢市	0.0	0.0	0.0	1.6	1.4	2.6
	日高市	1.6	0.9	0.0	0.0	1.4	0.0
	県内他市	2.3	0.0	0.0	0.0	0.0	2.6
県 外	都心部	0.0	1.7	0.0	3.2	1.4	2.6
	都下	5.4	16.2	18.0	25.4	11.6	30.8
	東京以外の県外	0.0	0.9	2.0	4.8	5.1	0.0

(注) 網部分は吸引率5%以上

図表 2-27 南高麗地区居住者の地区外流出率

(単位:%)



②南高麗地区への流入状況

南高麗地区内商業集積地への流入状況は、図表 2-28 のとおりです。

他地区から南高麗地区への利用はほとんどありません。

図表 2-28 各地区から南高麗地区内商業集積地への流入率

(単位:%)

南高麗へ	A群	B群	C群	D群	E群	F群
飯能地区から	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0
精明地区から	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
加治地区から	0.9	0.0	0.0	0.0	1.2	0.0
美杉台地区から	0.5	0.0	0.0	0.0	0.8	0.0
吾野地区から	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
東吾野地区から	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
原市場地区から	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
名栗地区から	0.6	0.0	0.0	0.0	0.5	0.0

(6)吾野地区

①吾野地区の居住者が買物に行く商業集積地について

吾野地区居住者の主な買物場所は、図表 2-29 のとおりです。

商品群別に買物先をみると、すべての商品、サービス群で地元利用率が低くなっています。

地元以外の市内では、すべての商品群で飯能地区の利用がみられます。

そのほかには、A群とE群は精明地区と東吾野地区、D群は精明地区と加治地区を利用しています。

市外では、A群は日高市と県内他市、B群とF群は入間市、日高市、県内他市、都下を利用しており、C群は入間市、所沢市、日高市、県内他市と都下、D群は入間市、日高市、県内他市、都下と東京以外の県外の利用がみられます。

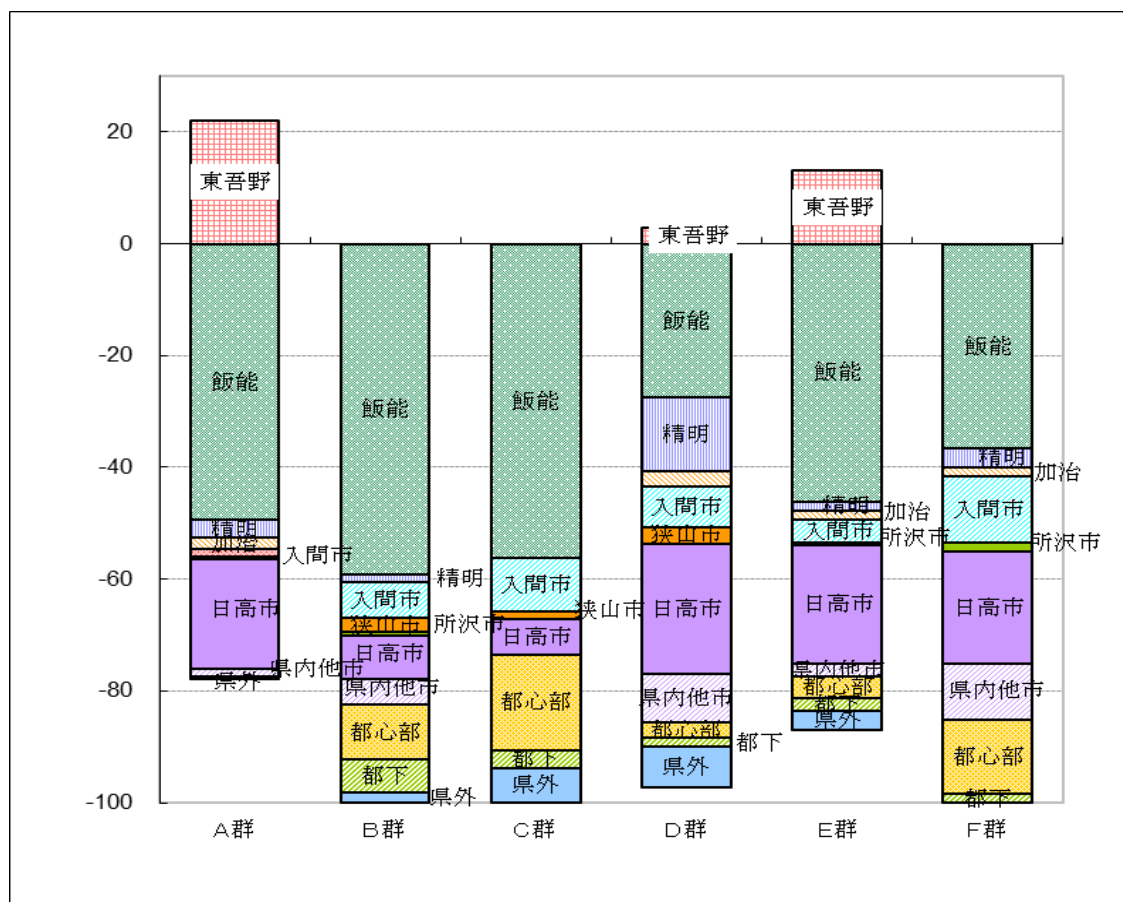
図表 2-29 吾野地区居住者の商品群別にみた主な買物場所 (単位:%)

商業集積地		A群 食料品・ 日用雑貨	B群 衣料品・ 男女用品	C群 靴・カバン	D群 家具家電 ・自転車	E群 医薬化粧品 ・書籍玩具	F群 買物・飲食 を楽しむ
市 内	吾野	0.7	1.5	0.0	4.0	0.0	0.0
	飯能	54.3	59.1	54.9	22.0	42.9	50.0
	精明	6.5	2.3	0.0	8.0	5.0	4.2
	加治	2.9	1.5	0.0	6.0	1.4	0.0
	美杉台	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	南高麗	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	東吾野	13.0	0.8	0.0	0.0	12.9	4.2
	原市場	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	名栗	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	市内計	77.5	65.2	54.9	40.0	62.1	58.3
県 内 市 外	入間市	1.4	9.1	7.8	16.0	5.7	6.3
	狭山市	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	所沢市	0.7	2.3	7.8	2.0	4.3	4.2
	日高市	10.1	8.3	5.9	10.0	15.0	8.3
	県内他市	10.1	3.8	9.8	18.0	6.4	10.4
県 外	都心部	0.0	0.8	2.0	0.0	0.0	2.1
	都下	0.0	6.8	9.8	6.0	2.9	10.4
	東京以外の県外	0.0	3.8	2.0	8.0	3.6	0.0

(注) 網部分は吸引率5%以上

図表 2-30 吾野地区居住者の地区外流出率

(単位:%)



②吾野地区への流入状況

吾野地区内商業集積地への流入状況は、図表 2-31 のとおりです。

他地区から吾野地区への利用はほとんどみられません。

図表 2-31 各地区から吾野地区内商業集積地への流入率

(単位:%)

吾野へ	A群	B群	C群	D群	E群	F群
飯能地区から	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
精明地区から	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
加治地区から	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
美杉台地区から	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
南高麗地区から	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
東吾野地区から	1.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
原市場地区から	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
名栗地区から	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(7)東吾野地区

①東吾野地区の居住者が買物に行く商業集積地について

東吾野地区居住者の主な買物場所は、図表 2-32 のとおりです。

商品群別に買物先をみると、B群、C群、D群の地元利用率が低くなっています。

地元以外の市内では、すべての商品群で飯能地区を利用しています。

そのほか、D群は精明地区の利用もみられます。

市外では、すべての商品・サービス群で日高市を利用しており、B・C・D・F群は入間市を利用しており、D・F群は県内他市の利用もみられます。

そのほか、B群は東京都内、C群は東京都内と東京以外の県外、D群の東京以外の県外、F群は都心部の利用もみられます。

図表 2-32 東吾野地区居住者の商品群別にみた主な買物場所

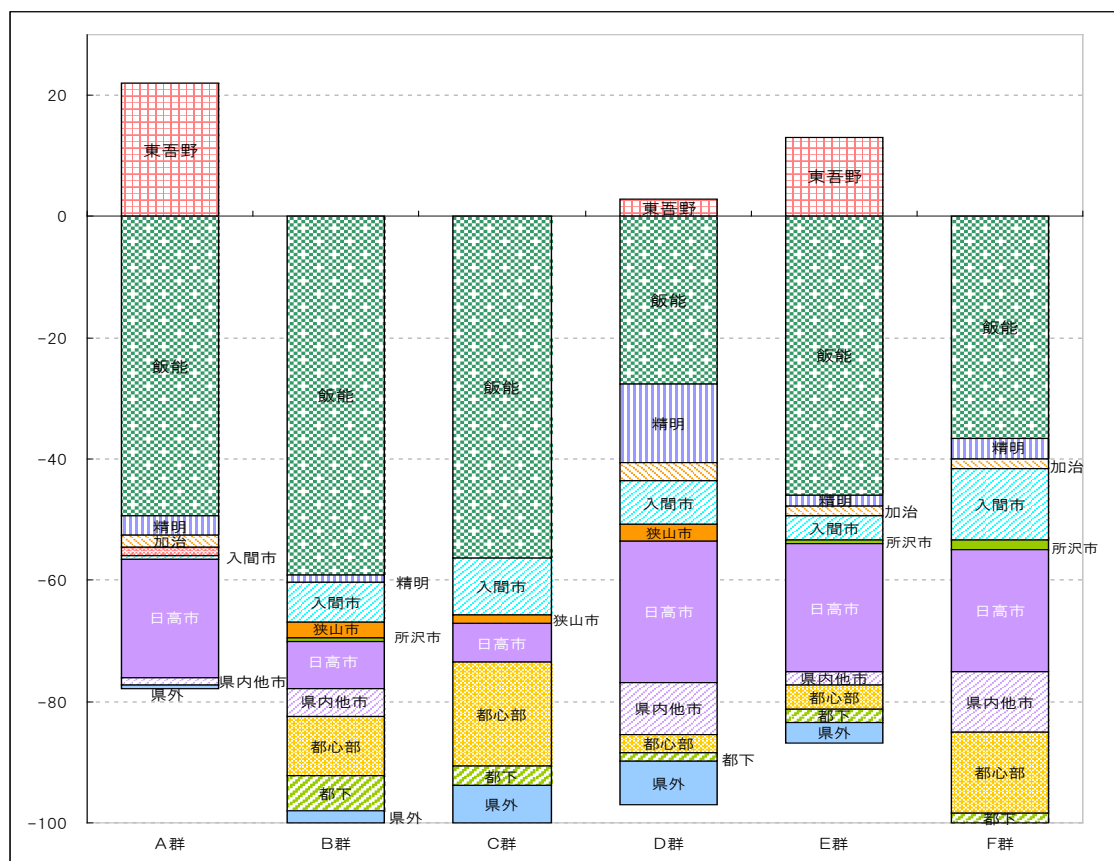
(単位:%)

商業集積地		A群 食料品・ 日用雑貨	B群 衣料品・ 男女用品	C群 靴・カバン	D群 家具家電 ・自転車	E群 医薬化粧品 ・書籍玩具	F群 買物・飲食 を楽しむ
市 内	東吾野	22.1	0.0	0.0	2.9	13.1	0.0
	飯能	49.4	59.1	56.3	27.5	46.0	36.7
	精明	3.2	1.3	0.0	13.0	1.7	3.3
	加治	1.9	0.0	0.0	2.9	1.7	1.7
	美杉台	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	南高麗	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	吾野	1.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	原市場	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	名栗	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	市内計	77.9	60.4	56.3	46.4	62.5	41.7
県 内 市 外	入間市	0.6	6.5	9.4	7.2	4.0	11.7
	狭山市	0.0	2.6	1.6	2.9	0.0	0.0
	所沢市	0.0	0.6	0.0	0.0	0.6	1.7
	日高市	19.5	7.8	6.3	23.2	21.0	20.0
	県内他市	1.3	4.5	0.0	8.7	2.3	10.0
県 外	都心部	0.0	9.7	17.2	2.9	4.0	13.3
	都下	0.0	5.8	3.1	1.4	2.3	1.7
	東京以外の県外	0.6	1.9	6.3	7.2	3.4	0.0

(注) 網部分は吸引率5%以上

図表 2-33 東吾野地区居住者の地区外流出率

(単位:%)



②東吾野地区への流入状況

東吾野地区内商業集積地への流入状況は、図表 2-34 のとおりです。

A群とE群は、吾野地区からの利用がみられます。

図表 2-34 各地区から東吾野地区内商業集積地への流入率

(単位:%)

東 吾 野 へ	A群	B群	C群	D群	E群	F群
飯能地区から	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
精明地区から	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
加治地区から	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
美杉台地区から	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
南高麗地区から	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
吾野地区から	13.0	0.8	0.0	0.0	12.9	4.2
原市場地区から	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
名栗地区から	1.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(注) 網部分は吸引率5%以上

(8)原市場地区

①原市場地区の居住者が買物に行く商業集積地について

原市場地区居住者の主な買物場所は、図表 2-35 のとおりです。

商品群別に買物先をみると、A群とE群以外の地元利用率低くなっています。

地元以外の市内では、すべての商品群で飯能地区を利用しており、A群とE群は加治地区、D群は精明地区と加治地区、F群は精明地区の利用もみられます。

市外では、A群は都下、B・C・E群は都内と東京以外の県外、D群は都下と東京以外の県外、F群は都内の利用もみられます。

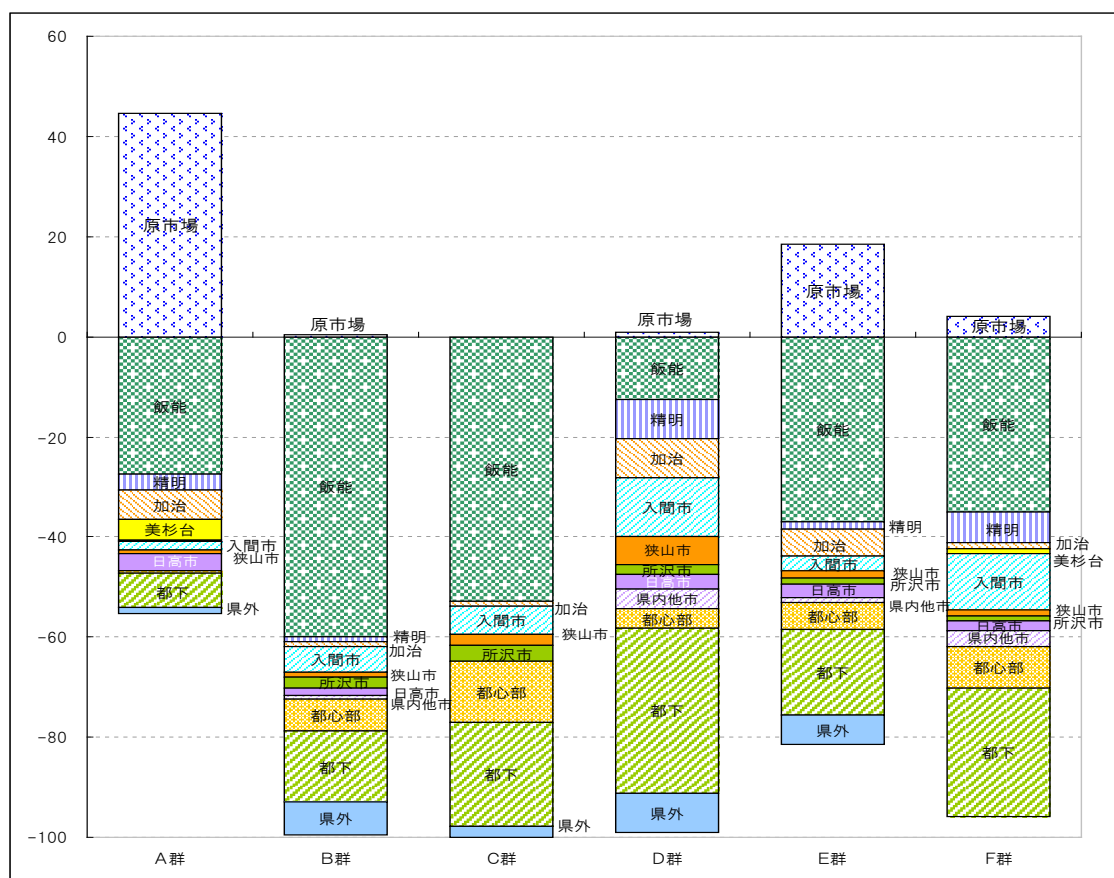
図表 2-35 原市場地区居住者の商品群別にみた主な買物場所 (単位: %)

商業集積地		A群 食料品・ 日用雑貨	B群 衣料品・ 男女用品	C群 靴・カバン	D群 家具家電 ・自転車	E群 医薬化粧品 ・書籍玩具	F群 買物・飲食 を楽しむ
市	原市場	44.7	0.4	0.0	1.0	18.5	4.1
	飯能	27.5	60.0	52.7	12.6	37.0	35.1
	精明	3.3	0.9	0.0	7.8	1.5	6.2
	加治	5.7	0.9	1.1	7.8	5.3	1.0
	美杉台	4.1	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0
	南高麗	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	吾野	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	東吾野	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	名栗	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	市内計	85.7	62.2	53.8	29.1	62.3	47.4
県内 市外	入間市	1.6	5.3	5.5	11.7	3.0	11.3
	狭山市	0.8	0.9	2.2	5.8	1.5	1.0
	所沢市	0.0	2.2	3.3	1.9	1.1	1.0
	日高市	3.3	1.3	0.0	2.9	2.6	2.1
	県内他市	0.0	0.9	0.0	3.9	1.1	3.1
県外	都心部	0.4	6.2	12.1	3.9	5.3	8.2
	都下	7.0	14.2	20.9	33.0	17.0	25.8
	東京以外の県外	1.2	6.7	2.2	7.8	6.0	0.0

(注) 網部分は吸引率5%以上

図表 2-36 原市場地区居住者の地区外流出率

(単位:%)



②原市場地区への流入状況

原市場地区内商業集積地への流入状況は、図表 2-37 のとおりです。

A群とE群は、名栗地区からの利用が多くみられます。

図表 2-37 各地区から原市場地区内商業集積地への流入率

(単位:%)

原市場へ	A群	B群	C群	D群	E群	F群
飯能地区から	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
精明地区から	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
加治地区から	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
美杉台地区から	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
南高麗地区から	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
吾野地区から	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
東吾野地区から	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
名栗地区から	44.6	0.0	0.0	0.0	14.2	1.6

(注) 網部分は吸引率5%以上

(9)名栗地区

①名栗地区の居住者が買物に行く商業集積地について

名栗地区居住者の主な買物場所は、図表 2-38 のとおりです。

商品群別に買物先をみると、D群以外の地元利用率が低くなっています。

地元以外の市内では、すべての商品群で飯能地区を利用しており、A群とE群は原市場地区、D群は加治地区の利用もみられます。

市外では、すべての商品・サービス群で都下を利用しており、B群は入間市と東京以外の県外、C群は東京以外の県外、D群は入間市と県内他市、東京以外の県外、F群は入間市と都心部の利用がみられます。

図表 2-38 名栗地区居住者の商品群別にみた主な買物場所 (単位:%)

商業集積地		A群 食料品・ 日用雑貨	B群 衣料品・ 男女用品	C群 靴・カバン	D群 家具家電 ・自転車	E群 医薬化粧品 ・書籍玩具	F群 買物・飲食 を楽しむ
市 内	名栗	2.3	0.0	0.0	6.3	0.0	0.0
	飯能	14.3	47.9	42.4	16.5	32.8	30.2
	精明	1.7	2.7	0.0	3.8	2.2	1.6
	加治	3.4	0.7	0.0	5.1	4.9	1.6
	美杉台	4.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	南高麗	0.6	0.0	0.0	0.0	0.5	0.0
	吾野	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	東吾野	1.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	原市場	44.6	0.0	0.0	0.0	14.2	1.6
	市内吸引	72.6	51.4	42.4	31.6	54.6	34.9
県 内 市 外	入間市	1.1	12.3	4.5	5.1	1.6	15.9
	狭山市	0.0	0.0	0.0	2.5	0.0	0.0
	所沢市	0.0	0.7	0.0	3.8	0.5	1.6
	日高市	4.0	0.7	1.5	3.8	3.3	0.0
	県内他市	0.0	0.7	3.0	7.6	1.6	3.2
県 外	都心部	0.0	0.0	3.0	1.3	2.2	6.3
	都下	18.3	28.8	37.9	38.0	33.3	38.1
	東京以外県外	4.0	5.5	7.6	6.3	2.7	0.0

(注) 網部分は吸引率5%以上

第3章 飯能市民の買物行動

1. 消費者の買物行動

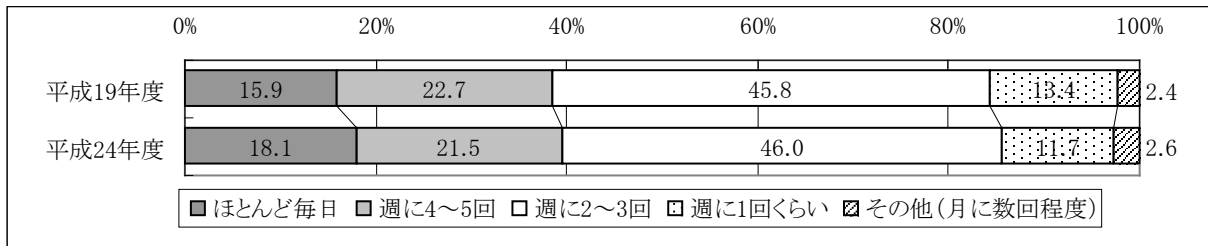
(1) 普段の買物頻度

普段の買物回数は、図表 3-1 のとおりです。

「週に2〜3回」(46.0%)が最も多く、次いで「週に4〜5回」(21.5%)、「ほとんど毎日」(18.1%)と続いています。前回調査と比べると、「ほとんど毎日」がやや増加しています。

図表 3-1 普段の買物回数(前回調査との比較)

(単位:%)



地区別の普段の買物回数は、図表 3-2 のとおりです。

美杉台地区では買物回数が多く、「ほとんど毎日」と「週に4〜5回」を合わせると50%を超えています。

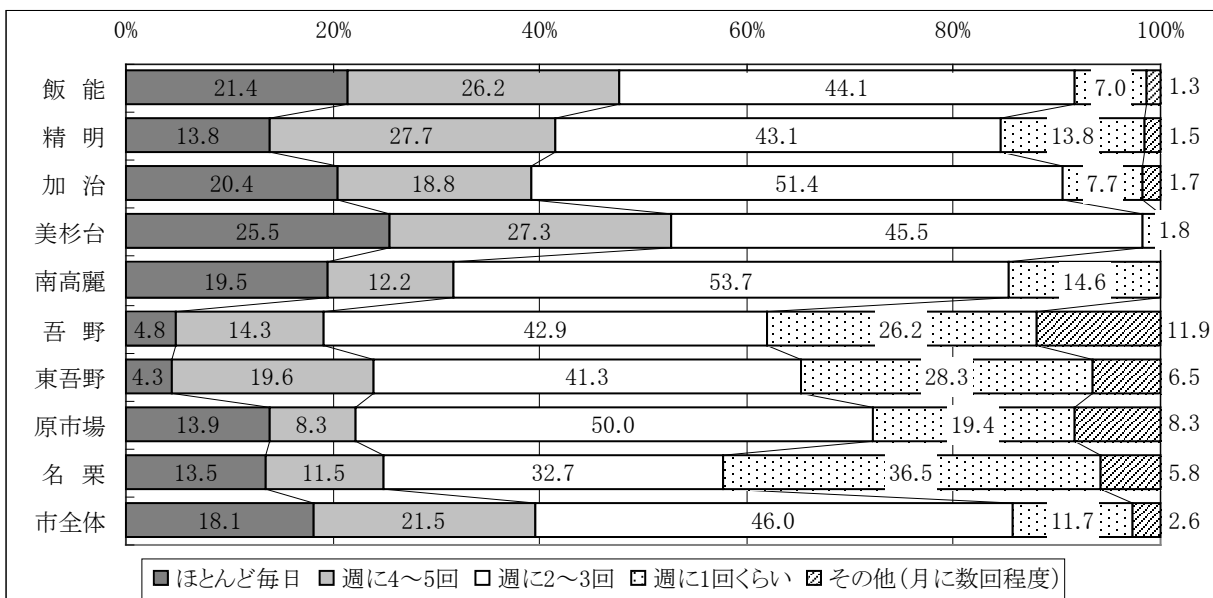
次いで飯能地区、精明地区、加治地区の順となっています。

一方、吾野地区は「週に2〜3回」以下の割合が80%を超えており、東吾野・原市場・名栗は75%前後となっています。

買物回数が「週に1回以下」が42.3%と最も多いのは名栗地区です。広大なエリアに住居が点在している結果といえます。

図表 3-2 地区別の普段の買物回数

(N=848、単位:%)

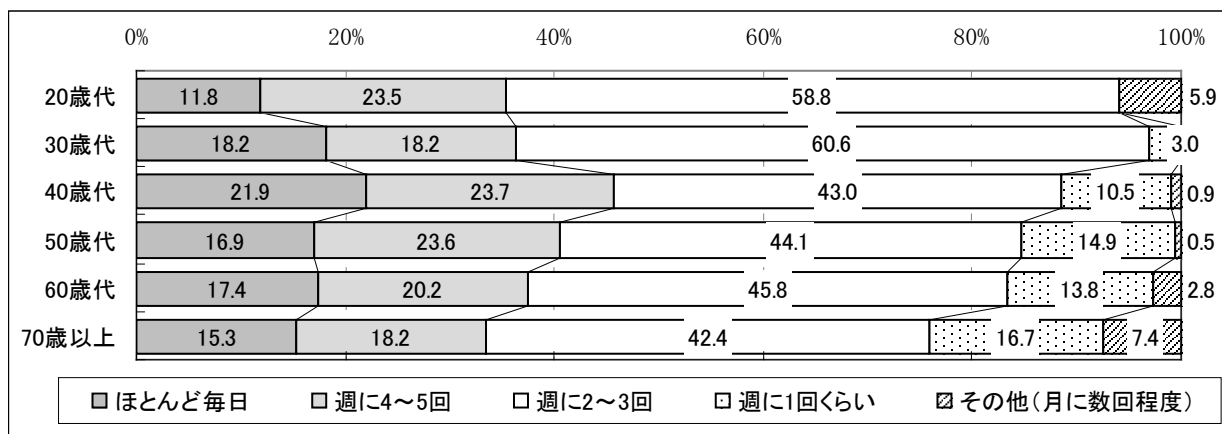


年代別の普段の買物回数は図表 3-3 のとおりです。

年代別に、「ほとんど毎日」と「週に4〜5回」を合わせた比率についてみますと、20歳代・30歳代は36%前後でほぼ変わりありませんが、40歳代の45.6%をピークに年齢が高くなるにしたがって低下傾向がみられます。

図表 3-3 年代別の普段の買物回数

(単位:%)



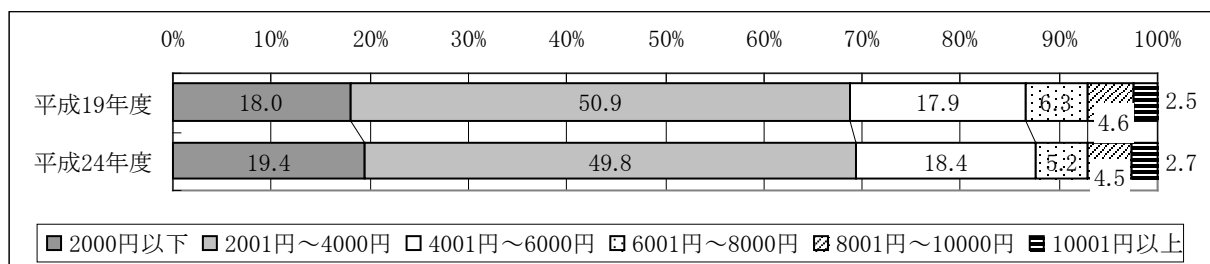
(2) 1回の買物の平均予算

1回の買物の平均予算は、図表 3-4 のとおりです。

「2001円～4000円」(49.8%)が最も多く、次いで「2000円以下」(19.4%)、「4001円～6000円」(18.4%)の順となっています。前回調査とは大きな差はありません。

図表 3-4 1回の買物の平均予算(前回調査との比較)

(単位:%)

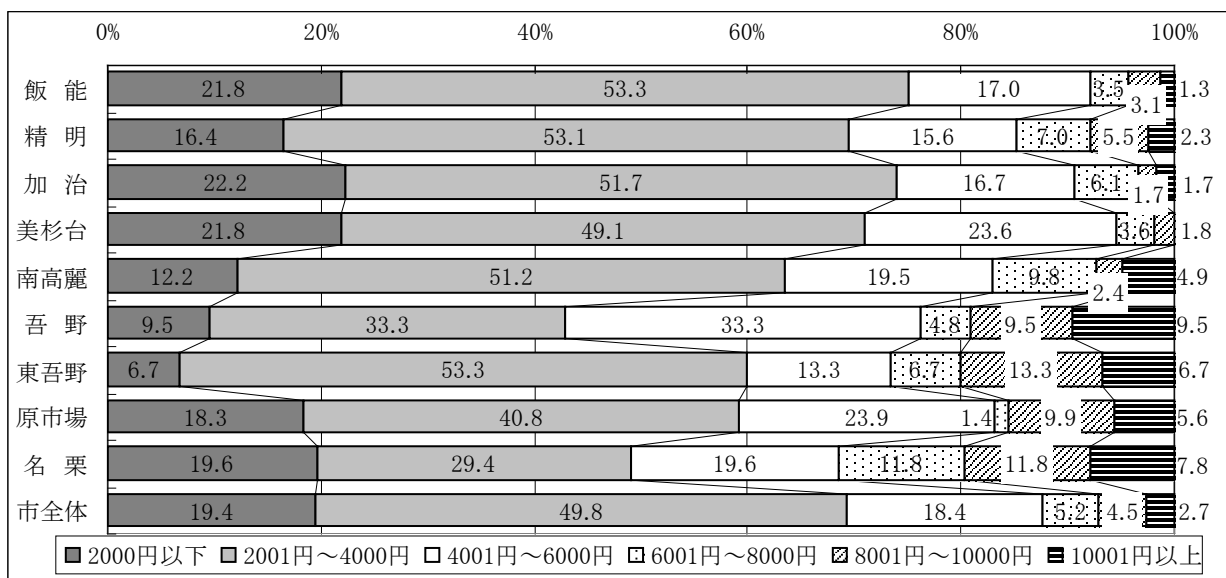


地区別の1回の買物の平均予算は、図表 3-5 のとおりです。

地区別にみますと、吾野地区および名栗地区では商業集積地が不十分なためか、1回の買物予算は4,001円以上が50%を超えており、他地域よりも多くなっています。

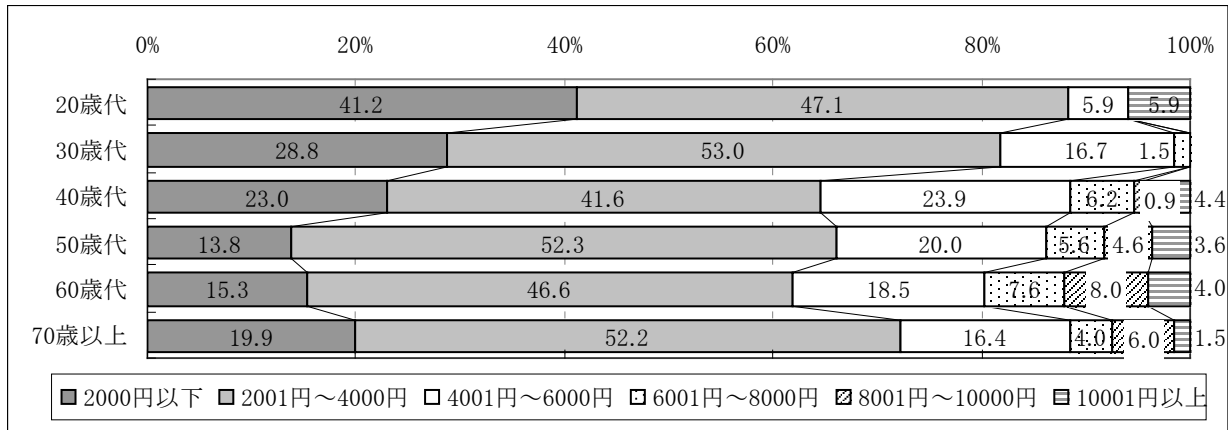
図表 3-5 地区別にみた1回の買物の予算

(N=842、単位:%)



年代別にみた1回の買物の平均予算は、図表3-6のとおりです。
 すべての年代で「2,001円～4,000円」が最多となっています。
 また「2,000円以下」の割合は20歳代が最も多く、50歳代までは年代が上がるにつれて減少し、その後60歳代、70歳代とやや増えています。

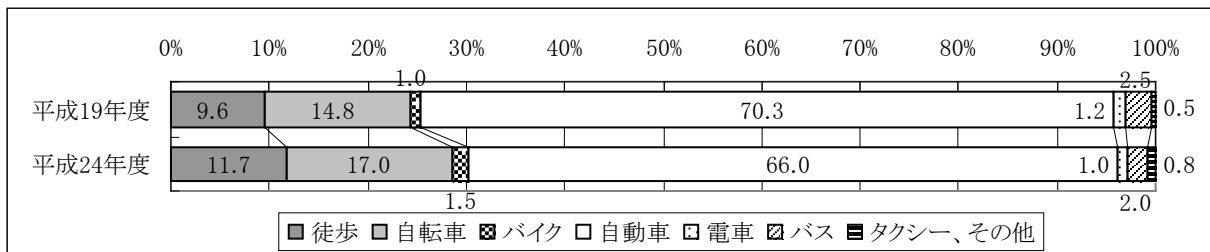
図表3-6 年代別にみた1回の買物の平均予算 (単位:%)



(3) 普段の買物に利用する交通手段

普段の買物に利用する交通手段は、図表3-7のとおりです。
 今回調査では、自動車の利用を「自分の運転」と「家族知人の運転」と区分しています。
 前回調査との比較では、「自転車」・「徒歩」・「バイク」を合わせた利用率が、前回の25.4%から今回30.2%と増加していますが、「自動車」の利用率は前回の70.3%から今回66.0%と減少しています。

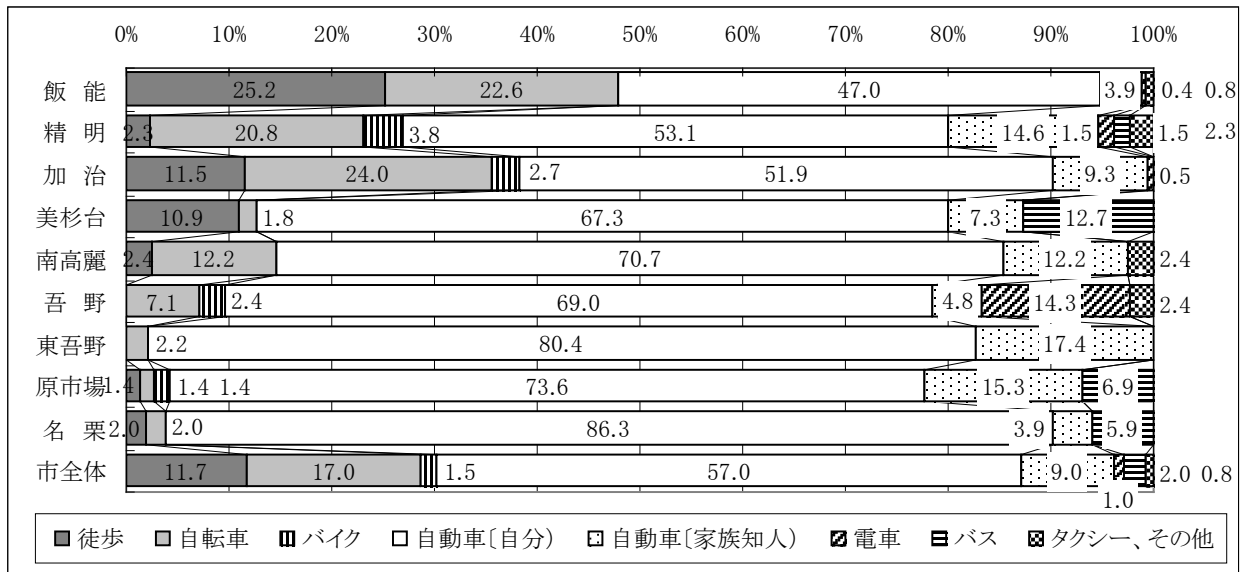
図表3-7 普段の買物に利用する交通手段の前回調査との比較 (単位:%)



地区別の普段の買物に利用する交通手段は、図表3-8のとおりです。
 市全体で見ますと、「自動車(自分)」が57.0%で最も多く、次いで「自転車」17.0%、「徒歩」11.7%、「自動車(家族知人)」9.0%の順となっています。
 自動車利用は「自動車(自分)」と「自動車(家族知人)」を合わせると66.0%と最多となっています。
 地区別に自動車利用(自分+家族知人)の割合をみますと、東吾野地区は97.8%と最も多く、次いで名栗地区90.2%、原市場地区88.9%の順となっています。
 また、徒歩・自転車・バイクの合計利用状況をみますと、飯能地区47.8%、加治38.2%、精明26.9%となっており、この3地区の利用率は非常に高いものとなっています。
 その他、電車は吾野地区で14.3%、バスは美杉台で12.7%となっており、他地区よりも多く利用しています。

図表 3-8 地区別の買物時に利用する主な交通手段

(N=850、単位:%)



年代別の買物に利用する交通手段は、図表 3-9 のとおりです。

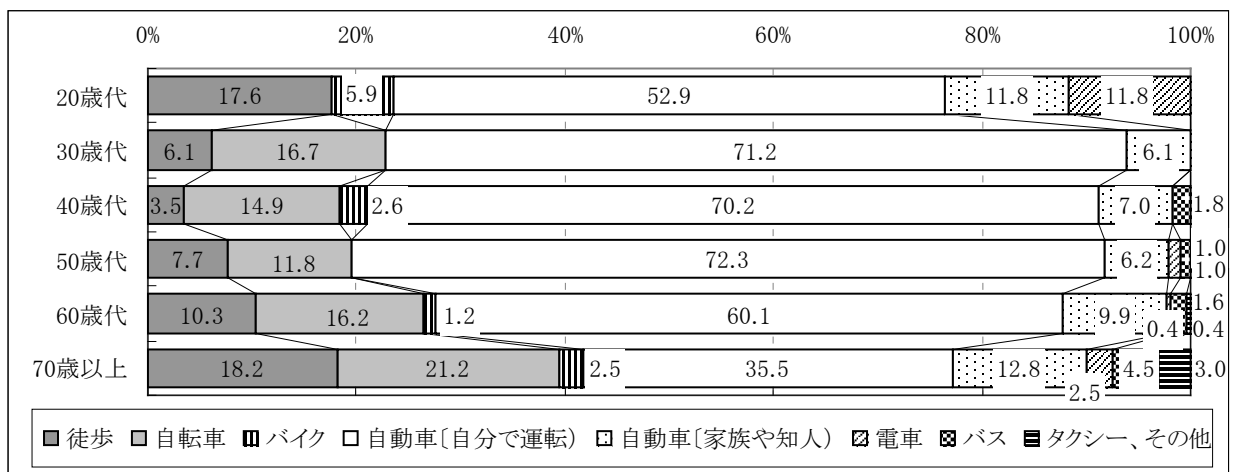
自動車利用(自分+家族知人)の割合は、30歳代から60歳代は7割を超えていますが、20歳代は6割台、70歳以上は5割以下と低くなっています。

特に20歳代と60歳代以上では「自分で運転」の比率が低く、「家族や知人」の比率が高くなっています。

また、「徒歩」と「自転車」の利用率は、40歳代以降、年齢が高くなるに従って高くなっています。

図表 3-9 年代別の買物時に利用する主な交通手段

(単位%)



(4) 買物時間帯

① 平日

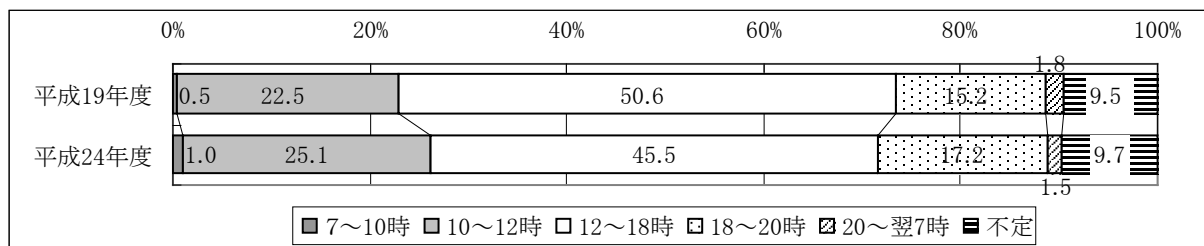
平日の買物時間帯は、図表 3-10 のとおりです。

「12～18時」(45.5%)が最も多く、次いで「10～12時」(25.1%)、「18～20時」(17.2%)の順となっています。

前回調査と比べて「10～12時」・「18～20時」が増え、「12～18時」は減少しています。

図表 3-10 買物時間帯(前回調査との比較)

(単位%)

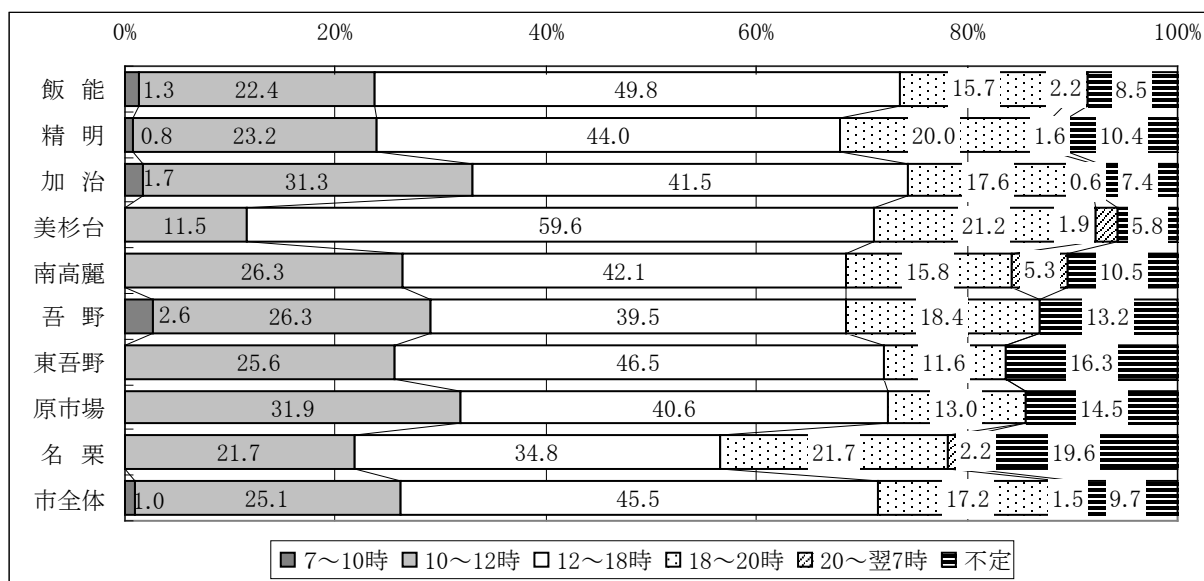


地区別の平日の買物時間帯は、図表 3-11 のとおりです。

各地区とも市全体と同様「12～18時」が40%台ですが、美杉台地区は59.6%と午後の買物が非常に多く、名栗地区は34.8%と低くなっています。なお、名栗地区は「不定」も多く、各時間帯に分散傾向にあります。

図表 3-11 地区別の平日の買物時間帯

(N=810、単位:%)



年代別の平日の買物時間帯は、図表 3-12 のとおりです。

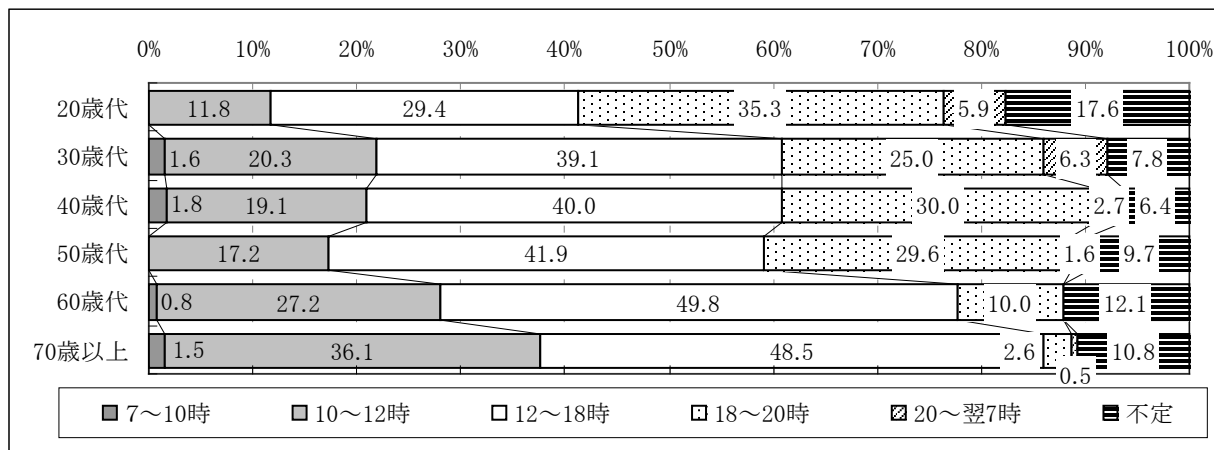
20歳代は、夜型の「18～20時」が最も多く、「不定」の比率は年代別で最多となっています。

30歳代以上では「12～18時」が最も多く、30～50歳代では「18～20時」が、2番目に多くなっています。

60歳代以上では「10～12時」が多く、18時以降は少なくなっています。

図表 3-12 年代別の買物平日の時間帯

(単位%)



② 土日

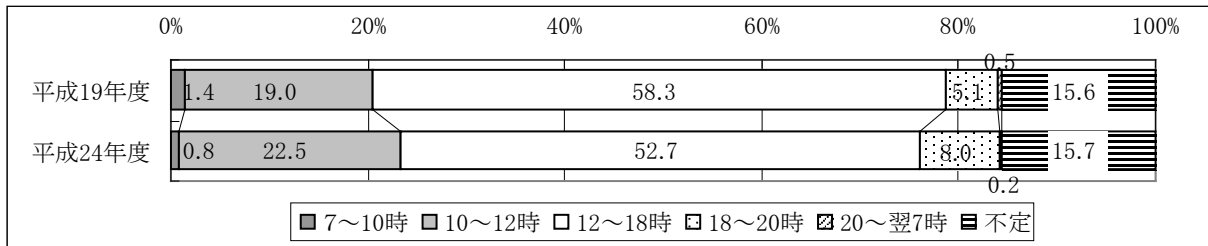
土日の買物時間帯は、図表 3-13 のとおりです。

「12～18時」(52.7%)が最も多く、次いで「10～12時」(22.5%)、「不定」(15.7%)の順となっています。

平日と比べると、不定が多くなっています。また前回調査と比べて「10～12時」と「18～20時」が増えています。

図表 3-13 土日の買物時間帯(前回調査との比較)

(単位%)

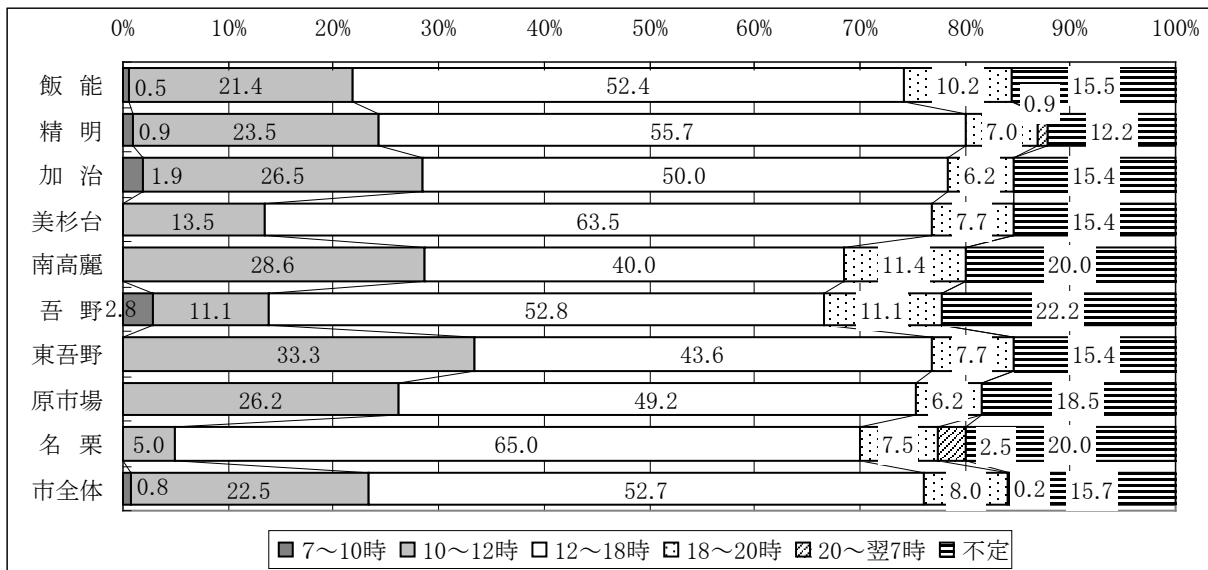


地区別の土日の買物時間帯は、図表 3-14 のとおりです。

飯能、精明、加治、南高麗、原市場の5地区は市全体とほぼ同じ傾向ですが、美杉台、吾野、名栗の3地区は、午前中に買物する割合が市全体よりも低く、東吾野地区は高い傾向にあります。

図表 3-14 市全体・地区別の土日の買物時間帯

(N=750、単位:%)

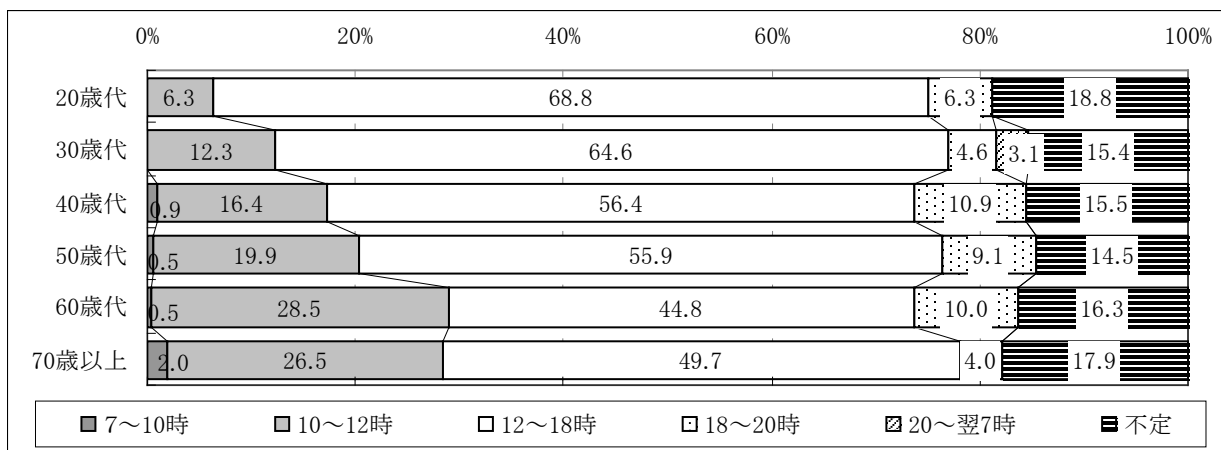


年代別の土日の買物時間帯は、図表 3-15 のとおりです。

午前中の買物割合は、年代が上がるにつれて多くなる傾向にあり、「12～18時」は、逆に減少しています。

図表 3-15 年代別の買物時間帯

(単位%)

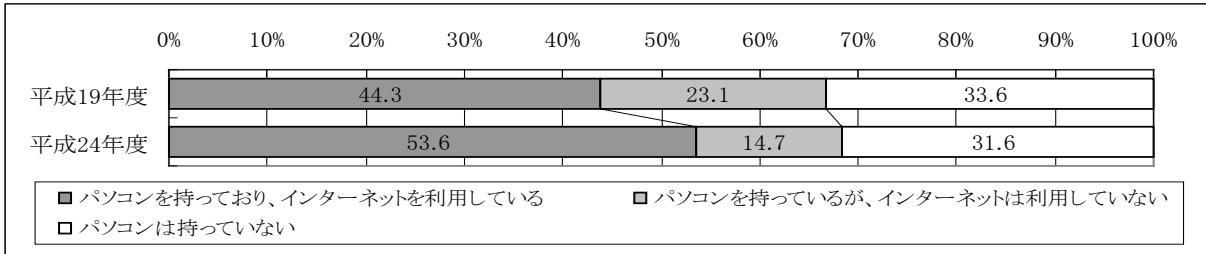


(5) パソコンの普及率とインターネットの利用状況

パソコン普及率とインターネットの利用状況の前回調査との比較は、図表 3-16 のとおりです。

パソコン普及率は、前回の 67.4%から今回 68.3%と微増しています。そのうちインターネットの利用率が前回より 9.3 ポイント増加しています。また、パソコン所有者のインターネット利用率は 78.5%となっています。

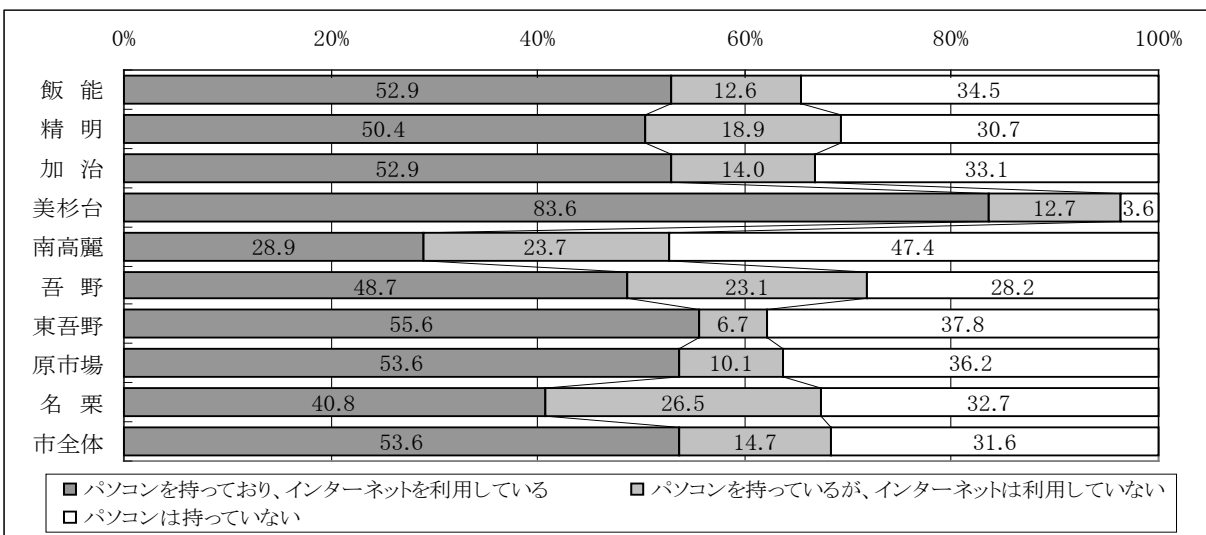
図表 3-16 パソコン普及率とインターネットの利用状況の前回調査との比較 (単位:%)



地区別のパソコン普及率とインターネットの利用状況は、図表 3-17 のとおりです。

パソコン保有率は、美杉台地区が 96.3%と突出して高く、南高麗地区は 52.6%とやや低く、他の地区は 60~70%台となっています。

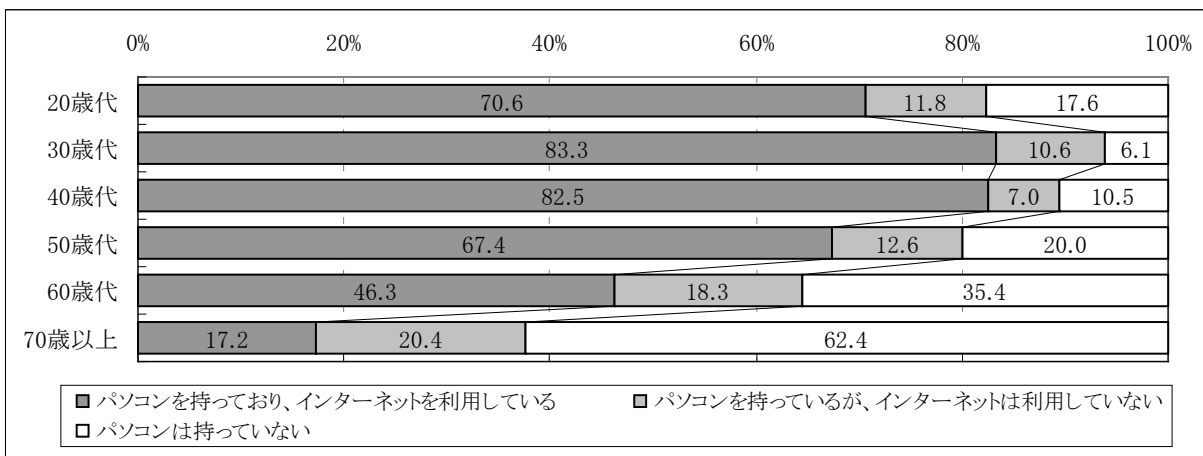
図表 3-17 地区別のパソコン普及率とインターネット利用状況 (N=817、単位:%)



年代別のパソコン普及率とインターネットの利用状況は、図表 3-18 のとおりです。

50歳代以下のパソコン保有率は 80~90%に達しており、インターネット利用率も 30歳代と 40歳代は 80%を超えています。一方、年配者のパソコン保有率は、60歳代は 64.6%ですが、70歳以上は 37.6%にとどまっています。

図表 3-18 年代別のパソコン普及率とインターネットの利用状況 (単位:%)



(6) 通信販売の利用状況

最近、実店舗以外にさまざまな媒体による通信販売の利用率が高まっていることから、媒体別にその利用状況をまとめました。

①通信販売の利用時の媒体

a) インターネットショッピング

市全体および地区別のインターネットショッピングの利用状況は、図表 3-19 のとおりです。

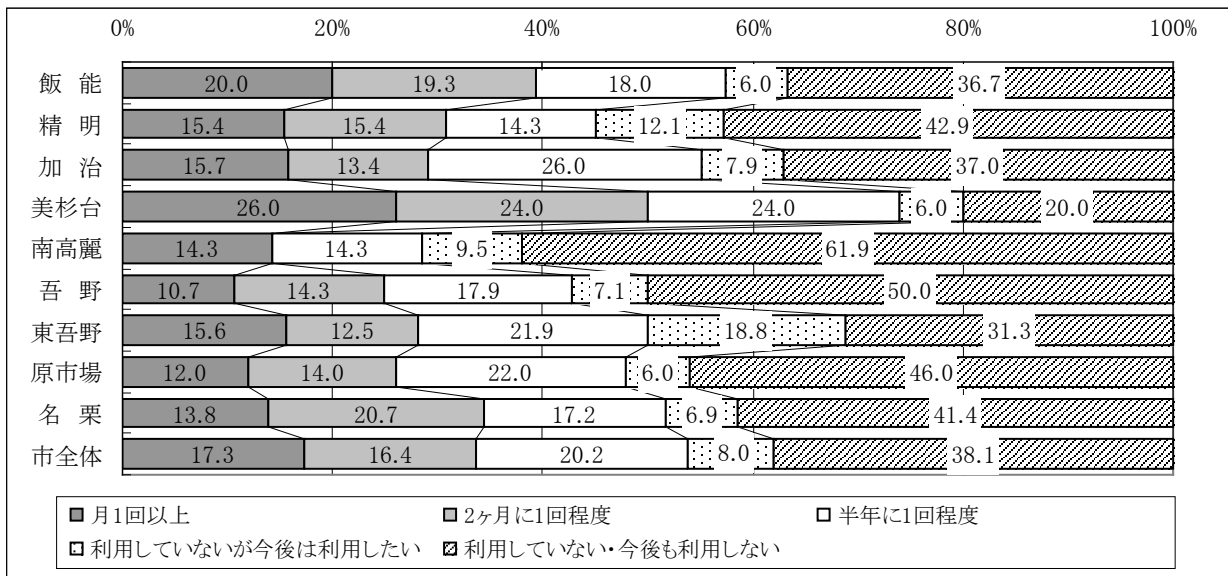
市全体では、「月 1 回以上」が 17.3%、「2 ヶ月に 1 回程度」が 16.4%、「半年に 1 回程度」が 20.2%で、合計 53.9%と過半数が利用しています。

また、「今後は利用したい」が 8.0%、「今後も利用しない」は 38.1%となっています。

地区別のインターネットショッピング利用率(「月 1 回以上」～「半年に 1 回程度」の合計)をみると、美杉台が 74.0%で突出しています。他地区は南高麗地区の 28.6%を除いて、ほぼ 50%前後となっています。

図表 3-19 インターネットショッピング利用状況(市全体・地区別)

(N=578、単位：%)



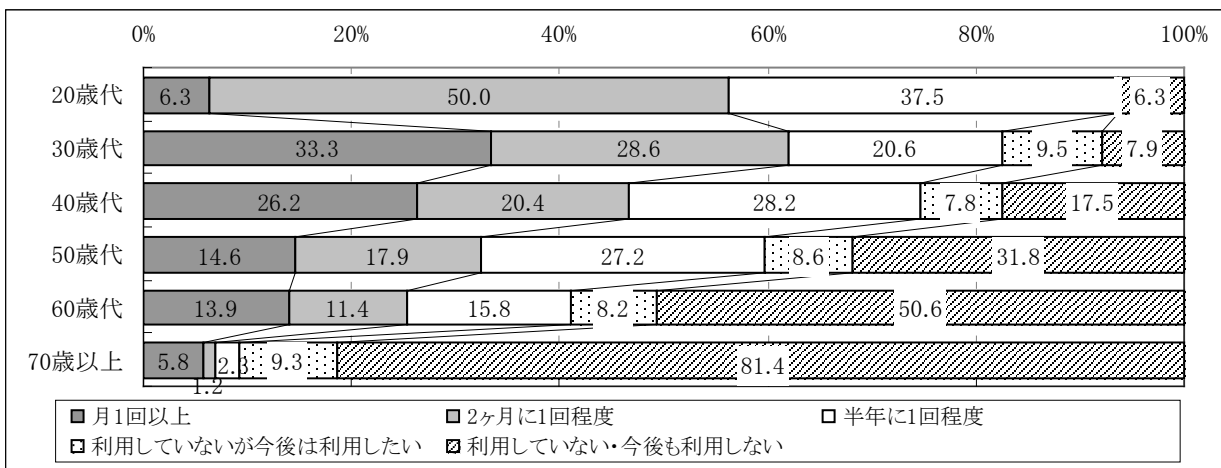
年代別のインターネットショッピング利用状況は、図表 3-20 のとおりです。

利用率(「月 1 回以上」～「半年に 1 回程度」の合計)は、20 歳代で 93.7%、30 歳代 82.5%、40 歳代 74.8%、50 歳代 59.7%、60 歳代 41.1%、70 歳以上 9.3%となっています。

月 1 回以上のヘビーユーザーは、30 歳代 33.3%、40 歳代 26.2%で、それぞれ 20%を超えています。

図表 3-20 年代別のインターネットショッピング利用状況

(単位：%)



b. テレフォンショッピング(テレビ・ラジオ)

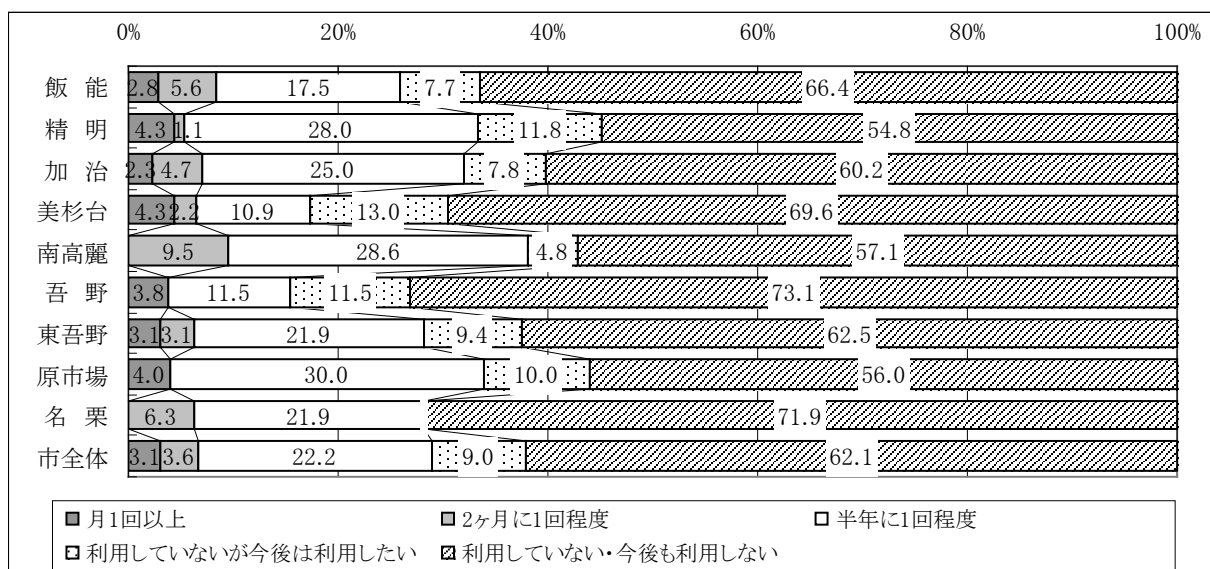
市全体および地区別のテレフォンショッピングの利用状況は、図表 3-21 のとおりです。

市全体では、「月 1 回以上」が 3.1%、「2 ヶ月に 1 回程度」が 3.6%、「半年に 1 回程度」が 22.2%で、合計すると 28.9%となっています。また、「利用していない」割合は 62.1%と圧倒的に多くなっています。

地区別のテレフォンショッピング利用率(「月 1 回以上」～「半年に 1 回程度」の合計)をみると、南高麗地区が 38.1%と最も多く、逆に利用率が低いのは、吾野地区 15.3%、美杉台地区 17.4%となっています。

図表 3-21 テレフォンショッピング利用状況(市全体・地区別)

(N=571、単位:%)

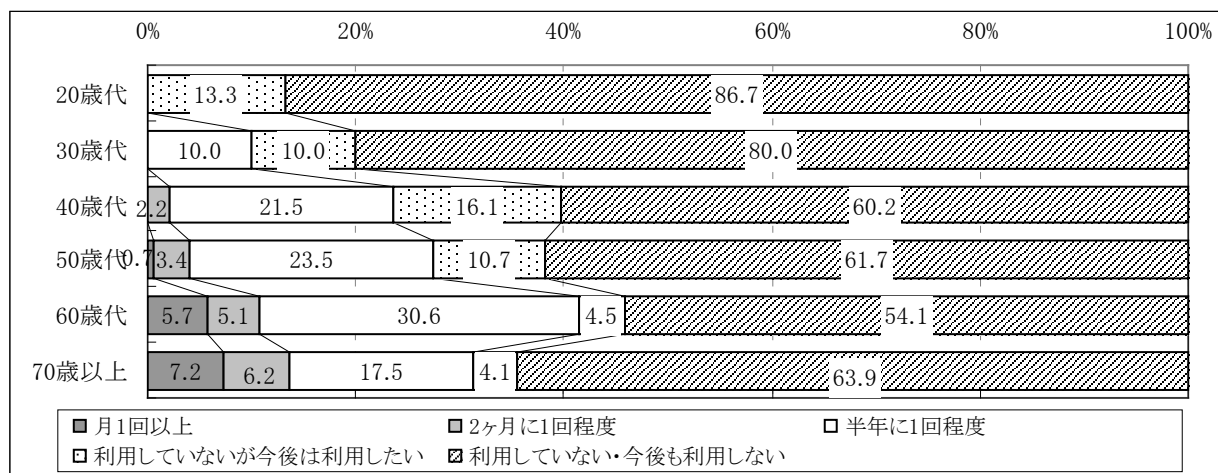


年代別のテレフォンショッピング利用状況は、図表 3-22 のとおりです。

利用率(「月 1 回以上」～「半年に 1 回程度」の合計)は、20 歳代でゼロ、30 歳代 10.0%、40 歳代 23.7%、50 歳代 27.6%、60 歳代 41.4%、70 歳以上で 30.9%と、20～60 歳代までは年齢が高くなるに従って増加しており、70 歳以上で減少するパターンを示しています。

図表 3-22 年代別のテレフォンショッピング利用状況

(単位:%)



c. 新聞・雑誌・カタログ販売

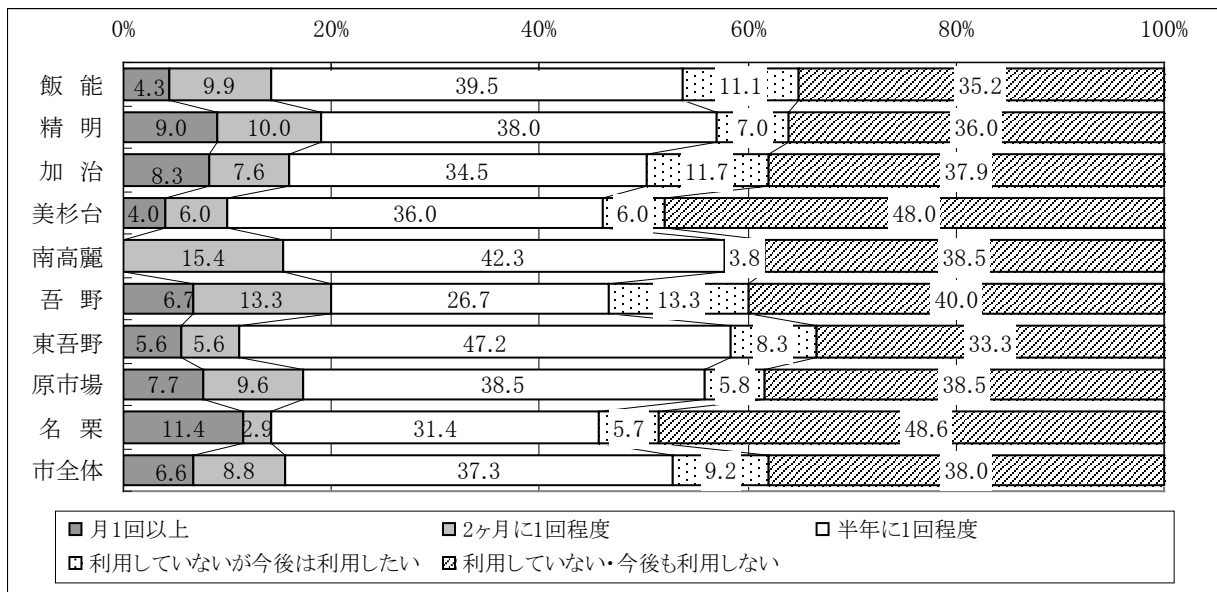
市全体および地区別の新聞・雑誌・カタログ販売の利用状況は図表 3-23 のとおりです。

市全体では「月 1 回以上」が 6.6%、「2 ヶ月に 1 回程度」が 8.8%、「半年に 1 回程度」が 37.3%で、合計 52.7%となっています。また、「利用していない」割合は 38.0%となっています。

地区別の利用率(「月1回以上」～「半年に1回程度」の合計)をみると、精明・南高麗・吾野・原市場地区は市全体より高く、美杉台・東吾野・名栗地区は低くなっています。

図表 3-23 新聞・雑誌・カタログ販売の利用状況(市全体・地区別)

(N=636、単位:%)

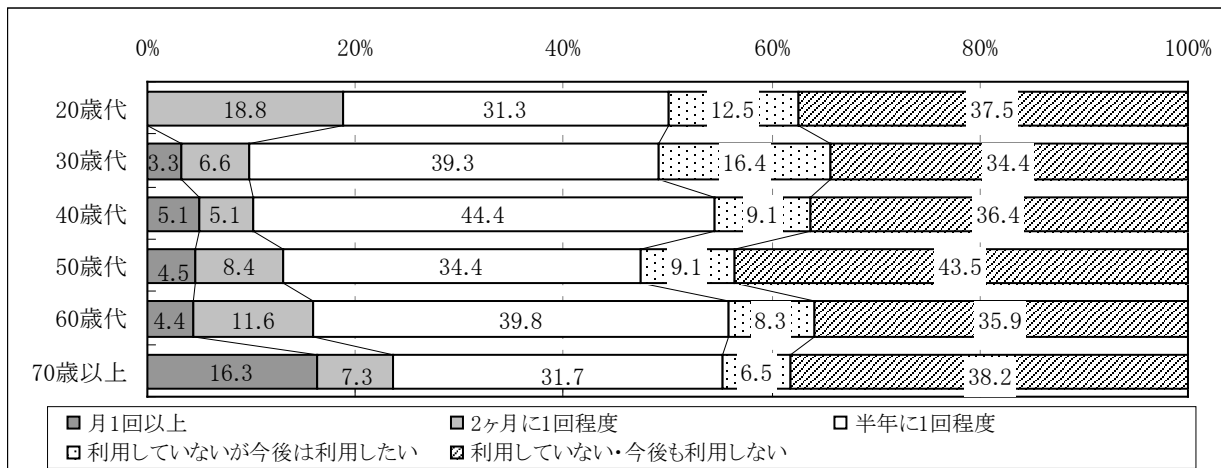


年代別の新聞・雑誌・カタログ販売利用状況は、図表 3-24 のとおりです。

利用率(「月1回以上」～「半年に1回程度」の合計)は、20歳代で50.1%、30歳代49.2%、40歳代54.6%、50歳代47.3%、60歳代55.8%、70歳以上55.3%となっており、60歳代・70歳以上が高くなっています。

図表 3-24 年代別の新聞・雑誌・カタログ販売の利用状況

(単位:%)



d. 共同購入(生協等が行うもの)

市全体および地区別の生協等が行う共同購入の利用状況は、図表 3-25 のとおりです。

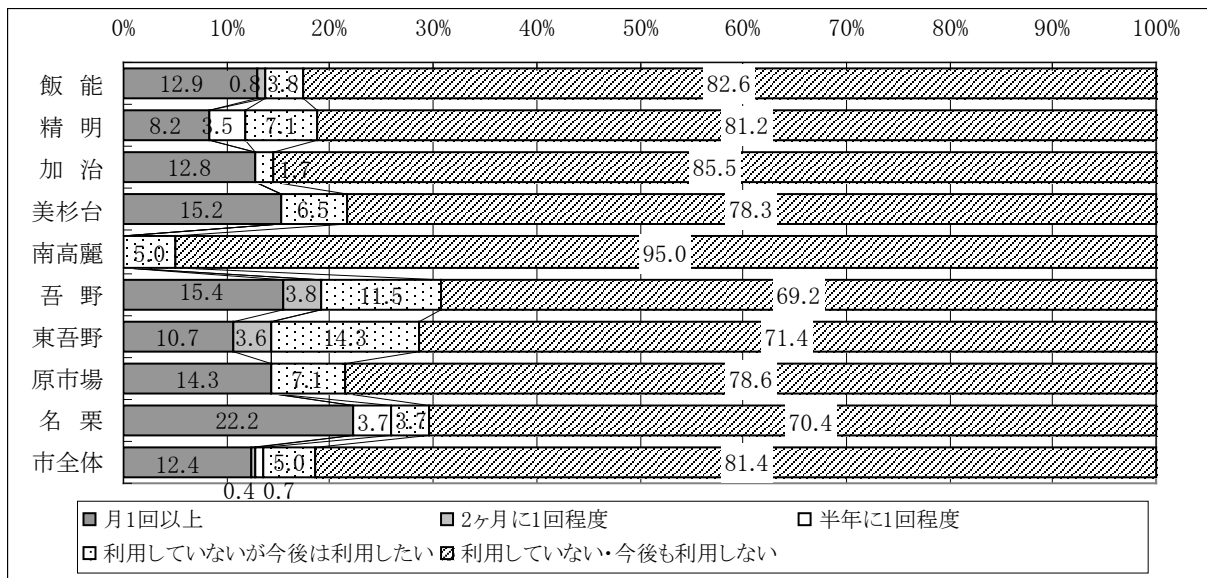
市全体では、「月1回以上」が12.4%、「2ヶ月に1回程度」が0.4%、「半年に1回程度」が0.7%で、合計13.5%となっています。また、「利用していない」は81.4%と非常に多くなっています。

地区別にみると、南高麗地区は、全く利用しておらず、「今後は利用したい」が5.0%となっています。

吾野・東吾野地区では「今後は利用したい」が10%を超えており、他地区より高くなっています。

図表 3-25 生協等が行う共同購入の利用状況(市全体・地区別)

(N=523、単位:%)

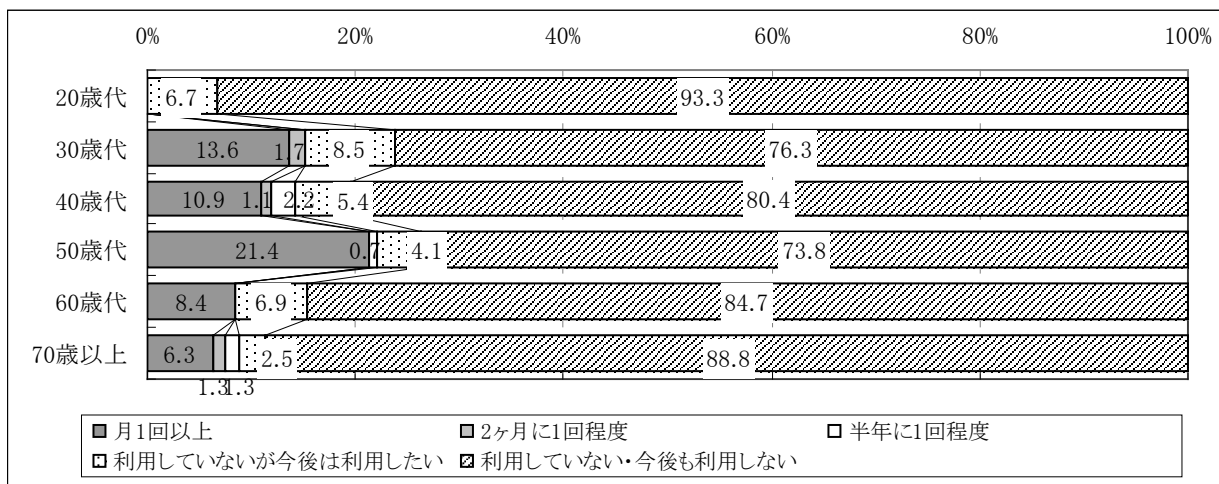


年代別の生協等が行う共同購入の利用状況は、図表 3-26 のとおりです。

利用率(「月 1 回以上」～「半年に 1 回程度」の合計)は、20 歳代でゼロ、30 歳代 15.3%、40 歳代 14.2%、50 歳代 22.1%、60 歳代 8.4%、70 歳代以上 8.9%となっており、50 歳代が最も高くなっています。

図表 3-26 年代別の生協等が行う共同購入の利用状況

(単位:%)



e. 宅配サービス(生協等が行うもの)

市全体および地区別の生協等が行う宅配サービスの利用状況は図表 3-27 のとおりです。

市全体では、「月 1 回以上」が 23.5%、「2 ヶ月に 1 回程度」が 0.5%、「半年に 1 回程度」が 1.4%で、合計 25.4%となっており、共同購入の利用率 13.5%よりも高くなっています。

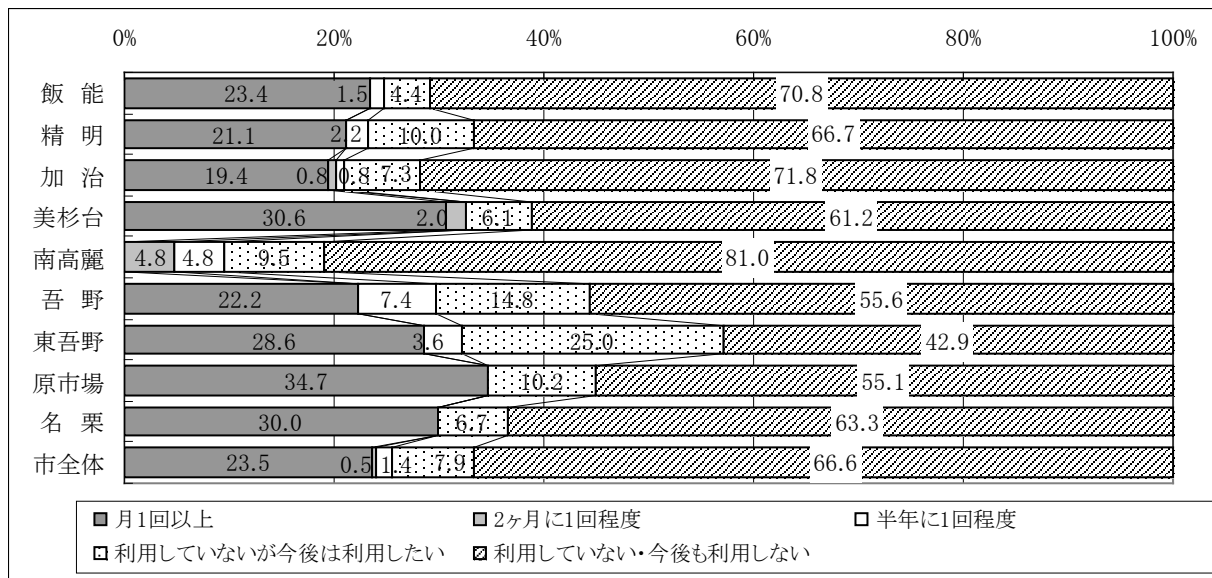
また、「利用していない」割合は 66.6%です。

地区別の利用率(「月 1 回以上」～「半年に 1 回程度」の合計)をみると、原市場・美杉台・名栗・東吾野地区の利用率が、他の地区より高くなっています。

「今後は利用したい」は東吾野地区、吾野地区で多くなっています。

図表 3-27 宅配サービス(生協等が行う)の利用状況(市全体・地区別)

(N=555、単位:%)

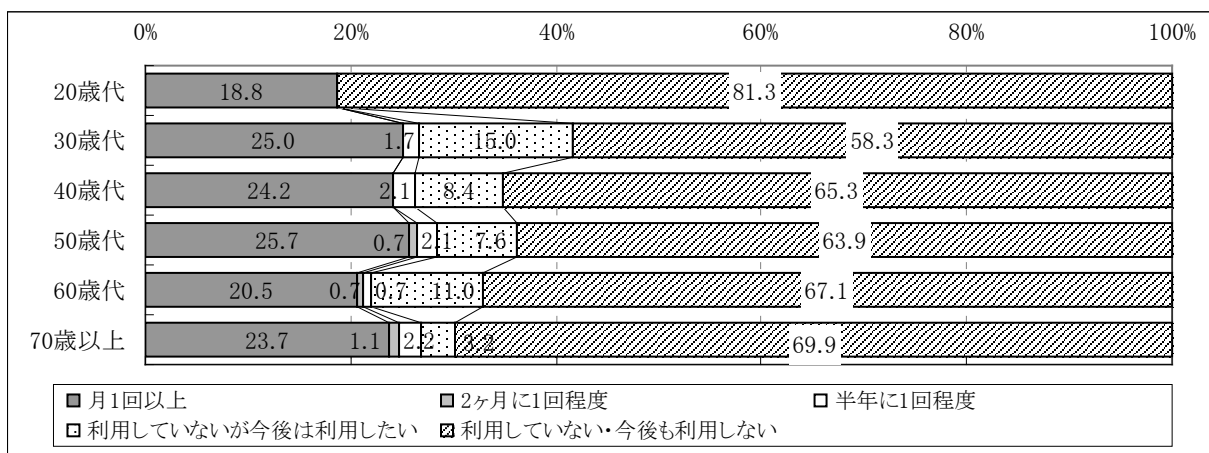


年代別の生協等が行う宅配サービスの利用状況は、図表 3-28 のとおりです。

利用率(「月 1 回以上」～「半年に 1 回程度」の合計)は、20 歳代で 18.8%、30 歳代 26.7%、40 歳代 26.3%、50 歳代 28.5%、60 歳代 21.9%、70 歳代以上 27.0%となっており、30 歳代以上の利用率はほぼ同じです。

図表 3-28 年代別の宅配サービス(生協等が行う)利用状況

(単位:%)



f. 通信販売の媒体別利用状況

通信販売の媒体別利用頻度をまとめると、図表 3-29 のとおりです。

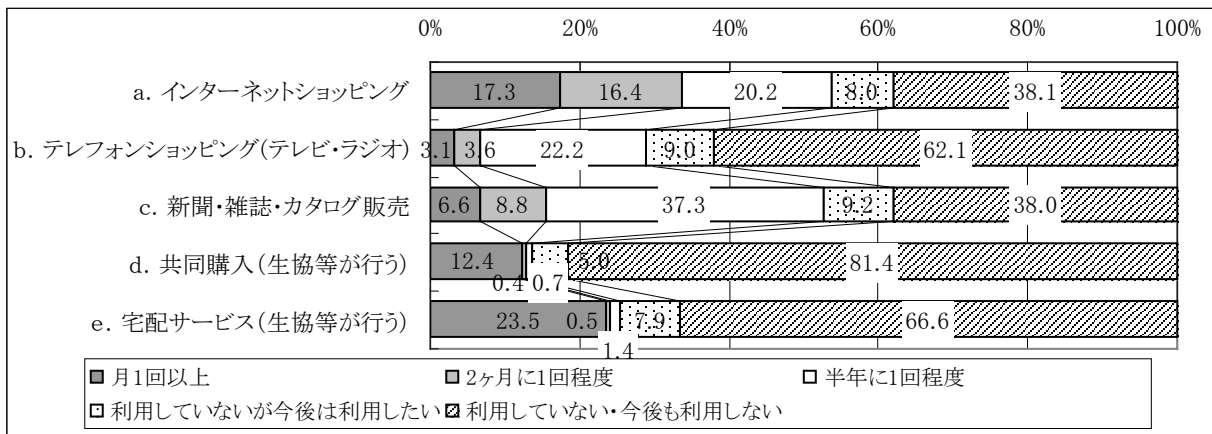
利用率(「月に 1 回以上」～「半年に 1 回程度」の合計)は、インターネットショッピングが 53.9%で最も高く、次いで新聞・雑誌・カタログ販売が 52.7%、テレフォンショッピング 28.9%となっています。

「月 1 回以上」の多頻度の利用率は、宅配サービス 23.5%、インターネットショッピング 17.3%、共同購入 12.4%の順となっています。

生協等の行っている販売方法では、生活スタイルの変化もあり、共同購入より宅配サービスの利用率の方が高くなっています。

図表 3-29 通信販売の媒体別利用状況

(単位:%)

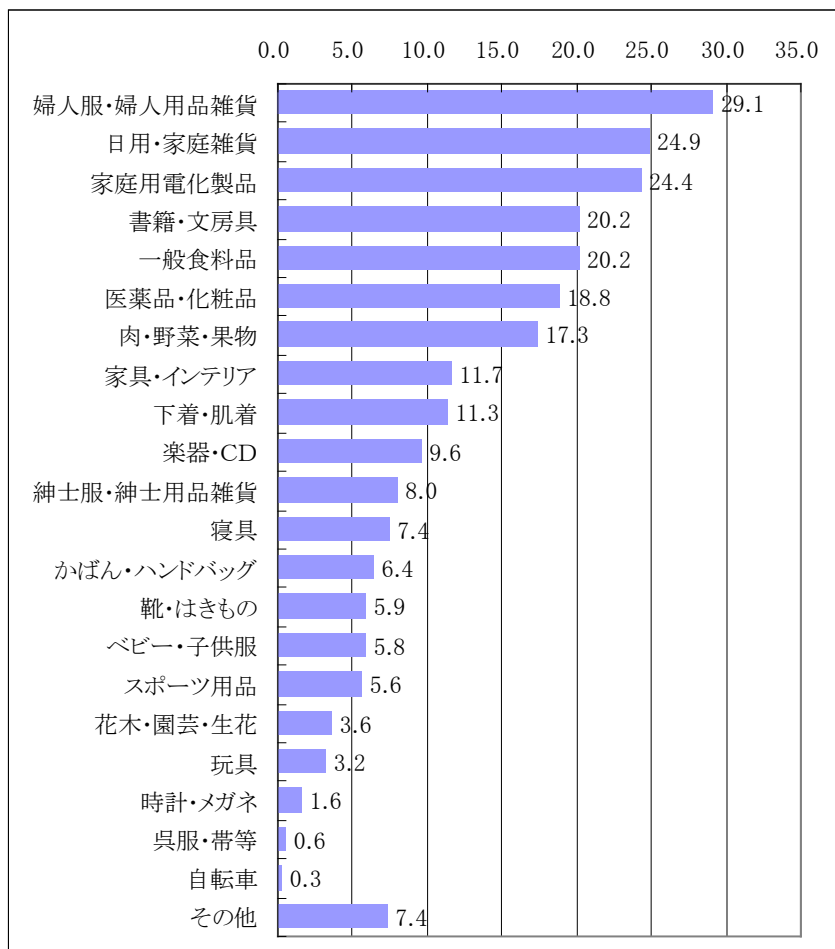


②通信販売で購入する商品

通信販売により購入する商品は、図表 3-30 のとおりです。

市全体では「婦人服・婦人洋品雑貨」が 29.1%と突出して多く、次いで「日用・家庭雑貨」24.9%、「家庭用電化製品」24.4%の順で続いています。

図表 3-30 通信販売により購入する商品(複数回答) (N=617、単位:%)



地区別にみた通信販売による購入商品は、図表 3-31 のとおりです。

また、各地区の上位 3 商品は、次のとおりとなっています。

- 飯能地区 ①「婦人服・婦人用品雑貨」26.2% ②「日用・家庭雑貨」23.8% ③「書籍・文房具」
「一般食料品」22.6%
- 精明地区 ①「婦人服・婦人用品雑貨」32.3% ②「日用・家庭雑貨」24.7% ③「医薬品・化粧品」22.6%
- 加治地区 ①「婦人服・婦人用品雑貨」34.6% ②「家庭用電化製品」28.7% ③「日用・家庭雑貨」23.5%
- 美杉台地区 ①「書籍・文房具」30.4% ②「家庭用電化製品」「一般食料品」28.3%
- 南高麗地区 ①「医薬品・化粧品」33.3% ②「婦人服・婦人用品雑貨」20.8% ③「日用・家庭雑貨」
「家庭用電化製品」16.7%
- 吾野地区 ①「婦人服・婦人用品雑貨」「日用・家庭雑貨」32.1% ③「家庭用電化製品」28.6%
- 東吾野地区 ①「家庭用電化製品」37.8% ②「日用・家庭雑貨」「肉・野菜・果物」29.7%
- 原市場地区 ①「家庭用電化製品」34.0% ②「医薬品・化粧品」30.0% ③「日用・家庭雑貨」28.0%
- 名栗地区 ①「婦人服・婦人用品雑貨」31.4% ②「日用・家庭雑貨」28.6% ③「肉・野菜・果物」22.9%

1 位の商品を見ると、5 つの地区で「婦人服・婦人用品雑貨」があげられています。

特徴的なのは、美杉台地区では「書籍・文房具」が1位、南高麗地区では「医薬品・化粧品」が1位、また、東吾野地区と原市場地区では「家庭用電化製品」が共に1位となっていることです。

これら1位にあげられた商品は、それぞれの地区で買うことが困難な商品だと思われます。

図表 3-31 地区別の通信販売により購入する商品(複数回答)

(単位:%)

商品区分	飯能	精明	加治	美杉台	南高麗	吾野	東吾野	原市場	名栗	市全体
婦人服・婦人用品雑貨	①26.2	①32.3	①34.6	26.1	②20.8	①32.1	21.6	24.0	①31.4	①29.1
日用・家庭雑貨	②23.8	②24.7	③23.5	26.1	③16.7	①32.1	②29.7	③28.0	②28.6	②24.9
家庭用電化製品	19.0	21.5	②28.7	②28.3	③16.7	17.9	①37.8	①34.0	17.1	③24.4
書籍・文房具	③22.6	19.4	17.6	①30.4	8.3	14.3	21.6	18.0	14.3	20.2
一般食料品	③22.6	19.4	19.1	②28.3	12.5	③28.6	13.5	12.0	17.1	20.2
医薬品・化粧品	17.3	③22.6	19.9	13.0	①33.3	3.6	2.7	②30.0	11.4	18.8
肉・野菜・果物	18.5	16.1	14.0	26.1	8.3	25.0	②29.7	10.0	③22.9	17.3
家具・インテリア	11.9	9.7	13.2	10.9	8.3	7.1	2.7	16.0	14.3	11.7
下着・肌着	8.9	16.1	14.7	6.5	8.3	7.1	5.4	10.0	11.4	11.3
楽器・CD	8.9	9.7	12.5	8.7	4.2	7.1	16.2	6.0	5.7	9.6
紳士服・紳士用品雑貨	10.1	8.6	5.1	6.5	0.0	7.1	2.7	14.0	5.7	8.0
寝具	5.4	11.8	5.1	4.3	12.5	14.3	0.0	14.0	8.6	7.4
かばん・ハンドバッグ	7.1	5.4	5.9	4.3	12.5	0.0	8.1	10.0	2.9	6.4
靴・はきもの	5.4	6.5	6.6	6.5	0.0	3.6	10.8	6.0	2.9	5.9
ベビー・子供服	6.0	7.5	6.6	2.2	0.0	7.1	0.0	8.0	2.9	5.8
スポーツ用品	4.8	6.5	7.4	4.3	8.3	3.6	8.1	0.0	11.4	5.6
花木・園芸・生花	3.6	8.6	0.7	4.3	12.5	0.0	0.0	2.0	2.9	3.6
玩具	4.2	2.2	2.2	0.0	8.3	3.6	8.1	4.0	2.9	3.2
時計・メガネ	0.6	2.2	1.5	2.2	0.0	0.0	5.4	2.0	5.7	1.6
呉服・帯等	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.6	0.0	4.0	2.9	0.6
自転車	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3	0.0	0.0	0.0	2.9	0.3
その他	8.9	5.4	6.6	6.5	0.0	10.7	8.1	8.0	11.4	7.4

年代別の購入商品は、図表 3-32 のとおりです。

また、年代別の上位 3 商品は、次のとおりとなっています。

20 歳代	①「家庭用電化製品」37.5%	②「婦人服・婦人用品雑貨」	「書籍・文房具」31.3%
30 歳代	①「書籍・文房具」36.1%	②「ベビー・子供服」34.4%	③「婦人服・婦人用品雑貨」31.1%
40 歳代	①「婦人服・婦人用品雑貨」35.1%	②「書籍・文房具」29.9%	③「日用・家庭雑貨」23.7%
50 歳代	①「日用・家庭雑貨」30.6%	②「婦人服・婦人用品雑貨」28.8%	③「書籍・文房具」25.6%
60 歳代	①「家庭用電化製品」31.4%	②「婦人服・婦人用品雑貨」27.9%	③「日用・家庭雑貨」27.3%
70 歳以上	①「医薬品・化粧品」27.5%	②「婦人服・婦人用品雑貨」22.9%	③「日用・家庭雑貨」21.1%

以上のように、各年代層で「婦人服・婦人用品雑貨」が上位に入っています。

40 歳代以上の年代では「日用・家庭雑貨」が上位に入っていますが、20 歳代から 50 歳代では「書籍・文房具」が上位に入っているのも今回の特徴です。

30 歳代の子育て世代では、「ベビー・子供服」が上位に入っています。

年代別に 1 位の商品を見ますと、20 歳代と 60 歳代では「家庭用電化製品」、30 歳代では「書籍・文房具」、40 歳代は「婦人服・婦人用品雑貨」、50 歳代は「日用・家庭雑貨」、70 歳代では「医薬品・化粧品」と、各年代によって通信販売の利用商品に違いがみられます。

図表 3-32 年代別の通信販売により購入する商品(複数回答)

(単位:%)

商品区分	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳以上	市全体
婦人服・婦人用品雑貨	②31.3	③31.1	①35.1	②28.8	②27.9	②22.9	①29.1
日用・家庭雑貨	25.0	14.8	③23.7	①30.6	③27.3	③21.1	②24.9
家庭用電化製品	①37.5	18.0	21.6	23.8	①31.4	19.3	③24.4
一般食料品	6.3	24.6	17.5	23.8	15.7	22.0	19.9
書籍・文房具	②31.3	①36.1	②29.9	③25.6	8.1	10.1	19.7
医薬品・化粧品	0.0	11.5	9.3	16.3	23.3	①27.5	18.1
肉・野菜・果物	12.5	14.8	9.3	19.4	21.5	20.2	17.8
家具・インテリア	18.8	9.8	11.3	10.0	14.5	8.3	11.3
下着・肌着	6.3	8.2	13.4	10.6	8.7	14.7	11.0
楽器・CD	18.8	16.4	17.5	10.6	4.7	3.7	9.5
紳士服・紳士用品雑貨	6.3	11.5	8.2	6.9	6.4	8.3	7.6
寝具	12.5	0.0	5.2	10.0	9.9	5.5	7.4
かばん・ハンドバッグ	6.3	6.6	6.2	3.1	9.9	6.4	6.5
靴・はきもの	12.5	9.8	1.0	5.0	8.1	3.7	5.8
スポーツ用品	6.3	8.2	11.3	4.4	4.7	3.7	5.8
ベビー・子供服	6.3	②34.4	9.3	1.3	0.6	0.0	5.5
花木・園芸・生花	0.0	4.9	1.0	3.8	5.8	1.8	3.6
玩具	18.8	3.3	8.2	2.5	1.7	0.9	3.4
時計・メガネ	0.0	4.9	2.1	0.6	1.7	0.9	1.8
呉服・帯等	0.0	0.0	1.0	1.3	0.6	0.0	0.6
自転車	0.0	0.0	1.0	0.0	0.6	0.9	0.5
その他	6.3	9.8	9.3	8.1	6.4	5.5	7.4

2. 飯能市内の商店街の利用状況と改善課題

(1) 飯能市内の商店街の利用状況

地元商店街の利用状況は、図表 3-33 のとおりです。

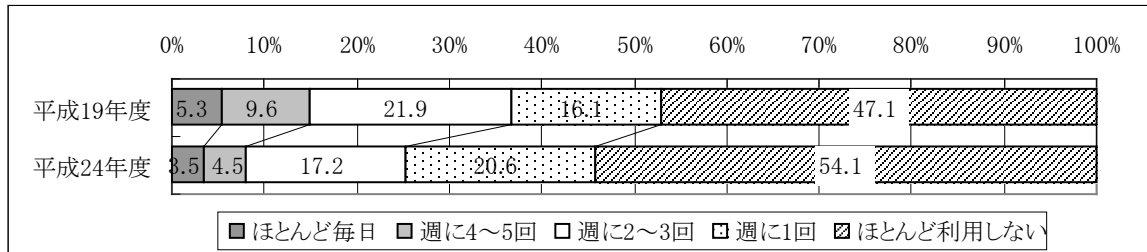
市全体では 45.9%が利用していますが、前回調査の 52.9%から 7.0ポイント減少しています。

内訳をみると、「ほとんど毎日」と「週に 4～5 回」の多頻度利用者は 8.0%で、前回の調査の 14.9%と比べ 6.9ポイント減少しています。

一方、「ほとんど利用しない」が 54.1%と前回調査の 47.1%に比べて 7.0ポイント増加しています。

図表 3-33 飯能市内の商店街の利用状況(前回調査との比較)

(単位:%)



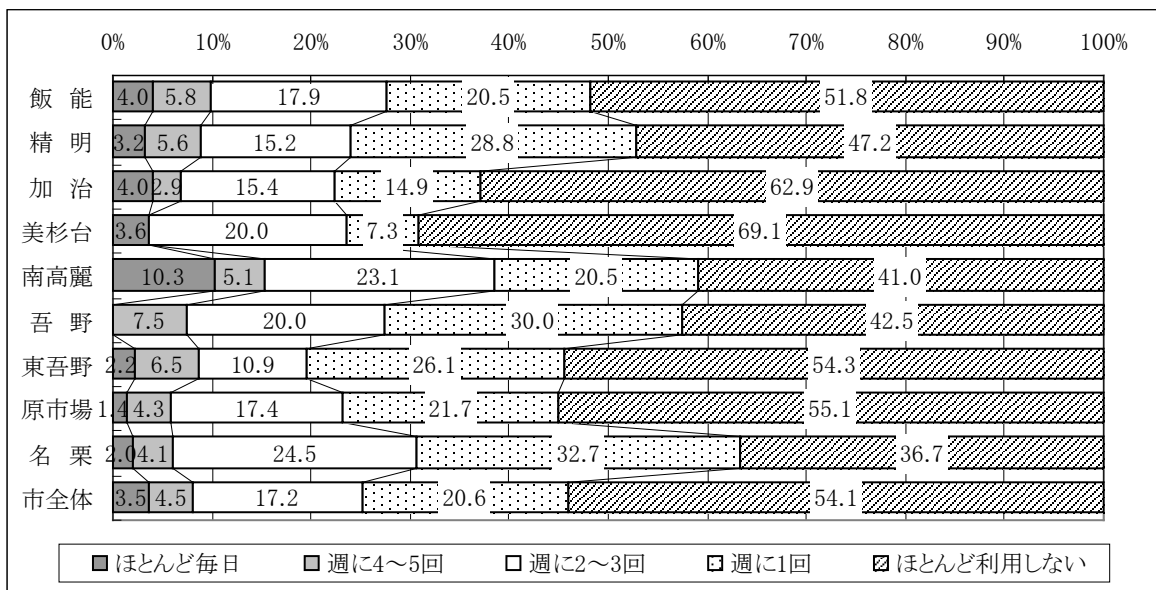
地区別の地元商店街の利用状況は、図表 3-34 のとおりです。

市全体と比べると、南高麗・吾野・名栗地区の利用率が高くなっています。

南高麗地区では「ほとんど毎日」と「週に 4～5 回」の多頻度利用者が 15.4%と他の地区より高くなっています。

図表 3-34 地区別の地元商店街の利用状況

(N=822、単位:%)



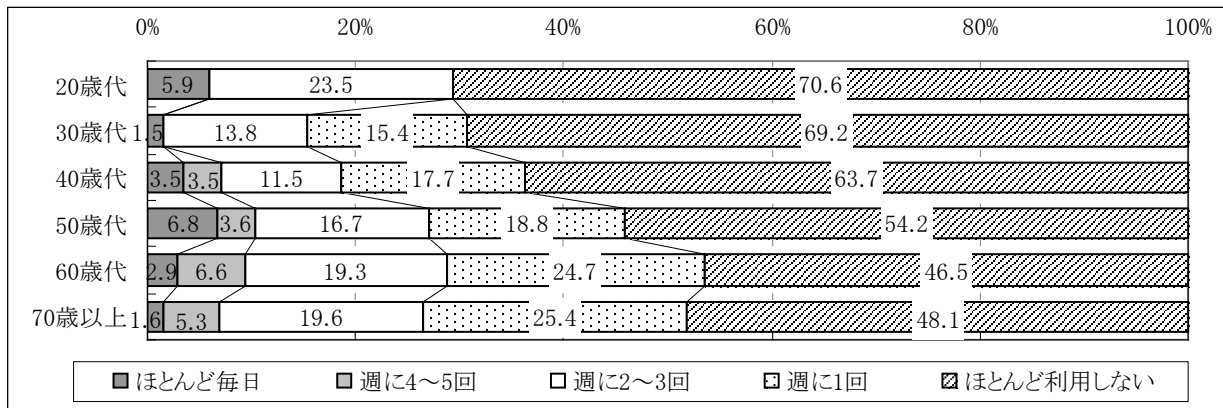
年代別の地元商店街の利用状況は、図表 3-35 のとおりです。

おおむね年齢が高くなるに従って、利用率が増加しています。

「ほとんど毎日」と「週に 4～5 回」の多頻度利用者は 50 歳代が 10.4%で一番多くなっています。

図表 3-35 年代別の地元商店街の利用状況

(単位: %)



(2) 飯能市内の商店街、個人商店をほとんど利用しない理由

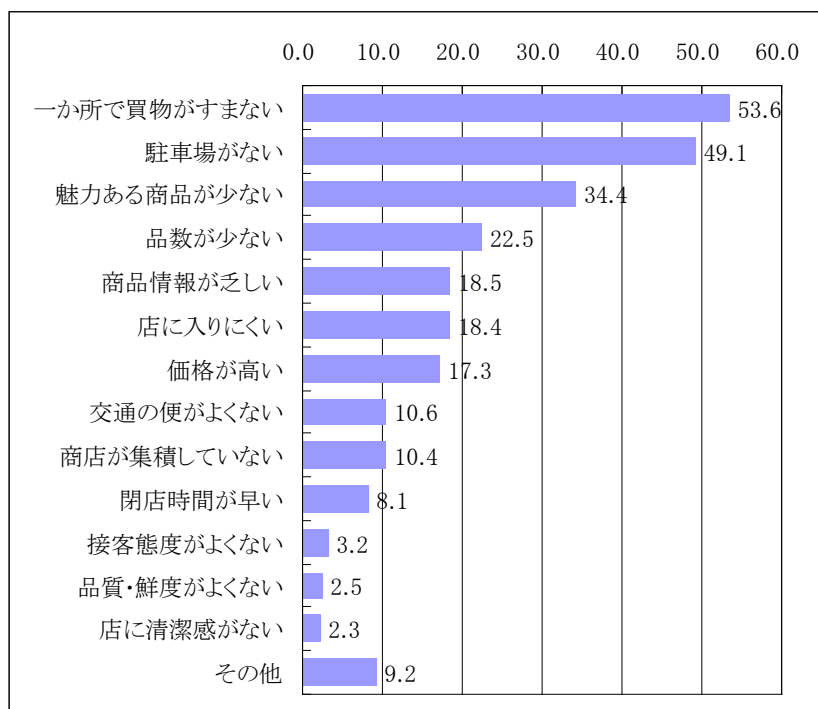
地元商店街をほとんど利用しない理由は、図表 3-36 のとおりです。

「一か所で買物がすまない」が最も多く回答者の 53.6% を占め、次いで「駐車場がない」が 49.1% でした。

この2つの理由は突出して高くなっていますが、時短・省力・車依存という現在の買物スタイルに合わない最大の難点として、列挙されたものと思われます。

その後に、「魅力ある商品が少ない」が 34.4%、「品数が少ない」が 22.5% と続いています。

図表 3-36 地元商店街を利用しない理由(複数回答) (N=439、単位: %)



地区別にみた地元商店街を利用しない理由は、図表 3-37 のとおりです。

1位の理由を見ると、飯能、精明、加治、南高麗、東吾野の5地区で「一か所で買物がすまない」を、美杉台、吾野、原市場、名栗地区で「駐車場がない」をあげています。

南高麗、吾野、原市場地区では「品物が少ない」を3位にあげていますが、残りの6地区では「魅力ある商品が少ない」を2位または3位にあげています。

また、吾野、東吾野、名栗地区で「交通の便が良くない」を3位にあげています。

図表 3-37 地区別の地元商店街を利用しない理由(複数回答)

(単位:%)

	飯能	精明	加治	美杉台	南高麗	吾野	東吾野	原市場	名栗	市全体
一か所で買物がすまない	①53.0	①57.6	①59.5	②39.5	①81.3	②50.0	①68.0	②38.5	②42.1	①53.6
駐車場がない	③37.4	②44.1	②53.2	①57.9	②68.8	①56.3	②56.0	①61.5	①52.6	②49.1
魅力ある商品が少ない	②38.3	③37.3	③36.9	②39.5	6.3	25.0	③24.0	20.5	③26.3	③34.4
品数が少ない	22.6	27.1	16.2	18.4	③37.5	③37.5	20.0	③30.8	21.1	22.5
商品情報が乏しい	13.9	23.7	24.3	15.8	18.8	6.3	12.0	15.4	15.8	18.5
店に入りにくい	22.6	13.6	18.0	18.4	12.5	18.8	8.0	23.1	5.3	18.4
価格が高い	19.1	16.9	15.3	7.9	18.8	18.8	20.0	25.6	15.8	17.3
交通の便がよくない	1.7	16.9	9.9	15.8	25.0	③37.5	③24.0	5.1	③26.3	10.6
商店が集積していない	12.2	6.8	16.2	10.5	0.0	0.0	12.0	0.0	5.3	10.4
閉店時間が早い	7.8	10.2	7.2	10.5	0.0	18.8	8.0	5.1	10.5	8.1
接客態度がよくない	3.5	0.0	4.5	0.0	0.0	0.0	0.0	10.3	0.0	3.2
品質・鮮度がよくない	1.7	1.7	2.7	2.6	6.3	0.0	4.0	5.1	0.0	2.5
店に清潔感がない	3.5	1.7	2.7	0.0	0.0	6.3	0.0	0.0	5.3	2.3
その他	13.0	6.8	3.6	13.2	0.0	12.5	8.0	15.4	10.5	9.2

年代別にみた地元商店街を利用しない理由は、図表 3-38 のとおりです。

40歳代以上では、「一か所で買物がすまない」と「駐車場がない」を1位または2位にあげており、3位は「魅力ある商品が少ない」となっています。

30歳代では、1位と2位は40歳代以上と同じですが、3位は「価格が高い」をあげており、30歳代の金銭的な事情が垣間見えます。

20歳代では、1位に「駐車場がない」をあげていますが、2位には「店に入りにくい」、3位には「商品情報が乏しい」と「商店が集積していない」をあげています。

図表 3-38 年代別の地元商店街を利用しない理由(複数回答)

(単位:%)

	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	市全体
一か所で買物がすまない	16.7	①57.8	①53.5	②53.4	①52.3	①61.5	①53.6
駐車場がない	①58.3	②55.6	②52.1	①61.2	②46.8	②37.4	②49.1
魅力ある商品が少ない	16.7	24.4	③35.2	③37.9	③39.6	③26.4	③34.4
品数が少ない	8.3	26.7	19.7	22.3	20.7	25.3	22.5
商品情報が乏しい	③25.0	20.0	22.5	14.6	15.3	19.8	18.5
価格が高い	16.7	③33.3	26.8	9.7	13.5	15.4	17.3
店に入りにくい	②33.3	22.2	12.7	16.5	22.5	11.0	18.4
交通の便がよくない	0.0	15.6	14.1	7.8	9.0	18.7	10.6
商店が集積していない	③25.0	6.7	11.3	9.7	9.9	9.9	10.4
閉店時間が早い	16.7	13.3	19.7	7.8	1.8	3.3	8.1
接客態度がよくない	0.0	2.2	0.0	5.8	2.7	3.3	3.2
品質・鮮度がよくない	0.0	2.2	2.8	3.9	1.8	1.1	2.5
店に清潔感がない	0.0	4.4	1.4	1.9	2.7	2.2	2.3
その他	16.7	6.7	4.2	5.8	12.6	13.2	9.2

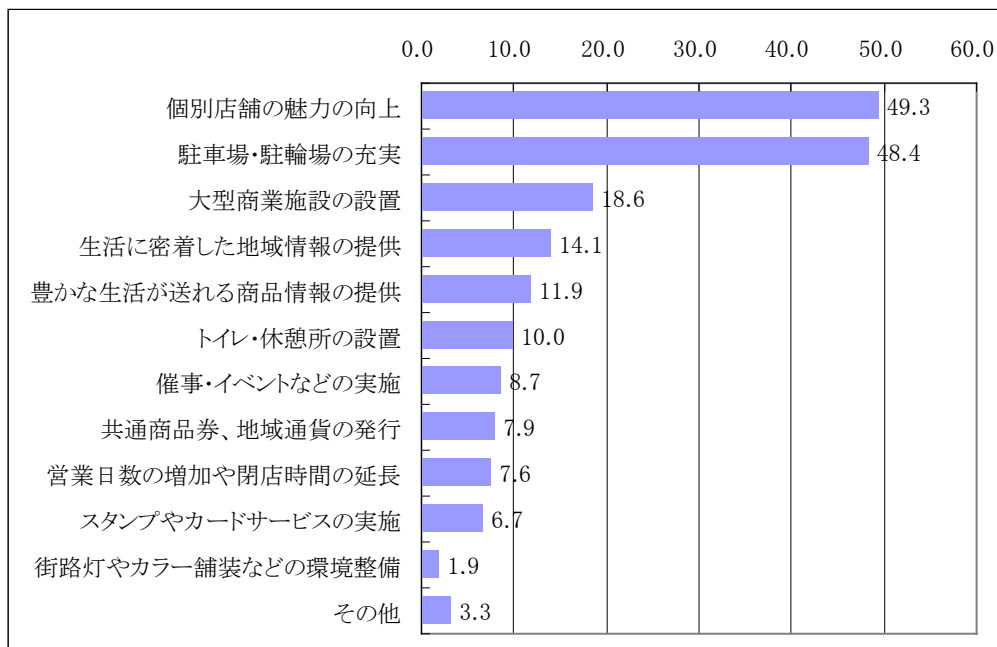
(3) 飯能市内の商店街や個人商店をより魅力的にするための重点項目

地元商店街を魅力的にするために重要なことをたずねた結果は、図表 3-39 のとおりとなっています。

「個別店舗の魅力の向上」が最も高く49.3%となっています。日常の買物は、時短、省力を求めているものの、魅力的な店には手間・暇をかけて買物に行くスタイルがうかがえます。

次いで「駐車場・駐輪場の充実」48.4%が続いており、この2項目が突出しています。

図表 3-39 飯能市の商店街や個人商店をより魅力的にするための重点項目 (N=783、単位%)



地元商店街を魅力的にするために重要なことの地区別の結果は、図表 3-40 のとおりとなっています。

地区別に1位の項目を見ると、飯能、精明、美杉台地区は「個別店舗の魅力の向上」を、加治、南高麗、吾野、東吾野、原市場、名栗地区では「駐車場・駐輪場の充実」をあげています。

商業施設へのアクセスに車、自転車を使わざるを得ない地区では、駐車場・駐輪場の充実を、商業施設の整っている地区ではさらに個店の魅力向上を望んでいます。

図表 3-40 飯能市の商店街や個人商店をより魅力的にするための重点項目

(単位%)

項目	飯能	精明	加治	美杉台	南高麗	吾野	東吾野	原市場	名栗	市全体
個別店舗の魅力の向上	①52.6	①50.8	②47.3	①60.4	②36.1	②48.7	②48.8	②40.6	②39.6	①49.3
駐車場・駐輪場の充実	②39.2	②49.2	①47.9	②54.7	①58.3	①53.8	①53.5	①65.6	①50.0	②48.4
大型商業施設の設置	③17.7	③17.7	③23.0	13.2	③22.2	③15.4	③11.6	14.1	③29.2	③18.6
生活に密着した地域情報の提供	11.5	12.1	20.6	11.3	13.9	12.8	4.7	③17.2	10.4	14.1
豊かな生活が送れる商品情報の提供	12.4	12.1	12.1	③18.9	13.9	12.8	9.3	3.1	12.5	11.9
トイレ・休憩所の設置	11.5	8.9	9.1	11.3	16.7	12.8	9.3	4.7	12.5	10.0
催事・イベントなどの実施	9.6	10.5	9.1	5.7	5.6	12.8	4.7	4.7	8.3	8.7
共通商品券、地域通貨の発行	5.7	4.8	12.1	9.4	11.1	5.1	9.3	9.4	6.3	7.9
営業日数の増加や閉店時間の延長	8.1	8.9	6.1	7.5	5.6	2.6	4.7	9.4	10.4	7.6
スタンプやカードサービスの実施	9.1	5.6	5.5	3.8	13.9	5.1	7.0	6.3	4.2	6.7
街路灯・カラー舗装など環境整備	1.0	2.4	2.4	3.8	0.0	0.0	2.3	0.0	6.3	1.9
その他	4.8	4.0	1.2	0.0	0.0	2.6	9.3	3.1	6.3	3.3

年代別にみた地元商店街を魅力的にするための重点事項は、図表 3-41 のとおりです。

年代別に 1 位の項目を見ると、30 歳代、50 歳代、70 歳以上は「個別店舗の魅力の向上」を、20 歳代、40 歳代、60 歳代は「駐車場・駐輪場の充実」をあげています。

また、各年代共通して第 3 位に「大型商業施設」をあげています。

図表 3-41 飯能市の商店街や個人商店をより魅力的にするための重点項目 (単位%)

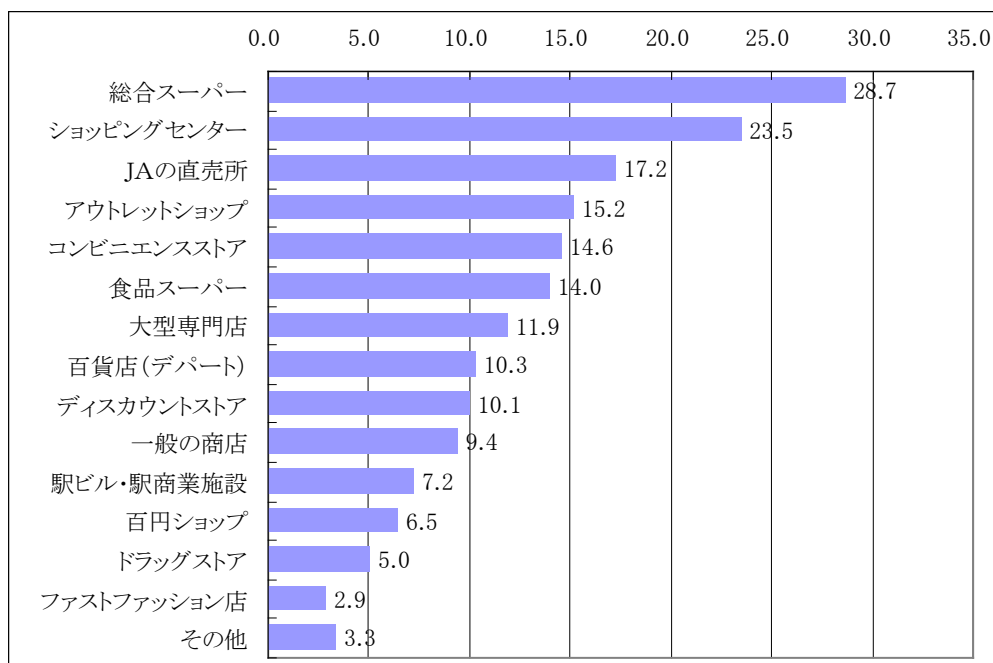
	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳以上	市全体
個別店舗の魅力の向上	②43.8	①51.5	②46.2	①57.1	②49.6	①40.2	①49.3
駐車場・駐輪場の充実	①62.5	②50.0	①48.1	②51.1	①53.1	②39.7	②48.4
大型商業施設の設置	③25.0	③15.2	③18.9	③21.7	③18.9	16.2	③18.6
生活に密着した地域情報の提供	6.3	③15.2	9.4	10.3	11.8	③22.3	14.1
豊かな生活が送れる商品情報の提供	0.0	12.1	13.2	9.8	12.3	14.0	11.9
トイレ・休憩所の設置	12.5	6.1	5.7	3.8	13.2	17.3	10.0
催事・イベントなどの実施	0.0	13.6	11.3	8.7	7.9	6.7	8.7
共通商品券、地域通貨の発行	12.5	9.1	6.6	7.6	7.0	8.9	7.9
営業日数の増加や閉店時間の延長	12.5	9.1	8.5	8.7	4.8	7.8	7.6
スタンプやカードサービスの実施	6.3	6.1	15.1	3.8	4.8	7.8	6.7
街路灯やカラー舗装などの環境整備	12.5	3.0	0.9	2.2	2.6	0.0	1.9
その他	0.0	6.1	4.7	2.2	3.1	3.9	3.3

(4) 身近に欲しい買物施設

身近にあればよいと思う買物施設は、図表 3-42 のとおりです。

「総合スーパー」が 28.7%、次いで「ショッピングセンター」が 23.5%、「JAの直売所」は 17.2%となっています。

図表 3-42 身近にあればよいと思う買物施設(複数回答) (N=765、単位:%)



地区別の希望する施設は、図表 3-43 のとおりです。地区別の上位 3 施設は、次のとおりです。

飯能地区	①「総合スーパー」26.9%	②「ショッピングセンター」21.4%	③「JAの直売所」18.9%
精明地区	①「総合スーパー」30.5%	②「ショッピングセンター」25.4%	③「JAの直売所」20.3%
加治地区	①「総合スーパー」26.2%	②「ショッピングセンター」25.6%	③「アウトレットショップ」17.7%
美杉台地区	①「ショッピングセンター」23.5%	②「総合スーパー」「アウトレットショップ」「百貨店(デパート)」21.6%	
南高麗地区	①「総合スーパー」46.2%	②「ショッピングセンター」23.1%	③「JAの直売所」20.5%
吾野地区	①「食品スーパー」42.5%	②「総合スーパー」37.5%	③「コンビニエンスストア」27.5%
東吾野地区	①「総合スーパー」37.5%	②「JAの直売所」「食品スーパー」22.5%	
原市場地区	①「総合スーパー」「ショッピングセンター」28.6%		③「アウトレットショップ」20.6%
名栗地区	①「総合スーパー」34.0%	②「食品スーパー」23.4%	③「コンビニエンスストア」21.3%

「総合スーパー」はどの地区でも上位になっています。

「ショッピングセンター」は吾野、東吾野、名栗地区を除いて1～2位となっていますが、これら3地区は「食品スーパー」や「コンビニエンスストア」を希望しています。

図表 3-43 市全体・地区別の身近に欲しい買物施設

(単位%)

買物施設	飯能	精明	加治	美杉台	南高麗	吾野	東吾野	原市場	名栗	市全体
総合スーパー	①26.9	①30.5	①26.2	②21.6	①46.2	②37.5	①37.5	①28.6	①34.0	①28.7
ショッピングセンター	②21.4	②25.4	②25.6	①23.5	②23.1	17.5	15.0	①28.6	19.1	②23.5
JAの直売所	③18.9	③20.3	12.8	19.6	③20.5	7.5	②22.5	17.5	14.9	③17.2
アウトレットショップ	10.4	15.3	③17.7	②21.6	15.4	12.5	15.0	③20.6	12.8	15.2
コンビニエンスストア	11.9	15.3	14.6	9.8	15.4	③27.5	15.0	17.5	③21.3	14.6
食品スーパー	14.9	8.5	13.4	7.8	12.8	①42.5	②22.5	11.1	②23.4	14.0
大型専門店	14.9	12.7	12.2	13.7	5.1	0.0	2.5	9.5	8.5	11.9
百貨店(デパート)	16.4	6.8	7.3	②21.6	2.6	2.5	7.5	3.2	8.5	10.3
ディスカウントストア	7.0	12.7	15.9	2.0	12.8	5.0	10.0	7.9	8.5	10.1
一般の商店	11.9	7.6	10.4	9.8	5.1	5.0	7.5	9.5	0.0	9.4
駅ビル・駅商業施設	7.5	5.9	11.0	5.9	5.1	2.5	0.0	6.3	4.3	7.2
百元ショップ	5.0	1.7	6.7	9.8	15.4	12.5	0.0	12.7	8.5	6.5
ドラッグストア	5.5	4.2	5.5	2.0	5.1	7.5	5.0	1.6	14.9	5.0
ファストファッション店	3.0	6.8	1.2	3.9	2.6	0.0	0.0	1.6	2.1	2.9
その他	4.0	4.2	2.4	7.8	0.0	0.0	5.0	1.6	0.0	3.3

年代別に希望する施設は、図表 3-44 のとおりです。上位 3 施設は、次のとおりです。

20 歳代	①「ショッピングセンター」33.3%	②「コンビニエンスストア」「駅ビル・駅商業施設」26.7%	
30 歳代	①「ショッピングセンター」37.5%	②「総合スーパー」29.7%	③「アウトレットショップ」15.6%
40 歳代	①「ショッピングセンター」33.3%	②「総合スーパー」27.8%	③「アウトレットショップ」18.5%
50 歳代	①「総合スーパー」29.1%	②「ショッピングセンター」27.4%	③「JAの直売所」「アウトレットショップ」16.0%
60 歳代	①「総合スーパー」30.9%	②「ショッピングセンター」18.6%	③「食品スーパー」18.2%
70 歳以上	①「総合スーパー」30.6%	②「JAの直売所」23.3%	③「食品スーパー」「コンビニエンスストア」17.8%

以上のように、市全体では総合スーパーが 1 位となっていますが、年代別では 20 歳代から 40 歳代の 1 位は「ショッピングセンター」となっています。

30 歳代から 50 歳代までは、「アウトレットショップ」が 3 位に入っています。

70 歳以上では、身近な「食品スーパー」と「コンビニエンスストア」が 3 位となっています。

図表 3-44 年代別の身近にあればよいと思う買物施設(複数回答)

(単位:%)

	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	市全体
総合スーパー	20.0	②29.7	②27.8	①29.1	①30.9	①30.6	①29.5
ショッピングセンター	①33.3	①37.5	①33.3	②27.4	②18.6	12.2	②23.0
JAの直売所	13.3	12.5	13.0	③16.0	16.8	②23.3	③17.3
食品スーパー	6.7	7.8	11.1	14.3	③18.2	③17.8	15.0
コンビニエンスストア	②26.7	14.1	17.6	14.3	11.8	③17.8	15.0
アウトレットショップ	13.3	③15.6	③18.5	③16.0	16.8	10.0	15.0
大型専門店	13.3	10.9	15.7	9.1	11.8	9.4	11.1
百貨店(デパート)	0.0	6.3	7.4	10.9	10.5	11.7	9.9
ディスカウントストア	13.3	7.8	7.4	12.6	12.3	6.7	9.9
一般の商店	20.0	7.8	5.6	6.3	7.7	13.9	8.9
駅ビル・駅商業施設	②26.7	7.8	7.4	4.0	5.9	8.3	6.8
百円ショップ	0.0	12.5	4.6	7.4	4.5	7.8	6.7
ドラッグストア	6.7	14.1	4.6	6.9	4.1	2.8	5.4
ファストファッション店	13.3	6.3	5.6	2.9	0.9	1.1	2.7
その他	0.0	3.1	7.4	2.3	2.7	2.2	3.1

(5) コンビニエンスストアの利用状況

① 前回調査との比較

コンビニエンスストアの市全体の利用頻度は、図表 3-45 のとおりです。

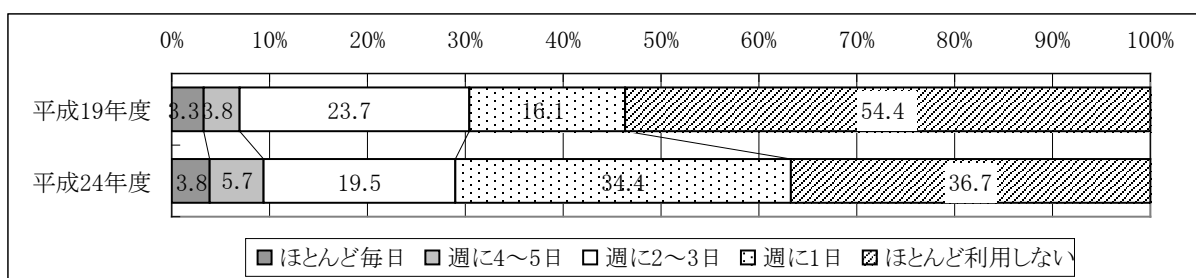
市全体では、「ほとんど利用しない」が最も高く 36.7%でした。次いで「週に 1 回」が 34.4%となっています。

一方で、「ほとんど毎日」+「週に 4~5 回」の高頻度利用は 9.5%と 1 割相当となっています。

前回と比較すると、「週 2~3 日」は 4.2 ポイント減少しているものの、多頻度利用がわずかに増加し、「週に 1 日」が 18.3 ポイントと大幅に増加した結果、コンビニ利用率は 17.7 ポイント増しています。

図表 3-45 利用頻度(前回調査との比較)

(単位%)



(注) 平成 19 年度の「ほとんど利用しない」に対応する選択肢は、「月に数回程度」です。

② 利用頻度

コンビニエンスストアの地区別の利用頻度は、図表 3-46 のとおりです。

地区別にみると、南高麗地区、原市場地区、精明地区、名栗地区では「ほとんど毎日」から「週 1 回」までの合計利用者割合は、市全体より高くなっています。

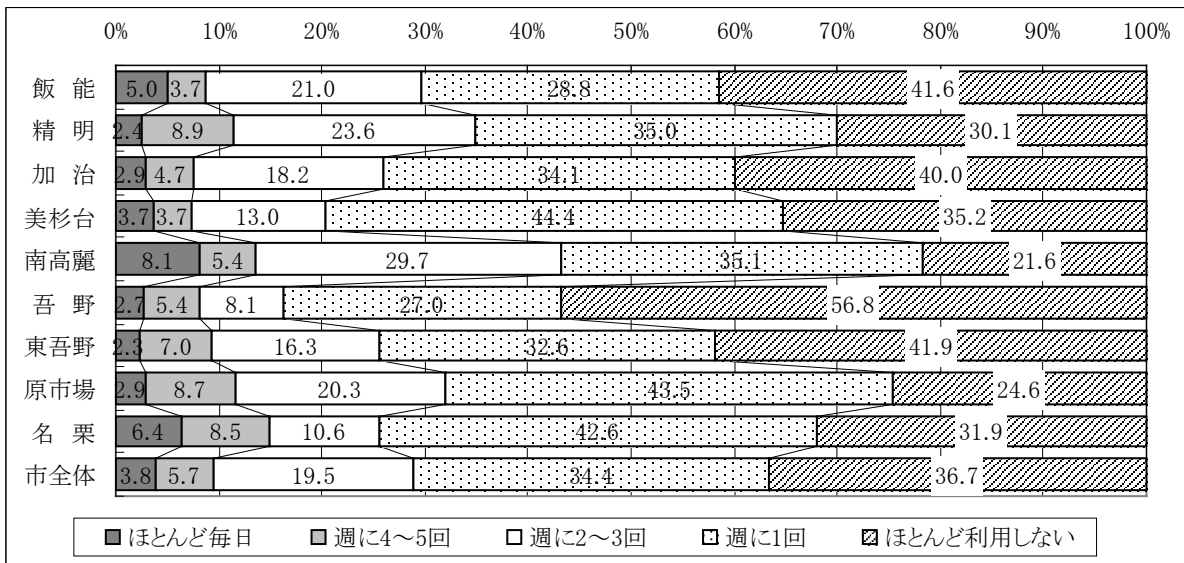
特に、名栗地区、南高麗地区では多頻度利用が高くなっています。

南高麗地区では、「ほとんど利用しない」は 21.6%と最も低く、「週に 2~3 回」は 29.7%と他地区に比べ高くなっており、「コンビニエンスストア」への依存度が高い状況にあります。

逆に吾野地区は「ほとんど利用しない」が 56.8%と利用率は最も低くなっています。

図表 3-46 コンビニエンスストアの利用頻度(市全体・地区別)

(N=799、単位：%)



年代別のコンビニエンスストアの利用頻度は、図表 3-47 のとおりです。

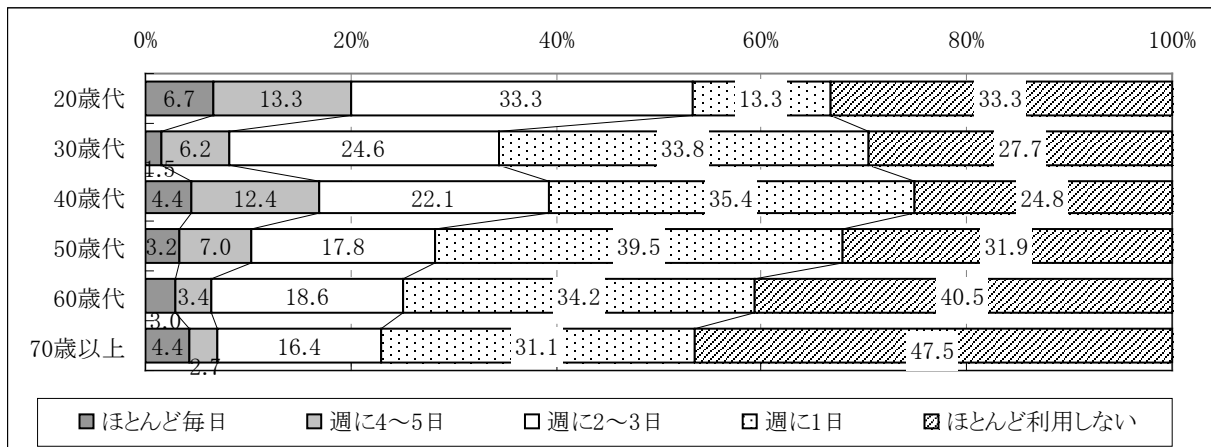
「週 1 回以上」の利用は、40 歳代が 75.2%と最も高く、次いで 30 歳代 72.3%、50 歳代 68.1%、20 歳代 66.7%、60 歳代 59.5%、70 歳以上 52.5%と続いており、各世代での利用状況は 5 割を超えています。

このうち、「ほとんど毎日」と「週 4~5 回」を合わせたヘビーユーザーは、20 歳代 20.0%、40 歳代 16.8%、50 歳代 10.2%が該当しています。

一方、「ほとんど利用しない」の比率は、60 歳代と 70 歳以上が共に 40%を超えて高くなっています。

図表 3-47 年代別のコンビニエンスストア利用頻度

(単位：%)



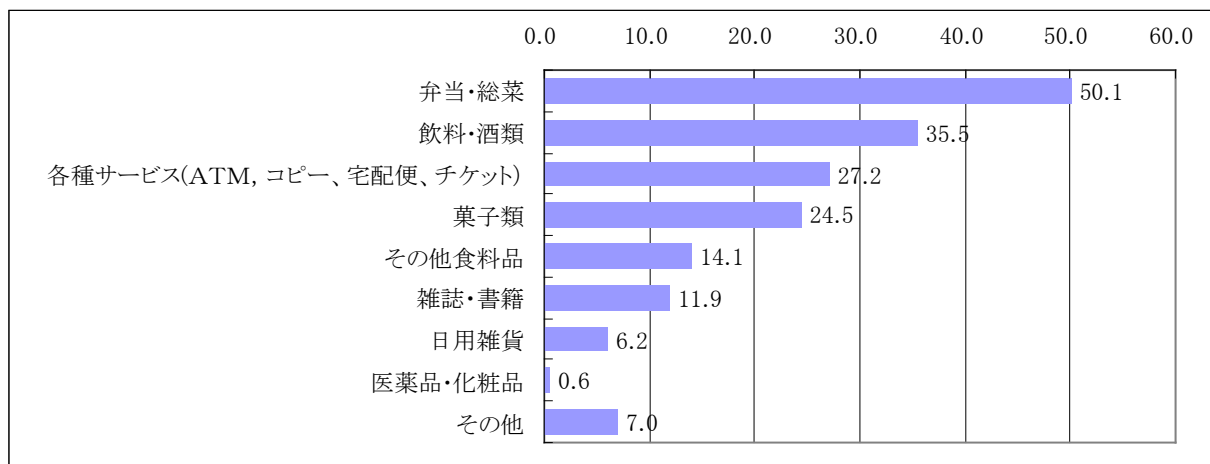
③コンビニエンスストアでの購入商品

コンビニエンスストアで購入する商品は、図表 3-48 のとおりです。

市全体では、「弁当・総菜」が 50.1%と突出して高くなっており、次いで「飲料・酒類」35.5%、「各種サービス」27.2%、「菓子類」24.5%の順で続いています。

図表 3-48 コンビニエンスストアでの購入商品(市全体)

(N=511、単位:%)



地区別のコンビニエンスストアでの購入商品は、図表 3-49 のとおりです。

上位 3 商品の市全体と地区別の購入商品は、次のようになっています。

飯能地区	①「弁当・総菜」59.4%	②「飲料・酒類」36.7%	③「各種サービス」22.7%
精明地区	①「弁当・総菜」42.7%	②「菓子類」30.3%	③「飲料・酒類」29.2%
加治地区	①「弁当・総菜」47.0%	②「飲料・酒類」39.0%	③「各種サービス」30.0%
美杉台地区	①「弁当・総菜」48.6%	②「飲料・酒類」40.0%	③「各種サービス」34.3%
南高麗地区	①「菓子類」41.4%	②「弁当・総菜」37.9%	③「飲料・酒類」31.0%
吾野地区	①「飲料・酒類」56.3%	②「弁当・総菜」31.3%	③「菓子類」25.0%
東吾野地区	①「各種サービス」50.0%	②「弁当・総菜」42.3%	③「飲料・酒類」30.8%
原市場地区	①「弁当・総菜」57.4%	②「飲料・酒類」「各種サービス」31.5%	
名栗地区	①「弁当・総菜」45.5%	②「飲料・酒類」39.4%	③「菓子類」27.3%

上記のように、各地区とも「弁当・総菜」・「飲料・酒類」が上位 1・2 位を占め、3 番目に「各種サービス」・「菓子類」をあげている傾向がみえます。

しかし、南高麗地区では「菓子類」が 1 位、東吾野地区では「各種サービス」が 1 位となっており、他地区とやや異なっています。

図表 3-49 コンビニエンスストアでの購入商品(市全体・地区別)

(単位:%)

商品区分	飯能	精明	加治	美杉台	南高麗	吾野	東吾野	原市場	名栗	市全体
弁当・総菜	①59.4	①42.7	①47.0	①48.6	②37.9	②31.3	②42.3	①57.4	①45.5	①50.1
飲料・酒類	②36.7	③29.2	②39.0	②40.0	③31.0	①56.3	③30.8	②31.5	②39.4	②35.5
各種サービス(ATM, コピー, 宅配便, チケット)	③22.7	25.8	③30.0	③34.3	20.7	18.8	①50.0	②31.5	18.2	③27.2
菓子類	21.9	②30.3	22.0	31.4	①41.4	③25.0	19.2	16.7	③27.3	24.5
その他食料品	13.3	15.7	14.0	11.4	20.7	6.3	19.2	13.0	15.2	14.1
雑誌・書籍	14.1	13.5	13.0	5.7	13.8	18.8	0.0	9.3	6.1	11.9
日用雑貨	6.3	7.9	5.0	2.9	10.3	12.5	3.8	5.6	6.1	6.2
医薬品・化粧品	0.0	1.1	0.0	0.0	3.4	6.3	3.8	0.0	0.0	0.6
その他	3.9	11.2	8.0	8.6	6.9	0.0	0.0	7.4	6.1	7.0

年代別のコンビニエンスストアでの購入商品の上位3商品は、図表3-50のとおりです。

20歳代	①「飲料・酒類」70.0%	②「弁当・総菜」40.0%	③「各種サービス」「菓子類」「雑誌・書籍」「その他」20.0%
30歳代	①「飲料・酒類」44.7%	②「弁当・総菜」「菓子類」42.6%	
40歳代	①「弁当・総菜」44.7%	②「飲料・酒類」42.4%	③「菓子類」30.6%
50歳代	①「弁当・総菜」54.0%	②「飲料・酒類」41.3%	③「各種サービス」24.6%
60歳代	①「弁当・総菜」48.9%	②「各種サービス」39.0%	③「飲料・酒類」27.0%
70歳以上	①「弁当・総菜」52.1%	②「飲料・酒類」28.1%	③「菓子類」25.0%

上記のように、各年代とも「弁当・総菜」と「飲料・酒類」が上位1・2位を占め、「各種サービス」と「菓子類」のどちらかが第3位となっています。

図表3-50 年代別のコンビニエンスストアでの購入商品 (単位%)

商品区分	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	市全体
弁当・総菜	②40.0	②42.6	①44.7	①54.0	①48.9	①52.1	①50.1
飲料・酒類	①70.0	①44.7	②42.4	②41.3	③27.0	②28.1	②35.5
各種サービス(ATM, コピー, 宅配便, チケット)	③20.0	14.9	23.5	③24.6	②39.0	21.9	③27.2
菓子類	③20.0	②42.6	③30.6	22.2	18.4	③25.0	24.5
その他食料品	0.0	10.6	20.0	15.1	11.3	16.7	14.1
雑誌・書籍	③20.0	8.5	12.9	8.7	14.9	7.3	11.9
日用雑貨	0.0	0.0	2.4	9.5	5.0	8.3	6.2
医薬品・化粧品	0.0	2.1	1.2	0.0	0.7	1.0	0.6
その他	③20.0	8.5	3.5	5.6	7.1	5.2	7.0

3. 東日本大震災後の買物行動について

(1) 東日本大震災後の買物行動について風評などの影響の有無

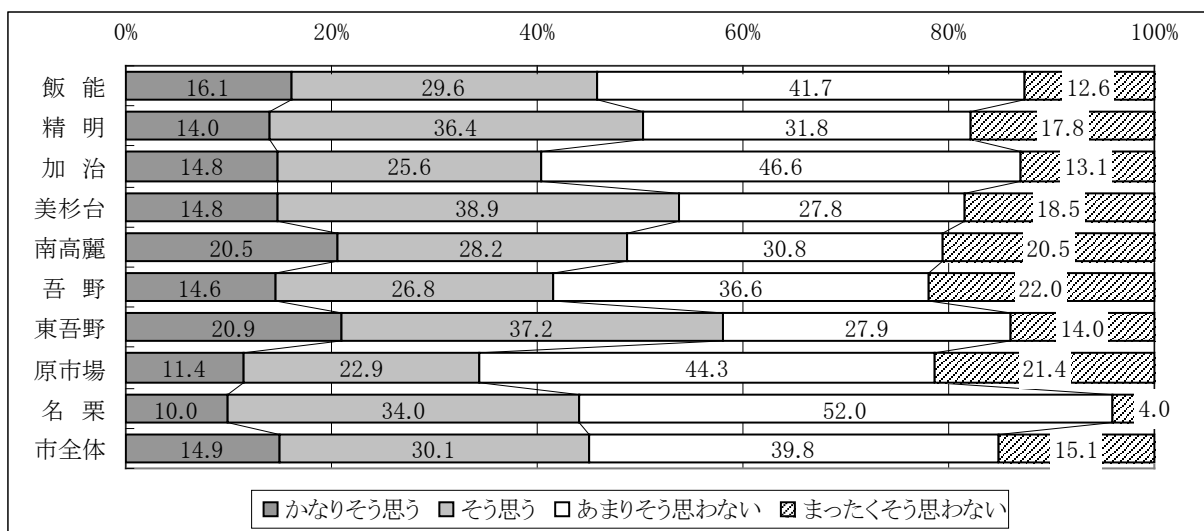
震災後の風評などによる「自身の買物行動への影響」の市全体と地区別の状況は、図表 3-51 のとおりです。市全体では、「影響された」との回答は、「そう思う」30.1%と、「かなりそう思う」14.9%の両者を合わせると45.0%となっています。

一方、「あまりそう思わない」の 39.8%と、「まったくそう思わない」の 15.1%を合わせると「風評への影響はなかったとする回答」は 54.9%と過半数を超えています。

地区別では、「影響された」が市平均 45.0%より多いのは、東吾野地区 58.1%、美杉台地区 53.7%、精明地区 50.4%、南高麗地区 48.7%です。

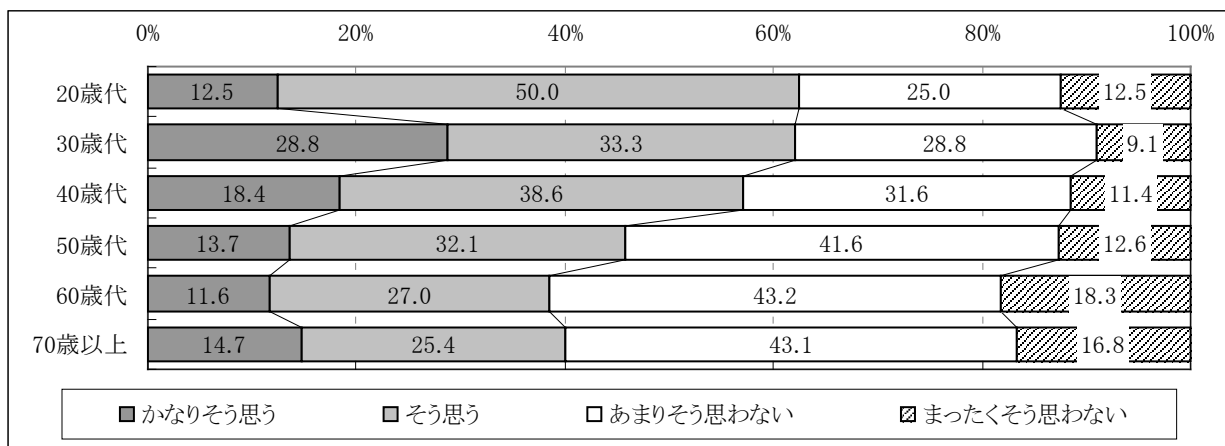
一方、「影響されなかった」が市平均 54.9%より多いのは、原市場地区 65.7%、加治地区 59.7%、吾野地区 58.6%となっています。

図表 3-51 地域別の東日本大震災後の買物行動について風評などの影響 (N=825、単位%)



年代別の風評の影響は、図表 3-52 のとおりです。「かなりそう思う」と「そう思う」を合わせた「影響された」比率は、20 歳代 62.5%、30 歳代 62.1%、40 歳代 57.0% となっており、若い世代の方が他の年代よりも高くなっています。逆に、「あまりそう思わない」+「まったくそう思わない」を合わせた「影響されなかった」比率では、60 歳代と 70 歳以上は 60%前後となっています。

図表 3-52 年代別の買物行動への風評の影響 (単位:%)



(2) 東日本大震災後の買物行動の変化

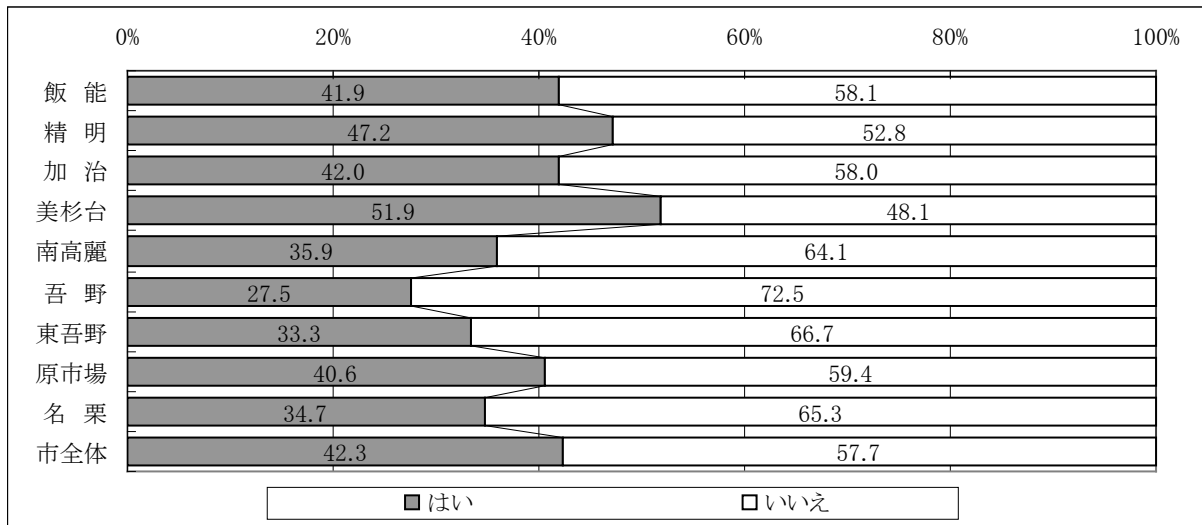
① 今まで以上に備蓄に心がけるようになった

「東日本大震災以後、自身の買物行動は変化しましたか」の回答のうち、「今まで以上に、食料品や日用品の備蓄を心がけるようになった」の市全体および地区別の状況は、図表 3-53 のとおりです。

市全体では、「はい」が 42.3%、「いいえ」は 57.7%で、備蓄を心がけるようになった人は全体の 4 割強という結果となっています。

地区別では、備蓄を心がけるようになった割合は、美杉台地区の 51.9%と精明地区の 47.2%が市平均の 42.3%を上回っており、吾野地区は 27.5%で最も低くなっています。

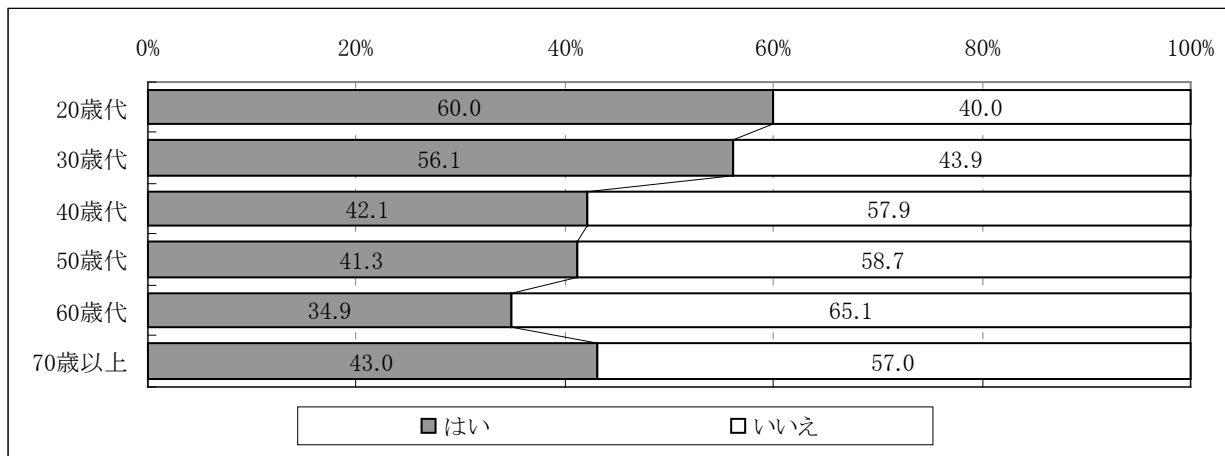
図表 3-53 食料品や日用雑貨の備蓄を心がけるようになった(地区別) (N=811、単位:%)



年代別の状況は、図表 3-54 のとおりです。

「備蓄を心がけるようになった」は、20 歳代の 60.0%と最も高く、次いで 30 歳代の 56.1%が平均を超えています。60 歳代は 34.9%と最も低くなっています。

図表 3-54 食料品や日用雑貨の備蓄を心がけるようになった(年代別) (単位:%)



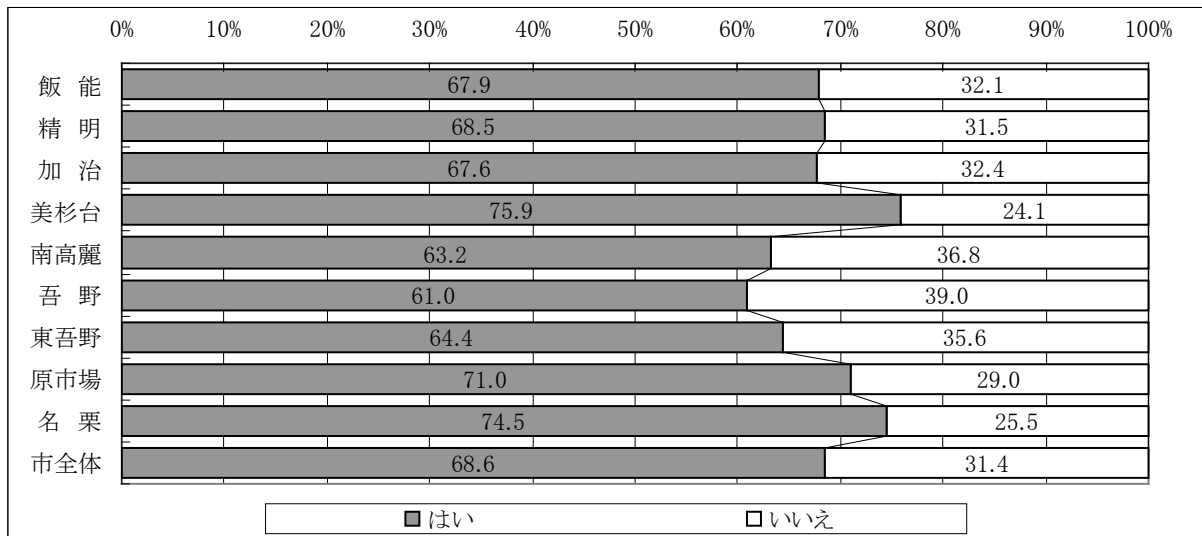
② 今までより防災意識が高くなった

震災後「今まで以上に防災意識が高くなったか」の市全体および地区別の状況は、図表 3-55 のとおりです。市全体では 68.6%が「防災意識が高くなった」としており、大きな変化といえます。

地区別では、美杉台地区が最も高く 75.9%、名栗地区 74.5%、原市場地区 71.0%と、他地区より高くなっていますが、吾野地区は 61.0%と低くなっています。

図表 3-55 防災意識(事前の備えや災害時の対応)が高くなった(地区別)

(N=809、単位:%)



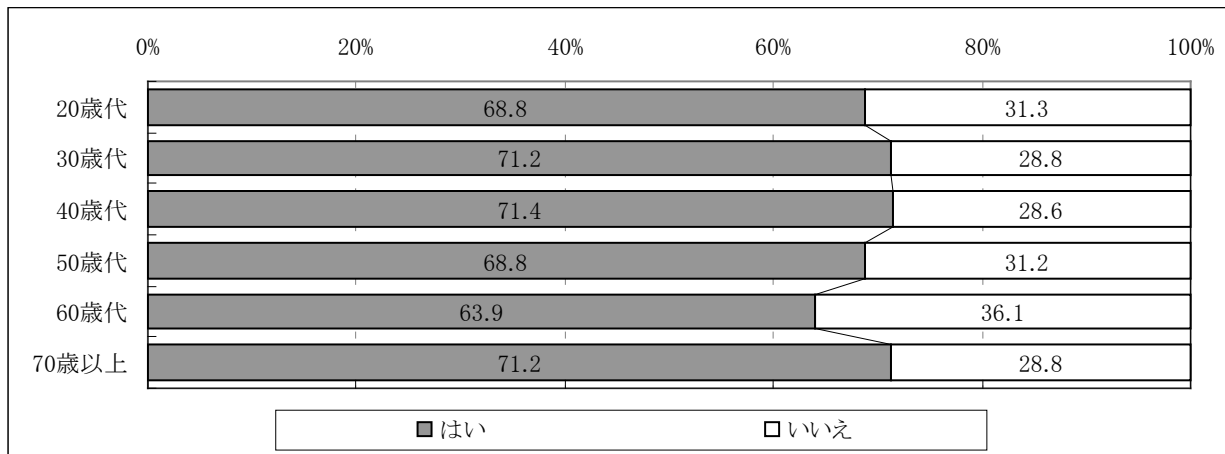
年代別の状況は、図表 3-56 のとおりです。

防災意識が高いのは、40 歳代が 71.4%、70 歳以上と 30 歳代が 71.2%となっています。

一方、60 歳代は 63.9%と最も低くなっています。

図表 3-56 防災意識(事前の備えや災害時の対応)が高くなった(年代別)

(単位:%)



(3)東日本大震災後の食品の安全性への意識の変化

「東日本大震災後、食品の安全性について意識するようになったか」についての市全体および地区別の状況は、図表 3-57 のとおりです。

市全体では、「かなり意識するようになった」は 22.9%、「やや意識するようになった」は 44.2%で、両者を合わせた「意識するようになった」の比率は、67.1%にのぼっています。

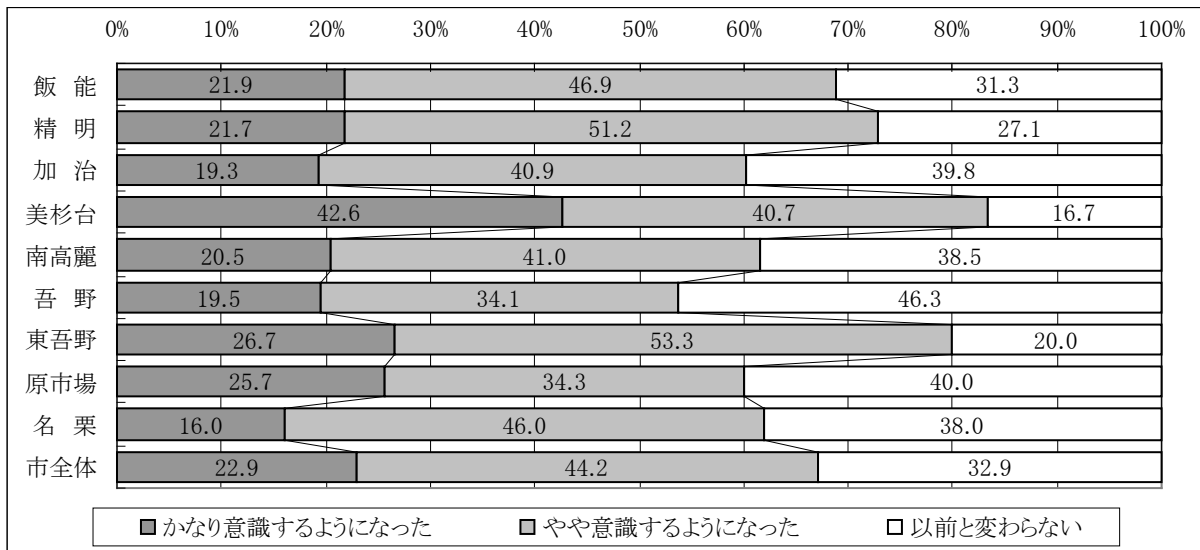
一方、「以前と変わらない」は 32.9%となっています。

地区別の「意識するようになった」(「かなり意識するようになった」+「やや意識するようになった」)の比率は、美杉台地区が 83.3%と最も高く、東吾野地区 80.0%、精明地区 72.9%の順となっています。

「以前と変わらない」は、吾野地区が 46.3%であり、他の地区より高くなっています。

図表 3-57 東日本大震災後の食品の安全意識(市全体・地区別)

(N=828、単位:%)

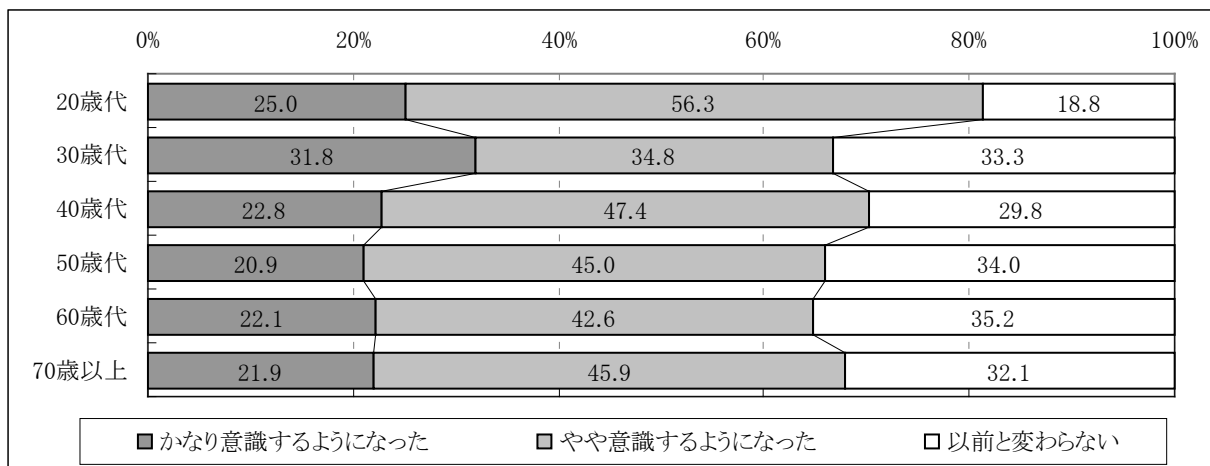


年代別状況は、図表 3-58 のとおりです。

「安全性を意識するようになった」(「かなり意識するようになった」+「やや意識するようになった」)の比率は、20歳代が81.3%で最も高く、30歳代以上では年代別に大きな差はみられません。

図表 3-58 年代別の東日本大震災後の食品安全意識

(単位:%)



4. 飯能市内の観光地などについて

(1) お勧めしたい飯能市内の観光地やイベント

外部の人にお勧めしたい市内の観光地やイベントの各分野について聞いた結果は、図表3-59のとおりです。

10の分野のなかで、856人の回答者から300人を超える多くの支持が受けたのは、「⑤川遊び、キャンプ」の383人名(44.7%)が最多で、次いで「①ハイキング」362人、「②イベント」336人となっています。

逆に、最も少なかった分野は、「⑩その他」を除くと、「⑥エコツーリズム」の110人でした。

分野別には、次のとおりとなっています。

- ①「ハイキング」は、天覧山が最も多く118人(32.6%)で、次いで多峯主山、棒ノ折山(棒ノ嶺)、宮沢湖、名栗・名栗湖・名栗ダム、美杉台・あさひ山公園、顔振峠の順となっています。
- ②「イベント」は飯能まつりが196人(58.3%)で突出して多く、ソーデーマーチは84人(25.0%)です。
- ③「寺社仏閣」は能仁寺が108人(43.9%)と最も多くなっています。
- ④「温泉」は「名栗温泉・さわらびの湯」が119人(44.4%)、「宮沢湖温泉・喜楽里」が118人(44.0%)が2大温泉となっています。
- ⑤「川遊び、キャンプ」は飯能河原が192人(50.1%)で50%を超えています。名栗・名栗川・名栗湖108人(28.2%)です。
- ⑥「エコツーリズム」は回答者数が最少で、かつ回答に「ソーデーマーチ」が27人含まれているのでこれを除くと、最多は「お散歩マーケット・南高麗エコツーリズム」で22人(20.0%)でした。
- ⑦「グルメ(飲食店)」は多種類の回答中、「B級グルメ 飯能すいーとん」が30人(15.7%)で最多です。
- ⑧「名産品」は四里餅95人(42.6%)、西川材34人(15.2%)、飯能味噌付けまんじゅう26人(11.7%)の順です。
- ⑨「みやげ品」は四里餅が153人(65.4%)と圧倒的に多くなっています。
- ⑩「その他」は少ないものの、あけぼの子ども森公園12人(20.7%)があげられています。

図表3-59 すすめたい飯能市内の観光地やイベント(3人以上が推奨しているところ)(複数回答)

①ハイキング	人	%	②イベント	人	%	③寺社仏閣	人	%
天覧山	118	32.6	飯能まつり	196	58.3	能仁寺	108	43.9
多峯主山	37	10.2	ソーデーマーチ	84	25.0	竹寺	43	17.5
棒ノ折山(棒ノ嶺)	27	7.5	飯能納涼大会・花火	12	3.6	子の権現	26	10.6
宮沢湖	26	7.2	飯能ひな飾り展	9	2.7	鳥居観音	14	5.7
名栗、名栗湖、名栗ダム	25	6.9	飯能夏祭り	8	2.4	東郷神社・御嶽神社	12	4.9
美杉台、あさひ山公園	24	6.6	下名栗の獅子舞・名栗のイベント	8	2.4	高山不動尊	10	4.1
顔振峠	21	5.8	吾野宿まつり	5	1.5	智観寺	8	3.3
伊豆ヶ岳	14	3.9	はんのう生活祭	5	1.5	浄心寺	5	2.0
吾野	13	3.6	奥むさし駅伝競走大会	4	1.2	観音寺	4	1.6
子の権現	8	2.2	東郷公園もみじまつり	4	1.2	高麗神社	4	1.6
正丸峠	7	1.9	飯能さくらまつり	3	0.9	福德寺あみだ堂	3	1.2
飯能河原	6	1.7	諏訪神社大祭	3	0.9	楞巖寺	3	1.2
竹寺	6	1.7						
阿須、阿須の森	6	1.7						
蔵山	6	1.7						
ユガテ	5	1.4						
奥むさし遊歩道	5	1.4						
日和田山	3	0.8						
南高麗	3	0.8						
中山の里山	3	0.8						
七国峠	3	0.8						
高山不動尊	3	0.8						
回答者計	362	100	回答者計	336	100	回答者計	246	100

④温泉	人	%	⑤川遊び、キャンプ	人	%	⑥エコツーリズム	人	%
名栗温泉、さわらびの湯	119	44.4	飯能河原	192	50.1	お散歩マーケット・南高麗	22	20.0
宮沢湖温泉、喜楽里	118	44.0	名栗・名栗川・名栗湖	108	28.2	農業体験、農家民宿	9	8.2
大松閣	25	9.3	吾妻峡	14	3.7	エコツーリズム	9	8.2
奥むさしあじさい館	8	3.0	高麗川	11	2.9	名栗ウォーキング	8	7.3
			大河原	7	1.8	西川材体験学習	3	2.7
			阿須河川広場	6	1.6	(ツデーマーチ)	(27)	(24.5)
			入間川	4	1.0			
			さつき	4	1.0			
			大鳩園キャンプ場	4	1.0			
			かたくりの郷	3	0.8			
			ケニーズキャンプ場	3	0.8			
回答者計	268	100	回答者計	383	100	回答者計	110	100

⑦グルメ(飲食店)	人	%	⑧名産品	人	%	⑨みやげ品	人	%
B級グルメ 飯能すいとん	30	15.7	四里餅	95	42.6	四里餅	153	65.4
うどん屋	12	6.3	西川材	34	15.2	地酒(天覧山、名栗川)	13	5.6
キッチンHAMA	12	6.3	飯能味噌付けまんじゅう	26	11.7	狭山茶	13	5.6
うめそば 竹むら	10	5.2	狭山茶	14	6.3	西川材木製品	12	5.1
そば屋	9	4.7	地酒(天覧山など)	13	5.8	名栗まんじゅう	10	4.3
古久や(こくや)	8	4.2	飯能焼	14	6.3	東郷せんべい	6	2.6
生活の木薬香草園	8	4.2	名栗まんじゅう	10	4.5	飯能焼	6	2.6
もりのたね	7	3.7	飯能すいとん	9	4.0	かこや	4	1.7
蜻蛉亭	6	3.1	げどう	4	1.8	そば(茶そば、献上そば)	4	1.7
浅見茶屋	5	2.6	のらぼう	3	1.3	げどう	3	1.3
HOT POT	5	2.6	ルバーブジャム	3	1.3			
ラ・ノーラ	4	2.1	回答者計	223	100	回答者計	234	100
イーズパッション	3	1.6						
住田屋	3	1.6						
徳樹庵	3	1.6						
畑屋	3	1.6						
フィオレット	3	1.6						
やなぎ	3	1.6						
回答者計	191	100						

⑩その他	人	%
あけぼの子どもの森公園	12	20.7
ホテル	3	5.2
自然の景観	3	5.2
回答者計	58	100

(2) 観光地で特に力を入れたらよい分野

上記の分野のうち、特に力を入れたらよいと思う分野を聞いた結果は、図表 3-60 のとおりです。

市全体では、「ハイキング」が最も多く 25.7%、次いで「川遊び、キャンプ」で 18.9%、「名産品・みやげ品開発」14.5%、「イベント」13.0%でした。

地区別には、上位 2 位までは次のようになっています。

飯能地区は、「ハイキング」と「川遊び、キャンプ」です。

精明地区は、「ハイキング」と「イベント」です。

加治地区は、「ハイキング」と「川遊び、キャンプ」です。

美杉台地区は、「ハイキング」と「川遊び、キャンプ」・「エコツーリズム」・「名産品・みやげ品開発」です。

南高麗地区は、「川遊び、キャンプ」、「ハイキング」・「温泉」です。

吾野地区は、「ハイキング」、「グルメ」です。

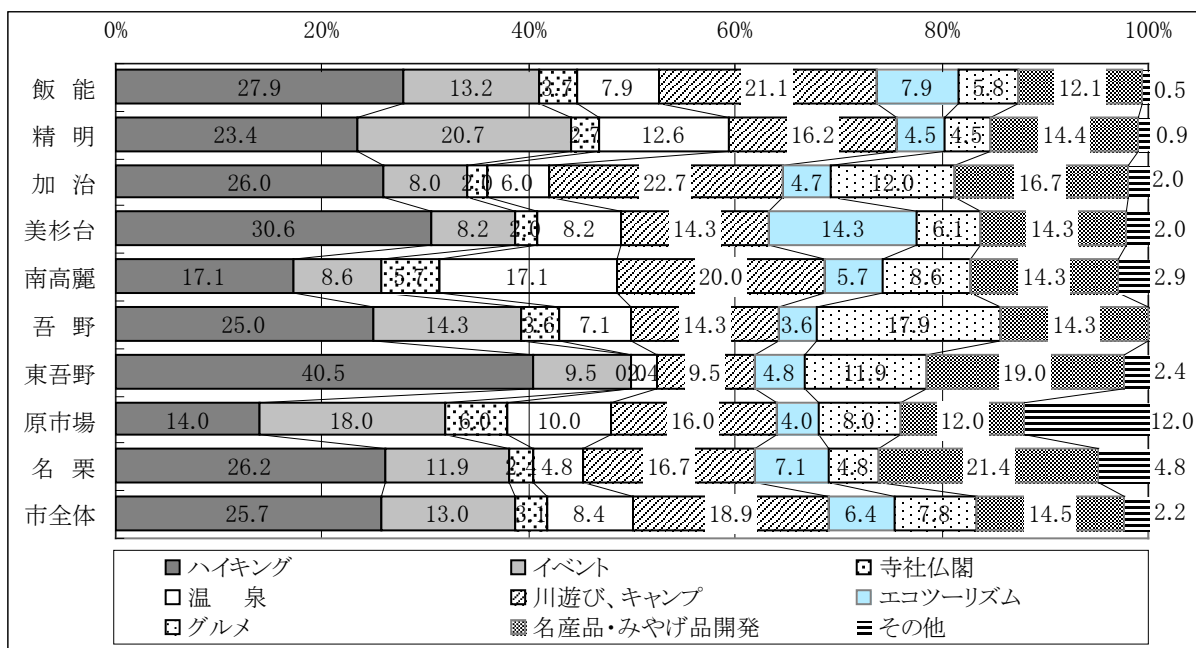
東吾野地区は、「ハイキング」が 40.5%と非常に高く、次いで「名産品・みやげ品開発」となっています。

原市場地区は、「イベント」、「川遊び、キャンプ」です。

名栗地区は、「ハイキング」一番多く、次いで「名産品・みやげ品の開発」が続いています。

図表 3-60 観光地で特に力を入れたらよい分野

(N=697、単位%)



年代別の結果は、図表 3-61 のとおりです。

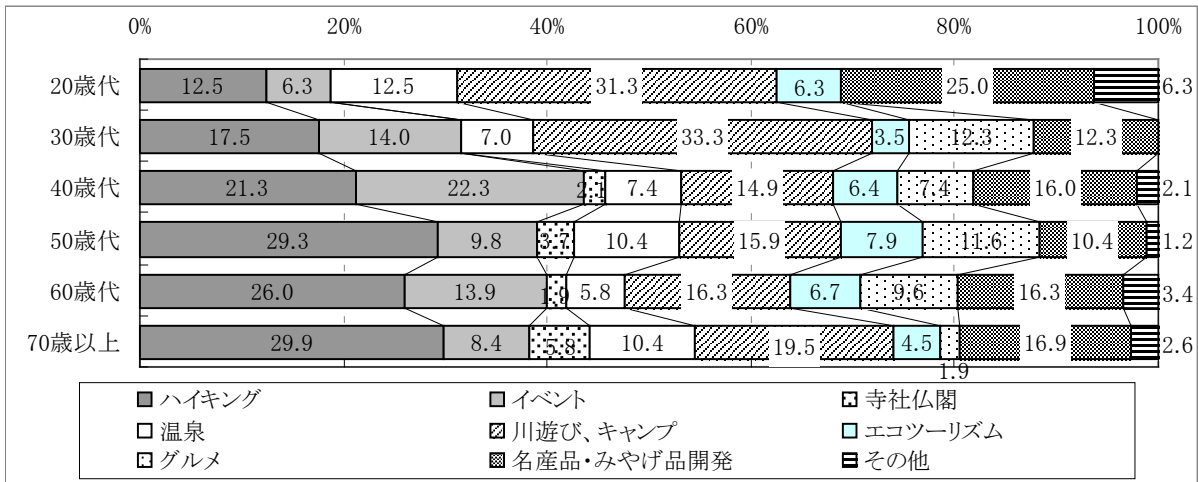
「ハイキング」は 20 歳代が少なく、ほぼ年代が上がるにつれて割合が増加しています。

一方、「川遊び、キャンプ」は 20 歳代と 30 歳代で割合が大きくなっています。

20 歳代は「名産品・みやげ品の開発」も大きな割合を示しています。

図表 3-61 年代別の観光地で特に力を入れたらよい分野

(単位%)



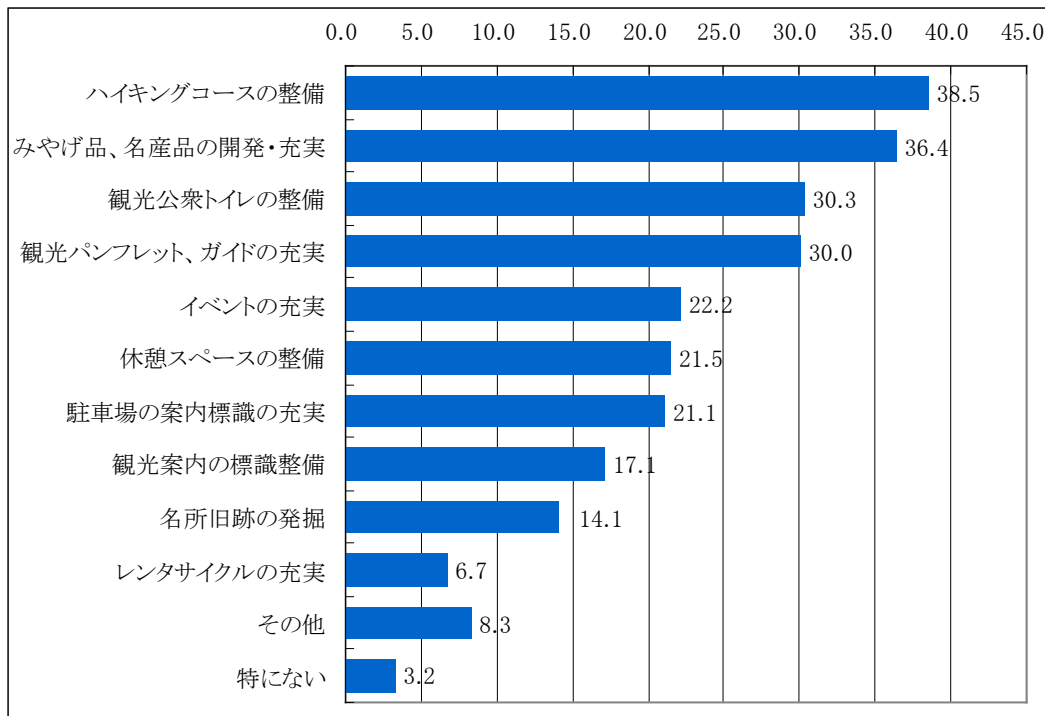
(3) 観光都市を目指す場合、今後整備・充実すべきもの

飯能市が観光都市を目指す場合に今後整備・充実すべきものを聞いた結果は、図表 3-62 のとおりです。

市全体では、「ハイキングコースの整備」が最も多く 38.5%、次いで「みやげ品・名産品の開発・充実」36.4%、「観光公衆トイレの整備」30.3%、「観光パンフレット、ガイドの充実」30.0%の順となっています。

図表 3-62 観光都市を目指す場合、今後整備・充実すべきもの

(N=690、単位%)



地区別の結果は、図表 3-63 のとおりです。

地区別には「ハイキングコースの整備」と「みやげ品、名産品の開発・充実」が上位に来ており、「観光公衆トイレの整備」、「観光パンフレット、ガイドの充実」のどちらかが、次に続く地区が多くなっています。

「ハイキングコースの整備」が1位の地区は、飯能、精明、美杉台、名栗の各地区です。飯能、精明、美杉台といったまちなかにある地区(まちなか地区)と名栗地区であり、名栗は西武沿線に比べると未整備コースがあるとみられます。

「みやげ品、名産品の開発・充実」が1位の地区は、精明、加治、吾野、東吾野であり、吾野、東吾野地区は、ハイキングコースに来た観光客が帰りに買うみやげ物の必要性を感じていることがわかります。

「観光公衆トイレの整備」が1位の地区は、南高麗、原市場地区であり、観光公衆トイレが未整備な地区であることがわかります。

図表 3-63 観光都市を目指す場合、今後整備・充実すべきもの

(単位%)

整備・充実を要するもの	飯能	精明	加治	美杉台	南高麗	吾野	東吾野	原市場	名栗	市全体
ハイキングコースの整備	①40.0	①43.0	②33.7	①51.9	27.0	②40.6	③38.1	24.2	①53.3	①38.5
みやげ品、名産品の開発・充実	②34.6	①43.0	①35.0	26.9	②32.4	①46.9	①52.4	②33.9	②35.6	②36.4
観光公衆トイレの整備	27.3	24.0	30.7	③34.6	①43.2	③37.5	②40.5	①40.3	③24.4	③30.3
観光パンフレット、ガイドの充実	③30.7	③32.2	③33.1	②36.5	③29.7	18.8	26.2	17.7	22.2	30.0
イベントの充実	24.9	26.4	21.5	17.3	13.5	12.5	9.5	21.0	③24.4	22.2
休憩スペースの整備	15.6	22.3	26.4	28.8	27.0	21.9	26.2	17.7	17.8	21.5
駐車場の案内標識の充実	22.0	19.0	19.6	17.3	24.3	18.8	14.3	③32.3	17.8	21.1
観光案内の標識整備	16.1	13.2	19.6	19.2	8.1	15.6	14.3	24.2	17.8	17.1
名所旧跡の発掘	11.7	11.6	14.7	15.4	16.2	15.6	16.7	17.7	24.4	14.1
レンタサイクルの充実	3.9	9.1	10.4	3.8	8.1	6.3	2.4	4.8	6.7	6.7
その他	8.3	5.0	8.0	13.5	10.8	3.1	2.4	11.3	15.6	8.3
特になし	4.4	2.5	1.2	1.9	5.4	6.3	4.8	6.5	0.0	3.2

(4) 観光客を飯能市に呼び込むことができる観光施設・イベント案

観光客を飯能市に呼び込むことができる観光施設・イベントについて聞いた結果は、図表 3-64 のとおりです。この表は、自由回答での回答を、キーワードで分類してみたものです。

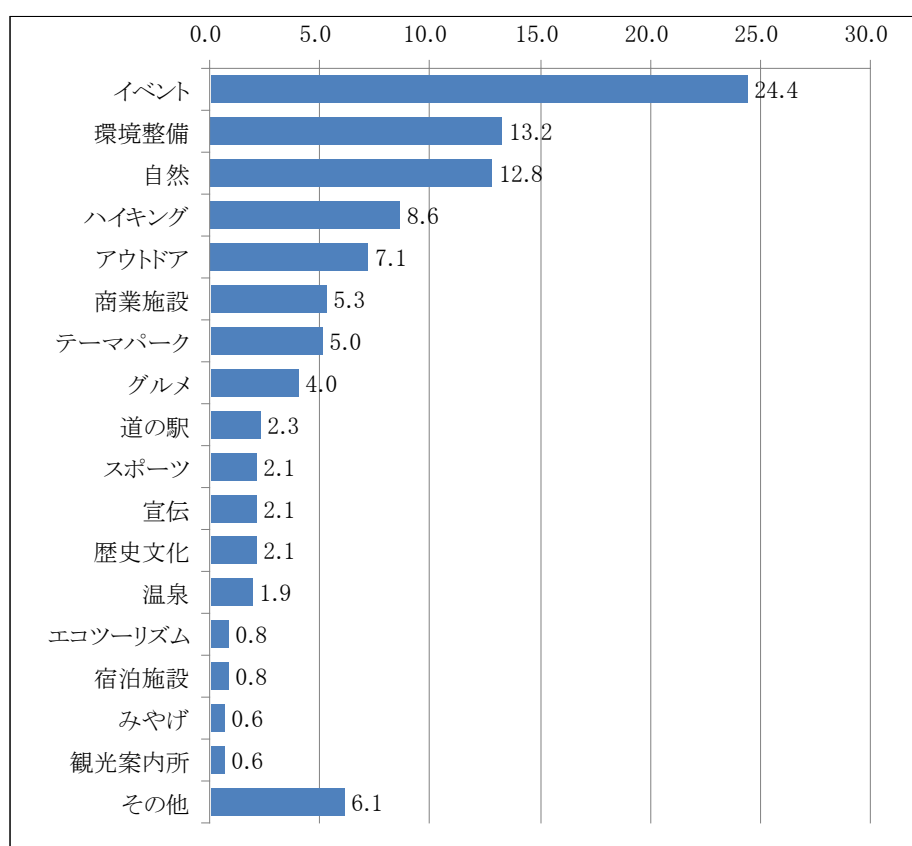
回答者は 476 人で、回答率は 55.7%(無回答者割合は 44.3%)でした。

市全体では、「イベント」が最も多く 24.4%、次いで「自然」12.8%、「環境整備」12.8%、「ハイキング」8.6%、「アウトドア」7.1%の順となっています。

飯能市は、現在多くのイベントを行って観光客を呼び込んでいますが、市民は更に充実、拡大したイベントを望んでいることが分かります。

市民の観光に対する意見は、多岐にわたり 18 項目に分類できましたが、上位 3 項目でほぼ 50%を占めています。

図表 3-64 観光都市を目指す場合、今後整備・充実すべきもの (N=476、単位%)



年代別に、観光客を飯能市に呼び込むことができる観光施設・イベントについてまとめた結果は、図表 3-65 のとおりです。

全体の無回答者の割合は 44.3%で、50 歳代と 60 歳代が平均的な回答率です。30 歳代、40 歳代の回答率は、平均値に比べてかなり高く、関心の高さを示しています。

年齢別にみますと、20 歳代を除く他の年代はイベントが最も多くなっています。

次いで自然、環境が多くなっていますが、20 歳代と 30 歳代はアウトドアが多くなっています。

16 項目以上の最も多い項目を挙げたのは、50 歳代でした。

図表 3-65 年代別にみた観光都市を目指す場合、今後整備・充実すべきもの

(単位%)

20歳代		30歳代		40歳代		50歳代		60歳代		70歳以上	
アウトドア	23.5	イベント	25.4	イベント	17.4	イベント	11.3	イベント	13.9	イベント	8.9
イベント	17.6	アウトドア	10.4	自然	8.3	自然	8.2	自然	10.4	環境整備	8.9
歴史文化	5.9	ハイキング	6.0	環境整備	7.4	環境整備	7.2	環境整備	7.2	ハイキング	4.4
環境整備	5.9	商業施設	6.0	ハイキング	6.6	アウトドア	4.6	ハイキング	4.8	自然	3.4
温泉	5.9	スポーツ	4.5	アウトドア	5.0	テーマパーク	4.6	商業施設	3.2	テーマパーク	3.0
無回答	41.2	環境整備	4.5	グルメ	4.1	ハイキング	4.1	アウトドア	2.8	グルメ	2.0
		みやげ	3.0	スポーツ	4.1	商業施設	3.6	テーマパーク	2.8	温泉	2.0
		自然	3.0	エコツーリズム	1.7	グルメ	3.1	宣伝	2.0	商業施設	2.0
		歴史文化	3.0	テーマパーク	1.7	道の駅	1.5	グルメ	1.6	道の駅	1.5
		温泉	1.5	商業施設	1.7	エコツーリズム	1.0	歴史文化	1.2	観光案内所	1.0
		道の駅	1.5	宣伝	1.7	スポーツ	1.0	道の駅	0.8	宿泊施設	1.0
		無回答	31.3	道の駅	1.7	温泉	1.0	みやげ	0.4	宣伝	1.0
				温泉	0.8	観光案内所	0.5	宿泊施設	0.4	歴史文化	1.0
				歴史文化	0.8	宿泊施設	0.5	その他	4.4	アウトドア	0.5
				その他	3.3	宣伝	0.5	無回答	44.2	その他	3.9
				無回答	33.9	歴史文化	0.5			無回答	55.7
						その他	3.1				
						無回答	43.6				
回答者数	17	回答者数	67	回答者数	121	回答者数	195	回答者数	251	回答者数	203

以下は、年代別の分野別飯能市に呼び込むことができる観光施設・イベントの提案です。

1) イベント案

①20歳代

- ・ムーミン谷の所でイベント ムーミンのキャラクターの石とか置いたりするなど
- ・飯能祭りなどのイベントを盛大にする
- ・家族で参加するようなもの

②30歳代

- ・B級グルメなどを増やす(お祭りで)
- ・お花見(桜)
- ・バラ園をつくる
- ・お花 フリマなど 朝市
- ・有名人のコンサート、トークショー、スタンプラリー、若い人が集まるようなコンサート
- ・ツアーリーダーやエコツーリズムの更なる充実
- ・ゆるキャラなどネット(オタク 秋葉原 コスプレイヤー)などが飯能にしかないものを伝える
- ・子どもでも楽しめるイベントや駅ビルでの催し物など
- ・子ども向けのイベント、キッズダンスコンテスト
- ・市民会館や丸広の屋上(野外)等でアーティストやお笑い芸人を呼んで(定期的)に面白いイベントをやる
- ・「お見合いパーティー」主催
- ・ゴルフイベント ハイキングイベント
- ・農業体験
- ・名栗の星観察
- ・緑が多いのでそれをいかしたイベント

③40歳代

- ・1自然(山・川・森林)2文化(寺社・古民家・祭礼)3交流(人とのふれあい)→古民家などとその周辺環境を活用した施設、イベント
- ・おもしろいイベント(力自慢や、大食い、木を早く切る、カラオケ、ダンスコンテスト、大なわとび、など)をやる

- ・お祭り、川遊び、花火大会
- ・花、植物園
- ・ツーデーマーチ。子供達が遊べる施設(キッズニアとか)の充実
- ・プチツーデーマーチ(飯能の名所をコースに入れて散策)・温泉街
- ・ハイキング 自然注力したイベント
- ・スポーツのイベント
- ・ホテルを増やして、ホテル祭りをする
- ・ミュージックフェスティバルの開催
- ・野外コンサート
- ・花火大会の打ち上げ花火の本数を、2～10倍にする
- ・観光客、地元住民、行政、鉄道会社がひとつの目標に向かってコラボし、それぞれメリットが出るようなイベント企画
- ・気軽に充実した散策ができるハイキングコースにパワースポットや名物・歴史・グルメなどがあるイメージ
- ・獅子舞を利用した、イベント
- ・西武線を利用した、駅ごとのカラーの異なる特色を持たせたイベントなど
- ・宮沢湖で大規模な流しそうめん。各温泉と提携して入浴割引付き、貸農地にして週末ファームツアー
- ・飯能野菜のブランド化 スイーツ作り
- ・田んぼアートとか目玉になるイベントを行う
- ・日曜などに駅から日帰りツアー(駅→寺での茶会手ぶらバーベキュー、温泉→買い物) ワンボックスカー販売の料理の店を1ヶ所に集めるイベントなど
- ・飯能祭(夏、秋)、文化的な家屋、旧跡

④50 歳代

- ・(マチコン)川遊び、キャンプや、ハイキングエコツーリズムなどと組み合わせでは
- ・市民会館を大きくしてもっと色んな人のコンサートを行う
- ・飯能の自然、伝統芸能を守るため環境を整備する。キャンプ場の充実、川原でのイベント、寺社仏閣でのクラシックコンサート
- ・ツーデーマーチは飯能の歩きやすい道を活かして大変良い
- ・ツーデーマーチをもっと魅力的なものにする。川遊び、キャンプ場の充実
- ・ツーデーマーチ等の自然相手のイベント・川遊び等の設備(有料化して)を整備
- ・阿須公園近辺はとても整備されている感じがします。もう少し広く整備して色んなイベントを催す
- ・今ある自然を大切にできるようなイベント。(都心から近いという立地を活かしたい)ハイキング、グルメツアー、温泉など健康いやし系の特色を出したい
- ・獅子舞や神楽の発展はどうか? 沢山の地区で色々な舞があり一同に集めてイベントにしても良いのでは
- ・自然が豊かな場所なので、自然の動物とふれあうイベント。ホテル、川にやって来る水鳥の観察会とか
- ・障害者、高齢者の方々に沢山来てもらえるようなイベントを行う。今行なわれているイベントに、市内の手話サークル、ガイドペルパーの皆さんに、協力してもらおう。点字の案内図、車いすの人があふれる通り
- ・川での金魚すくい。(無料でなく有料で)
- ・定期的に行なわれる、市(いち)のようなこと。産直市とか、陶器市とか
- ・飯能～秩父間学生駅伝の主催・飯能、日高VSソウル姉妹都市・飯能映画村
- ・飯能つつじとあじさいをたくさん植えて5月にはつつじの街、6月にはあじさいの街として「つつじ祭り」と「あじさい祭り」を盛大に行う
- ・飯能まつりをもっと盛大に
- ・緑と清流の街とうたっているので、自然をテーマにしたイベントや環境作りが大切 自然を大切に思っている人や、自然とふれあうことが好きな人が来たいと思う、街作り ツーデーマーチなど春だけでなく秋にもやってみる等

⑤60 歳代

- ・祭りの充実
- ・桜まつりのように期間の長いイベント たとえば飯能まつりを春と秋に行う
- ・観光よりはイベントの拡充の方が良いのでは…ツーデーマーチは定着しつつあり、この種の柱を確立すべき
- ・ツーデーマーチなど 自然をいかしたもの
- ・ツーデーマーチに参加して宮沢湖、巾着田の20Kを歩きました。コース的にとてもよい。途中にちょっとした食べ物を売る店とか グルメなレストランとかがあると良い
- ・ツーデーマーチのような大勢の参加者から、更に拡大できるようなものができれば。名栗方面は手つかずだと思う
- ・飯能祭り、花火大会、ウォークラリーだけでなく魅力あるイベント及び企画が必要 リピートで参加出来るイベント
- ・飯能祭りでもそうであるがすべて中途半端である。更なる宣伝、アピールする必要がある。秩父地区のアピール性が非常に良く目に入る。大型動物園、花のある大型公園等で集客力を高めるこれというものが無い。緑と水だけではダメ
- ・飯能祭り(よさこいおどり等) 四国のあわ踊りみたいに観光客も参加出来楽しめるもの
- ・例:岐阜県郡上八幡町の盆おどり(1ヶ月間)、ブラジルのサンバ踊り大会などの楽しいもの
- ・全国物産展、夏祭りには阿波踊り・ヨサコイ等の大々的な催し
- ・山、川を利用したイベント
- ・清流に関するイベント
- ・食の祭典
- ・最近では各家の庭で、花がきれいに手入れされて咲いているので、一番すてきだった庭をさめてもらうツアーなど
- ・花が一年中ある場所を作ってイベントをする
- ・スケート場(冬)、野外演奏会、花火
- ・森林文化都市って何をしていますか? →例えば森案内を養成し、活用する。例えば武州一揆にまつわる話、食べ物、人物等調べ イベント
- ・お祭りを中心にしたイベントがあるが、鳴り物画少ない。お囃子以外に、ジャズライブとか、にぎやかさがほしい
- ・2つの駅周辺を活性化させる事。イベントは、踊り、唄、綱引き大会など毎年同じ時に開催できるもので、グループ参加は、1つのグループが10名以上などとする
- ・隠れた史跡も多く、それ等を結んだ様々なニーズに応じた、登山コース、歴史散歩コースの他、清流での川遊び、ホテル観賞、動植物観察等、家族連れも楽しめる様々な活動が考えられる
- ・ひなまつりのイベントや、季節ごとのイベントは、ハイキングにきた方々のレポートをうながします。いろいろなハイキングコースを描いた地図と、ひとつひとつクリアした記録が残せるようにしたパンフレットを作るなど
- ・回遊できる観光施設(市街地)の設定。観光バスで数ヶ所見学できるルートの設定(例: 寺社、工場、建築物 季節の花、ロケ地、飯能戦争をめぐるツアー、産業をめぐるツアー、織物、林業、陶芸、句碑、酒蔵めぐりなど)、放置自転車をリサイクルして、観光客、市民に無料で貸出す(レンタサイクルタウン)
- ・仙台の七夕の様に商店街一丸となって飾つけをして、狭山の七夕の祭の日とかぶらない日にやる
- ・地形を利用したイベント。川を利用開発コンクリートは使用せず 星がきれいなものを利用なぜしない
- ・電車で県外の人を呼べる、イベント 例:西武鉄道のイベント
- ・豊かな自然を体験・共感できる「五感ツアー」を都会の小中学校、企業などにもっと伝えてほしい。忙しく、自然の少ない都会では五感を一日のうちで意識することが少な過ぎるのではないかと思う
- ・野外コンサート開場+エコ運動+グルメ(自然の野菜など)の立食
- ・老若男女だれでもが共感する行事
- ・どんなイベントも定期的に開催し定着させること。(単発でなく、継続的に実施すること(高萩市支援の物産販売等))
- ・市民全員の参加イベント!“飯能祭”は、旧来から飯能に住んでいる人の祭り。新しい住民が参加しづらい雰囲気!

⑥70歳以上

- ・飯能祭り 物産展
- ・飯能祭りへの市民団体等の参加

- ・飯能まつりに、他県の行事や祭り等と呼んでみてはどうかと思います(例、花笠おどり等)本物をコンパクトにして
- ・田舎の伝統ある「だし」の夜の娯楽や踊りに伝統的な活動を多く広く宣伝 観光案内図 宣伝情報を提供する案内図には、風影や魅力的な図を書いて宣伝効果を図る
- ・野外ステージ、飲食設備の充実
- ・“ひな祭”年々貧相さも感じます。駅の中から吊るしビナで、飾る位の力の入れようが、全々感じられず、ガッカリしています。やる以上は、商店街も力不足。市の力の入れようも不足
- ・専門知識のある若い人のお店を誘致し、市や市民で応援、援助したい。山紫水明と大いに宣伝し活用すること、西川材は土産にはならない、11月の祭りの発展に期待
- ・トレッキング大会など
- ・ハイキングやイベントや温泉、川遊び、キャンプ、寺社仏閣などの催し物を定期的に募集して、人を呼び少しづつ大きいサークルにして行く
- ・プロの競技、全般
- ・小動物と触れあえる所。日本のおいしい物が揃う日等
- ・単発的なイベントで無く恒久的に客が集まる様な仕組み、例えば境港市の様に地元有名人の作品を通常的に展示する。地元には現代マンガの親である「ハギオモト」さんが居られ、マンガファンが多いので考えてみては
- ・定期的にイベントをする。例えば今やっている100円店とか安売りをすればよいと思います
- ・伝統ある西川材の間伐材および廃材を利用していかだ、その他の組立て、川遊び、他にもアイデアはありそう
- ・飯能銀座通りを昔のにぎやかな通りにしてほしい

2) 自然の利活用案

①30 歳代

- ・昔からの生活を見直し復活させて、自然と日本の生活を考える体験型の観光地とする。里山の復活(木は広葉樹へと変えるべき)
- ・名栗や吾野などの豊かな自然環境を活かしたもの

②40 歳代

- ・花がいいと思います。(しばざくら)
- ・清流
- ・自然に親しむ事の楽しさを覚えてもらい、恒久的な「親しむ飯能」としての位置付け 提案:名栗に道の駅をつくり、芦ヶ久保道の駅までのトレッキング道を既存の山道を利用して継ぎ、高尾山の様な全世代が楽しめる健康コースにして全国の人に知っていただく
- ・自然を生かせるもの。ザクロ、マコモは的外れに思う
- ・自然豊かな 人の温もりのある
- ・秋の紅葉 春の新緑 (都心から近い)身近な紅葉・新緑
- ・紅葉を楽しめる木に植え直してほしい 日高のきんちゃく田のように土地所有者と市が共同して花の見どころを作してほしい
- ・自然をそのままに保存する。そのままの自然を売りにするのが、長い間リピーターの観光客を呼ぶ秘訣

③50 歳代

- ・山林が多いのもっと利用(活用)すべき
- ・自然と文化をアピールすべき。特に今ある、文化財を発掘し、そのルートを整備し、パンフ、ガイドの充実
- ・自然をもっと活かす必要あり
- ・自然を肌で感じられるスポット施設をつくる
- ・森林セラピー基地・森林セラピーロードなど、自然環境の良さを生かして森林セラピーを行えるような環境整備
- ・清流を保つ工夫をもっとする事
- ・飯能にあるのは、山や川の自然がたくさんある事、整備して四季折楽しめる施設や、日高市の巾着田の様な所を作ったり、子供達の自然学習が出来る様な場所作りなど
- ・飯能の自然を健康と結びつけるような何か?

- ・飯能は緑も多く、都心から近いので電車でも気軽に来る事が、でき、軽井沢に行くより飯能に行った方がお得と感ずるような、テニス、ゴルフ、観光、(寺社仏閣)、川遊び等リゾート型施設、飯能軽井沢の実現
- ・飯能河原、南コマのたぶの木 名栗川
- ・飯能河原でほたる観覧 一面に咲く花の施設(100万本のコスモスとか平松付近の拡大 ゆりとか、ラベンダーとかは?)
- ・美しい山や川(残念ながら汚れ始めている)を大切に、訪れた人にも知ってもらおう
- ・名栗地区ー自然・文化・それ以上に心のやすらぎ、悠々散歩等、都会にはない時の流れがある
- ・林の中の小路や、川辺の遊歩道など、のんびり散策できる場所があって、所々に素敵な喫茶店などがある。そんな市が良い。森林を売りにするべき
- ・山あり、川ありで、自然環境に恵まれていて、いいまちだと思います。都の人は都心近くの憩いの場とみているようです。自然を壊さないことが肝要だと思います
- ・天覧山を桜とつつじで昔の様子にもどす努力

④60 歳代

- ・一つの山をサクラならサクラ モミジならモミジで大がかりに作りあげる
- ・花、たべもの。山がいっぱいあるので自然を利用した物をかんがえます
- ・花に特化する。今私はあんずの木を植えています。10年後に数万本にしようと思っています。あんずは花がきれいで実がおいしいです 花と実で年に2回人が集まれる
- ・花を楽しめる広い場所
- ・花を目玉にした施設(ex日高市の曼珠沙華)桜等→花見客来訪
- ・吾野方面の自然を、西武鉄道の駅よりハイキングコース又は、自然(風景)を見ながら食事が出る店(名物)が買えたり食べれる
- ・山間地域なので山や里の自然を活かす
- ・四季の花を咲かせその時々観光客を呼ぶ(日高のきんちやく田の様に)
- ・自然が沢山あるのでそれをメインに人をよびこむ
- ・自然が沢山残っているので桜の名所とか菖蒲の名所、又は蛍の名所等で都会から観光客を呼び込むのは?
- ・自然と観光を1体化した開発と整備。例えば、谷津田の名をもう少し有効に展開したらどうか?
- ・自然に恵まれた、地域の趣力を、発揮できる様々体験型観光。及び、生産物の生産、供給体制
- ・自然の中でゆっくりすごせる
- ・自然を活かしたもの。施設はいらない
- ・自然を利用して、ストレスを解消できる場所(市)にしてほしい
- ・清流の飯能、直一層の努力を願いたい。河での水遊び、魚釣り、バーベキュー等の専用地区を決めて整備する、又、川岸に将来を見すえた、樹木を植える。年間を通して、楽しめる、様な! 周遊歩道の整備
- ・飯能の自然の美をもっとアピールして人を呼び込むといいと思います
- ・飯能の場合は自然が一番なので四季の花、紅葉等で集客を図る(秩父の芝桜等の様に)
- ・飯能は、自然が多いので、自然利用できれば
- ・8割近い面積がある山の活用をコンペ等で募集しそれを具体化して行く
- ・富士山に見える展望施設の設置

⑤70 歳以上

- ・お花畑の開発 花と緑の街づくり
- ・神社仏閣をきれいに。廃屋の整理。吾野の旧道沿の整備
- ・自然、花(花木、草花)、レトロ
- ・森林浴
- ・飯能河原や、天覧山をもっとアピールして、四季おりおりの素晴らしさを…
- ・名栗湖周辺
- ・緑、太陽、川、空を守ること。人工化はやめること

3) 環境整備案

①20 歳代

- ・飯能にいったって見たいなと思わせるまちづくり

②30 歳代

- ・飯能河原でのバーベキュー。やはり車の乗り入れはした方がいい。商店街で力をあわせて材料の準備や片づけ(有料で)
- ・飯能河原に車の乗り入れを可能にすべき! あきる野市観光協会のやり方を参考に(手ぶらでバーベキュー!)
- ・日帰り温泉は、たいてい駅から離れているので、臨時マイクロバスなど、「足」を用意し、「ウォーキング、(山等)→温泉(入浴)→特産品の土産店」スムーズにまわれるようにする

③40 歳代

- ・レッドアローが飯能駅しか停車しません。吾野駅にも停車すると、池袋からのハイキングの人達も、もっと呼べる
- ・阿須(ムーミン)に駅からの送迎バス、地元野菜を売り、食事が出来れば、都内からも人が来る
- ・安全・キレイに
- ・今ある観光地、イベントを深くほり下げる
- ・自家用車で来る人の方が多いので、道路を広くしてほしい。休日のサイクリングの集団が、マナー最悪、地元の子供がキケン
- ・自然の中で遊んだ後、一日過ごせる施設
- ・乗りやすい循環バスや低料金での送迎車(バーベキューやハイキングコース買い物場所へ)
- ・川遊びをして、そのまま休憩できる(飲食サービス有)施設
- ・都心からも近いのに緑が多く川もあるので、それを活かしたプールや娯楽施設、遊園地的な公園など
- ・温水プール

④50 歳代

- ・ハイキングコースは有るがそれを生かす細い配慮がない。トイレ、休憩場所がなくコースの充実感がない
- ・河川敷の整備、川をきれいにして、ハイキングやお花見が出きる様に
- ・山あり川ありでの飯能市、その地を生かす事なり 自然の美に人工の美を
- ・川の清掃を上流域まで徹底して実施。要所に有料のゴミ捨場を設ける。パトロールを強化する。ゴミの持ち帰り徹底したいが、ポイ捨てやコンビニ等に捨てられている
- ・川原などきれいな所があるのに整備がたりない
- ・駐車場拡大
- ・町並みの充実。飯能河原は車でも行けるようにした方がよいと思う。山の方へ泊まって、自然と親しむ場所(気軽に)、里山の充実。
- ・道路の整備 ハイカー、サイクリング車が安心して通行できる道路をつくってほしい
- ・道路整備と、駐車場と、休憩スペースの整備
- ・最近飯能河原への車の乗入が禁止で徒歩でバーベキューを楽しむ人が多く、帰りにゴミを勝手にゴミ置場に捨てる人が多く清掃局も持っていかない。大変迷惑しています。シーズンだけでも市で河原のバーベキューのゴミの管理、捨場、監視員を置くべき
- ・クリーンセンター発生エネルギー利用による遊湯施設・ジム・温水プールの設置
- ・緑の中での市営プールの充実、クリーンセンターの熱を利用した温水プールができるといい
- ・今あるものをこわして、何か新しく造ったりするのではなく、最低限の整備にとどめて、訪れる人を迎えるのが良いと思います。もう、ものやイベントで人を呼ぶ時代ではない

⑤60 歳代

- ・「清流と森林の町」のキャッチフレーズを聞いた様に思いますが、それを体験できる場所が少ないし整備が充分でないと思う
- ・環境整備①自然②道路、駐車場、見るところ③「飯能河原」を中心とした地域の老化を改善し、春・夏・秋に自然を見せる。高麗「きんちゃく田」の人を飯能で止めるー飯能河原の方がきれいです
- ・多峯主山ー天覧山ー飯能河原ー能仁寺の界わいをゾーンで考える
- ・ハイカー拠点施設の開設=事務所、売店等の建物を中心に、広い駐車場(1日1台500円程度)を整備する
- ・安い宿を作る

- ・観光客を集めるなら、すぐに飯能駅のトイレを洋式のトイレにすることです。駅はその町の顔で大事なことです
- ・宮沢湖が以前にくらべ、全く用をなしていない事が非常に残念だ。整備してほしいし、何とか楽しい物に変化させてほしい
- ・銀座通りをいろいろな年齢層が集まれる(行きたくなる)ような魅力ある場とする。百円市の日でも他市からみえていましたよ
- ・自然を残しつつ、整備をして、観光客にまた来たいと思うような環境作りをする。沢山のコースを案内して、何回も来る人が増える様な日帰りには(都内、県内)最も良い距離と思います
- ・商店街を歩きながら入れる、カフェ、食堂(中が見やすいようにしておく)歩きやすい歩道
- ・川や山、緑を利用して自然を楽しむ環境、を作る。(入間川周辺緑地の整備、ムーミン谷の川をきれいにして子供が安全に遊べる所をつくる。子供用プール軽食の場所)
- ・都内の人達がドライブで立ちよった場合、見晴のよい場所近くの道路環境をよくして走りよい道を作ること
- ・入間川を利用して、家族が楽しめる、遊び場、キャンプ場など。今は、車の時代ですので、駐車場(トイレ)を多く作って、来てもらう
- ・飯能河原を起点にサイクリング道路を整備するとの情報は耳に入っています。早急に整備を進め、飯能→東京までのサイクリング道路を開通させて頂きたい。サイクルの進歩は目ざましい!
- ・狭い踏み切りと、道路整備を。それがなければ人は動けないし呼べない。安心して飯能市内を動けるようにしてほしい
- ・299号線の西武線、八高線の踏切りの問題
- ・町中を自転車歩行等自由に散歩できるように歩道・道幅を広げる。ハイキングの後の買物。車両の進入を制限、町中にトイレ設置
- ・川に添ったサイクリングロード
- ・名栗でイベントをやる時無料バスで送迎する

⑥70歳以上

- ・ハイキング、もうちょっとみやげ物に力を入れてほしい物ですね 休憩所も整備してほしい
- ・一日家族で楽しめる天覧山や、飯能河原を整備するとよいと思います
- ・稲荷町一仲町を中心とする街区に植木を増して昔の花街のイメージを近代的かつレトロに…
- ・旧花街を中心に雰囲気のある街並作り 街全体の美観、ボンボリ等
- ・観光地までの道路が特によくない 歩道が必要だ
- ・観光都市の条件は、整備された街であること。銀座街の歩道に商品がはみ出したり、ノボリを出したり、公道を私物化している店も多い。街をきれいにしましょう
- ・宮沢湖に魚をつる人は多勢いますが、昔のように子供達の遊ぶ声がない。日帰りの温泉も近くに出て、子供のための遊具等を整備すれば、にぎやかになるのでは…
- ・山を生かして計画していく 市の循環バス(最底30分に1便)の運行 ハイキングコースの充実 ①帰りに温泉・鉱泉に立ち寄れるコース②川沿いの遊歩道を2km～4km設置。③名栗のホテル鑑賞できる地域の拡大。④広いフィールドアスレチック。⑤星が観望できる施設。飯能焼をはじめとして工芸作家に土地・家屋を提供し移住してもらい、作品の展示・即売会のイベントを大きくアピール。市内めぐりのバスを走らせたなら如何でしょうか?
- ・商店街は、買物のしやすいように店造りを古民家風にして、一つの通りを落ち着いた店構えに統一すると、買物へ行って楽しい
- ・親、子で遊べる自然を生かした場所作り。宮沢湖がもう少し有意義に利用できたら
- ・川遊び、バーベキュー等の帰り[お風呂に入って帰れる様な休憩を含む。]場所があればいいし、駅までの手段が少ない
- ・駐車場がもっとあれば便利だと思う
- ・飯能駅←→東飯能駅の面のインフラ整備、その他のポイントへの人の流れを作る。個々が統一しておしゃれな街づくりをする気がないと発展はむづかしいと思います。指導機関、企画能力の問題が阻害しているのでは…
- ・飯能河原を基点に上・下流に遊歩道を整備する。最重要課題は名栗川亭と堰を市あるいは市民有志が買い戻すことだと思う。その後で、昔の東雲亭にあったようなツキノワグマとサルなど、飯能の山に生きている動物を遠足に来る子ども達に見せられるような“オリ”でも設置、運営できればいいのではないかと
- ・美杉台地区はハイキング、散歩コースにとっても良い所ですがサッカー場の公衆トイレが、洋式トイレは錠がかかって管理人に連絡して開けてもらう様ですので2個ある和式を1個洋式にして頂ければ高年齢の観光客も増えますよ!

4) ハイキングコース等の案

①30 歳代

- ・高尾山のように上級者向けも初心者も子供連れもカップルも楽しめるハイキングコース 足湯が沢山あるとよい
- ・ハイキングや山登りをもっと宣伝する。ハイキングコースなど、分かりやすく
- ・天覧山でお手軽ハイキングや、河原でキャンプ、美杉台ハーブ園など、自然をとり入れた観光。都内から1時間の利便性アピール
- ・季節の花をめぐるハイキングツアー、会場でのフリマなどの家族むけイベント

②40 歳代

- ・エコツアーリズムや自然ガイドのできるスタッフを市で養成。里山のハイキングコースが分断されているので周遊しやすいルート整備
- ・ハイキング、温泉等でリラクゼーションできる施設作り
- ・ハイキングコースの充実。お散歩マーケット、気楽に散歩感覚で歩ける食事処や休憩スペースが要所要所に。「気楽に散歩、緑の飯能」と市内を充実させる。パワースポットも大きくとりあげれば以外な宣伝になります
- ・ハイキングツアー。西武線を利用して飯能駅でパンフレットをわたし、帰って来たらポイントカードにポイントをつけ、たまったら名産品のおみやげをつける
- ・ハイキングツアーをバスで送迎ガイドさん同行付き。温泉付き。親子で参加
- ・山が多いのでハイキング！途中にいろいろなショップがあると行きやすい
- ・天覧山、朝日山、あたりから宮沢湖までの空中散歩(ロープウェイの設置)

③50 歳代

- ・自然環境が良いので、ハイキング、山登りなどの設備を充実させて売り出すと良い
- ・飯能河原～入間川沿の遊歩道の整備(ハイキングコース)
- ・飯能市の山々の、ハイキングコースの、マップの整備と、歩道の整備。遊歩道などいらない(税金を使用してつくるものでない)
- ・飯能市は自然が多くあるのが目玉です。交通も都内より1時間以内でこられます。色々なウォーキング及びハイキング道を整備し、ネットやパンフレットの配布、安宿の情報、オーストラリアや、アメリカ、ヨーロッパなど外国人を呼び寄せる、イベント、祭りの情報を海外発信する
- ・名栗川の上流に向かって歩くこと。溪流歩き。インストラクターがついて途中で茶屋を設けて休んで溪流を眺めたり(釣りもいいし)あゆの塩焼を食したり、流れの中で遊んだりのさまざまなコースがあったら楽しそう！
- ・電車で来てもらって、ちょっと、ハイキングをして、おみやげ品を買って、おしゃれなお店で、食事ができる場所があると、いい。
- ・緑と清流の自然を生かしハイキング～川遊び～温泉 家族で1泊してのんびり過ごしてもらい施設を作り関東向けのツアーを作り都会の子供達の体験学習にも利用してもらう
- ・観光しやすい環境を整える事が重要。ハイキングの遊歩道の充実と、川の水の浄化を望みます。休憩ポイントに、自然の中にマッチするお店。町全体、リゾート風になれば、週末は、飯能へ…

④60 歳代

- ・ハイキング(花がほしい)
- ・ハイキングや川原遊び等での休憩スペースを充実させ、喫茶ルーム(食事もできる)で風景等を味わえる地域をイメージ
- ・ハイキングコースの充実、交通安全。飯能市の山々や川原などのポスターを、各地域(都内、都心、県内各所)に数多くアピール
- ・自然に恵まれて都心にも近いので、日帰りのハイキング等が喜ばれていると思います
- ・自然の山林を生かし登山道をもっと整備して、熊野古道の様なハイキング道を作る。ウォーキング人口は、大変増加しています
- ・小さな子供も歩けるようなハイキングコース。道の駅のようにきれいで明るい衛生的で老人や子供が安心して使用出来るトイレ
- ・中高年のハイキング熱、山ガールのブームなど、ハイキングに対する興味が多くの人にありますが、飯能は緑に囲まれ、ハイキングコースも多く、都心から50分という地のりも良いのに、“2-days Mach”はあるが、もっとPRしてもよいのではないかな。近辺の人には知られているが、都内の人には“飯能？Where？”です。高尾山を参考にして若い人にアピールする
- ・年輩の方の軽ハイキング、野草の名前を書いておく、ゆっくり休める所を作る 所要時間を記入する
- ・飯能駅を下りて岩清水の前の下からの川ぞいを通り、道沿いに花を咲かせ清流を見ながら天覧山にむけて散歩ハイキングを楽しむように、その間におみやげ、お休み所が欲しい。岩清水のあと地をなんとか休憩所になったら良いと思う

⑤70 歳以上

- ・1、ハイキングコース 2、イベント(昼夜間実施するステージ) 3、キャンプ施設及びその場所
- ・阿須グランド、阿須河原及入間市分の桜山天望台を結んだハイキング道路の整備
- ・ハイキングコースの整備とガイドの充実、昼食は昔の古い大きな農家で手作りの日本そばとおまんじゅう等を楽しめる。その様なことも都会からの人達には楽しいと思いますが
- ・自然の多い場所にてハイキングコースの整備
- ・自然環境を利用したハイキングラリーなど
- ・川に遊歩道と各所休憩所設置上流まで
- ・飯能には観光の核がない。天覧山、能仁寺、飯能河原を観光の目玉にしてみたい

5) アウトドア活動案

①20 歳代

- ・BBQ、川遊びに特化した施設や、そこに行くまでの道のりが分かりやすく河原に着けたらいい
- ・河川が豊かなので、手ぶらで来てもバーベキューができる設備
- ・自然の中での遊び(川遊びなど)を楽しめるところ。川・木・土をいかした子どもや大人のための教室や林間学校
- ・体験型。自然を活かし、体を動かすもの

②30 歳代

- ・アウトドアブームや山ガールなどをキーワードに女性や子供むけのハイキングツアー企画。バーベキュー検定の受験地、タカラッシュというインターネットサイトがありコラボで市内全域を使ってリアル宝探しイベントをする(全国各地で行われています)
- ・オートキャンプ場の設置
- ・夏:手ぶらで来てBBQが出来る河原、キャンプ場 秋:紅葉を見ながらのハイキング
- ・河川を解放しバーベキュー施設を充実させる。キレイでオシャレなキャンプ場
- ・川遊びが出来るそばに駐車場を。川の近くにキレイなお店があるとよい
- ・都会に比べると、自然が沢山あるので、飯能ならではの、川遊び、キャンプ、バーベキュー等
- ・都内住民等を対象とした体験型、週末滞在型の観光メニューと事業者の充実 アウトドア・林業・菜園

③40 歳代

- ・キャンプ等が出来る場所と駐車場の整備
- ・バーベキューの出来る場所
- ・自然がたくさんあるのでオートキャンプ場とか、自然を生かしたレジャー施設を作る
- ・バーベキュー等での買い物は飯能でしてもらう。買い物証明があれば、駐車代が無料にしたりする
- ・自然を活かして、自然体験ができるスポットを作る
- ・飯能河原でのBBQ大会

④50 歳代

- ・自然が多い所なので川遊びやバーベキューキャンプが出来る所があると良い(飯能川原の整備)芝桜、ひがん花のように何年かかけて観光スポットを作る
- ・自然の中で楽しむことができる遊びやキャンプ等を充実させる
- ・自然を利用した施設、キャンプ場、バーベキュー、花畑、河川敷の有効利用
- ・秩父＝芝桜、日高＝まんじゅうしゃげと、すぐ言葉に出せるフラワーパークと川遊びも出来る大型リゾート地を同じ場所に作ったら良い
- ・〈川遊び、バーベキュー、レンタサイクル〉…夏〈すいとん、温泉〉…冬
- ・川遊び、キャンプ、バーベキュー
- ・名栗川に、キャンプ場、バーベキュー施設を作る

⑤60 歳代

- ・アウトドアで、子供も楽しめるように、もっと充実させると良い

- ・キャンプをして森でかぶと虫を捜そう・広い場所に花を咲かせ人を呼ぶ・アユのつかみ取りをして焼いて食べる
- ・夏の河原でのキャンプツアー
- ・山小屋泊りの体験できる山小屋を作ってみては
- ・自然が多いので緑や川をアピール のどかに遊べる場所作り、etc
- ・入間川での舟遊び(川下り等)

⑥70 歳以上

- ・飯能河原でのキャンプ バーベキュー等々。駅から近いのでお客さんは来ると思う※規制が厳しすぎませんか？

6) 商業施設に関する案

①30 歳代

- ・ダイヤモンドシティの様な大型施設、その足で温泉施設があれば人は集まる
- ・観光もでき、帰りに買物もできるような、大型のショッピングセンターがほしい
- ・総合ショッピングモール・レジャー施設

②40 歳代

- ・大型ショッピングセンター
- ・秩父の仲見世通りみたいなものをつくる

③50 歳代

- ・R299にショッピングモール、アウトレットパーク オカルト的なパワースポットと祈願Goods飯能市のアニメキャラクター、マスコット等、温泉とバーベキューとレストランのコラボ サイクリングとバイクツーリングの休憩地、可能なら杉燻製品開発。アマチュア自転車競技場施設 飯能のひもの製品開発、山で海を売る。サイクリングミュージアム
- ・アウトレットモール等の商業施設の誘致
- ・ショッピングセンター 色々な店が入った
- ・温泉のある遊園施設やショッピングモールを作る。駅前商店街を東京の谷中商店街のように個性のかつれチックにしたらどうか
- ・自然と、利便性の融合した、魅力ある施設
- ・川あそび、ハイキングにきた人達が食事をしたり土産を買ったり風呂に入ったり出きる施設
- ・登山の人や、他の市から来た人達も立ち寄りやすいお店や、大きな施設を作る。毎年行う大きなツアーやイベントを開催する

④60 歳代

- ・アウトレットみたいな大きな施設で人を集める
- ・駅のまわりに観光施設をつくり、大々的にアピールする
- ・家族皆が楽しめる施設が出来ればと思います
- ・街中に一日の時間が短かく感じられる様な場所作り
- ・銀座通り商店街をもっとみどりを多くして、おしゃれな店舗を取り入れて軽井沢銀座の様に
- ・大型店舗
- ・飯能市内に遊びに行つて買物して食事してといったことができない
- ・複合施設をふやしてほしいです

⑤70 歳以上

- ・みずほや、日の出の様な、ショッピングモールを駅の近くにーその中で、ミニライブや、一日体験スペース小動物ふれ合いコーナー虫などのイベント他…映画館が飯能にも欲しい
- ・ハイキング客が(駅から電車で)帰る途中、おかず横丁みたいな路地があつて買い物をしてもらえるようなことができれば良いと思う

7) テーマパーク案

①40 歳代

- ・トリックアートの店舗を増やして話題を集め、人を集める(芸術の卵に依頼する…) 日本でも珍しいアスレチックや、体を動かして遊

べる施設(入場料を取る)を作って話題を集める

- ・都内から近いので、自然をいかした子供から大人まで楽しめる体験施設
- ・アニメやドラマのロケ地になると、ロケ地ツアーで、おとずれる人が増える

②50 歳代

- ・アスレチック施設 公園
- ・秩父の芝桜みたいに、花を見て楽しめる観光スポットがあると良い。宅地をつくる前に市民がリラックスできる公園がほしいです
- ・テーマパークのような施設があれば…
- ・花、植物、動物の整った設備の大規模な公園施設
- ・花の名所を作り、観光客を呼び込む。その際に飯能の名産品、みやげ品の宣伝、販売をする
- ・山や川美しい緑、これだけではハイキングが楽しくない今は、花をと思います。地区で話し合いその地区に合った花をとり入れる
- ・自然を活かした、街作りをはじめ、公園、アスレチック等の施設、年齢層を限らず、手軽に利用できる設備があるイベント会場
- ・所沢ミュージアム的な施設の必要性

③60 歳代

- ・林間アトラクション(子供から大人まで家族で楽しめる)
- ・子供・家族が一日楽しめる場所
- ・自然をとり入れる川あそびやキャンプ等手軽に経験できる施設
- ・自動車の通行を制限して自転車、散歩で食事買物のできるテーマパーク化 アウトドアレストラン
- ・公園(お花が年中さいている所) 子供から中・高年の人が行ける所、例えば、行田ならハス 日高ならマンジュシヤゲ 入間なら狭山の森公園 狭山なら智光山公園・いなり山公園のような特長のあるアピールできる所がほしい
- ・公園施設を充実させ季節ごとの草花を植えて人を呼んで、いかがですか(秩父の芝桜のように)
- ・秩父市のミューズパークみたいな大人も子供も遊べる大きな公園施設
- ・名栗を利用した超大型遊園地(ディズニーランドの様な)

④70 歳以上

- ・ムーミンはユニークであるが中途半端 日本で飯能にしかない子ども向け施設を作り充実させること
- ・遊園地があれば良いとおもいます
- ・宮沢湖とその周辺に自然を生かした大自然公園、近い将来廃墟化するだろうと思われる建物を早急に撤去し、心が癒される四季折々の花を咲かせる。
- ・家族で楽しめるスペース。(子供もお年寄りも一緒に)季節のお花がきれいな場所
- ・地元の山に咲く、山つつじで山つつじの里公園を造る
- ・秩父の芝桜のような感じ
- ・飯能へ、おおぜいの人が出て、たくさんお金を、使って下さるような、大きなテーマパーク、みたいな物を造ってほしいです

8) グルメに関する案

①30 歳代

- ・小さなおしゃれなカフェを宣伝して若い女性を呼びこむ

②40 歳代

- ・B級グルメをもっと開催する。芸人を呼ぶ
- ・おいしい食べ物(地場産の素朴なもの)
- ・登山姿の人や、車で帰る人から、美味しいお店や、そばの美味しい店を聞かれた。駐車場の有無や、19時にあいてるそば屋など
- ・遠い所からでも足を運びたくなる様なお店(飲食など)が充実していること
- ・狩猟、猪カツ、鹿シチュー等を出す店

③50 歳代

- ・おいしい物があると、人間はその場所まで行って食べます。本当においしい物を作れたら観光客が呼べるのでは…

- ・食事処(美味しく、衛生的な店)
- ・食べ物屋さんが少ない
- ・道の駅みたいな、誰でも寄れてここにしかない物売りたい(お酒、お豆腐、おからドーナツ等)。いいの場所がほしいですね…
- ・南高麗の里山風景に野菜やcoffee店、などがあると、小さな萌の村(長野)の様にしていってほしいと思います
- ・美味しい物があること(味)。美しい山、川、花(美)。ゆったりできること(癒し)
- ・例えば、すいーとんで中味を選んで、自分の好みのすいーとんを作って食べられる店とか。高麗神社のツアーのついた韓国料理の食べられる店があるとかーお手玉作りから遊び方までおしえてくれる所とかー

③60 歳代

- ・グルメ(おいしいもの)
- ・手づくりのお惣菜店を増しておしゃれな飲食店などがあるといいと思う。B級グルメのイベントなど
- ・飯能市内の食堂でも施設でも安く利用出来る場所があると良いと思う
- ・観光にゆく目的の一つにグルメがあると思います。ファーストフード的な食べ方ができておみやげにもなるような商品の開発。“B級グルメ選手権”の開催

④70 歳以上

- ・感じの良いタニタのレストラン(カロリーが低い)しかも低価格人気があるといます
- ・飯能駅にしろ、ラーメン屋さんが390 丸広の食事処のラーメンも390 もう少し高くても、おいしい物がほしいです
- ・飯能河原で遊歩道を散歩しながら、ちょっとしたお休み出来る又飲食する様な所があれば友達を招待したい
- ・例えばハイキングにて一日のコースを考えれば午前中にどこの国かのカフェらしき店を利用し、昼食には又違った国の軽食等を利用し、午後は又違った国のカフェを、というようにコース全般に散らばして作るなど
- ・ハイヤーの方達の通過点(町が)の様な気がいたしますので、特色の有る食事処など少しレベルの高い所があったらと思います

9) 道の駅案

①30 歳代

- ・人の足がとまる施設(道の駅等)

②40 歳代

- ・観光施設:温泉。飯能市内に道の駅を作ってほしいです。
- ・自然を大切に、飯能駅を拠点に歩いて行けるコースの充実性、その途中に観光施設(道の駅)などの設置

③50 歳代

- ・自然に親しみながら、いろいろな体験ができる施設を利用したり、名産品や新鮮野菜等を購入できる総合的な施設の建設
- ・道の駅を作るべき
- ・マミーマートの隣にうどんやだんごなど店を出し道の駅をもっとにぎやかにしてほしい

④60 歳代

- ・大型「道の駅」の開発
- ・吾野駅近くに道の駅的な案内所兼売店
- ・道の駅に飯能市内の店を集合させ名物のアピールをする 場所は299号ぞいで駐車スペースを多くとれるところ

⑤70 歳以上

- ・観光客(バス)の入れるような大きな店。道の駅のように飯能の名産品を売れるような…
- ・天覧山～飯能河原～名産品(道の駅)～駐車場～公衆トイレ
- ・道の駅の様な施設でハイキングに来ている人々、及び地元の人々に利用出来る様にする

10) スポーツ関係案

①30 歳代

- ・サイクリングイベント、コースが豊か

- ・自転車レース、トレッキング、釣り
- ・マラソン、自転車の競技イベントの開催
- ・スポーツ観戦

②40 歳代

- ・スポーツを楽しむような施設
- ・スポーツ振興→ホッケーはマイナーなので野球、サッカーなど
- ・ツールド飯能(自転車レース)・釣り(ルアー、フライetc)
- ・ツールド飯能を開催して観光客を呼びこむ

③50 歳代

- ・サイクリストが非常に増えているので、自転車による街興し。サイクリング用の休憩設備の整備や、ヒルクライムなどの競技大会。
- ・サイクリング用の道路と施設

11) 宣伝・PR案

①30 歳代

- ・西川材をもっとアピールする。森林再生事業に力を入れる
- ・ハイキングや山登りをもっと宣伝する。飯能の名産品や良さについて、飯能のブランドをアピール
- ・市外の人は、あけぼの子ども森公園の場所を知らない

②40 歳代

- ・池袋から約50分その利便性 魅力をアピール(駅から観光地へのアクセス強化)
- ・飯能祭り、奥むさし駅伝等の宣伝をもう少し、アピールしてみてもどうか?
- ・山間部や、市街地から少しはずれた地域のイベントも、もっとアピール

③50 歳代

- ・現在進めている西武線サミットの協力体制をより一層強化し、他市にないものの売り出しなど相互に人の交流を図り、交流人口の拡大と、PRに努める

④60 歳代

- ・飯能市が今持っている自然、東京に近い利点を生かした、自然を、PRすること
- ・メディアを利用して飯能をアピールしないとあつまらないでしょう
- ・飯能駅、吾野などの駅前に大きい看板で行楽地へ行く情報を書いて欲しい。小さなパンフレットを駅に置かせてもらっても良い。市民でも行き方がわからないので
- ・川有り、山有りですとも良い環境のところなのでもっと宣伝した方が良いと思います
- ・首都圏から日帰りで遊びに来れる事をアピール。道路標識等の充実
- ・飯能ならではの地域性を、他市町村にアピールする。ムーマもかわい。最近すいとんも知名度があるので祭りに屋台を出す
- ・川に水車をつくり発電して飯能銀座商店街を明るくし、それを宣伝したらよい

⑤70 歳以上

- ・飯能まつりのP. R
- ・駅の目立つ場所に、写真等展示してもっとPRした方が良い ポスターでなくても皆が見る様に
- ・観光宣伝が不足 宣伝して客に来てもらって商店街の活性化をはかる
- ・総合案内所を設けて、中心となる観光施設をPRする

12) 歴史文化に関する案

①20 歳代

- ・飯能独自の歴史を全面に出す(古い建物や街並みを生かす<例>川越)

②30 歳代

- ・町中にある古いものを大切に次世代に生かし、日本の美を大切につなげていく働きを。古い町を歩いて楽しめる町づくり
- ・新しいものを作るのではなく、古いものを活かすこと

③40 歳代

- ・歴史や寺社仏閣に興味を持っている人は多いと思う…写真付きパンフレットなどでもっとアピールしたら良いのでは…
- ・駅周辺なら蔵を利用した古い街並みの再現

④50 歳代

- ・何か建築物を見せる。古い歴史のある物 底園を見せる めぐる様にして見せる

⑤60 歳代

- ・歴史に根差した独自性を持つ「場」「行事」、そうした事で中断、廃止されてしまったものの復活、再現、継承者の育生
- ・市民に「もてなしの心」の周知
- ・これからは外国人の好み等を勉強して積極的に取り組むと良いと思う(寺社仏閣など)

⑥70 歳以上

- ・郷土館の活動が伝って来ません。このままではもったいない。何かよい方法はないのですか？税金のむだのように思いますが？！
- ・浅草観音の古里である岩井堂観音をもっともっと整備宣伝してもらいたい！

13) 温泉に関する案

①20 歳代

- ・温泉施設等の充実

②30 歳代

- ・喜楽里のような日帰り温泉施設がいくつかあるとハイキングに行った帰りに立ち寄り湯ができていい

③40 歳代

- ・温泉の充実を、計って行く

④50 歳代

- ・道の駅を兼ねた温泉施設
- ・町中に日帰り温泉

⑤70 歳以上

- ・一日ゆっくり遊べてお湯に入ってリラックス出来る所を造ってほしいです
- ・町中に日帰り入浴もいいのではないのでしょうか？
- ・買物やハイキングの帰りの途中で足湯が有ったらと思います 年配の人や休みながら温泉の足湯を望みます

14) エコツーリズム案

①40 歳代

- ・自然にふれるエコツーリズム。有料でも作品や食物作りなど、参加者の力を借りて歩道・階段(ハイキングコース)作りなども身近に感じてもらえる
- ・エコツーリズムの認知度を上げる

②50 歳代

- ・エコツーリズムによる里山めぐり。飯能蔵めぐりの構築(常設コースの設置)
- ・エコツーリズム等で農家民宿の設定。学生のスポーツ合宿等が出来る宿泊施設

③70 歳以上

- ・有間ダム、さわらびの湯周辺の利用。キャンプ場、ハイキングコース、花畑、紅葉西川材を使った住宅、家具、調度品の製作(他に出来ない魅力ある商品)秩父方面に向うお客様を名栗経由(昼食他)で楽しんでもらうドライブコース(散歩)コースにする 東京より2～3時間余り観光バスの乗り入の出来る街づくり

15) 宿泊施設に関する案

①50 歳代

- ・自然と調和した施設。日帰りではなく泊っても過したと思う処

②60 歳代

- ・飯能は都内からも近く、駅から歩いて行ける、宮沢湖の充実。温泉が、日帰りのみなのは、残念です。宿泊施設が併設されましたら、もっと観光客が増えるのではないのでしょうか。天覧山、高麗峠等のハイキングコースがありますので、家族で楽しめると思います

③70 歳以上

- ・さわらびの湯に宿泊できる場所があると(民宿)小、中学生の夏期合宿になるのでは。運動場が心配ですが、山あるきでもいいかもしれません
- ・宿泊出来る所(自然の恵みを生かした)

16) みやげに関する案

①30 歳代

- ・ムーミンの家でグッズ販売をする

②50 歳代

- ・これといったおみやげがない。ザクロはイメージダウン。スイートもおいしくない。

③60 歳代

- ・飯能が観光都市をめざしているとは、信じられないぐらい、その場所(河原、天覧山)に何も無い。自然も大切だけど少しぐらい、おみやげとか名物の食べ物とか、用意しませんか。

④70 歳以上

- ・ハイキング、もうちょっとみやげ物に力を入れてほしい物ですね

17) 観光案内所に関する案

①50 歳代

- ・観光案内所は駅前に設置すべきです。今の場所だと知らない人も多い。

②70 歳以上

- ・JA直売所を増されたら良いのに。観光案内所を知らない市民です。
- ・観光案内所は駅の近くに作るべきであった。今の場所ですらない人が多い。やくたたずです

第4章 飯能市内の買物環境と居住継続意向

1. 居住地域や飯能市内の買物環境

(1) 居住地域や飯能市内の買物環境

「住まいの地域や飯能市内の買物環境の満足度」(地区不明・未回答者を除く)は、図表 4-1 のとおりです。

市全体では、「まあ満足している」が 44.1%と最も多く、「満足している」は 9.2%で、両者を合わせた「満足」の範疇は 53.3%となっています。

一方、「あまり満足していない」は 30.7%、「満足していない」が 16.0%であり、両者を合わせた「不満」の範疇は 46.7%となり、全体でみると、「満足」が「不満」をやや上回っています。

地区別の特徴を「満足」(満足している+まあ満足している)の割合でみると、飯能は 61.0%と最も高く、次いで美杉台 54.7%、精明は 53.9%、加治 53.3%となっており、この 4 地区は市平均の 52.5%を超えています。

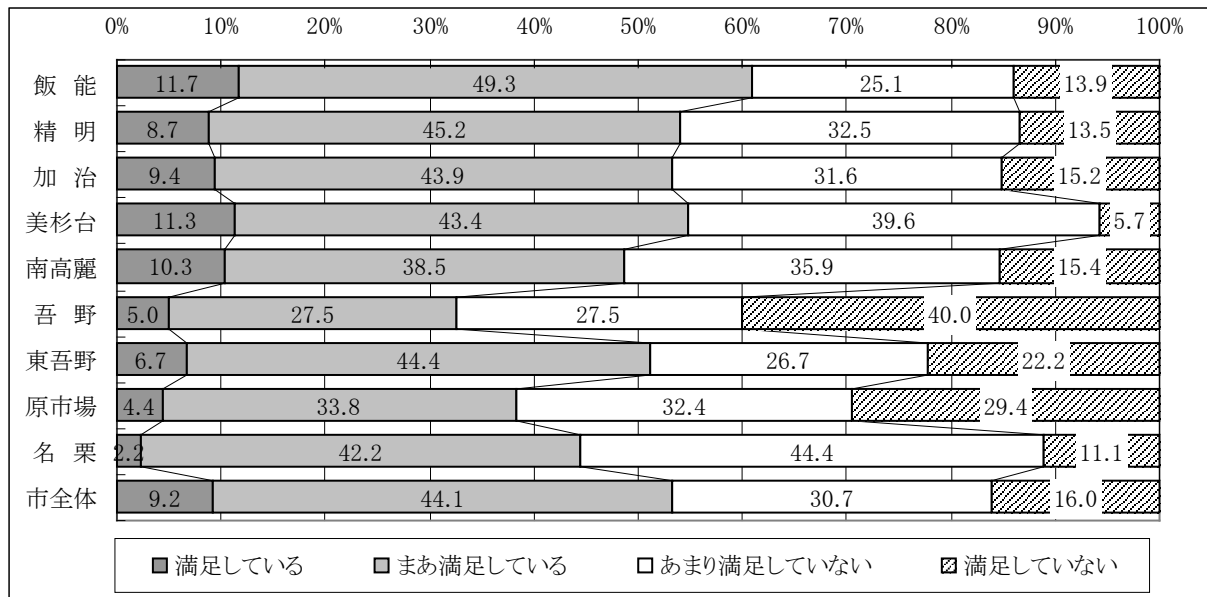
一方、「不満」(あまり満足していない+満足していない)の方が多い地区は、吾野が 67.5%で最も多く、次いで原市場の 61.8%、名栗の 55.5%となっています。このうち吾野は「満足していない」が 40.0%と突出して多く、原市場も 29.4%と多くなっています。

なお、満足度が市平均に近い地区は、東吾野の 51.1%、南高麗の 48.8%となっています。

このように、満足度の高低で分類してみると、飯能・美杉台・精明・加治の 4 地区は平均値より高く、東吾野・南高麗の 2 地区は平均に近い、名栗・原市場・吾野の 3 地区は平均値より低いという3つのカテゴリーに区分できます。

図表 4-1 地区別の居住地域や飯能市内の買物環境について

(N=810、単位:%)



年代別の満足度の状況は、図表 4-2 のとおりです。

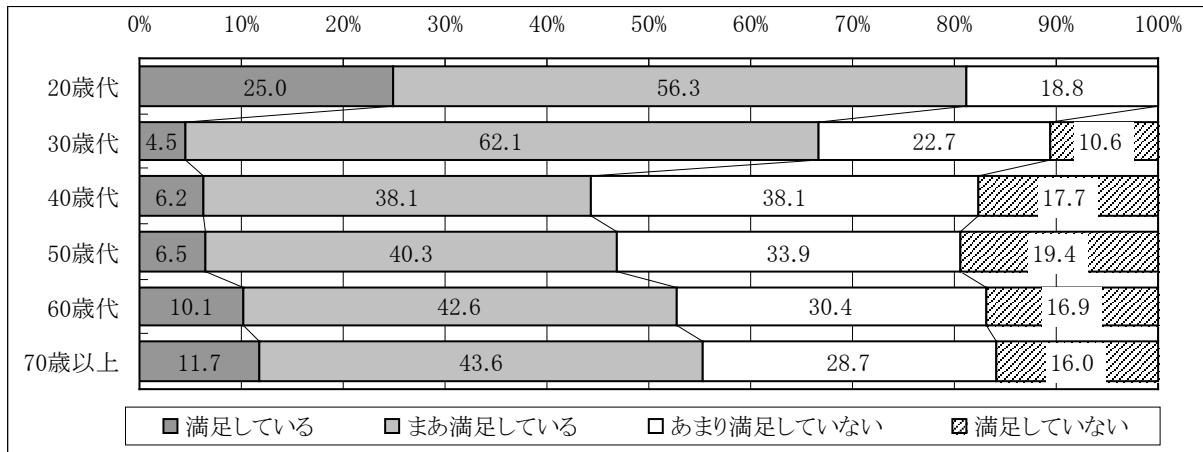
「満足」(満足している+まあ満足している)の比率をみると、20 歳代は「満足」が 25.0%、「まあ満足」が 56.3%と共に高く、合わせて 81.3%となっており、次いで 30 歳代が 66.6%、70 歳以上が 55.3%、60 歳代が 52.7%と続いています。

一方、「不満」(あまり満足していない+満足していない)の比率は、40 歳代が 55.8%、50 歳代は 53.3%と中年世代が高くなっています。

年代の特徴をみると、20 歳代は「満足していない」が皆無で満足度は高く、30 歳代は「まあ満足」が 62.1%と最も多いなど、20~30 歳代の比較的若い世代は満足度が高い傾向がみられます。

図表 4-2 年代別の居住地や飯能市内の買物環境について

(単位:%)



(2) 居住地や飯能市内の買物環境に関する理由等

「居住地や飯能市内の買物環境についての満足」は上述のとおりですが、この満足度の理由についての回答は、図表 4-3 のとおりとなっています。

この表でみると、「満足」としながらも、理由では「不満理由を選択」した割合は全体の 8.8%となっています。

図表 4-3 満足度の理由

(単位:人・%)

満足度	理由選択	回答数	構成比	備考
満足	満足理由を選択	350	40.9	「満足している」+「まあ満足している」
	不満理由を選択	75	8.8	
	小計	425	49.6	
不満		385	45.0	「あまり満足していない」+「満足していない」
未回答		46	5.4	
合計		856	100	地区区分不明者 3 名を除く

①「満足(満足している+まあ満足している)」の理由

「満足(満足している+まあ満足している)」の理由(未回答を除く)の区分は、図表 4-4-①・②のとおりです。

満足理由の項目で最も多かったのは、「店舗の距離」が 24.3%であり、次いで、「利便性等」が 21.7%、「店舗数」7.7%と続き、「交通等」・「品揃等」は 2%台と少ない状況です。

店舗距離では、「徒歩や自転車で行ける近距離に商店等がある」が 16.6%であり、「自動車で行ける」が 7.1%となっています。

利便性では、「必要な物が揃うので不便を感じない」が 12.0%、「日用品は近くで用が足りる」が 8.9%で比較的多い状況です。

地区別にみると、「店舗距離」が一番多かったのは、吾野・精明・原市場・加治の順で 30%前後です。

「利便性」が一番多かったのは、美杉台が 48%で、以下東吾野 31.3%、飯能 25.2%の順です。

なお、「理由の記載なし」は全体では 34.0%であり、地区別でみると、南高麗が 60.0%で最も高く、次いで名栗が 50.0%、加治 35.7%、飯能 33.6%、精明 32.7%と多くなっています。

図表 4-4-① 居住地域や飯能市内の買物環境の満足理由

(N=350、単位:件)

満 足 の 理 由		飯能	精明	加治	美杉台	南高麗	吾野	東吾野	原市場	名栗	合 計
店舗距離	01 近い(徒歩・自転車で行ける)	20	13	17	1	2	-	3	2	-	58
	02 自動車で行ける	5	4	2	1	1	4	1	4	3	25
	03 その他	-	-	1	-	-	-	-	1	-	2
小 計		25	17	20	2	3	4	4	7	3	85
利便性等	21 必要な物が揃い不便を感じない	17	3	9	6	1	1	1	3	1	42
	22 日用品は近くで足りる	13	3	4	6	2	-	2	1	-	31
	23 その他	-	-	-	-	-	-	2	1	-	3
小 計		30	6	13	12	3	1	5	5	1	76
店舗数	31 店舗の数が多	7	-	4	1	-	-	1	-	-	13
	32 各種大型店が揃っている	1	6	-	-	-	-	1	-	-	8
	33 不自由しない程度に店がある	2	1	2	1	-	-	-	-	-	6
小 計		10	7	6	2	-	-	2	-	-	27
交通等	41 駅に近いので便利	5	-	-	-	-	-	-	-	-	5
	42 駐車場が完備している	1	1	1	-	-	-	-	-	1	4
小 計		6	1	1	-	-	-	-	-	1	9
品揃等	51 店舗の品揃えが良い	2	-	1	1	-	-	-	-	-	4
	52 価格が安い	1	-	-	-	-	-	-	1	1	3
小 計		3	-	1	1	-	-	-	1	1	7
その他	61 住居環境が良い	2	2	1	-	-	-	2	-	1	8
	62 過度の期待は持たない	1	-	-	-	-	1	-	1	-	3
	63 その他	2	4	3	2	-	2	-	2	1	16
小 計		5	6	4	2	-	3	2	3	2	27
理由未記入		40	18	25	6	9	3	3	7	8	119
合 計		119	55	70	25	15	11	16	23	16	350

図表 4-4-② 居住地域や飯能市内の買物環境の満足理由構成比

(単位:%)

満 足 の 理 由		飯能	精明	加治	美杉台	南高麗	吾野	東吾野	原市場	名栗	合 計
店舗距離	01 近い(徒歩・自転車で行ける)	16.8	23.6	24.3	4.0	13.3	-	18.8	8.7	0.0	16.6
	02 自動車で行ける	4.2	7.3	2.9	4.0	6.7	36.4	6.3	17.4	18.8	7.1
	03 その他	-	-	1.4	-	-	-	-	4.3	-	0.6
小 計		21.0	30.9	28.6	8.0	20.0	36.4	25.0	30.4	18.8	24.3
利便性等	11 必要な物が揃い不便を感じない	14.3	5.5	12.9	24.0	6.7	9.1	6.3	13.0	6.3	12.0
	12 日用品は近くで足りる	10.9	5.5	5.7	24.0	13.3	-	12.5	4.3	-	8.9
	13 その他	-	-	-	-	-	-	12.5	4.3	-	0.9
小 計		25.2	10.9	18.6	48.0	20.0	9.1	31.3	21.7	6.3	21.7
店舗数	21 店舗の数が多	5.9	-	5.7	4.0	-	-	6.3	-	-	3.7
	22 各種大型店が揃っている	0.8	10.9	-	-	-	-	6.3	-	-	2.3
	23 不自由しない程度に店がある	1.7	1.8	2.9	4.0	-	-	-	-	-	1.7
小 計		8.4	12.7	8.6	8.0	-	-	12.5	-	-	7.7
交通等	31 駅に近いので便利	4.2	0.0	0.0	-	-	-	-	-	-	1.4
	32 駐車場が完備している	0.8	1.8	1.4	-	-	-	-	-	6.3	1.1
小 計		5.0	1.8	1.4	-	-	-	-	-	6.3	2.6
品揃等	41 店舗の品揃えが良い	1.7	-	1.4	4.0	-	-	-	-	-	1.1
	42 価格が安い	0.8	-	-	-	-	-	-	4.3	6.3	0.9
小 計		2.5	-	1.4	4.0	-	-	-	4.3	6.3	2.0
その他	51 住居環境が良い	1.7	3.6	1.4	-	-	-	12.5	-	6.3	2.3
	52 過度の期待は持たない	0.8	-	-	-	-	9.1	-	4.3	-	0.9
	53 その他	1.7	7.3	4.3	8.0	-	18.2	-	8.7	6.3	4.6
小 計		4.2	10.9	5.7	8.0	-	27.3	12.5	13.0	12.5	7.7
理由未記入		33.6	32.7	35.7	24.0	60.0	27.3	18.8	30.4	50.0	34.0
合 計		100	100	100	100	100	100	100	100	100	100

(注)網掛けは、その他を除く理由の地区別の最高比率である。以下同じ。

②「満足(満足している+まあ満足している)」ではあるが、不満の理由を選択したもの

買物環境は「満足(満足している+まあ満足している)」と回答しながら、その理由に不満項目を回答している事例は、図表 4-5-①・②のとおりです。

これらの回答者は、買物環境としては肯定しながらも、「満足できない事柄や理由もある」との意思を表示したものと受け止められます。

その項目は、「交通等」が 22.7%、「店舗数」21.3%、「店舗距離」18.7%、「品揃等」16.0%などです。

図表 4-5-① 買物環境は満足と回答しながら不満の理由

(N=71、単位:件)

不満の理由		飯能	精明	加治	美杉台	南高麗	吾野	東吾野	原市場	名栗	合計
交通等	01 駐車場が完備していない・少ない	0	2	0	0	0	0	0	0	1	3
	02 歩道・車道が未整備で危険等	0	0	2	1	0	0	0	0	0	3
	03 車等の運転不可時は不安	1	2	3	1	1	0	1	1	1	11
	小計	1	4	5	2	1	0	1	1	2	17
店舗数	11 店舗・個人店が少ない	1	0	4	0	0	1	0	0	0	6
	12 衣類・家具等の専門店が少ない	3	1	0	0	0	1	0	0	0	5
	13 大型店舗がないなど	1	1	2	0	1	0	0	0	0	5
	小計	5	2	6	0	1	2	0	0	0	16
店舗距離	21 交通機関がなく、遠くて不便	1	2	1	0	1	0	2	0	1	8
	22 自動車がないと行けない	1	1	0	0	0	0	0	1	0	3
	23 その他	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	小計	5	3	1	0	1	0	2	1	1	14
品揃等	31 ファッションや若者向け店舗が無い	1	2	4	0	0	0	0	0	0	7
	32 品揃えや品質が良くない	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	33 その他	1	1	0	0	0	0	0	0	1	3
	小計	4	3	4	0	0	0	0	0	1	12
その他	41 百貨店に関する要望等	1	0	1	2	0	0	0	0	0	4
	42 特色あるレストラン等がない	0	0	2	0	1	0	0	0	0	3
	43 その他	1	1	2	0	0	0	0	1	0	5
	小計	2	1	5	2	1	0	0	1	0	12
理由未記入		0	0	0	0	0	0	4	0	0	4
合計		17	13	21	4	4	2	7	3	4	75

図表 4-5-② 買物環境は満足と回答しながら不満の理由構成比

(単位:%)

不満の理由		飯能	精明	加治	美杉台	南高麗	吾野	東吾野	原市場	名栗	合計
交通等	01 駐車場が完備していない・少ない	-	15.4	-	-	-	-	-	-	25.0	4.0
	02 歩道・車道が未整備で危険等	-	-	9.5	25.0	-	-	-	-	-	4.0
	03 車等の運転不可時は不安	5.9	15.4	14.3	25.0	25.0	-	14.3	33.3	25.0	14.7
	小計	5.9	30.8	23.8	50.0	25.0	-	14.3	33.3	50.0	22.7
店舗数	11 店舗・個人店が少ない	5.9	-	19.0	-	-	50.0	-	-	-	8.0
	12 衣類・家具等の専門店が少ない	17.6	7.7	-	-	-	50.0	-	-	-	6.7
	13 大型店舗がないなど	5.9	7.7	9.5	-	25.0	-	-	-	-	6.7
	小計	29.4	15.4	28.6	-	25.0	100.0	-	-	-	21.3
店舗距離	21 交通機関がなく、遠くて不便	5.9	15.4	4.8	-	25.0	-	28.6	-	25.0	10.7
	22 自動車がないと行けない	5.9	7.7	-	-	-	-	-	33.3	-	4.0
	23 その他	17.6	-	-	-	-	-	-	-	-	4.0
	小計	29.4	23.1	4.8	-	25.0	-	28.6	33.3	25.0	18.7
品揃等	31 ファッションや若者向け店舗が無い	5.9	15.4	19.0	-	-	-	-	-	-	9.3
	32 品揃えや品質が良くない	11.8	-	-	-	-	-	-	-	-	2.7
	33 その他	5.9	7.7	-	-	-	-	-	-	25.0	4.0
	小計	23.5	23.1	19.0	-	-	-	-	-	25.0	16.0
その他	41 百貨店に関する要望等	5.9	-	4.8	50.0	-	-	-	-	-	5.3
	42 特色あるレストラン等がない	-	-	9.5	-	25.0	-	-	-	-	4.0
	43 その他	5.9	7.7	9.5	-	-	-	-	33.3	-	6.7
	小計	11.8	7.7	23.8	50.0	25.0	-	-	33.3	-	16.0
理由未記入		-	-	-	-	-	-	57.1	-	-	5.3
合計		100	100	100	100	100	100	100	100	100	100

③「不満(あまり満足していない+満足していない)」の理由

「不満(あまり満足していない+満足していない)」の理由は、図表 4-6-①・②のとおりです。

「不満」グループの中で最も多い理由は、「品揃等」で22.6%です。次いで、「店舗数等」が20.5%、「店舗距離」が14.8%など続いています。

不満理由別の最も高い項目は、次のとおりです。

- ・品揃等…………… 加治 28.8%・精明 27.6%・原市場 26.2%・美杉台 25.0%・東吾野 22.7%・飯能 21.8%
- ・店舗数…………… 精明 27.6%・美杉台 25.0%・東吾野 22.7%・加治 22.5%
- ・店舗距離…………… 南高麗 40.0%・吾野 29.6%・東吾野 22.7%
- ・利便性…………… 吾野 25.9%・名栗 20.0%・南高麗 20.0%

図表 4-6-① 買物環境は不満(あまり満足していない+満足していない)の件数 (単位:人)

不満の理由		飯能	精明	加治	美杉台	南高麗	吾野	東吾野	原市場	名栗	合計
品揃え	01 品揃えや品質が良くない	8	7	11	0	1	1	2	3	3	36
	02 魅力的商品やな店がない	4	5	6	5	0	0	2	2	0	24
	03 ファッション・若者向けでない	5	3	4	1	1	0	1	0	1	16
	04 価格が高いなど	2	1	2	0	0	0	0	6	0	11
小計		19	16	23	6	2	1	5	11	4	87
店舗数	11 スーパー等の大型店舗がない	8	9	14	3	1	2	3	5	0	45
	12 店舗・個人店が少ない	4	3	2	1	0	2	1	2	0	15
	13 一ヶ所で買物ができない	2	2	1	0	0	0	0	0	3	8
	14 衣類等専門店が少ないなど	3	2	1	2	1	0	1	1	0	11
小計		17	16	18	6	2	4	5	8	3	79
店舗距離	21 交通機関がなく、遠くて不便	3	4	5	2	5	2	3	1	2	27
	22 自動車がないと行けない	5	1	1	2	2	3	1	2	0	17
	23 徒歩や自転車で行ける店がない	2	1	1	0	1	2	1	0	0	8
	24 その他	0	0	2	1	0	1	0	1	0	5
小計		10	6	9	5	8	8	5	4	2	57
利便性等	31 周辺に店舗がなく、不便	0	0	0	0	1	5	1	2	4	13
	32 商店街がない・活気が無い	7	1	1	0	1	0	1	0	1	12
	33 他所の町に買物に行くしかない	1	2	0	2	2	1	0	3	0	11
	34 その他	2	2	1	0	0	1	0	0	0	6
小計		10	5	2	2	4	7	2	5	5	42
交通等	41 駐車場が完備していない・少ない	5	1	1	0	2	2	2	2	1	16
	42 歩道・車道が未整備で危険等	3	1	8	0	0	0	1	0	0	13
	43 車等の運転不可時は不安	0	0	3	0	0	1	0	2	2	8
	44 路線バスが少ないなど	1	2	0	0	0	0	0	2	0	5
小計		9	4	12	0	2	3	3	6	3	42
その他	51 百貨店への要望等	1	1	2	1	0	0	0	1	0	6
	52 ワクワドキドキ感がなく中途半端	2	0	1	1	0	0	0	1	0	5
	53 特色あるレストラン等がない	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	54 その他	5	3	4	2	1	0	0	2	2	19
小計		10	4	7	4	1	0	0	4	2	32
理由未記入		12	7	9	1	1	4	2	4	6	46
合計		87	58	80	24	20	27	22	42	25	385

図表 4-6-② 買物環境は不満(あまり満足していない+満足していない)の構成比 (単位:%)

不満の理由		飯能	精明	加治	美杉台	南高麗	吾野	東吾野	原市場	名栗	合計
品揃え	01 品揃えや品質が良くない	9.2	12.1	13.8	-	5.0	3.7	9.1	7.1	12.0	9.4
	02 魅力的商品やな店がない	4.6	8.6	7.5	20.8	-	-	9.1	4.8	-	6.2
	03 ファッション・若者向けでない	5.7	5.2	5.0	4.2	5.0	-	4.5	-	4.0	4.2
	04 価格が高いなど	2.3	1.7	2.5	-	-	-	-	14.3	-	2.9
小計		21.8	27.6	28.8	25.0	10.0	3.7	22.7	26.2	16.0	22.6
店舗数	11 スーパー等の大型店舗がない	9.2	15.5	17.5	12.5	5.0	7.4	13.6	11.9	-	11.7
	12 店舗・個人店が少ない	4.6	5.2	2.5	4.2	-	7.4	4.5	4.8	-	3.9
	13 一ヶ所で買物ができない	2.3	3.4	1.3	-	-	-	-	-	12.0	2.1
	14 衣類等専門店が少ないなど	3.4	3.4	1.3	8.3	5.0	0.0	4.5	2.4	-	2.9
小計		19.5	27.6	22.5	25.0	10.0	14.8	22.7	19.0	12.0	20.5
店舗距離	21 交通機関がなく、遠くて不便	3.4	6.9	6.3	8.3	25.0	7.4	13.6	2.4	8.0	7.0
	22 自動車がないと行けない	5.7	1.7	1.3	8.3	10.0	11.1	4.5	4.8	-	4.4
	23 徒歩や自転車で行ける店がない	2.3	1.7	1.3	-	5.0	7.4	4.5	-	-	2.1
	24 その他	-	-	2.5	4.2	-	3.7	-	2.4	-	1.3
小計		11.5	10.3	11.3	20.8	40.0	29.6	22.7	9.5	8.0	14.8
利便性等	31 周辺に店舗がなく、不便	-	-	-	-	5.0	18.5	4.5	4.8	16.0	3.4
	32 商店街がない・活気が無い	8.0	1.7	1.3	-	5.0	-	4.5	-	4.0	3.1
	33 他所の町に買物に行くしかない	1.1	3.4	0.0	8.3	10.0	3.7	-	7.1	-	2.9
	34 その他	2.3	3.4	1.3	-	-	3.7	-	-	-	1.6
小計		11.5	8.6	2.5	8.3	20.0	25.9	9.1	11.9	20.0	10.9
交通等	41 駐車場が完備していない・少ない	5.7	1.7	1.3	-	10.0	7.4	9.1	4.8	4.0	4.2
	42 歩道・車道が未整備で危険等	3.4	1.7	10.0	-	-	-	4.5	-	-	3.4
	43 車等の運転不可時は不安	-	-	3.8	-	-	3.7	-	4.8	8.0	2.1
	44 路線バスが少ないなど	1.1	3.4	-	-	-	-	-	4.8	-	1.3
小計		10.3	6.9	15.0	-	10.0	11.1	13.6	14.3	12.0	10.9
その他	51 百貨店への要望等	1.1	1.7	2.5	4.2	-	-	-	2.4	-	1.6
	52 ワクワドキドキ感がなく中途半端	2.3	-	1.3	4.2	-	-	-	2.4	-	1.3
	53 特色あるレストラン等がない	2.3	-	-	-	-	-	-	-	-	0.5
	54 その他	5.7	5.2	5.0	8.3	5.0	-	-	4.8	8.0	4.9
小計		11.5	6.9	8.8	16.7	5.0	-	-	9.5	8.0	8.3
理由未記入		13.8	12.1	11.3	4.2	5.0	14.8	9.1	9.5	24.0	11.9
合計		100	100	100	100	100	100	100	100	100	100

2. 飯能市への居住継続意向

(1) 飯能市への居住継続意向

「飯能市に今後も住み続けたいか」との居住継続意向について、市全体および地区別にみると、図表 4-7 のとおりです。

市全体では、「住み続けたい」との回答が 75.7%と最も多くなっています。

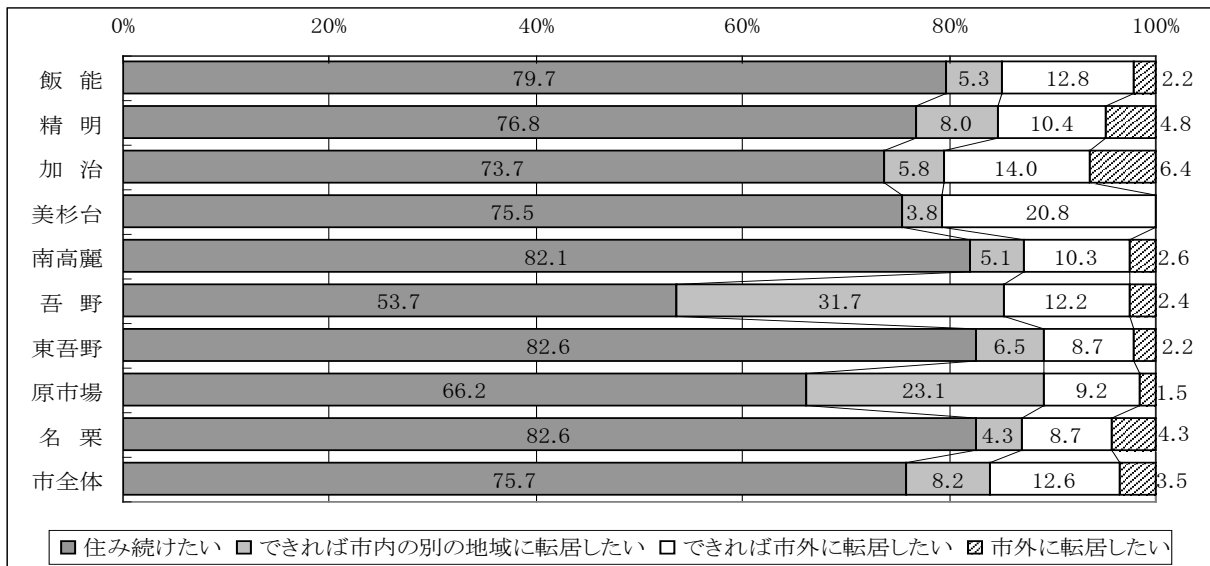
一方、「できれば市外に転居したい」は 12.6%、「できれば市内の別の地域に転居したい」が 8.2%、「市外に転居したい」3.5%となっており、3 者を合わせた「転居希望」は 24.3%となっています。

地区別にみると、「住み続けたい」という比率は、名栗と東吾野が 82.6%で最も高く、南高麗 82.1%と 3 地区が 80%を超えています。次いで飯能 79.7%、精明 76.8%、美杉台 75.5%、加治 73.7%と 70%台が続いています。

一方、吾野は「住み続けたい」が 53.7%と低く、転居希望が 46.3%（「できれば市内に転居したい」31.7%、「できれば市外に転居したい」12.2%、「市外に転居したい」2.2%）であり、原市場も「住み続けたい」が 66.2%と低く、転居希望が 33.8%（「できれば市内に転居したい」23.1%、「できれば市外に転居したい」9.2%、「市外に転居したい」1.5%）と、この 2 地区は他の地区に比べ転居希望割合は高くなっています。

図表 4-7 飯能市への居住継続意向(市全体・地区別)

(N=813、単位:%)



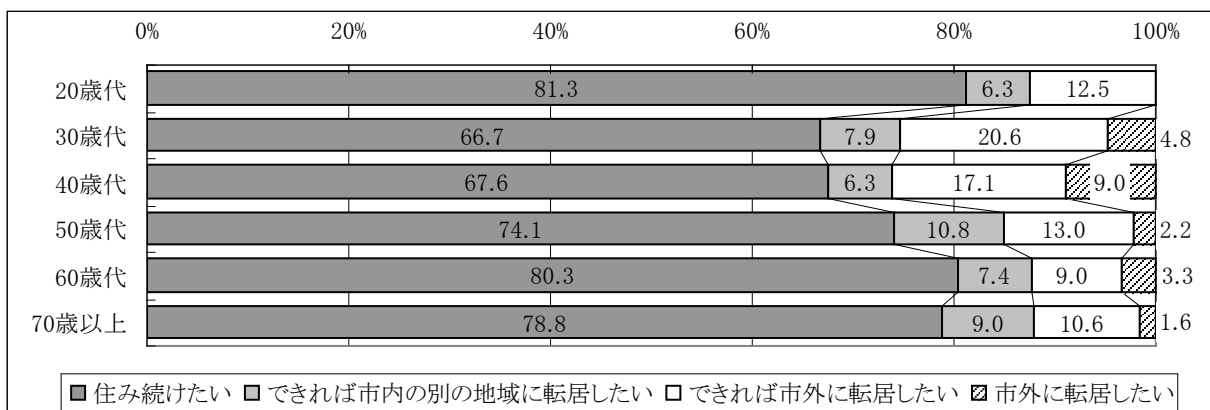
年代別の「居住継続意向」は、図表 4-8 のとおりです。

「住み続けたい」の比率は、20 歳代が 81.3%で最も高く、60 歳代が 80.3%、70 歳以上 78.8%と続いています。

一方、「転居希望(できれば市内に転居したい+できれば市外に転居したい+市外に転居したい)」の比率は、30 歳代が 33.3%、40 歳代 32.4%、50 歳代 25.9%と、これらの年代にやや高い傾向がみられます。

図表 4-8 年代別の飯能市への居住継続意向

(単位:%)



(2)居住継続意向に関する理由

①「住み続けたい」理由

図表 4-7 の「飯能市への居住継続意向」とおり「住み続けたい」は 75.7%ですが、それらの理由は、図表 4-9-①・②のとおりです。

「住み続けたい」の最多理由は、「理由未記入」の 24.9%ですが、理由付けでは、「自然環境がよい」が 24.2%と最多であり、次いで「長く住んでおり、故郷である」が 14.5%、「生活環境がよい・住みやすい」が 8.5%の順となっています。

なお、「買物環境がよい」は 0.8%にとどまっています。

居住継続理由のうち最多理由の地域別の状況は、次のとおりです。

「空気・水・緑・静寂等の自然環境がよい」・・・美杉台(50.0%)・原市場(34.9%)・東吾野(31.6%)・南高麗(25.0%)・加治(23.8%)・飯能(20.6%)・精明(19.8%)

「長く住んでおり、故郷である」……………吾野(27.3%)・名栗(18.4%)

図表 4-9-① 飯能市への居住継続希望理由(件数) (N=615 単位:%)

理由	飯能	精明	加治	美杉台	南高麗	吾野	東吾野	原市場	名栗	合計
01 空気・水・緑・静寂等の自然環境がよい	37	19	30	20	8	3	12	15	5	149
02 長く住んでおり、故郷である	21	18	17	-	7	6	10	3	7	89
03 居住環境がよい、住みやすい	19	7	6	7	3	3	4	1	2	52
04 越したくない。引越できない	7	3	5	-	2	-	3	5	4	29
05 バス・鉄道・高速道等の交通アクセスが良い	10	2	7	3	-	-	1	0	1	24
06 災害が少ない	10	5	4	1	1	-	-	1	1	23
07 適度な・程よい田舎である	3	4	-	1	-	-	-	1	2	11
08 その他の理由	15	7	11	2	-	1	1	7	2	46
09 意見・要望等	11	5	13	2	1	2	1	1	3	39
10 理由未記入	47	26	33	4	10	7	6	9	11	153
合計	180	96	126	40	32	22	38	43	38	615

図表 4-9-② 飯能市への居住継続希望理由(構成比) (単位:%)

「市内継続居住」希望理由	飯能	精明	加治	美杉台	南高麗	吾野	東吾野	原市場	名栗	合計
01 空気・水・緑・静寂等の自然環境がよい	20.6	19.8	23.8	50.0	25.0	13.6	31.6	34.9	13.2	24.2
02 長く住んでおり、故郷である	11.7	18.8	13.5	-	21.9	27.3	26.3	7.0	18.4	14.5
03 居住環境がよい、住みやすい	10.6	7.3	4.8	17.5	9.4	13.6	10.5	2.3	5.3	8.5
04 越したくない。引越できない	3.9	3.1	4.0	-	6.3	-	7.9	11.6	10.5	4.7
05 バス・鉄道・高速道等の交通アクセスが良い	5.6	2.1	5.6	7.5	0.0	-	2.6	0.0	2.6	3.9
06 災害が少ない	5.6	5.2	3.2	2.5	3.1	-	-	2.3	2.6	3.7
07 適度な・程よい田舎である	1.7	4.2	-	2.5	-	-	-	2.3	5.3	1.8
08 その他の理由	8.3	7.3	8.7	5.0	-	4.5	2.6	16.3	5.3	7.5
09 意見・要望等	6.1	5.2	10.3	5.0	3.1	9.1	2.6	2.3	7.9	6.3
10 理由未記入	26.1	27.1	26.2	10.0	31.3	31.8	15.8	20.9	28.9	24.9
合計	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100

(注)網掛けは、意見・要望、未記入を除く地区別の最高比率である。以下同じ。

②「できれば市内の他地域へ転居したい」理由

「できれば市内の他地域へで転居したい」とするグループは全体の 8.2%であり、その理由は、図表 4-10-①・②のとおりです。

「転居希望」の理由としては、「交通アクセスがわるい」の 26.1%が最も多く、次いで、「居住環境がよくない」が 17.4%、「買物環境がよくない」11.6%などとなっています。

図表 4-10-① できれば飯能市内の他地域へ転居したい理由(件数) (N=69 単位:%)

「できれば市内に転居」希望理由		飯能	精明	加治	美杉台	南高麗	吾野	東吾野	原市場	名栗	合計
11	バス・鉄道・高速道等の交通アクセスが悪い	3	6	1	-	1	1	-	6	-	18
12	居住環境がよくない	2	-	3	-	1	2	1	2	1	12
13	買物環境がよくない	4	-	1	1	-	2	-	-	-	8
14	老後が心配・不安・不便		1	1	-	-	2	-	2	-	6
15	意見・要望等	3	1	2	1	-	2	2	3	-	14
16	理由未記入	2	-	3	-	-	3	-	2	1	11
合 計		14	8	11	2	2	12	3	15	2	69

図表 4-10-② できれば飯能市内の他地域へ転居したい理由(構成比) (単位:%)

「できれば市内に転居」希望理由		飯能	精明	加治	美杉台	南高麗	吾野	東吾野	原市場	名栗	合計
11	バス・鉄道・高速道等の交通アクセスが悪い	21.4	75.0	9.1	-	50.0	8.3	-	40.0	-	26.1
12	居住環境がよくない	14.3	-	27.3	-	50.0	16.7	33.3	13.3	50.0	17.4
13	買物環境がよくない	28.6	-	9.1	50.0	-	16.7	-	-	-	11.6
14	老後が心配・不安・不便	-	12.5	9.1	-	-	16.7	-	13.3	-	8.7
15	意見・要望等	21.4	12.5	18.2	50.0	-	16.7	66.7	20.0	-	20.3
16	理由未記入	14.3	-	27.3	-	-	25.0	-	13.3	50.0	15.9
合 計		100	100	100	100	100	100	100	100	100	100

②「できれば市外に転居したい」理由

「できれば市外へ転居したい」とするグループは全体の12.6%であり、その理由は、図表4-14-①・②のとおりです。

「転居希望」理由で最も多いのは、「交通アクセスがわるい」21.0%であり、次いで「居住環境がよくない」と「税金関係」が12.0%となっています。

図表 4-11-① できれば市外へ転居したい理由(件数) (N=100 単位:%)

「できれば市外転居」希望理由		飯能	精明	加治	美杉台	南高麗	吾野	東吾野	原市場	名栗	合計
21	バス・鉄道・高速道等の交通アクセスが悪い	8	3	2	-	2	-	2	4	0	21
22	居住環境がよくない	-	-	3	1	1	2	-	1	4	12
23	税金関係	2	4	5	1	-	-	-	-	-	12
24	買物環境がよくない	3	1	-	-	-	-	-	-	-	4
25	その他の理由	13	3	9	7	1	-	2	1	-	36
26	理由未記入	3	2	5	2	0	3	-	-	-	15
合 計		29	13	24	11	4	5	4	6	4	100

図表 4-11-② できれば市外へ転居したい理由(構成比) (単位:%)

「できれば市外転居」希望理由		飯能	精明	加治	美杉台	南高麗	吾野	東吾野	原市場	名栗	合計
21	バス・鉄道・高速道等の交通アクセスが悪い	27.6	23.1	8.3	-	50.0	-	50.0	66.7	-	21.0
22	居住環境がよくない	-	-	12.5	9.1	25.0	40.0	-	16.7	100	12.0
23	税金関係	6.9	30.8	20.8	9.1	-	-	-	-	-	12.0
24	買物環境がよくない	10.3	7.7	-	-	-	-	-	-	-	4.0
25	その他の理由	44.8	23.1	37.5	63.6	25.0	-	50.0	16.7	0.0	36.0
26	理由未記入	10.3	15.4	20.8	18.2	-	60.0	-	-	-	15.0
合 計		100	100	100	100	100	100	100	100	100	100

③「市外へ転居したい」理由

「市外へ転居希望したい」グループは全体の3.5%であり、その理由は、図表4-12-①・②のとおりです。

「転居希望」の理由としては、「税金関係」(14.3%)、「居住環境がよくない」・「周辺の人間関係がよくない」・「交通アクセスがわるい」(10.7%)などとなっています。

図表4-12-① 市外へ転居したい理由(件数)

(N=28 単位:%)

「市外転居」希望理由		飯能	精明	加治	美杉台	南高麗	吾野	東吾野	原市場	名栗	合計
31	税金関係	2	1	1	-	-	-	-	-	-	4
32	バス・鉄道・高速道等の交通アクセスが悪い	-	1	2	-	-	-	-	-	-	3
33	居住環境がよくない	-	-	2	-	1	-	-	-	-	3
34	周辺の人間関係がよくない	-	1	1	-	-	-	-	-	1	3
35	その他の理由	2	3	3	-	-	1	1	1	1	12
36	理由未記入	1	-	2	-	-	-	-	-	-	3
合 計		5	6	11	-	1	1	1	1	2	28

図表4-12-② 市外へ転居したい理由(構成比)

(単位:%)

「市外転居」希望理由		飯能	精明	加治	美杉台	南高麗	吾野	東吾野	原市場	名栗	合計
31	税金関係	40.0	16.7	9.1	-	-	-	-	-	-	14.3
32	バス・鉄道・高速道等の交通アクセスが悪い	-	16.7	18.2	-	-	-	-	-	-	10.7
33	居住環境がよくない	-	-	18.2	-	100	-	-	-	-	10.7
34	周辺の人間関係がよくない	-	16.7	9.1	-	-	-	-	-	50.0	10.7
35	その他の理由	40.0	50.0	27.3	-	-	100	100	100	50.0	42.9
36	理由未記入	20.0	-	18.2	-	-	-	-	-	-	10.7
合 計		100	100	100	-	100	100	100	100	100	100

3. 買物環境と居住継続意向に関する個別理由の主なもの

(1) 買物環境に関する主な理由等

1) 満足している主な理由

① 店舗の距離

(近い・徒歩・自転車で行ける)

- ・家から歩いて買い物ができる距離にスーパーがある(多数)
- ・近くにスーパーやコンビニ・ドラッグストア・商店街などがある(多数)
- ・徒歩でもほとんどの物が買物できる(多数)
- ・自宅から自転車で10分以内に、デパート・スーパー・商店街と揃っているから(多数)
- ・家から近い場所にショッピングモールがあるので、共働きの場合は都合が良い
- ・近くに「まるひろ」ができ、一ヶ所で用が足りる。又、たまにはベルクへも行ける。ただ、昔と違って年をとると、色々な店に行けなくなりがちです
- ・自宅から近いので買物に行きやすい。駐車場完備・閉店時間も遅いので助かる
- ・自転車や車にも乗れるので満足。不満を言っていたらきりがない。あと数年経ったら分かりませんが、そしたら商店の人がご用聞きに来て欲しい

(自動車で行ける)

- ・車で飯能市内に出れば一通り買い物ができる(多数)
- ・今現在は車の運転ができるのでまあ満足しています
- ・車があるからなんとかなっている。車があるので近くに商店がなくても足りる。これ以上、ショッピングセンターやコンビニ等を増やしてほしくない
- ・吾野地区からは車で秩父方面にも行けるし、飯能市街や日高鶴ヶ島方面にも行ける。どこに行っても同じ位の時間で行けるのは満足です。逆に10分位の所でちよこっと買物に行けたらもっと便利かなとも思うところで、まあまあです
- ・「まあ満足」というのは車利用が前提。これからの高齢化社会において、車を使わないで済む生活基盤作りが必要(歩道、自転車道の整備、コミュニティーバスの運行など)
- ・飯能市内で不十分な時は自分で車を運転して日高市・川越市と行っている

② 利便性等

(必要な物は買い揃えられ不便を感じない)

- ・そこそこの品物がひととおり購入することができる(多数)
- ・特にこれといって不便を感じないから(多数)
- ・殆どどの物が市内で調達できるから、よその町や市・都内にまで足を運ぼうとはあまり思わない。ないものは通信販売で購入
- ・割高になる事もなく、他地域と値段差無しに買い物ができるので満足。だが大物となると配送等を頼らざるを得ない
- ・(生活する最低限では)、特に不便でもないが、ワンランク上の買物(ex、おしゃれする、ランチする、ぜいたくするetc)などの時は、人間や、所沢へ行く。残念だが、他の市町村でお金を遣う
- ・文句を言わなければそれなりに商品が買える。気にいっていた小さいお店がいつの間にか消えて、どこにでもある商店に変わると、その場所には足を向けなくなる。個人商店は、ここでだけでしか買えないものが多い(あまり買う事はないが…)
- ・自分にとって、良い事ばかり考えたら、きりがないのでまあ満足です
- ・高齢者の年金暮らしなので、日用品以外はあまり買い物をしていない。日常の買物はまあ満足しています

(日用品は近くで用が足りる)

- ・近隣のスーパーなどで食材等はほとんど揃う(多数)
- ・食、住に必要な品物はそれなりに店舗があり通常はあまり問題がない(多数)
- ・自宅、徒歩圏内にスーパーがあり、様々なものが、ひとそろえできる。飲食店、クリーニング、ドラッグストア、もあり非常に便利
- ・住んでいる近くにレストラン、商店があるのでまあ満足しています
- ・近くには複数の食品スーパーもあって、業務スーパー、丸広など幅広く買い物環境が整っているので満足しています
- ・家の近くで生活に必要なほとんどの物を買うことができる。でもデパートやショッピングセンターがあまりないので、年代にあった洋服を見たり買ったりする所が少ない
- ・食料品関連や日用品関連は充実していると思う。その他は都内の方が店舗数や種類が充実しているので欲しければ都内という考えである

- ・近くにスーパー・ドラッグストア等があり食品・日用品は用が足りる。けれど服飾品等はあまり市内の店で買うことはない。イオン・ニトリ等の大手の店が駅から歩いて行ける距離にあるといい
- ・普段の食品、雑貨などは、近くのスーパーなどで充分です。衣料品は、都内や市外で買うものと割り切っています

③店舗数等

(店舗の数が多し)

- ・スーパーがたくさんあって便利である(多数)
- ・色々な店多くあり大変助かる 歩いて買物にいける

(各種の大型店が揃っている)

- ・幸いにも、付近にスーパーやドラッグストアなど揃っているので便利だと思います。あとは、本屋などがあると便利ですが
- ・市内(中心地)にいっにはちょっとありますが、近くにスーパーは8軒あるので不便さを感じない
- ・周囲にスーパーアルプス、マツキヨ、ダイソーがあり、東飯能駅周辺の丸広、ビックA、ベルク緑町店、エッサン、東京靴流通センターMacHouseがあり、買い物の9割はここで済ませ、残りの1割は勤務先のイオン
- ・近隣に各種商業施設が全てであるため
- ・スーパーが多数あり(近隣市を含め)、価格を比較しながら安いもの(所で)買える。貧乏人にとって、有難い
- ・スーパーマーケットの店が多々あるので、選べて買物ができる(多数)

(不自由しない程度に店がある)

- ・日常生活に不自由を感じない程度の店がある
- ・ある程度お店もあるから
- ・コンビニも近くに出来てほんとうに困る事がなくなりました

④交通関係

(駅に近いので便利)

- ・駅に近く徒歩で買物できる(複数)
- ・駅やスーパーなどが近くにあり満足しています
- ・住んでいる場所が駅そばなので、買物には苦勞していません

(駐車場が完備している)

- ・駐車場がある店では、ほとんど広い(複数)

⑤品揃等

(店舗の品揃えが良い)

- ・品揃えが出来ている。欲しい物がある(複数)
- ・品数もまあまあですし、値段も手頃と思います

(価格が安い)

- ・青梅や他地区に対して物価が安い(複数)
- ・物価がやすい

⑥その他

(住居環境が良い)

- ・住居が環境の良い所にあるからと思います(複数)
- ・居住環境は緑が多く静かでのんびりできる。金融機関(JA・〒)も近くにあり不便ではない。しかし買物環境は、飯能市街地、日高市迄行かないと思うような買物は出来ない
- ・地域の環境良さ。住人の良さ
- ・緑が多い。災害が少ない

(過度の期待はもたない)

- ・あきらめている。過度な期待を持たない(複数)
- ・飯能市の人口からしても多くは望めない

(その他)

- ・自然が多く、静か。住民の方もよい方たちばかり(複数)
- ・ネットと並用すれば、ほぼ事足りるので(複数)
- ・あのお店のアレが美味しい、という理由で出かける事はある。ただ土産に飯能のものをと考えると悩みます(複数)
- ・基本的には満足はしていないが、満足できる環境になってもらいたいとも思っていない。この「田舎」らしさが良いのでは！？
- ・電化製品(パソコン含む)大型店が近くにあれば、わざわざ車で遠出する必要がなくなる
- ・不足があつて満点。充ち足りると不平が先に立つから
- ・不便は承知の上なので

2)満足としながら不満理由を記述しているもの

①交通関係

- ・今は車で動けるから良いですが、この先高齢になった時の対策が不安です(多数)
- ・この先車が運転できなくなったら、バスも通っていないので不便。移動のお店があつたら良いと思う
- ・気に入った商店があつても車が止められない為に、駐車場の広いスーパーへ行ってしまう
- ・市内の個人商店に買物に出かけるが駐車場所がなく不便。市営の駐車スペースを町の中に作って欲しい
- ・屋根付駐車場がある店が少ないので、雨の日は店入口集辺が混み合う。小さな子供がいると行く店を考えなければならない
- ・スーパーまでの道がとにかく悪い。車が多く通るのに歩道がなく狭い。未舗装でデコボコ。とにかく道が悪い
- ・車で買物する場合、西武線等の踏切の改善が必要です

②店舗数

- ・大型のスーパーやショッピングセンターがない(複数)
- ・地域に大型店専門店(書店・家具店・文具店など)などが少ない(複数)
- ・加治地区は、世帯数・住民数も多いにもかかわらず、食品スーパーが少ない。現状は市内まで車で買物に行っている(複数)
- ・だんだん個人商店がなくなって年を取ったらどうなるのでしょうか？
- ・個人店の人のやる気がないように思う。もっと来てほしい努力してほしい。良い物があれば人は来ます
- ・商店街の店にはほとんど買物ししない。魅力がない。PePeで買物物は終了

③店舗距離

- ・車で移動ならあまり苦ではないが、徒歩となると、お店が遠い(複数)
- ・スーパーまでは遠く、車を利用しないと行くことが出来ないなので不便(複数)
- ・自宅からどこも遠いので大変。新鮮な物が食べられない
- ・買物場所迄行く足(交通手段)があればなお良い(複数)
- ・商品街が、今ひとつ入りにくい感じがある

④品揃え

- ・食料品以外、特にファッション性のある衣料品等については、満足していない(複数)
- ・食品は近くで買えるが、服や本は品ぞろえが少なく、気に入ったものがないことがある(複数)
- ・衣類など若者向けが少ない。もっと若い人が買物したくなるようなものを揃えてほしい。商店街の人のサービス精神が少ない(九州の商店を見習ってほしい)(複数)
- ・ちょっとオシャレな洋服、雑貨、プレゼントにしたいような物を、選んで買えるだけの店の数が少ない。イオンのような大型店は便利だけど、市内の個人商店がつぶれてしまうのなら、いらない
- ・限られている場所での購入より、もっと広い選択ができる買物ができる処が欲しい。いつも同じもの何故？
- ・商品はそれぞれの店舗によって充実はしてきてはいるが、どの店も潰しあいの所がある。もっと特徴を活かして「この店にしかないもの」をもっと強くアピールするとよいと思う

⑤その他

- ・まるひろに名店(食事ができる)の階を設けてほしい
- ・丸広百貨店がもっと充実していると都心に買物に行かなくてもすむ
- ・まるひろが東飯能駅に移転したため、不便を感じている。品質の良い店舗(食料品)が他にもっとあれば良い(駅周辺に)

- ・東飯能、丸広百貨店の不充実で他市へ行く事が多くなる。飯能駅前も、メインが無く駅前商店街への集客が逆に落ちるのでは
- ・飯能駅のまわりに、客を案内したり、友だちと食事ができるグルメなレストランなどが少ない(複数)
- ・全てが中途半端な為、目的の物を探して買い物をする時などは市外に出るようだから…
- ・不満があっても、どうしようもない
- ・歩いて買物はできるが、家族等で食事をする場所は車で出かけなければ無い
- ・ペペではポイントがつく。一企業のみではなく、市内共通のポイントが利用できれば「ペペ」以外の市内の店でも買物に行くけれど、今は「ペペ」が中心

3) 不満である主な理由

①商品の品揃え

(店舗の品揃えがよくない)

- ・品数が少なく、商品情報が少ないなど魅力ある商品が少ない(多数)
- ・ほしい物を見つける事が出来ない。駐車場がない為に落ち着いて買物が出来ず、店主の言い訳が多すぎる為楽しくない
- ・一応何でもあるがバリエーションがない。 婦人服、靴の種類が少ない(複数)
- ・近くの市と比べてレベルが低い。商店は大型店はなく全体に古い。車の利用が不便—地図を見るとよく分かります。どこに住んでいる人に飯能の商店を利用してもらいたいのか—古い銀座通りに行くの？
- ・購入意欲をそそるような商品がない。価格は手頃でかつ商品の品質も良い物を求めます
- ・近隣の市、町、にはあるものがない(手軽なお店)
- ・自分の日常食しているものを購入するために全てのスーパーを回っても手に入らない、野菜や肉の種類が少ない。おしゃれな雑貨や充実した本屋さんがない。衣服は飯能市内で購入したいものがない。年を取ってからの買い物に不安がある

(魅力的な店がない)

- ・他市と比べてセンスがあって魅力的な店がない。地元の商店に活気がない(多数)
- ・魅力のある商品がない事(常に同じ物が置いてある)と、周りの環境にすばやく反応して欲しい(風評などに、子供がいる家庭の場合、買物が出来ず他所から購入してしまう)
- ・大型店が撤退しても次に新しく店舗が出来る気配もなし。飯能には、他市町村から人を、よび寄せる、魅力がない。入間の安川通りなどはイオン等が有るためか、いつも人でいっぱい、活気が有る
- ・最近、越してきたばかりですが、予想以上に街に魅力がないです。池袋から50分ほどで来られるのに、観光地を意識するよりも、大型商業施設の誘地など商業活性化やスポーツセンターを増やしたり、集客や飯能に住みたいと思える人を増やしたりした方がよいと思います(複数)
- ・買物するお店の数は(食料品だけ見ると)まあまあ満足していますが、その他の必要な物が飯能市内にはないことから、買物環境はあまり満足できない
- ・店舗に魅力がない。やはり、大型ショッピングモールなどあれば、家族で買い物ができ、遊べる
- ・個人の商店が高齢化しているためか品物が充実していない
- ・惣菜店や、名産品店、など商店にも力を入れるべきだと思う
- ・逆に聞きたいです。他の町の友達にどこの店に連れて行き、どこの店にランチを誘いおみやげを何を持たせたら良いか
- ・接客態度がよくない

(ファッション・若者向けの店がない)

- ・20代、30代を対象とする洋服のお店などなどヤング世代の商品を扱うお店が少なすぎる(複数)
- ・若者を大切にしていない。若者が魅力を感じるような店はない。昔の丸広東飯能店の様に、母子で洋服等を買って物できるような所が今はない！
- ・食料品はともかく、衣料品を買えるお店があまり無いので、都内や他の町に入間市や所沢まで行って購入している(多数)
- ・婦人服などの衣料品等は、高い店と安い店と極端すぎてしまう(複数)
- ・飲み屋ばかりで素適な雰囲気のレストランが全くない。衣料品は時代に追いついていない。唯一のデパート丸広も魅力なし
- ・大きな衣料品店等が入った、レイクタウンのような店舗がない

(価格が高いなど)

- ・他市に比べ物価が高いと思う(複数)
- ・物価が高く品揃えに満足いかない。買い物しても楽しくない
- ・近辺に、バルクとアルプスしか食品スーパーがない。そこでは価格が高いため少々不満です。入間市のヤオコーが品質・価格

共に良いので遠いですが利用しています

- ・大型商業施設や物価等が高いのでは、交通費も高い(原市場より市内～)
- ・年金で生活している私には、物の値段が高すぎる
- ・売ってやるという気持ちが出すぎているので行かなくなった。客の希望を聞いてもらえないので他地区に行く方が多くなっている事が多い。「不便だな」と思う時が多い

②店舗数等

(スーパー等の大型店が少ない)

- ・近くに大型スーパーがないので買い物に不便(多数)
- ・ショッピングセンター、アウトレットモールなど大型店が飯能にはない。家族で楽しめるショッピングセンターは他市へ行くしかない。西武飯能ペペ・丸広百貨店が大きい方だと思うが、目的の買物がある時以外は、ほとんど行く気がしない。買物をした後、ゆっくり休める空間がない(複数)
- ・1番欲しいお店は、イトヨーカードーのような大きく、その場所で何でも買物出来る大型店を作ってほしいです
- ・駅の南側は店(スーパー)少ない。カインズホームからアルプスの間にスーパーがあればいい
- ・駅まで遠いので、満足していない店での買い物になってしまう。名栗方面にも、大きな店をつくってほしい
- ・加治地区川寺にスーパーがない!! コンビニもない…。線路を渡るかサビアまで行かなくてはならないので不便。どうして、線路北にばかり集中しているのですか?

(店舗・個人商店が少ない)

- ・商店が少ない(多数)
- ・自宅近くには、ある程度の店が揃っているが、少し外れた所は店が少ないので買物にあまり出られない人は、たいへんだと思う
- ・商店のレポートリーが増えると良いと思います もう少しいろんなお店があるといいと思う
- ・商店街個人商店の数が少ない。台所に直結する店が少ない。商店の方は商品知識を豊富にして親切に対応して欲しい
- ・専門性のある商店が少なく、センスの無い環境。駅前や駅周辺の商業地域は特にひどく、大きく開発する行政の力が欲しい
- ・肉屋さんには近くにいいところがあるが、野菜、魚を売っているいい個人商店がない

(一ヶ所で買物できない)

- ・1ヶ所で全て買えるような商店街が欲しい(複数)
- ・商品ごとにお店がバラバラで、車か自転車で移動しないと買い物ができない。雨の日も不便。大きなモールとかだと、食事をして、日用品、夕食の買い物まで、1ヶ所でできるが、駐車場が無料で、そういうお店が飯能にはあまり無いと思う
- ・食品等は新鮮で安い店は遠くにあり、一ヶ所で済むことがなく何ヶ所も車で寄って買い物になるので時間がかかってしまう
- ・買物はなるべく1ヶ所で済ませたいですネ 多くの専門店で多くの商品をみて買物を楽しみたいです

(専門店が少ない)

- ・まともな専門店(書店・オーガニック製品(食品)・魚屋・生鮮食品などを扱う)が少ない(多数)
- ・専門店がない(あっても少ない)。299BP沿にモールができれば効率的な買物ができる。銀座通りなどは駐車場もなく、よくよくでなければ行くこともない
- ・どこの店も全国チェーン店でない限り、行きたいと思えない
- ・家族で行ける様な、お店がない。物価が高い
- ・地元の野菜が欲しいため、日高市位の農協の直売所に行く。お花など少し遠いのですが
- ・飯能駅北口は店舗に恵まれているが、南口では限られているので不便

③店舗の距離

(交通機関がなく、遠くて不便)

- ・交通機関がない為、買い物に不自由をしている(多数)
- ・公共の交通手段が全くない。老身になったときに、生活できなくなる
- ・身近に(歩いて行ける距離の所)スーパーが少ない
- ・少し遠すぎる。駐車場に車を入れると同時に追い出されたので一生涯この商店街は行かないことにしている
- ・買物施設(スーパー等)が遠くて不便(多数)
- ・飯能市の郊外に大型店舗が出店し、駐車場が整備されているので車での買い物には便利だが、市街地への買い物は車で買い物をするスペースがない。個々の店舗と大型店の価格の違いや必要とする品物や専門店探しはむずかしい

・家から買う店が遠い。昔大八車で引き売りがあったけど、町内会ごと、空き地を、貸して月曜野菜、火曜魚など店がやって来るようにでも市で音頭を取って良いのでは

・岩沢地区は買物するには不便。ゴースタウン化している

(自動車がないと行けない)

・自家用車がなければ買物の用が足せない(複数)

・車でいろいろまわらないと品揃えが乏しい

・駅周辺からスーパーがなくなり車で行かなければならない

・家の近くに店がなく、車を使わなければ買い物に行けない。飯能は店が少なすぎる

・原市場地区にはスーパーは1店しかなく、車があれば買い物も難しいのに、路線バスがなくなったら不安です

・近くには店はありません。歩いて30分程の所に何件かありますが、町中のスーパーのようなものではなく、細々と個人で営んでいるものです。利用する事はほとんどありません。今は車で買い物等行きますが、車に乗れなくなった時は、どうなるのかと不安になります

・バイパスを通過して大型店舗に買物に出かける。通信販売も充実。昔ながらのアーケードや商店街は駐車場が少なく、あっても個人商店専用であるため複数の商品を購入するには不便。どこか郊外に広い駐車場を備えた個人商店団地でもできれば便利だし、いろいろな楽しみ方もできる

・近くに本屋さんやコンビニがなく、ちょっと買いたい時でも、車で行かないといけなところ。又、スーパーだけでなく、小さい子もいるので、1つのお店で、食品から衣料、雑貨など、充実した、お店を作ってほしい

・若い頃は車で買物に行くが高齢になると心配。スーパー・郵便局がほしい(複数)

・バス路線・本数共に少な過ぎて自転車・バイク・車等に乗れないと買物出来ない。年を取ると心配。バスの便を良くして欲しい

(徒歩や自転車で行ける店がない)

・徒歩・自転車で、買い物に行けるお店がない(複数)

・徒歩で行けるスーパーが無い。コンビニが無い。子供服、大人服オシャレな店がない

・徒歩圏内で買物が出来ない。どこへ行くにも車を出さなければならず、子供を散歩させがてら少しの買物を済ますことすらできず、不満。子供と一日遊べるようなショッピングセンターもなく、休日は他市へ出てしまいます。市内では用が足せません！！

・歩いて行ける範囲に生活に必要な品物がすべてそろってないため

(その他)

・スーパー、デパートの規模が小さい(複数)

・デパートやショッピングセンターが充実していない。子どもを連れて、買い物がしにくい(エレベーターやおむつ換え等不便)

・集客を考えてない

・他の行政地域と比べ商業施設は、相当劣っている

④利便性等

(周辺に店舗が無く不便)

・山間地で近くに店舗が無く不便(多数)

・近くに商店はないので通院のついでにまとめ買いしている。週に何回も買い物に行けるのは市街地の人だけでしょ

・山間部には食糧品店として地元の人も使える公共の店舗や道の駅等の施設を設置して欲しい

・お店がない。交通手段が不便

・ジュースすら、自転車に乗らないと買に行けない。自販機くらいは設置してほしい。美杉台地区にはばかり人を集めているような気がします。コンビニすらありません

・近くに食料品を買う場所がない。歩いて行ける距離にスーパーがほしい

(商店街等の活気がない)

・商店街に活気がない。魅力がない。元気がない。特に個人商店など(複数)

・商店街に盛り上がりがなく、充実していない。冷たい感じがする(複数)

・飯能の要である、大通り、銀座通り商店街に活気がなく、シャッター街であること。小店舗でも個性があり活気があり、この商品はこの店という自信と誇りを持っていただきたいがそれが無い！！

・飯能は、商店街・イベント等は活気が弱い様な気がする。何事も小さい。銀座通りを、もっと活発にしてほしい

・商店の活気がない。品質鮮度がよくない。駐車場がない

・買い物もまともな物がない。活気がないし、手当てがいくらいなくてもない。ベビーカーを引いて歩きづらい道

(他所の町に買物に行くしかない)

- ・衣類は商店街や丸広では十分でない為、遠方へ行くしかない
- ・駅周辺の買物環境がいまいち…時間があれば大型店に行行って買い物している(アウトレットやコストコ、武蔵村山イオンなど)
- ・銀座通り商店街がさびれ、人通りがあまりなくつまらない街になった為、買い物は郊外のスーパーに行ってしまう。※青梅市のよ
うな商店街がうらやましいです
- ・飯能の商店はつまらないです。何がと言われるとうまい言葉が見つかりませんが、ほとんど青梅方面に出かけてしまいます
- ・自宅から乗用車で買物にでかけるが、飯能市内の距離と青梅市等との距離があまり変わらず店舗の多い青梅市等を選んでしまう
- ・大きなショッピングセンターが無いので他の市で買物をしてしまう。今の丸広では買い物する商品が無い。何とかしてほしい
- ・買い物をして映画をみたりして食事をして来る、そんな時は大抵日の出のイオンモールとかに行ってしまう。飯能にもモ
ールの様な施設があれば、遠くまで行かなくても、家族ででかけられると思う！！
- ・隣や近くの市町村へ買い物に出かける事が多い。出かける事は好きですが便利ではない
- ・良質な物は都内に求めてしまう

(その他)

- ・店の閉店時間が早い。銀座通りがシャッター通りになっている。小売店、(肉屋、八百屋など)が少ない
- ・閉店時間が早く仕事帰りに買えない。ペイシアみたいに安いお店がない。駅前商店街に行きたい気もするが駐車場が有料の場
所しかなく使いづらい
- ・昔ながらの殿様商売でやる気がない。商工会議所の動きがみえない。商店街がかわいそうだ
- ・接客態度があまり良く無く、サービス精神が低い

⑤交通関係等

(駐車場が完備していない・少ない)

- ・無料駐車場付きの商業施設が少ない。一ヶ所で用が済まない(多数)
- ・街中は駐車スペースなど無く、買物する場所あまり無い。やはり、大型のショッピングセンターなど駐車可能で買物全てが完結
出来る所を選ぶこととなる
- ・無料駐車場がない。銀座商店街で買物しようとする為、駐車しようとする、いやな顔をして見ている、感じが悪い
- ・銀座通りは駐車して買物中に駐車違反にされてしまう。駅も迎えに行っても車や人が待てる場所が少ない。売る人と買う人がゆっ
くり会話しながら買物できる空間作りがほしい。まとまった商品があるのはスーパーだけど、車のない人は行くのがたいへん。駅
周辺と銀座通り商店街の再開発リニューアルがほしい
- ・市内では車が少しも止められない。3分止めただけで写真を撮る。ビクビクして買物はできない
- ・商店街にモーターゼーションの対応が全然出来てない。ほとんど渋滞もない商店街の駐車を認めない理不尽の解消、商店個々
の企業努力が足りない

(歩道・車道が未整備で狭くて危険)

- ・道路・歩道が未整備で狭いため、安心して買物に出かけられない(多数)
- ・どこに行くにも狭い踏み切りが多く、また道路も狭く、飯能に友人も呼べない。なんと言っても道路の整備を優先してほしい。その
上で観光案内もできる。とにかく狭い踏み切りと道路をなんとかしてほしい
- ・道路の不備(区画整理が進捗しない)。踏切が多すぎる。西武車輛基地が移転して、回送が多い。車が市街地に入れない
- ・なるべく街なかの近くの商店で買い物したいと思いますが歩道が歩きにくく転倒したこともあります。商店の開店時間が遅かつ
たり閉店時間が早かったり、希望の商品がなかったり、つい足が遠のいてしまいます
- ・道路整備がされていない。飯能駅北口～南口間を直接車で移動出来ない。道が狭すぎます

(年若い車や自転車が運転できなくなった時は不安)

- ・今は、自転車や車で買い物に行く事ができますが、年をとってそれが無理になった時に、他の手段が無いので大変になると思
います。市内を走る小さいバスでもあれば良いのですが(多数)
- ・年をとり、車をやめての生活は不便。公共的施設 市役所業務等もふくめ、買物等、月に1～2度の息子や知合いの車でのも
め買している。入間市のように市内循環バス(小型)でもお願いします
- ・現在、車で30分以上かけ、買い物していますが、車で行けなくなった時は、インターネット等利用しようと思いますが細かい物ま
で思う様な注文ができるのか心配

(路線バスが少ないなど)

- ・公共交通機関の市内バス路線は特に利便性が悪い。八高線、西武飯能以遠

- ・居住の場所から市内の交通が不便になる。バスの時間帯(本数)が不便なところがある
- ・路線バスが2年後に廃止になると今年3月の飯能市議会で決まったとの事 交通手段が無くなればもっと過疎化が進んでくる。東飯能丸広内にコミュニティーセンターがありますがそのような事に予算を使うのでしたらもっと価値のある事に税金を使って欲しい。営業時間がもう少し夜遅くまで営業してほしい
- ・路線バスがないので不便をしています
- ・踏切りや駐車場も含めて交通網が複雑なため、一通り生活用品を備えるのに手間どる
- ・銀座通りをアーケードにして、ぶらぶら買物できるといいです。ちょっと休める場もあって

⑥その他

(百貨店への要望等)

- ・どうしても遊びをかねて出かけられる大型店に車で行ってしまいがち。丸広があっても、以前の飯能店のような内容であれば充実していて子供と遊びに出かけても楽しかったのですが、現在はあまりにも縮小されており、「楽しみ」はなくなってしまいました
- ・どちらかと言えば、まあ満足に近いのですが、飯能のほぼ中心にある丸広百貨店が1階と7F以外の所がぼつとしない感じがする。もっと若者向けの洋服や雑貨等、値段もリーズナブルの品物を置いてもらったり、アウトレット的なお店を作るとかして欲しいです。でないと活性化しないと思います
- ・早く丸広の跡地にショッピングセンターを
- ・飯能駅から、百貨店、丸広が無くなったのは、とても残念。ひと駅離れただけなのにとても不自由を感じている
- ・飯能駅前にデパート(丸広)がないということは、駅周辺の商店街にも行かなくなりました。東飯能は不便です
- ・唯一の丸広がどんどんさびれていくような気がして不安です。商品も少ないし…

(ワクワクドキドキ感がなく、中途半端)

- ・古い建物が多く、商品も魅力的に感じられない。ワクワクドキドキ感がない。道が狭い
- ・あまりパーツとせず鮮度もあまり良くない。変わり栄えないのが残念に思います
- ・どれも中途半端だから
- ・駅ビルをもっと充実してほしい。ペペもサビアも丸広も閉店時間が早すぎて、出掛けて帰ってくると殆んど閉まっている。駅全体に華やかさが無い
- ・お店が少なくて楽しくない

(特色あるレストランなどが無い)

- ・特色のある食事処がない
- ・普段の生活には不足はないが、これと言って、おもしろい店とか何度でも通いたいレストランとかがない

(その他)

- ・公共施設が町の中心から効外に離れ、行き難い。図書館等は、地域的に分散して、利用し易い距離に縮める。老人病弱者の収容施設が遠くに離れて医療費も負担が高い
- ・山間部の買物の状況をきちっと分析し、不都合をなくすことが全体の取り組みにつながっていくものと思う
- ・青梅河辺駅前など参考になるのでは。温泉、図書館など魅力ある
- ・調整地が多く建物が建たない
- ・旧市内の商店、もっと元気を出して下さい
- ・市内循環バスを考えてほしいです
- ・1人で買い物に行けない人への対策がなされていないから
- ・おいしい物がない。美しい物がない。畑や山がきれいになってない草だらけ家の回りも草だらけの家が多い
- ・ワンパターンで進展が見られない
- ・下水がないので満足できてない 災害が少ないのでまあ満足。防災無線が聞きとりにくい
- ・都内のデパート地下にあるようなものも買いたいから
- ・飯能に来てから25年！何も変わらない

(2) 居住継続意向に関する主な理由等

1) 市内に住み続けたい主な理由

①空気・水・緑などの自然環境が良い

- ・自然が身近で住環境に適しており、都心へのアクセスも便利のため(多数)
- ・緑が豊かで空気もよい(多数)
- ・山あり川あり、災害の少ない所ですので安心して住めます(多数)
- ・空気が都内よりもかなりきれいであることが、飯能の最大の魅力(多数)
- ・静かでのどかで川も整備されていて災害に強いから(多数)
- ・住環境が、とても良い。澄んだ空気と緑に替えられるものはない(複数)
- ・昔は、天覧山あたりは遠足でにぎわっていました。熊や猿も見物できました
- ・樹木も沢山有りわりと静かな所が気に入っている。若ければ転居も考えるけれど今は考えていない。人口が増さない限り町の活性化は？と思えますし、法人税を納めてくれる様な会社が来てくれると良いと思う
- ・住む場所としては、災害もなく、よい場所だと思う。昔のように、水がもっとおいしくなるとよいのですが。町の街路樹の枝、どうして切ってしまうのか、町の雰囲気大事にしてほしいと思う(経費が、かかっても)

②長く住んでおり、故郷である

- ・生まれ育った所なのでずっと住み続けたい(多数)
- ・住なれている。近所の人たちとのつながり(多数)
- ・ずっと住んでいるので勝手が良く、楽なので…(多数)
- ・長年住み、親類等も多く、自然環境もよい(多数)
- ・先祖代々の地であり、この地を守りたい(多数)
- ・家があるから、家をつぶす訳にはいかない(多数)
- ・ふるさとだから(複数)

③生活環境がよい。住みやすい

- ・環境がよい(緑・安全・住いの近隣)(多数)
- ・住み良い街だから(多数)
- ・生活上便利だから(多数)
- ・平和な良い市だと思うので(複数)
- ・3年がかりで探した場所。年をとり、仕事をやめた後車も乗れない状態になった時はスーパーの配達システムを利用する事になると思う。山の景色の美しさは…
- ・理想に近い地区(市)と思われるから。市街地あり、山河あり、湖沼ありの住環境である
- ・現在住んでいるところには同じ町内で転居した位気に入っています。治安がよく、子どもが多い。駅も2駅利用でき、ほどほどの距離でよいと思っています。少なくとも自分には合っていると思います
- ・飯能駅南口へ歩いて15分の所に住んでおり83才の年でも住みよい所なり。生活するには山あり川ありで実に良い地域なり
- ・田舎と都会の生活もどっちも味わえるから。観光地化はゴミの増加と環境悪化につながる
- ・この地で生き抜いてこの地で死を迎えるのは幸せに思う
- ・よい所だと思うから。ただ路地グルメに参加した時迷惑そうな店があったので気分悪かった。店の人は本当にお客さんに来てほしいのか疑問。いらっしやいませも言わない！温い不味いコーヒーを出された。他の行った店は良かったけど…
- ・高齢になっても暮らしていけそうなこと
- ・この歳ではどうもならないでしょう。飯能市にお世話になって、83年です。飯能市坂石町分は良い所です

④引越したくない。引越できない

- ・日常生活には満足しているので、いまさらエネルギーの要る引越はしたくない(多数)
- ・他に住んだことがないので(多数)
- ・引越は大変面倒くさい(多数)
- ・今さら転居は、気力・経済的にもできない(複数)

⑤バス・電車・高速道路などの交通がアクセスがよい

- ・都心にも比較的近く、また自然環境も良いので両方に接することができる(多数)
- ・交通の便がよいので(複数)
- ・駅から近いし、商店街にも歩いて行ける、交通便利(複数)
- ・始発終点の駅を持っていることがよい(複数)

⑥災害が少ない

- ・災害も少なく、凶悪な事件もなく、安心して生活できる(多数)
- ・地震に強いイメージがある(複数)

⑦適度な、程よい田舎である

- ・不便ではあるが、環境はよいので住むには大変良いと思う(複数)
- ・のんびりした感じが好きです(複数)
- ・適度な田舎なので、わりと必要なものに不自由しない(ネットや都内と並用している)ので背伸びしないで飯能のよさを発信できればよいと思います
- ・ほど良い田舎。バスの本数を増やして欲しいです。1時間に1本はキツイ…
- ・不便でなく、便利すぎてもいけないから。自然豊かで、都心まで、電車ですわって行ける。こんな住みよい街を生かしていきたいように思う
- ・飯能住めば都です。ご先祖様も居ります。健康でくらすよう頑張ります
- ・不便さは、今の生活において感じていないから。子供を育てる上でも、自然も沢山ある。駅付近においては、たまにしか行かないけど、年々、さびしい。丸広が、なくなり、余計！そう思う

⑧その他

- ・近所つき合いがまあまあ良好だから(複数)
- ・日用品を買うのに、スーパーが多数あり、安いものを買える(複数)
- ・飯能が好きだから(複数)
- ・名栗は、夏涼しくて、九州の生まれた環境に近いので住みつけたい。横浜から引越して来て20年になる(川の整備はコンクリートで固めてほしくない)
- ・住居の近くに病院・スーパー・バス停等があり、老人施設等が充実しており、長年生活をして人間関係も良いと思う(複数)
- ・職場があるから。終点の駅もあり、生活するには良い(複数)
- ・職場が近いので、住み続けたいと思います。生れは日高市ですが、日高市の巾着田や高麗神社の様な目立ったものがあれば良いと思います。日高市は韓国との交流をアピールしているので、飯能市も米国(ブレア市)との交流をアピールしてみると良いかもしれません
- ・家賃安いし、電車の便もいいし、ICも近くだし
- ・総合病院がありません 近くの病院は皆夜になると医者が居りません。どうすればよいのですか？
- ・駅が遠いのは不便に思うが、駅の近くでさわがしいのはイヤ。実家や友人も多いので市内には住んでいたい
- ・区画整理の関係や時代の流れで、緑や静けさも、壊されてきているので、だったら、もう少し便利な都心に近い所も魅力かなとも考えます。線路沿に造っている道路も不思議。大きな道路も暴走族のいい遊び場になる気がして、ちょっと恐ろしい(複数)
- ・現状に満足しないで、努力してほしい
- ・住み続けたいが車の運転ができなくなったらアウト。この辺一体の人達からは村八部のような扱いを受けた。今は不便を楽しんでいるが、数年住んでも未だに余所者扱いである
- ・住み続けたいと思いますが、どんどん人口がへり、買い物など不便になるようなら市外に転居も考えます
- ・他市に住んでいる友だちを呼んで、ゆっくり、買物したり、食事したり、お茶をする店があると、うれしい
- ・程よく自然もあり、都内などもアクセスが便利、国道、高速ICなども近いし住みやすいと思います。子供をもつ親としては、学区のレベルが高い事を希望します。市全体でレベルアップ目指すと転入者も増えるかな(全国的に有名にする！！)

- ・入間市に住んでいた時は、公民館サークル等で友達もできて楽しかったが、飯能では、公共施設等公民館も遠いし集会所らしき所もなし、地域住民とのふれあいの、お茶飲みも段々遠くなり、足も遠のく。これは、我ままです。この忙しい御時世に、色々奉仕して下さる方は大変だと思います
- ・年取ってひっそり住むには飯能は良い所ですが、子供が来たり孫が来たりしますとショッピング兼ねた食事、遊ぶ所が飯能にはないのでどうしても入間市の方に行ってしまう(1つの場所で全部がすみませので)

⑨意見・要望等

(市への要望等)

- ・市はもっと知恵を出すべきだ。飯能気質？ 知恵が出なければ、汗を出してもらいたい。以前にもアンケートを提出したが活かされていない
- ・市職員や学校その他地方自治体の人達は自動車通勤でなく、公共交通機関を使用する。少しでも交通機関の利便性を向上させることが地域発展になると思う
- ・住み続けたいが、水道の整備を強く希望します
- ・マミーマートの所に案内所があるが、あまり利用されていないように思います
- ・丸広7階に市民センターが出来ました。利用者も少しずつ増えていると思いますが、照明、空調のむだが著しいと思います使用していない部屋にも、照明がつけっぱなしになっていたり、蛍光灯の数も多すぎます。1箇所毎に照明をcutしたりして、基本から管理方針を考えたらよいと感じます
- ・市の職員や商工会議所の職員の一生懸命さが無い。高齢者の事を排除した考え方が多く感じられる。自分が高齢になった場合を想定して考えて見て下さい
- ・税金が安ければもっといい。矢風はバス停もなく、駅に近いけど、坂なので年をとったら不安
- ・他の近隣の市より税金が高いと聞きました。税金を安くしてほしいです
- ・土地があると税金が高い。年金だけでは払えない。今後どうするか皆が土地を手離したら将来市の税金はどうなるだろう。国・県・市などをあてにしないで個人個人が若いうちから将来を考えて生きていくように子育てをしていかないといけない。個人の責任も重要
- ・市議会等で「他市で例がないのでやらない、出来ない」はいかかなものかと思う。他市に例が無い事こそ飯能市が先にやって他市、他地域の先を行ってほしい。AEDのコンビニ設置など。※運動公園でのイベントの復活させては？スポーツから防災までのイベントもおもしろそう
- ・不可能だけど市名をカッコいい名前に変更するといひ。飯能ってダサイし本当田舎って感じ
- ・住み続けたいが早く道路、下水の整備をして欲しい
- ・飯能市は観光地へ向かう際の通過点にすぎずもったいないと思います。もっと飯能市の魅力をアピールして、立ち寄りたくなる街になれば良いと思います
- ・①雇用の確保支援 ②社会保障対策の充実(ホームレス、生活保護者支援) ③高額所得者・資産課税の強化の働きかけ、消費税反対原発反対(自民公明党建設場所の失敗)天下りや年金記録失敗(自民?公明党の監督のでたらめ)地方→国へのつき上げ ④放射線量の適時発表(毎月)予算は市長が中心になり東電へ要求
- ・農耕放棄地の再利用を推進する。花木の植樹による観光開発など
- ・商工課、観光課の努力に、いつも感謝しております。住み良い飯能をめざして下さい

(道路・交通関係)

- ・バイパスを開通させたのに、市内中心部を大型トレーラー等が通過している為、安心して買物がしにくいです
- ・飯能市内より名栗への道をもう少し整備してほしい。道がせまい。市役所の仕事(整備)は怠慢だ
- ・住み続けたいのですが、道が悪かったり、歩道が狭いところが気になります。もう少し整備してほしい
- ・住み続けたいけれど不便な所に住んでいるので、道路の整備と、交通手段、歩いて又は自転車を買物が出来る所、大きな病院が近くにあってほしい
- ・市内、巡回シャトルバスの運行(入間市で実施しているテイロードバスの様な)、特に交通に不便な地域では必要と思います
- ・市内循環バスが無いので、年寄りには大変不便
- ・道の整備がなかなか進まず自転車で安心して走れる様になるといいです。今入間川の加治橋より土手や桜並木がきれいになり遊歩道が出来又土手も雑草がとりはらわれ散策が楽しみです
- ・八高線と国道299の踏切りを真直に整備する。飯能郵便局の左側(ウエルシア薬局)に歩道をつける

- ・買い物に行くにも車。どこに行くにも車。車社会の中で、一番、遅れているのが、道路整備。道路をよくし人の動きを活発に。
そのうえで観光都市に

(子育て・住環境等)

- ・住み続けたいが、小学生の医療費や学童など飯能ははとも遅れていると思う。市営ではない学童(民営)で16,500円/月はありえないほど高い。もっと子育てしやすい市を目指してほしい
- ・20年以上住んでいる。人口の増加、設備の充実(サッカー場など)
- ・人口が増えるような施策を実施してほしい。子育てがしやすい環境。住宅が建設しやすい規制の緩和
- ・夕方になると、駅から家まで人出が少なく、暗く怖い道がある。空気もきれいな美杉台に住み続けたいが、節電を理由に治安悪化しないで欲しい。近くに交番があれば良い。地域の氏神神社がわからない。それぞれの氏神様がわかれば、正月もお詣りに行くし、地域に愛着がわくと思う
- ・他県から引越して来て12年になりますがとても寂しい町ですね。もう少し若い人達が集まる町にしてみたい
- ・高齢者への対応施策もさることながら、子や孫がふるさととして自慢できるまちづくり、都会の若者が来訪してひとときのやすらぎや鋭気を養えるようなまちづくりを望む
- ・高齢者と子供とが住む町、住みやすい町であってほしい
- ・もう70オドこへ行く気もない。人も動物も一緒に暮らせる街づくりをしてほしかったが良かった

(その他)

- ・移住してから25年以上にもなり自然体で生活出来ている。樹木の管理をきちんと欲している。大きくなりすぎると危険です
- ・自分達で魅力ある街にしていこうと気持が大切。危機意識がないと変わらない
- ・住めば都 山間部の人達も生活がしにくいと思わないような環境。税金を安くして欲しい。生活保護を受けている人は週に何回かボランティアをして欲しい(出来る範囲で)
- ・住んでいる者が満足できる街づくりが大切。住んでいる人々が楽しめる、イベント・地域づくり、自慢できる「オラが街」意識づくりが第一歩
- ・西川材を活用し、「木づかいのまち」というキャッチコピー「夢かえる」→「夢カエル(カエルの絵)」→「迎える」カエル(カエルの絵)だったらカワイイし、キャラにしやすいからみやげ品にしやすい
- ・西川材活用や観光資源の情報発信および市長(市役所)自らによる営業活動強化
- ・入間川を自然のままにしておいてください
- ・年々精明地区はひなびてきて団地等の入居者も少なく家を建てることも出来ず、バスも一日に1~2本…私達は車があるのでなんとか生活していますが…この先は暗いと思います。若い人の意見に耳を傾け住み良い町にしてほしいです
- ・飯能駅前をもっと活気ある商店街にほしい
- ・旧丸広の処が早くなんとかならないものかと思えます

2) できれば市内の別の地域に転居したい主な理由

①バス・鉄道・高速道等のアクセスが悪い

- ・交通の便の悪さ。町の中の駐車場がない(複数)
- ・駅の近くに住みたい(複数)
- ・バスの本数をふやしてほしい。自分は車利用しているが車利用できない高齢者・障害者・子どもたちのことを考えてください(複数)
- ・コミュニティーバスでも、良いので出していきたい(複数)
- ・市街地を踏切に囲まれている特異な市街地形成を何とかしてもらいたい。市街の発展を阻害している。西武吾野線、八高線の高架化を実行しないのが理解できない。区画整理の進捗がなく、絶望している
- ・現在吾野住んでいます。震災抜け道欲しいです。道幅も車同志が通れる道路があればいいなあと思います
- ・車を使用しなくて生活できる場所
- ・線路に近いので、騒音
- ・通学、通勤、通院するのに、大変である。お金もかかる。老後は、特に、車の運転が出来なくなるともっと大変です
- ・通勤や買い物に時間がかかるし、仕事も限られる。デパートも、今の丸広は全然魅力がない。飯能祭りも、トイレや休憩所、イスなどもっと増やした方がいい

②居住環境がよくない

- ・日照が悪い、風通しが悪いなど立地が良くない(複数)
- ・不便だから(複数)
- ・下水道がなく吸込み樽の穴を掘る場所がなくなった。道が狭く車で来た人が一時置く場所がない
- ・住宅が土砂災害地区なので！大雨の時心配

③買物環境がよくない

- ・車を運転出来るうちは良いが、年を取った時にはバスの台数が少ないので、市内への買い物が不便な所だから(複数)
- ・専業主婦として、毎日の買い物が楽しみで、飯能駅近くで百貨店が営業されていた時は徒歩で利用していたのに、今では車でしか行けません。なぜか、飯能駅北口の商店街が淋しく感じます
- ・特に食べ物もおいしくないし、洋服もまったく！年寄りのものばかり

④老後が心配・不安・不便

- ・老人になった時、病院への通院や買物が不便になるから(複数)
- ・運転が出来なくなるとどこへも行けなくなる
- ・今は良いのですが、年を取った時に交通手段が無いので、むずかしいと思います。もう少し奥まった場所でも、バス停がすぐの所に移動したいと思っています
- ・居住環境まあ満足しているが高齢化が進むことにより自由に行きたい所に行けなくなる。バス(小型)、とか市のバス(市営)等を地域に走らせてもらいたい

⑤その他

- ・住民にクセがあるのが多くて住みづらい
- ・もう少し広い所に住みたい。駐車スペースがもっと欲しい。路上駐車、公園の入口に違法駐車が多すぎる
- ・春先の杉花粉が多く、時期的に冬雪が降り、雪かきが大変。腰痛が悪化してしまうため
- ・雪が降りますと、出るのがつらくなる。市役所の方々は、本当にやさしくしていただいております
- ・長年住んでいるので山あり川ありの環境が気に入っている。転居などは事実上不可能である。飯能駅、東飯能駅とも近距離にあり常に綱引きをしているように思える。どちらもパツとしない。将来的には市の中心は1つにしぼる必要がある
- ・母子家庭には市外の方が充実している
- ・区画整理が一向に進まない
- ・個人的な意見。まちなか水族館“飯能”に元からいる水の生き物とかでやれば良い。大きい水盤や甕などに入れて植物や淡水魚を飼う
- ・市への要望。ザクロの木やら、シャッターのペイント画やら、いろいろやっているけど、みんなバラバラで不統一。関連性・継続性→“飯能”の独自性もあまり感じない
- ・交通の便(日、祭日の渋滞・天候などでの影響で止まる)

3)できれば市外に転居したい主な理由

①バス・鉄道・高速道等のアクセスが悪い

- ・都心に出るのに時間がかかる(多数)
- ・交通の便が悪い(多数)
- ・バスがあまり出ないし、病気の時の心配がある。年を取るに従って大変である(複数)
- ・駅まで遠く、車を使わないと不便な点。東飯能駅から飯能駅まで行くのに、あまり本数がない。もっと、バス停など増やし、だれでも、駅付近まで行けるようにした方が良いのでは？(複数)
- ・都心まで出るのに時間がかかりすぎ→(特急以外で)(西武)が努力していないから→もっと時短してほしい
小手指から飯能への本数が少ないなど→市の方も要望してほしいと思います
- ・どこに行くのにも遠いし、ガソリン代がかかる

②居住環境がよくない

- ・お店や病院が遠く不便である(複数)

- ・高齢者が住むには、環境が整備されていない(複数)
- ・市県民税が高い(複数)
- ・下水道がなく大変困っている。公園や子供の遊び場もほしい
- ・山間部は、暮らし難い

③税金関係

- ・税金が他の市より高い(多数)

④買い物環境がよくない

- ・個人商店に活気がない。副業の考えで営業しているようである
- ・買い物不便。公共施設(交番、郵便局、市役所出張所など)が近くにない
- ・商店街のにぎわう所そこを往復すると食品、日用品すべて揃えられる所が望み
- ・美杉台など住宅ばかり。イオンやモールなど大型ショッピングモールができてほしい。ファミレスなど駅近くにない。20代層買い物できるお店がほしい

⑤その他

- ・福祉が不十分で、安心して老後を送る事は出来ません
- ・医療手当てなど、日高や狭山市などより悪い。楽しむ所が少ない
- ・とても環境は良く、いい所だが、病院なども中途半端で今後を考えると不安になる
- ・生活、医療面に将来的不安がある為
- ・他市の方が、福祉面が充実していると聞いている為
- ・高齢になるにしたがって、車の運転等ができなくなった時の不安。できれば都内に戻りたい
- ・自家用車の運転可能の時は良いが、その後が心配であります
- ・年齢が高くなり、車の運転ができなくなってからの生活に不安がある。一人で生活している年寄が安心して生活できる環境がほしい。他市では買い物サービス等、病院へつれていってもらえる等のサービスがみられるところもある
- ・市職員の方々の意識向上。当アンケートの質問の低レベルさでも理解出来た
- ・都市計画で道路整備が進められているとの事で転居して来たが一向に進まない農道に舗装をかけたような道路が多く歩行者も運転者も危険過ぎる。特に緊急時充分な活動ができるのか不安である
- ・町も自然もあり、生活するには便利だが、そのどちらの魅力もあと一歩引き出されていない様に思う。町(商業的、歴史的)なものを観光のメインにするのか、森林(エコツーリズム、西川材)などをメインにするのかは、絞った方が良いと感じる。住民にあまり活気がない様にも感じる。地域愛はこれからもっと必要だと思う。また、個人商店を生かすためには大型商業施設やスーパーを呼び込むのは逆効果だと思う
- ・飯能市に昔から住んでいる人の考えは閉鎖的で自分達中心の人が多。思いやり、やさしさが少ない 町おこしにザクロなど植えたりしていますが、知人友人達もなぜザクロなんか選んだのだろうと知っている
- ・文化施設が貧弱なこと…等
- ・飯能に発展性がない。楽器店一つないあり様。本屋は何軒ありますか。非文明都市！！
- ・活断層による大地震が心配です
- ・雇用問題がしっかりしていないので離れる人が多くなると思います
- ・今市外に住む人を介護しているので
- ・実家が県外なのでいずれはそちらに住みたい。飯能市は道路が狭く歩道もなく、子供達の登下校など心配です。事故が起きてからでは遅いので、整備を早急をお願いします。子ども、お年寄りに優しいまちづくりが必要だと思います
- ・生れ故郷である東京に帰りたい。事情が許すならば
- ・他の町の人達に飯能に住みたいと言われる様な町になって欲しい
- ・転勤があるのでいずれは引越します。都内に出るのには便利なので、どうしても買い物は都内へ行ってしまいます。でも飯能は緑もあり、自然があるので、住むのには良い所です
- ・道が悪すぎて今後子供が出来た時にベビーカーも使えないし子供1人では歩かせられない！！
- ・徒歩で老人は、街を歩きにくい。デコボコ、歩道狭い。八高線沿いの道、歩いてみて！余りに手が妨げられていない。根が道路を押し上げていて危ないです。街灯が少なく暗いです

- ・都会でもなく田舎でもなく中途半端な感じがする。勤務地が市外なので、活動するのはどちらかというと勤務地のある場所が多く、市内のことは知らないことも多い。又、近所づきあいも、人間関係も市内にはほとんどないため
- ・土地を購入することは、今は不可能なので実家へもどることも考えている

4)市外に転居したい主な理由

①税金関係

- ・税金が高い(多数)

②居住環境がよくない

- ・今後、生活環境が向上するとは思えない。交通、教育、生活等も他の8万人都市とは大分落ちる。山間部を開発しても市街部の向上はない。行き止まり都市「飯能」
- ・学校も小規模で、子供の友達も人数が少ない。好きなこともあきらめなければならない環境で、子供にとってあまり良いとは思わない。交通の便も悪く、飯能市自体が閉鎖的で進歩的でないよう感じる
- ・街に活気もなく、はっきり言って子育て世代には不便な環境だと思います。自然に恵まれているのは結構ですが、大事なのは日々の生活がしやすいかどうかだと思います。観光に力を入れるのと同時に、暮らしている人が住みやすい・毎日楽しいと思える街づくりをして下さい。細く狭く老朽化している道路ばかりなのも気が滅入ります

③周辺の間人関係がよくない

- ・この場所は気に入っていますが、回りの人々の態度が気に入らない。何かというと新住民
- ・地域の昔からの仕来たりや住民の方と馴染めない。祭りなどの役員(強制)など飯能自体が遅れていて、福祉なども遅れている。
- ・排他的・民度が低い?! 犬の糞害対策をお願いします

④バス・鉄道・高速道等のアクセスが悪い

- ・道路の整備など足りない上に子育てや、老後に不安を感じる!
- ・8年前に都内より飯能に転居して来たが、思った以上に道路や運転マナーが悪く残念です
- ・道路が危険

⑤その他

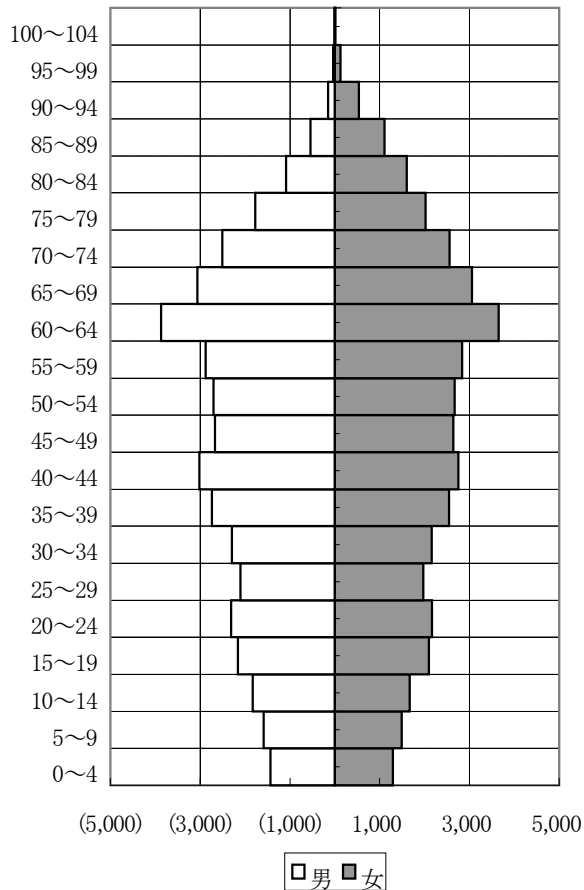
- ・緑は多くていいと思うが、道路が整備されていなく(特に駅南口←→北口)非常に不便。おいしいレストランも少なく、店は充実していない。リラクゼーション施設・レクリエーション施設の充実を希望する
- ・高齢になるにつれ高度な医療設備が充実した地域が必要と思われる(美杉台地区に医療特区が出来れば良いが)
- ・とても住みづらい街だと思う。中途半端に田舎で、都会で、道の整備の遅れが、原因では?
- ・家を建築したばかりなので、そうはいきませんが、このままでは正直…。自然豊かで良い所だけど、それだけでは、若い人は入ってこないしどんどん出ていだけかと思えます
- ・子育てしにくい。通学路が危険。医療費助成。飛行機がうるさい。税金の使い道
- ・杉の木ばかりで、花粉症なので、本当に困る。山の手入れをしてほしい。道がせまく、子供が心配(事故など)。バス代が高い。とにかく店がないので買い物が大変
- ・飯能の目玉となるような所が1つもなく、他の地域からきた人が楽しめるような場所がない。子供が遊べる場所がないため、家族で出かける所もない
- ・父母が高齢のため出ざるをえない!
- ・全てNG

第5章 資料編

1. 飯能市の人口と世帯

(1) 市内全域の人口と世帯

図表 5-1 飯能市の人口ピラミッド(H25.2.28)



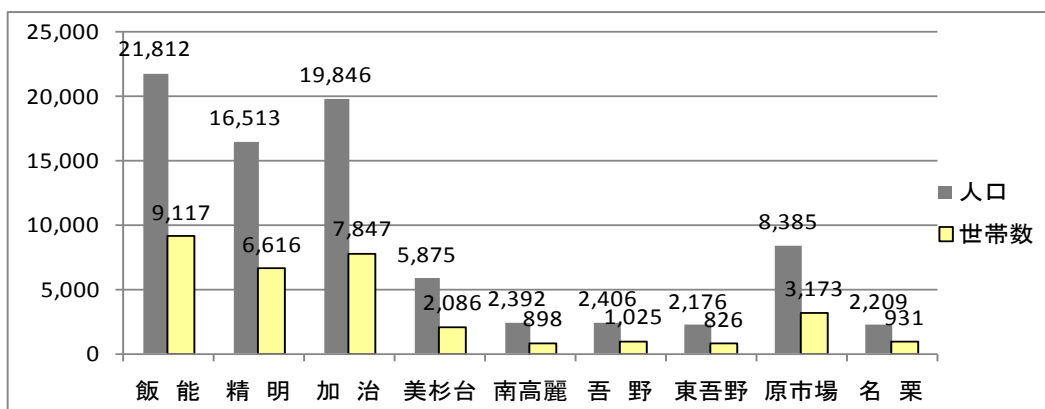
図表 5-2 飯能市の5歳階級別総人口(H25.2.28)

年齢(歳)	人数(人)			構成比(%)
	男	女	計	計
0~4	1,430	1,294	2,724	3.3%
5~9	1,586	1,492	3,078	3.8%
10~14	1,828	1,668	3,496	4.3%
年少人口計	4,844	4,454	9,298	11.4%
15~19	2,162	2,096	4,258	5.2%
20~24	2,309	2,167	4,476	5.5%
25~29	2,105	1,969	4,074	5.0%
30~34	2,291	2,159	4,450	5.4%
35~39	2,740	2,544	5,284	6.5%
40~44	3,015	2,751	5,766	7.1%
45~49	2,670	2,636	5,306	6.5%
50~54	2,705	2,668	5,373	6.6%
55~59	2,876	2,837	5,713	7.0%
60~64	3,870	3,649	7,519	9.2%
生産年齢人口計	26,743	25,476	52,519	64.3%
65~69	3,061	3,054	6,115	7.5%
70~74	2,505	2,558	5,063	6.2%
75~79	1,775	2,019	3,794	4.6%
80~84	1,083	1,606	2,689	3.3%
85~89	545	1,105	1,650	2.0%
90~94	150	536	686	0.8%
95~99	35	124	159	0.2%
100~104	4	14	18	0.0%
老年人口計	9,158	11,016	20,174	24.7%
合計	40,745	40,946	81,691	100.0%
平均年齢	44.8	47.2	46.0	

図表 5-3 飯能市の総人口・世帯数推移(各年1月1日現在)

年次	世帯数	世帯増減率	人口		1世帯当たり人口	
			総数	増減率		
	世帯	%	人	%	人	
10	27,646	1.9	82,542	0.7	2.99	総人口(1.1)
11	28,075	1.6	82,765	0.3	2.95	〃
12	28,516	1.6	83,046	0.3	2.91	〃
13	28,933	1.5	83,186	0.2	2.88	〃
14	29,276	1.2	83,054	△ 0.2	2.84	〃
15	29,540	0.9	82,796	△ 0.3	2.80	〃
16	29,905	1.2	82,641	△ 0.1	2.76	〃
17	31,136	4.1	84,982	2.8	2.73	合併総人口(1.1)
18	31,446	1.0	84,544	△ 0.5	2.69	総人口(1.1)
19	31,728	0.9	83,967	△ 0.7	2.65	〃
20	32,178	1.4	83,874	△ 0.1	2.61	〃
21	32,470	0.9	83,432	△ 0.5	2.57	〃
22	32,659	0.6	83,181	△ 0.3	2.55	〃
23	32,931	0.8	82,974	△ 0.2	2.52	〃
24	33,099	0.5	82,422	△ 0.7	2.49	〃
25	33,042	△ 0.2	81,874	△ 0.7	2.48	〃

図表 5-4 飯能市の地区別人口・世帯分布(H24.1.1)



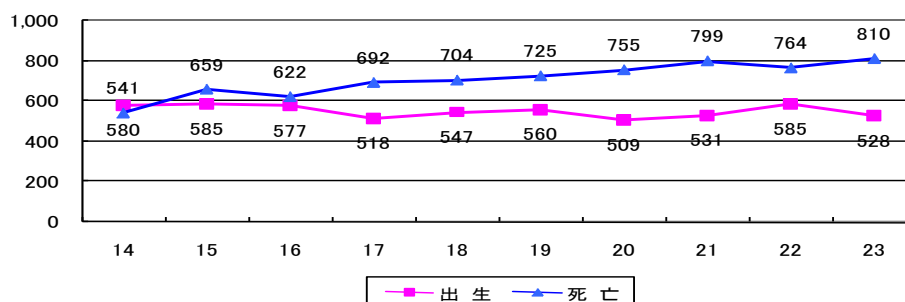
(2)人口の動態

図表 5-5 飯能市の人口動態推移(各年1月～12月)

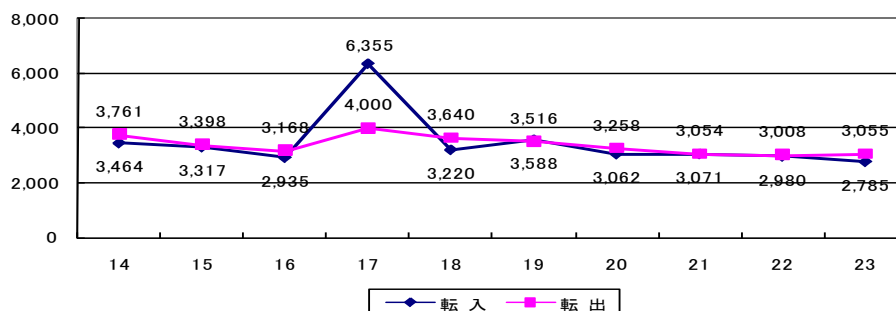
(単位:人)

年次	自然動態			社会動態		
	出生	死亡	増加数	転入	転出	増加数
14	580	541	39	3,464	3,761	△ 297
15	585	659	△ 74	3,317	3,398	△ 81
16	577	622	△ 45	2,935	3,168	△ 233
17	518	692	△ 174	6,355	4,000	2,355
18	547	704	△ 157	3,220	3,640	△ 420
19	560	725	△ 165	3,588	3,516	72
20	509	755	△ 246	3,062	3,258	△ 196
21	531	799	△ 268	3,071	3,054	17
22	585	764	△ 179	2,980	3,008	△ 28
23	528	810	△ 282	2,785	3,055	△ 270

図表 5-6 飯能市の人口動態(自然動態)



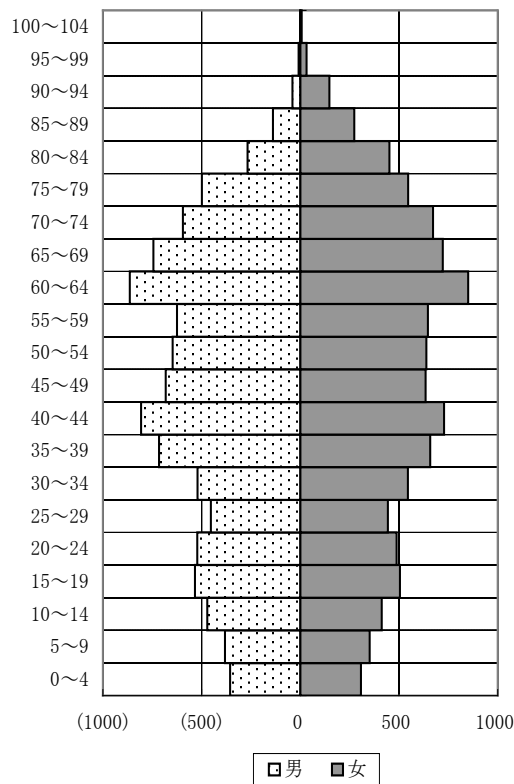
図表 5-7 飯能市の人口動態(社会動態)



2. 飯能市各地区の人口ピラミッド

(1) 飯能地区

図表 5-8 飯能地区の人口ピラミッド

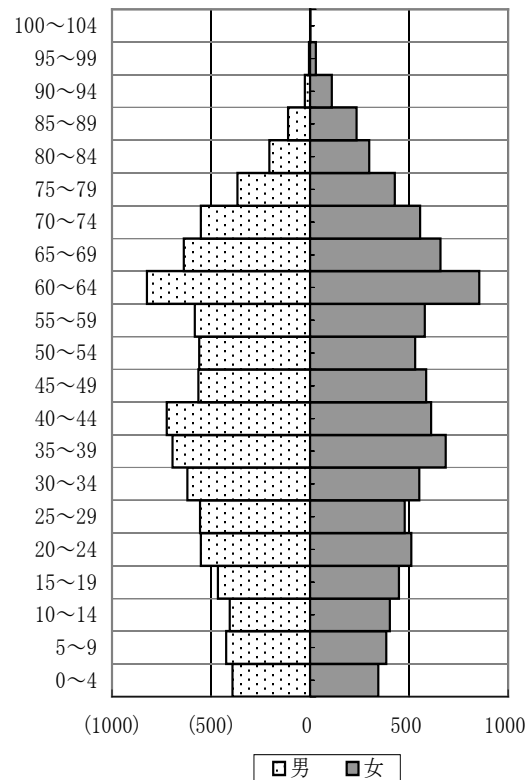


図表 5-9 飯能地区の5歳階級別総人口(H25.2.28)

年齢(歳)	人数(人)			構成比(%)
	男	女	計	計
0~4	356	307	663	3.3%
5~9	381	352	733	3.7%
10~14	471	413	884	4.4%
年少人口計	1,208	1,072	2,280	11.4%
15~19	533	505	1,038	5.2%
20~24	522	488	1,010	5.1%
25~29	453	444	897	4.5%
30~34	520	545	1,065	5.3%
35~39	716	658	1,374	6.9%
40~44	806	728	1,534	7.7%
45~49	681	635	1,316	6.6%
50~54	646	639	1,285	6.4%
55~59	625	647	1,272	6.4%
60~64	863	851	1,714	8.6%
生産年齢人口計	6,365	6,140	12,505	62.7%
65~69	744	722	1,466	7.4%
70~74	594	673	1,267	6.4%
75~79	498	547	1,045	5.2%
80~84	267	451	718	3.6%
85~89	139	274	413	2.1%
90~94	39	148	187	0.9%
95~99	9	32	41	0.2%
100~104	1	7	8	0.0%
老年人口計	2,291	2,854	5,145	25.8%
合計	9,864	10,066	19,930	100.0%
平均年齢	45.0	47.6	44.4	

(2) 精明地区

図表 5-10 精明地区の人口ピラミッド

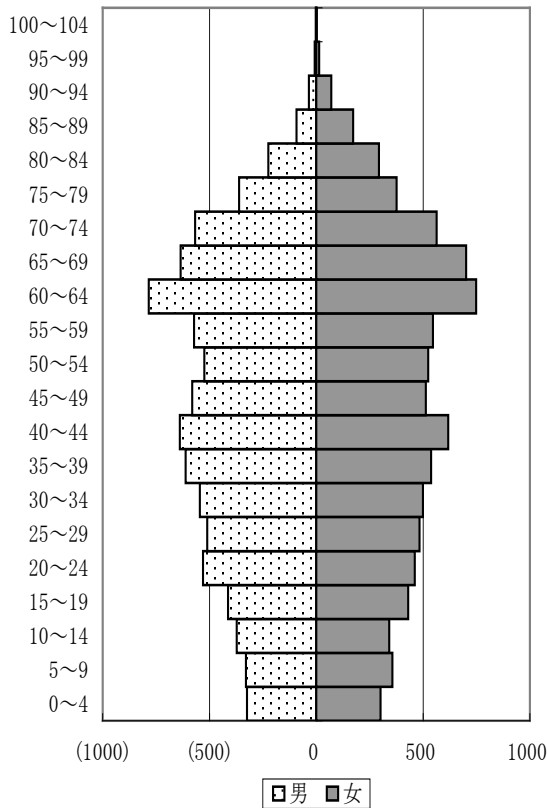


図表 5-11 精明地区の5歳階級別総人口(H25.2.28)

年齢(歳)	人数(人)			構成比(%)
	男	女	計	計
0~4	392	344	736	4.0%
5~9	424	385	809	4.4%
10~14	405	403	808	4.4%
年少人口計	1,221	1,132	2,353	12.7%
15~19	465	448	913	4.9%
20~24	552	511	1,063	5.7%
25~29	555	478	1,033	5.6%
30~34	619	551	1,170	6.3%
35~39	695	685	1,380	7.4%
40~44	724	611	1,335	7.2%
45~49	564	586	1,150	6.2%
50~54	560	530	1,090	5.9%
55~59	582	579	1,161	6.3%
60~64	824	854	1,678	9.0%
生産年齢人口計	6,140	5,833	11,973	64.6%
65~69	637	659	1,296	7.0%
70~74	551	556	1,107	6.0%
75~79	366	428	794	4.3%
80~84	206	298	504	2.7%
85~89	111	235	346	1.9%
90~94	26	110	136	0.7%
95~99	6	29	35	0.2%
100~104	0	1	1	0.0%
老年人口計	1,903	2,316	4,219	22.8%
合計	9,264	9,281	18,545	100.0%
平均年齢	45.5	48.3	46.9	

(3)加治地区

図表 5-12 加治地区の人口ピラミッド

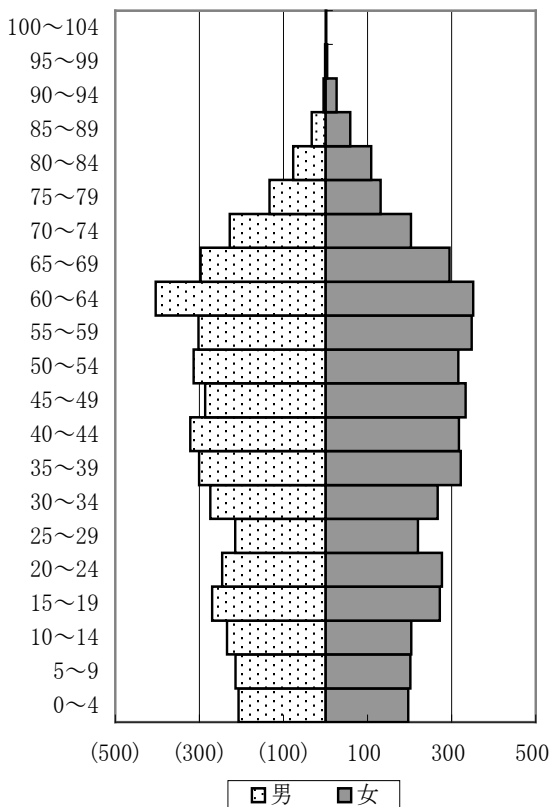


図表 5-13 加治地区の5歳階級別総人口(H25.2.28)

年齢(歳)	人数(人)			構成比(%)
	男	女	計	計
0~4	324	301	625	3.6%
5~9	329	356	685	4.0%
10~14	372	342	714	4.1%
年少人口計	1,025	999	2,024	11.8%
15~19	413	430	843	4.9%
20~24	530	461	991	5.8%
25~29	511	483	994	5.8%
30~34	545	499	1,044	6.1%
35~39	611	537	1,148	6.7%
40~44	639	618	1,257	7.3%
45~49	581	513	1,094	6.4%
50~54	524	524	1,048	6.1%
55~59	572	546	1,118	6.5%
60~64	784	748	1,532	8.9%
生産年齢人口計	5,710	5,359	11,069	64.3%
65~69	635	701	1,336	7.8%
70~74	567	563	1,130	6.6%
75~79	361	376	737	4.3%
80~84	225	294	519	3.0%
85~89	92	173	265	1.5%
90~94	35	70	105	0.6%
95~99	8	14	22	0.1%
100~104	2	1	3	0.0%
老年人口計	1,925	2,192	4,117	23.9%
合計	8,660	8,550	17,210	100.0%
平均年齢	44.4	46.8	45.5	

(4)美杉台地区

図表 5-14 美杉台地区の人口ピラミッド

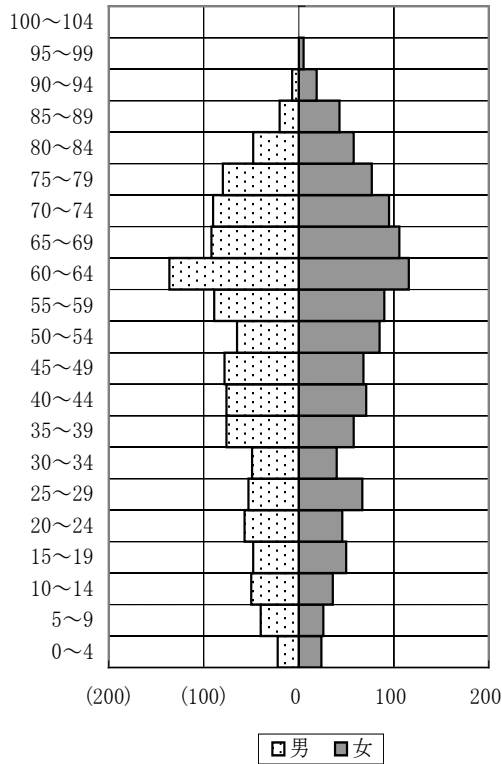


図表 5-15 美杉台地区の5歳階級別総人口(H25.2.28)

年齢(歳)	人数(人)			構成比(%)
	男	女	計	計
0~4	207	197	404	4.6%
5~9	214	202	416	4.7%
10~14	234	204	438	5.0%
年少人口計	655	603	1,258	14.3%
15~19	270	272	542	6.1%
20~24	246	277	523	5.9%
25~29	215	220	435	4.9%
30~34	274	267	541	6.1%
35~39	301	322	623	7.1%
40~44	322	317	639	7.2%
45~49	286	333	619	7.0%
50~54	314	316	630	7.1%
55~59	302	348	650	7.4%
60~64	404	351	755	8.6%
生産年齢人口計	2,934	3,023	5,957	67.6%
65~69	297	295	592	6.7%
70~74	228	203	431	4.9%
75~79	133	131	264	3.0%
80~84	77	109	186	2.1%
85~89	33	59	92	1.0%
90~94	5	26	31	0.4%
95~99	1	4	5	0.1%
100~104	0	2	2	0.0%
老年人口計	774	829	1,603	18.2%
合計	4,363	4,455	8,818	100.0%
平均年齢	40.7	41.7	41.2	

(5)南高麗地区

図表 5-16 南高麗地区の人口ピラミッド

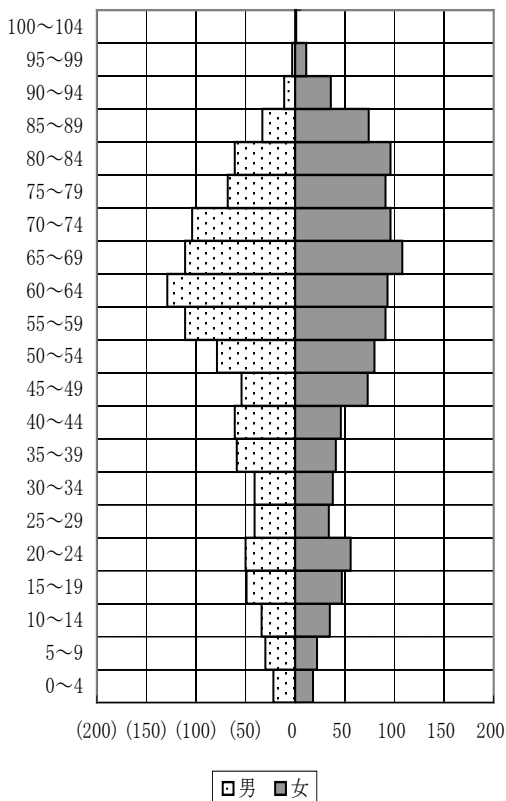


図表 5-17 南高麗地区の5歳階級別総人口(H25.2.28)

年齢(歳)	人数(人)			構成比(%)
	男	女	計	計
0~4	22	24	46	2.0%
5~9	40	26	66	2.8%
10~14	50	36	86	3.7%
年少人口計	112	86	198	8.4%
15~19	48	50	98	4.2%
20~24	57	46	103	4.4%
25~29	53	67	120	5.1%
30~34	49	40	89	3.8%
35~39	76	58	134	5.7%
40~44	76	71	147	6.2%
45~49	78	68	146	6.2%
50~54	65	85	150	6.4%
55~59	89	90	179	7.6%
60~64	136	116	252	10.7%
生産年齢人口計	727	691	1,418	60.2%
65~69	92	106	198	8.4%
70~74	90	95	185	7.9%
75~79	80	77	157	6.7%
80~84	48	58	106	4.5%
85~89	20	43	63	2.7%
90~94	7	19	26	1.1%
95~99	0	5	5	0.2%
100~104	0	0	0	0.0%
老年人口計	337	403	740	31.4%
合計	1,176	1,180	2,356	100.0%
平均年齢	49.6	53.2	51.7	

(6)吾野地区

図表 5-18 吾野地区の人口ピラミッド

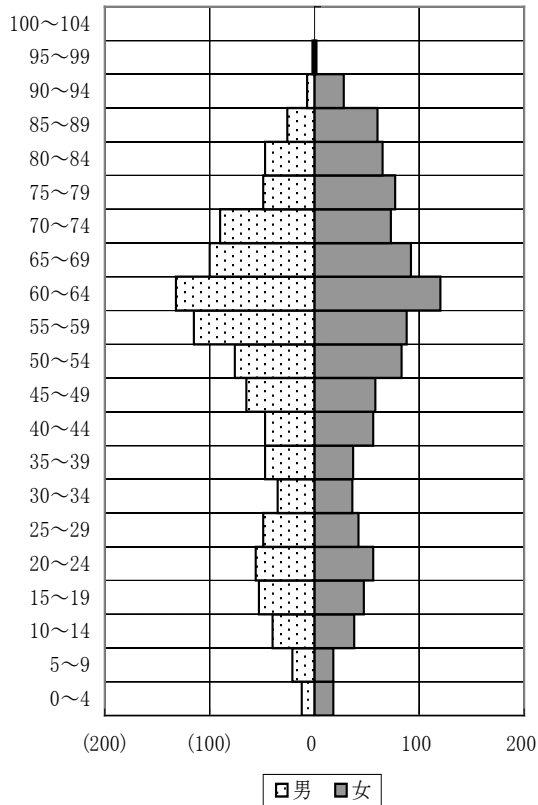


図表 5-19 吾野地区の5歳階級別総人口(H25.2.28)

年齢(歳)	人数(人)			構成比(%)
	男	女	計	計
0~4	22	18	40	1.7%
5~9	30	22	52	2.2%
10~14	34	35	69	3.0%
年少人口計	86	75	161	6.9%
15~19	49	47	96	4.1%
20~24	50	56	106	4.5%
25~29	41	34	75	3.2%
30~34	41	38	79	3.4%
35~39	59	41	100	4.3%
40~44	61	46	107	4.6%
45~49	54	73	127	5.4%
50~54	79	80	159	6.8%
55~59	111	91	202	8.6%
60~64	129	93	222	9.5%
生産年齢人口計	674	599	1,273	54.4%
65~69	111	108	219	9.4%
70~74	104	96	200	8.6%
75~79	68	91	159	6.8%
80~84	61	96	157	6.7%
85~89	33	74	107	4.6%
90~94	11	36	47	2.0%
95~99	3	11	14	0.6%
100~104	0	1	1	0.0%
老年人口計	391	513	904	38.7%
合計	1,151	1,187	2,338	100.0%
平均年齢	55.2	58.8	57.0	

(7)東吾野地区

図表 5-20 東吾野地区の人口ピラミッド

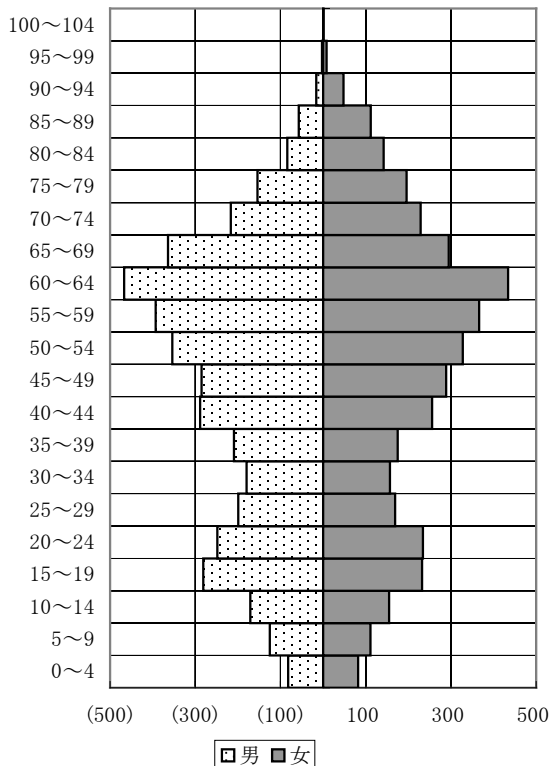


図表 5-21 東吾野地区の5歳階級別総人口(H25.2.28)

年齢(歳)	人数(人)			構成比(%)
	男	女	計	計
0~4	12	18	30	1.4%
5~9	21	18	39	1.8%
10~14	40	38	78	3.6%
年少人口計	73	74	147	6.8%
15~19	53	47	100	4.6%
20~24	56	56	112	5.2%
25~29	49	42	91	4.2%
30~34	35	36	71	3.3%
35~39	47	37	84	3.9%
40~44	47	56	103	4.8%
45~49	65	58	123	5.7%
50~54	76	83	159	7.4%
55~59	115	88	203	9.4%
60~64	132	120	252	11.7%
生産年齢人口計	675	623	1,298	60.0%
65~69	100	92	192	8.9%
70~74	90	73	163	7.5%
75~79	49	77	126	5.8%
80~84	47	65	112	5.2%
85~89	26	60	86	4.0%
90~94	7	28	35	1.6%
95~99	2	2	4	0.2%
100~104	0	0	0	0.0%
老年人口計	321	397	718	33.2%
合計	1,069	1,094	2,163	100.0%
平均年齢	53.6	54.2	53.9	

(8)原市場地区

図表 5-22 原市場地区の人口ピラミッド

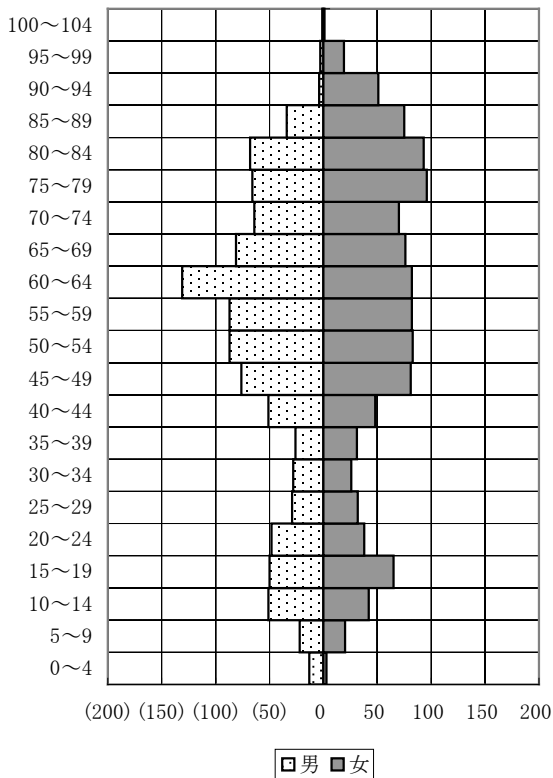


図表 5-23 原市場地区の5歳階級別総人口(H25.2.28)

年齢(歳)	人数(人)			構成比(%)
	男	女	計	計
0~4	82	82	164	2.0%
5~9	125	111	236	2.9%
10~14	171	155	326	4.0%
年少人口計	378	348	726	8.9%
15~19	281	232	513	6.3%
20~24	248	234	482	5.9%
25~29	199	169	368	4.5%
30~34	180	157	337	4.1%
35~39	209	175	384	4.7%
40~44	289	256	545	6.6%
45~49	285	289	574	7.0%
50~54	354	328	682	8.3%
55~59	393	366	759	9.3%
60~64	467	434	901	11.0%
生産年齢人口計	2,905	2,640	5,545	67.6%
65~69	364	295	659	8.0%
70~74	217	229	446	5.4%
75~79	154	196	350	4.3%
80~84	84	142	226	2.8%
85~89	57	112	169	2.1%
90~94	16	48	64	0.8%
95~99	3	8	11	0.1%
100~104	0	1	1	0.0%
老年人口計	895	1,031	1,926	23.5%
合計	4,178	4,019	8,197	100.0%
平均年齢	47.2	49.8	48.5	

(9)名栗地区

図表 5-24 名栗地区の人口ピラミッド



図表 5-25 名栗地区の5歳階級別総人口(H25.2.28)

年齢(歳)	人数(人)			構成比(%)
	男	女	計	計
0~4	13	3	16	0.7%
5~9	22	20	42	2.0%
10~14	51	42	93	4.4%
年少人口計	86	65	151	7.1%
15~19	50	65	115	5.4%
20~24	48	38	86	4.0%
25~29	29	32	61	2.9%
30~34	28	26	54	2.5%
35~39	26	31	57	2.7%
40~44	51	48	99	4.6%
45~49	76	81	157	7.4%
50~54	87	83	170	8.0%
55~59	87	82	169	7.9%
60~64	131	82	213	10.0%
生産年齢人口計	613	568	1,181	55.3%
65~69	81	76	157	7.4%
70~74	64	70	134	6.3%
75~79	66	96	162	7.6%
80~84	68	93	161	7.5%
85~89	34	75	109	5.1%
90~94	4	51	55	2.6%
95~99	3	19	22	1.0%
100~104	1	1	2	0.1%
老年人口計	321	481	802	37.6%
合計	1,020	1,114	2,134	100.0%
平均年齢	51.9	57.5	54.8	

3. アンケート調査表

平成24年度 飯能市消費動向調査報告書

平成25年3月15日 発行

駿河台大学	飯能市阿須 698 tel 042-972-1211
飯能信用金庫	飯能市栄町 24-9 tel 042-972-8111
飯能市	飯能市大字双柳 1-1 tel 042-973-2111
飯能商工会議所	飯能市本町 1-7 tel 042-974-3111